PRECOT NEXT

取扱説明書

このたびは PRECOT をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

安全にご使用いただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、お買い求めの販売店でお買い求めください。

本文中のマーク説明

警告マーク	説明
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。

注意
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本製品のご使用にあたって、NTT のレンタル電話機がご不要となった場合は、NTT（局番なしの 116 番）にご連絡いただければ、「機器使用料金」は、不要となります。

- この電話機システムは日本国内用に設計されておりますので、海外ではご利用できません。This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、通信（通話、録音、通話料金管理、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用など）の機会を逸脱したために生じた損害、およびこの取扱説明書に記載された内容に従わなかったことに起因する損害、故障につきましては、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品の設置および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店等へお申しつけください。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤使用、異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、または停電などの外部要因によって、内部保存されたデータなどが消失することがあります。重要なデータは、あらかじめ紙に書き写すなどし、保管してください。

⚠警告
・ 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。この場合は主装置の非常用主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い求めの販売店に修理をご依頼ください。お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。
・ 万一、主装置を倒したり、主装置本体を破損した場合、すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
・ 主装置から異常音がしたり、主装置本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。この場合は主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に点検をご依頼ください。
・ 主装置や電話機などをぬれた手でさわったり、水をかけないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。
・ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・ 万一、主装置内部に水などの液体が入った場合は、すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
・ 主装置や電話機などを分解・改造したりしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・清掃・修理はお買い求めの販売店にご依頼ください（分解、改造された主装置や電話機などは修理に応じられない場合があります）。
・ 主装置や電話機などのそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
・ ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・ AC100V の商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
・ 主装置からの電源コードおよび電話機までの配線を傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したりすると電源コードおよび電話機までの配線が破損し、火災・感電の原因となります。電源コードおよび電話機までの配線が傷んだら、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
・ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
・ テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
・ お客さまによる主装置の工事・修理などは危険ですから絶対におやめください。主装置の工事・修理などを行うときは、お買い求めの販売店にご依頼ください。
・ 主装置の USB コネクタは、工事時に使用するコネクタであり、使用しないでください。
・ 主装置の電源コードが傷んだ（芯線の露出、断線など）状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
・ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、上に重いものを乗せないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
・ 近くに雷が発生したときは、すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてご使用を控えてください。雷によっては、火災・感電の原因となることがあります。
・ 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。 ・ 仰向けや横倒し、逆さまにする。 ・ 収納棚や本箱などの風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・ じゅうたんや布団の上に置く。 ・ テーブルクロスなどをかける。
・ 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。

⚠警告

- 振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 動いている機械の近くで、ヘッドセットを使用している場合は、コード類の機械への巻き込みに十分注意してください。大怪我の原因になります。
- 雷が激しい時は、電源コード・回線コードに触れないでください。感電の原因となります。
- 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をご依頼ください。
- 万一、電話機内部に水などの液体が入った場合や、異物が入った場合は、すぐに電話機までの配線を抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、電話機を落としたり、破損した場合は、すぐに電話機までの配線を抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠注意

- 直射日光の当たるところや、暖房設備・ボイラーなどのため著しく温度が上昇するところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 主装置や電話機などを調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 壁に取り付ける場合は、重みにより落下しないよう堅固に取り付け、設置してください。落下してけがの原因となることがあります。
- 電話機底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 主装置や電話機、電話機までの配線、電源コードを熱器具に近づけないでください。主装置本体や電話機、電話機までの配線、電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため必ず主装置の非常用主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 万一、電話機内部に水などの液体が入った場合は、すぐに電話機から電話機コードを抜いて、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電話機パネルの取り外しには適切な工具等を利用してください。指や爪で行うとけがをするおそれがあります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブルなど外部の接続線をはずしたことを確認した上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 定期的な内部の掃除を販売店にご相談ください。内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿度の多くなる時期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。
- 電話機などのお手入れの際は安全のために電話機までの配線を抜いてから行ってください。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。
- 損傷したケーブルや AC アダプタなどを使わないでください。火災・感電の原因となることがあります。

お願い

- 主装置や電話機などをぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。主装置や電話機などの変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機コードを引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。

お願い
・ 停電中に主装置の非常用主電源スイッチを切らないでください。停電復旧時に使用できなくなります。
・ 停電のときは、停電対応多機能電話機を使用してください。 ・ 他の内線電話機は使えません。 ・ ドアホンは使えません。
・ 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。 ・ 製氷倉庫などの特に温度が下がる場所。 ・ 塵・ほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所。
・ 電気製品・AV 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、インバータエアコン、電磁調理器など）。 ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。 ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。 ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、主装置や電話機などの設置場所を移動してみてください。
・ 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、主装置や電話機などの寿命が短くなることがあります。
・ 電話機は平らな面に置いておお使いください。

目次

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

4　外線転送（転送電話）機能編

5　留守番電話機能編

6　応用操作 / 応用機能編

7　回線サービス編

8　IP 関連機能編

9　オプション編

10 単独電話機編

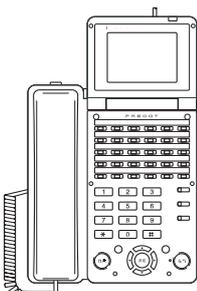
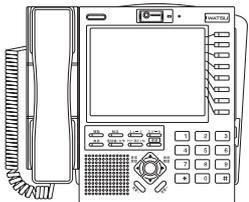
11 その他機能編

12 参考

索引

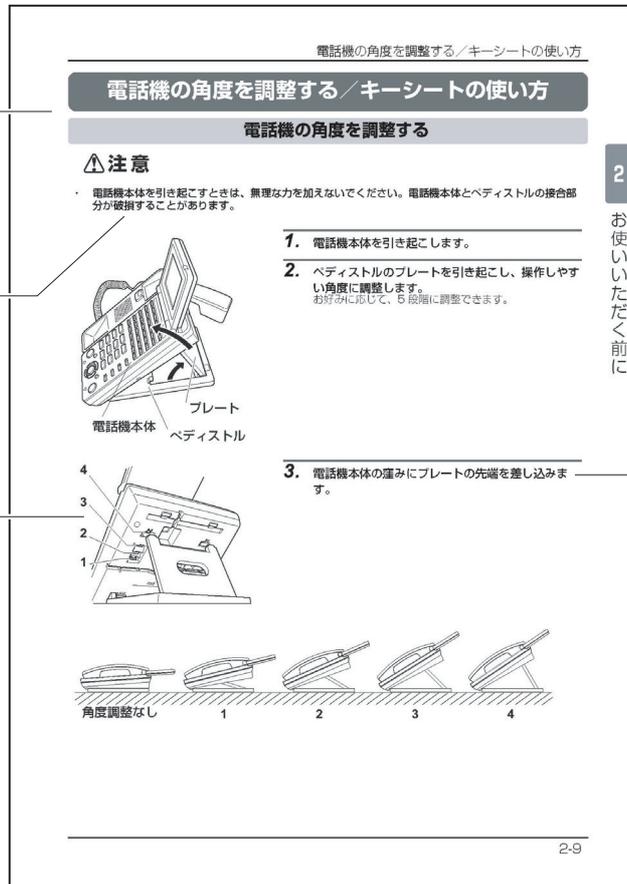
本システムの構成機器と取扱説明書について

PRECOT（プレコット）には、以下の機器を接続できます。お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。
また、この他にも各種オプションや別売品を接続してシステムの充実を図ることもできます。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。
各種オプションをご利用の場合は、お使いの機器に付属する取扱説明書も合わせてお読みください。

接続できる主な機器	説明	参照先
多機能電話機（型式：NR-18KT）	・ 外線や内線などの機能を 18 個割り付けできます。 ・ 1行 20 文字（漢字は 10 文字）で 6 行のディスプレイ表示ができます。 ・ バックライトは、7つの色から選択できます（電話帳データに登録されている発信者からの着信の場合）。 ・ ボディカラーは、ホワイトとブラックを選択できます。	「2 お使いいただく前に」～「8 IP 関連機能編」
多機能電話機（型式：NR-30KT）	・ 外線や内線などの機能を 30 個割り付けできます。 ・ 1行 20 文字（漢字は 10 文字）で 6 行のディスプレイ表示ができます。 ・ バックライトは、7つの色から選択できます（電話帳データに登録されている発信者からの着信の場合）。 ・ ボディカラーは、ホワイトとブラックを選択できます。	
停電対応多機能電話機 （型式：NR-30KTAPF ／ NR-30KTIPF）	・ 外線や内線などの機能を 30 個割り付けできます。 ・ 1行 20 文字（漢字は 10 文字）で 6 行のディスプレイ表示ができます。 ・ バックライトは、7つの色から選択できます（電話帳データに登録されている発信者からの着信の場合）。 ・ 停電時にも使用できます。	P.12-10
単独電話機	・ 一般単独電話機を接続できます。	「10 単独電話機編」
ファックス、ドアホン、その他	・ ファックスやドアホンなどを接続できます。	「9 オプション編」
Visual IP 電話機（型式：NR-IPKTV）	・ ホームページが見れます。 ・ 相手の映像を見ながら通話できます。（テレビ電話機能） ・ 6.4 インチ大型ディスプレイを採用し、大きくて美しい映像を表示できます。 ・ タッチパネルを採用し、簡単な操作性を実現しています。 ・ ボディカラーは、シルバーとブラックを選択できます。	Visual IP 電話機の取扱説明書を参照してください。
無線端末	・ 無線端末を利用できます。 詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。	お使いになる無線端末の取扱説明書を参照してください。

Note

- 本システムに接続している機器は、お客様によって異なります。システムの構成は、お客様のシステム管理者、またはお買い求めの販売店にお問い合わせください（本システムはアナログ回線、ISDN 回線、IP 回線でご使用いただけます）。
- 次のような場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。
  - ・ システムに電話機を増設したり、オプションを追加する場合
  - ・ 現在ご使用いただいている各種機能を追加・変更する場合
- 各種オプションをご利用の場合は、お使いになる電話機の機能に該当するページをお読みください。また、別売品をご利用の場合は、お使いの機器に付属する取扱説明書も合わせてお読みください。

本取扱説明書の読み方

この取扱説明書に記載したディスプレイの表示などは、操作説明をするためのサンプルです。実際と異なることがあります。
この取扱説明書は、次のようにレイアウトされています。
＜レイアウト例＞

マーク／表記について

この取扱説明書で使用するマークや表記には、次のルールがあります。「安全にご使用いただくために必ずお読みください」に記載した警告マークとあわせ、内容をよく理解してから本文をお読みください。

マーク	説明
お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
Note	この表示は、本製品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
Information	この表示は、本製品を取り扱ううえで知っておいていただきたい内容や、役立つ内容を示しています。
取り付け時設定	この表示は、主装置で設定する内容や、システム工事のときに設定する内容を示しています。 この表示の付いた機能の使用や変更に関しては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
システム	システム電話機で操作できる内容を示しています。 このマークが記載されていない機能は、いずれの電話機でもお使いになれます。
ISDN	本製品を ISDN 回線でお使いの場合にのみ、ご使用になれる機能を示します。

表記	説明	記載例
外線	フレキシブルボタンを外線ボタンとして使用する場合は、外線などと表記します。	外線を押します。
8 8	連続したボタン操作やキー操作は、並べて表記します。 左記および右記の記載例では、8 8と続けてボタンを押す操作になります。	8 8を押します。

システム電話機とは

システム全体に関わる設定や登録などは、特定の電話機のみが操作できます。この電話機のことをシステム電話機と呼びます。システムの表示された機能は、システム電話機「システム電話機の確認方法（P.2-16）」でしか操作できません。

フレキシブルボタンについて

あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに各種機能を登録・設定することにより、ワンタッチ操作で機能を活用できます。

Information

- **フレキシブルボタンに登録されている機能名をご確認いただくには、「フレキシブルボタンの確認（P.6-90）」を参照ください。**
- **機能の割り当て、登録・設定内容、および変更は、お買い求めの販売店にご連絡ください。**
- **「外線」を「回線」、「局線」と表記する場合があります。**

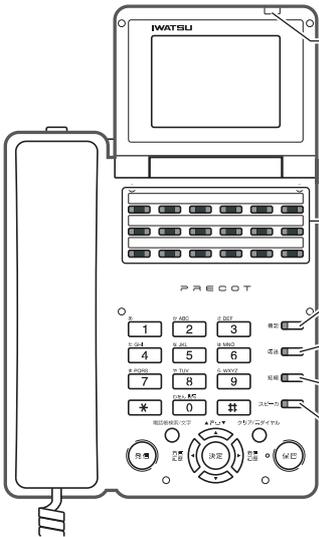
お使いいただく前に

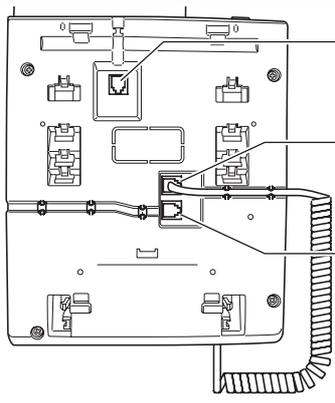
多機能電話機

各部の名称とはたらき

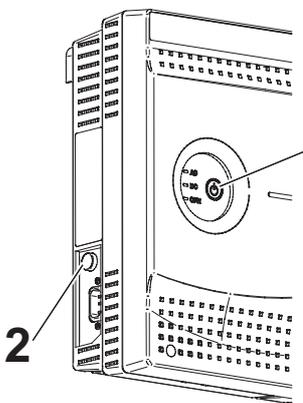
多機能電話機（前面）NR-18KT

No.	名称とはたらき
1.	受話器（ハンドセット） 相手とお話しするときに使います。
2.	着信ランプ／ボイスメールメッセージランプ 着信やボイスメールがあるときに点灯／点滅します。
3.	マイク 受話器を置いたまま電話（ハンズフリー通話）するときに、音声を入力します。
4.	ディスプレイ 時刻、ダイヤルした電話番号、通話料金などを表示します（「液晶表示部の説明（P.2-10)」）。 バックライトは、何も操作しないと約 20 秒で消灯します。
5.	スピーカ 音声を出力します。 （受話器を上げてお話ししないときに、スピーカボタンを押すと、相手の声が聞こえます。） （受話器によりお話ししているときに、スピーカボタンを押すと、受話器でお話ししながら、相手の声をスピーカから出力することができます。取り付け時設定）
6.	フレキシブルボタン 各種機能を割り当てて、割り当てられた機能を実行するためのボタンとしてもお使いいただけます（「フレキシブルボタンの確認（P.6-90)」）。取り付け時設定
7.	機能ボタン 各種機能の選択や登録をするときに使います。他のボタンと組み合わせて、豊富な機能を使うことができます（「機能ボタンの使い方（P.6-87)」）。
8.	転送ボタン お話し中の電話を他の人に転送するときに使います。
9.	短縮ボタン 短縮番号を使用してダイヤルするときに使います。
10.	スピーカボタン 受話器を置いたまま電話（ハンズフリー通話）するときに使います。
11.	発信ボタン 電話帳からダイヤルするとき、または外線発信するときに使います。
12.	電話帳検索／文字ボタン 電話帳を使用してダイヤルするときに使います。また、電話帳など名前を入力するときの文字の種類を切替えるときに使います（「電話帳に登録した電話番号にかける（P.3-8)」、「電話帳に登録する（P.3-20)」）。
13.	クリア／再ダイヤルボタン 最後に電話した相手を再度、呼び出すときに使います。 設定メニュー、発信履歴および着信履歴表示中にクリア／再ダイヤルボタンを押すと、入力した電話番号や文字修正および元の画面に戻る操作となります。 待ち受け表示に戻った後に、クリア／再ダイヤルボタンをさらに押すと、最後に電話をした相手の呼び出しとなります。ご注意ください。
14.	保留ボタン 通話をお待ちいただくときに使います。
15.	マルチファンクションボタン 各種音量の調整、メニュー機能の選択／決定をするときなどに使います。 ▲音量▼ ▲／▼：各種音量を調整します（「各種音量の調整（P.2-5)」）。 着信履歴 ◀：着信履歴を表示し、電話できます（「発信履歴／着信履歴からかける（P.3-17)」、「着信履歴を操作する（P.3-38)」）。 ▶ 発信履歴：発信履歴を表示し、電話できます（「発信履歴／着信履歴からかける（P.3-17)」、「発信履歴を操作する（P.3-34)」）。 決定：ディスプレイに表示された項目を決定（確定）します。また、待機中に押すとメインメニュー画面が表示されます。
16.	ダイヤルボタン ダイヤルや番号登録のときに使います。着信時およびダイヤル操作時などにダイヤルライトが点灯します。

多機能電話機のランプ

各部	No.	名称とはたらき
	1.	着信ランプ／メッセージランプ 着信があると、赤色に点滅します。 メッセージがあると、緑色に点灯または点滅します。
	2.	フレキシブルボタンランプ 割り当てられた機能を実行したときなどに、点滅または点灯します。
	3.	機能ランプ 機能 を押したときに、赤色に点滅します。
	4.	転送ランプ 不在転送が登録されていると、赤色に点灯または点滅します。
	5.	短縮ランプ 短縮 を押したときに、赤色に点滅します。
	6.	スピーカランプ スピーカ を押したときに、赤色に点滅します。

電話機底面

各部	No.	名称とはたらき
	1.	受話器（ハンドセット）用ジャック 受話器のコネクタを接続します。
	2.	内線用ジャック 内線のコネクタを接続します。
	3.	ヘッドセット用ジャック ヘッドセット（オプション）を接続します。

主装置

（お使いの主装置と形状が異なることがあります。）

各部	No.	名称とはたらき
	1.	メインスイッチ／ランプ AC 緑色： 電源プラグをコンセントに差し込んだあと、非常用主電源スイッチを押すと点灯します。 DC 緑色： 電源プラグをコンセントに差し込んだあと、非常用主電源スイッチを押すと点灯します。 OPE 緑色： システム運転準備中に点滅します。システム運転中に点灯します。
	2.	非常用主電源スイッチ

お願い

- **故障の原因になりますので、販売店の方以外は主装置の操作をしないでください。**

各種音量の調整

メニューオペレーションで音量を調整する

1. 受話器を置いたまま、[メニュー] または (決定) を押します。

メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. [▲音量] [▼] を押し、"音量調整" にカーソルを合わせます。

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
▶音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. (決定) を押します。

設定項目選択画面が表示されます。

設定項目選択
▶局線スピーカ音量
内線スピーカ音量
受話音量
着信音量
戻る

4. [▲音量] [▼] を押して項目を選択し、(決定) を押します。

各音量調整画面が表示されます。

11段階

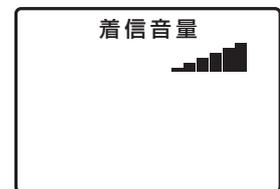
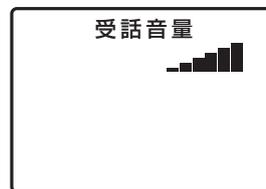
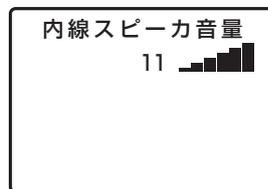
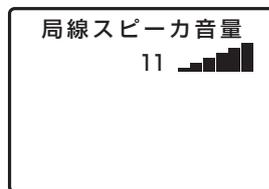
内線スピーカ音量
11

11段階

受話音量

6段階

着信音量

7段階

5. [▲音量] [▼] を押して音量を選択します。

音量値がディスプレイにステータスバーで表示されます。

Note

● [▲音量] [▼] を押した後、3 秒後にメインメニュー画面に戻ります。

電話機を使用中に音量を調整する

着信音量を調整する

着信音の音量（着信音量）を 7 段階で調整できます。
各段階の音量値は、ディスプレイにステータスバーで表示されます。

1. 電話機を使用していないとき、または着信中に を押し、音量を調整します。

▲音量▼ を押すと、大きくなります。

▼ を押すと、小さくなります。

着信音の音量調整後、約 3 秒後に通常の表示に戻ります。

Information

◆ 電話機を使用していないときに調整したときは、音量の段階を示すローカルトーンが鳴ります。
◆ 着信中に調整したときは、着信音が調整された音量で鳴ります。
◆ 着信音量は、メニューオペレーションでも調整できます（「メニューオペレーションで音量を調整する（P.2-5）」）。

受話音量を調整する

お話し中に受話器から聞こえてくる相手の声の音量（受話音量）を 6 段階で調整できます（ただし、話中着信時の音量を調整することはできません）。
各段階の音量値は、ディスプレイにステータスバーで表示されます。

1. 受話器を上げてお話し中に、▲音量▼ ▼ を押し、音量を調整します。

▲音量▼ を押すと、大きくなります。

▼ を押すと、小さくなります。

Information

◆ 受話器を戻しても、元の音量には戻りません。
受話器を戻すと、元の音量（お買い求め時の音量）に戻す設定もできます。取り付け時設定
◆ 音量が大きすぎてハウリングするときは、音量を小さくしてください。
◆ 受話音量は、メニューオペレーションでも調整できます（「メニューオペレーションで音量を調整する（P.2-5）」）。

スピーカ音量を調整する

スピーカから聞こえてくる相手の声などの音量（スピーカ音量）を 11 段階で調整できます。
各段階の音量値は、ディスプレイにステータスバーと数値で表示されます。

1. スピーカ を押します。

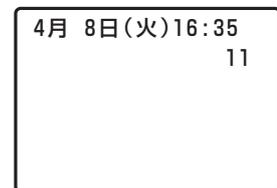
内線
11

2. ▲音量▼ を押し、音量を調整します。

▲音量▼ を押すと、大きくなります。

を押すと、小さくなります。

3. スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

スピーカ使用中（ハンズフリー通話中など）に調整するとき

手順 2 のみ行います。

- 外線または内線とお話し中の音量は、個別に調整できます。
- スピーカ音量は、メニューオペレーションでも調整できます（「メニューオペレーションで音量を調整する (P.2-5)」）。

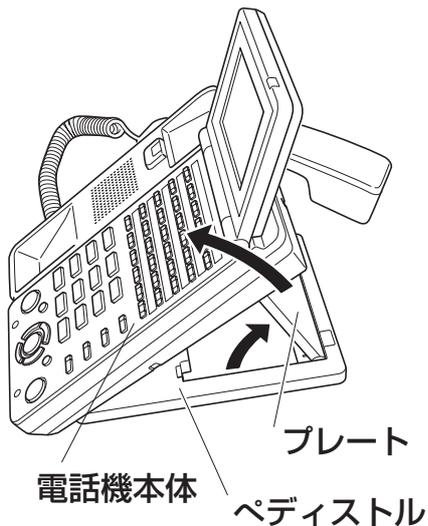
2

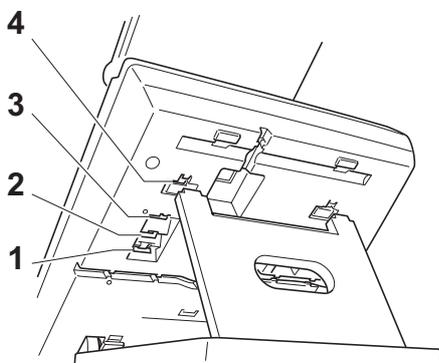
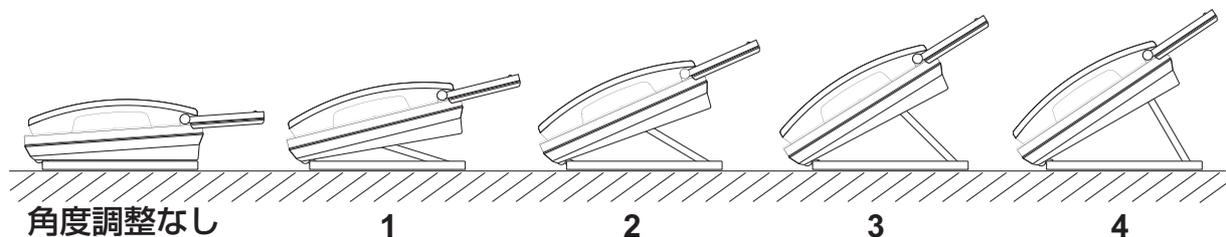
お使いいただく前に

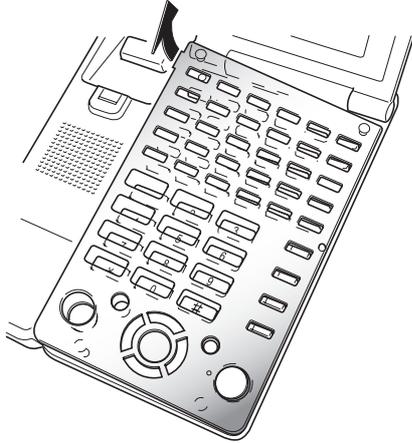
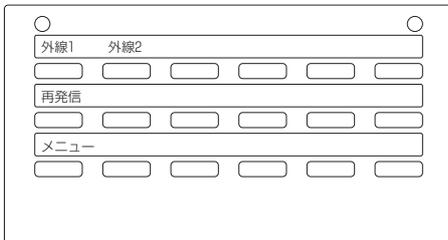
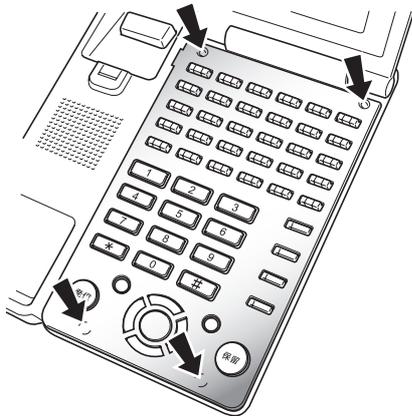
電話機の角度を調整する／キーシートの使い方

電話機の角度を調整する

⚠注 意

・ 電話機本体を引き起こすときは、無理な力を加えないでください。電話機本体とペディストルの接合部分が破損することがあります。

1. 電話機本体を引き起こします。

2. ペディストルのプレートを引き起こし、操作しやすい角度に調整します。
お好みに応じて、5 段階に調整できます。

3. 電話機本体の窪みにプレートの先端を差し込みます。

キーシートの使い方

キーシートに、フレキシブルボタンに登録した機能などを書き込んでおくと便利です。

1. カバー上部左側の突起部を指で持ち上げ、カバーとキーシートを取り外します。

2. キーシートに、フレキシブルボタンに登録した機能などを書き込みます。

3. キーシートとカバーを元の位置に置き、カバー４箇所の突起を押して取り付けます。

Information

◆ 標準のキーシート（白色電話機：パープル、シルバー、黒色電話機：ガンメタリック、ブラック）のほかに、お気に入りの画像を貼り付けることができる無地キーシート（オプション）を用意しています。
◆ 無地キーシートに貼り付けることができるデザインソフトは、弊社（http://www.iwatsu.co.jp）からダウンロードすることができます。

液晶表示部の説明

全般（液晶表示部について）

液晶表示部には、日付、時刻、ダイヤル番号、各種操作の内容や結果などを表示します。

待ち受け中の表示

受話器を置いた状態のときに、日付や時刻を表示します。

電話をかけるとき／電話がかかってきたときの表示

名前を電話帳へ登録してある場合や、内線番号に名前を登録してある場合は、登録されている名前を表示します。名前が登録されていない場合は、電話番号を表示します。

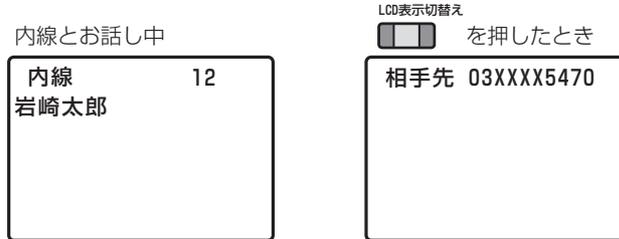
待ち受け中の表示	4月 8日(火)16:35 12
外線へかけたとき	03XXXX1234 一般回線
内線へかけたとき	呼び出し中 12 岩崎太郎
外線からかかってきたとき	相手先 03XXXX1234 12
内線からかかってきたとき	内着 岩崎太郎 12

LCD 表示切替え

LCD（ディスプレイ）付きボタン電話機の各表示項目には、優先レベルが割り振られています。常に表示レベルの高い方が表示されます。現在表示されている項目以外の項目を表示するときは、次の操作を行います。

1.

を押します。

例） 内線とお話し中に外線着信を受けているとき

- LCD表示切替え を押すごとに、次の表示レベルに切替わります。
- 表示レベルが 1 つしかないときは、切替わりません。
- あらかじめフレキシブルボタンに LCD表示切替え の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

- ◆ LCD表示切替え の代わりに、機能 6 3 を押しても同じ操作ができます。

自分の内線番号を確認する（自内線番号の表示）

使用している電話機の内線番号を LCD（ディスプレイ）の 2 行目に表示します。また、内線電話機の内線番号や名前などの詳細情報を表示できます。自分の内線番号を確認するときは、次の操作を行います。

1.

を押します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 自番号表示 の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

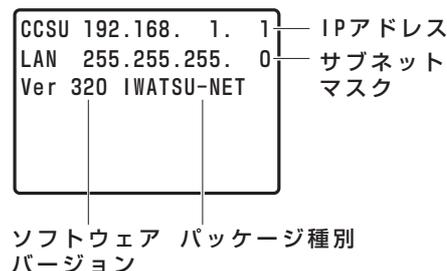
Information

- ◆ 自番号表示 の代わりに、機能 9 9 を押しても同じ操作ができます。
- ◆ 自内線の詳細情報は、ボタン電話機のディスプレイに 10 秒間表示されます。

2 お使いいただく前に

システム情報を確認する

システムの IP アドレス、ソフトウェアバージョン等の情報を表示できます。

1. 受話器を置いたまま、[機能] [9] [1] を押します。

Note

- IP アドレスおよびサブネットマスクは、操作した時点で実際に LAN ポートに設定されている値を表示します。なお、IP アドレス、サブネットマスク以外の LAN ポート情報は表示しません。
- （例）ソフトウェアバージョン「Ver 320」は、Ver 3.20 です。

Information

◆ システム情報は、ボタン電話機のディスプレイに 10 秒間表示されます。

LCD バックライト

着信時、お話し時には LCD のバックライトが点灯します。また、各種ボタンを押したときにも点灯します。各種ボタンを押したときは、最後にボタンを押してから 20 秒間点灯します。

電話帳データに登録されている発信者からの着信があった場合、LCD のバックライトの点灯色を下記に示す 7 色と消灯から選べます。電話帳データに登録されていない発信者からの着信、および着信時以外の点灯色は、ナチュラルです。

･ブルーベリー	･グレープ	･ソーダ	･オレンジ
･ライム	･レモン	･ナチュラル	

Information

◆ システムが停電状態（「停電のときは（P.12-10)」）に陥り、バッテリーバックアップによる停電中動作となった時、ボタン電話機は省電力モードによる動作となります。このとき、LCD のバックライトは点灯しません。

通話時間／通話料金／使用率／料金集計 取り付け時設定

通話時間と通話料金の表示

ディスプレイに外線（国内通話、国外通話、携帯電話との通話など）との通話時間や通話料金を表示できます。
通話時間や通話料金を表示することで、長電話や高額通話をしないよう、注意をうながします。

Note

- 通話時間は、99 分 59 秒まで表示します。それを超えると、再び 0 分 00 秒から始まります。
- 通話料金は、999,999 円まで表示します。それを超えても、999,999 円のままとなります。
- 表示される通話料金は、あくまでも目安としてお使いください。実際の通話料金とは異なります。
- 複数の内線電話機に通話が転送されたときは、各内線電話機に通話料金を分配しますが、ディスプレイには通算の通話料金が表示されます。会議通話の場合も同様です。
- 複数外線会議を行なっているときは、通話料金を表示しません。

Information

◆ 通話料金を表示できないとき（ダイヤルした市外局番がない、システムで非課金対象としている電話番号など）は、ディスプレイに通話時間のみ表示します。

通話料金の使用率を表示する

グループごとに設定した通話料金（1ヵ月分）の予算額に対する現在の使用率を表示できます。部署単位での経費管理が可能になります。

1. 受話器を上げ、[グループ予算] を押した後、グループ番号（[0][0][1]～[0][3][0]）をダイヤルします。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[グループ予算]の割り付けを行う必要があります。
Information

◆ [グループ予算]の代わりに、[機能][7][5]を押しても同じ操作ができます。

Note

- 予算額が設定された料金管理グループに所属し、かつ料金表示ができる電話機で使用率を表示できます。あらかじめ、システム電話機より自グループの予算額を設定してください。
  予算額の設定は、受話器を上げてから[グループ予算]（または[機能][7][5]）を押した後、グループ番号
  （[0][0][1]～[0][3][0]）と予算額 6 桁（100 円単位）をダイヤルします。
  ご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。
- 予算額の設定が 0 のときは、通話料金の使用率を表示しません。
- グループ内の通話料金の集計額がクリアされると、その使用率は 0%となります。
- 通話料金の使用率の表示は 200%まで可能です。それ以上の使用率の表示は 200%のままとなります。なお、グループ内の通話料金の集計額は、グループ内の当月分通話料金を集計した額です。
- あらかじめ登録したグループ予算を超えたときに、そのグループ内の発信を規制することができます。対象とする電話機を設定する必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 通話料金の使用率は、ボタン電話機のディスプレイに 10 秒間表示されます。

通話料金の集計結果を表示する

電話機ごとに、通話料金を前回分、本日分、今月分、先月分として集計し、集計結果をディスプレイに表示できます。個人単位で通話料金の管理（長時間電話の防止）ができます。前回分には、最後にかけた 1 通話の通話料金が表示されます。

前回分の通話料金を表示する

1. 受話器を置いたまま、[通話料金表示（前回分）] を押します。

前回
20円

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [通話料金表示（前回分）] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [通話料金表示（前回分）] の代わりに、[機能] [7] [1] を押しても同じ操作ができます。

本日分の通話料金を表示する

1. 受話器を置いたまま、[通話料金表示（本日分）] を押します。

本日
70円

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [通話料金表示（本日分）] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [通話料金表示（本日分）] の代わりに、[機能] [7] [2] を押しても同じ操作ができます。

今月分の通話料金を表示する

1. 受話器を置いたまま、[通話料金表示（今月分）] を押します。

今月
1490円

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [通話料金表示（今月分）] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [通話料金表示（今月分）] の代わりに、[機能] [7] [3] を押しても同じ操作ができます。

先月分の通話料金を表示する

1. 受話器を置いたまま、通話料金表示（先月分）を押します。

先月
2300円

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに通話料金表示（先月分）の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 通話料金表示（先月分）の代わりに、機能 7 4 を押しても同じ操作ができます。

Information

◆ ディスプレイに料金表示されている状態で、1～4 を押すことで集計結果の表示を切替えることができます。

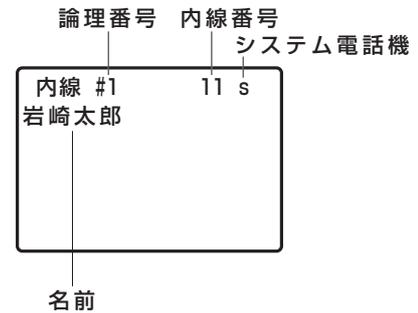
・1：前回分　・2：本日分　・3：今月分　・4：先月分

Note

● ディスプレイがない電話機やディスプレイに通話時間、通話料金を表示できない電話機は、システムで電話機の通話料金をカウントすることができます。
● 前回、本日、今月、先月とも最大 999,999 円まで集計可能です。これ以上になると再び 0 円から集計されます。
● 料金の集計は、あらかじめ登録した集計日の集計時刻に行われます。設定の確認や変更は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
● 今月分の集計を表示させたときに、すでに本日分の集計が行われていた場合、集計結果に本日分が含まれます。
● 集計日、集計時刻にシステムの電源が切れているときは、料金集計されませんのでご注意ください。
● 料金集計が行われた時点で、それまでの集計結果はクリアされます。

システム電話機の確認方法

システム電話機は、以下の操作で内線番号等の表示が確認できます。

1. 受話器を置いたまま、［機能］［9］［9］を押します。
システム電話機は、内線番号の後に“s”が表示されます。

Note

- システム電話機で操作できる機能は、システム電話帳の登録、夜間切替設定などです。
- システム全体に関わる設定や登録をするときは、操作ミスによる誤動作や故障などを防止するために、システム管理者が行うようにしてください。

Information

◆ システム電話機の内線番号は、システム工事のときに設定されます。［取り付け時設定］
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
◆ 「本システムの構成機器と取扱説明書について（P.1-2)」にご案内した多機能電話機であれば、いずれの電話機でもシステム電話機にすることができます。

時刻を設定する 取り付け時設定 システム

時刻の設定は、取り付け時に設定します。ご使用の電話機に表示される時刻に遅れや進みがある場合など、以下の方法で時刻を再セットしてください。

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
                11
```

2. [時刻調整] を押します。

```
時刻設定      hh:mm
                11
```

Note

- [時刻調整] の代わりに、[機能] [6] [4] を押しても同じ操作ができます。
- あらかじめフレキシブルボタンに [時刻調整] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 現在の時刻を入力します。

24 時間表記で 4 桁数字を入力します。

（例：午後 3 時 30 分の場合、[1] [5] [3] [0] を押します。）

時刻がセットされると確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

```
時刻設定      15:30
                11
```

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

```
4月  8日(火)15:30
                11
```

Information

◆ カレンダ（日付）の設定は、取り付け時に設定します。ご使用の電話機に表示される日付が間違っている場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。取り付け時設定

メニューオペレーションの操作

不在転送や留守番設定、着信音や音量設定などを、メニュー方式で簡単に登録することができます。

メニューオペレーションを表示するには、受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。

（メインメニュー画面）

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

ヘルプ表示
メニュー終了

“不在転送設定”（P.4-29）→ 不在転送／解除選択　不在転送設定　不在転送解除設定　戻る

“留守番／メール設定”（P.5-2）→「ボックス種別の選択ほか」→ 個別ボックス設定　留守番設定　メッセージ自動消去　パスワード変更　戻る → “留守番設定” → 留守番設定　応答メッセージ選択　留守録モニタ動作　留守録自動発報　お知らせメール

“鳴音種別設定”（P.6-16）→ 鳴音種別選択　次　前　登録　戻る

“音量調整”（P.2-5）→ 設定項目選択　局線スピーカ音量　内線スピーカ音量　受話音量　着信音量　戻る

“電話帳登録”（P.3-20）→ 登録モード選択　新規登録　編集／削除　グループ編集

“ヘルプ表示”（P.11-10）→ ヘルプ　ﾒﾆｭｰ操作　ﾌﾗｯｼｭ　ｼｮｰﾄﾌﾗｯｼｭ　ﾀﾞｲﾔﾙﾘﾊﾞｰｽ　秘話解除

メニューオペレーションは、マルチファンクションボタンで以下のように操作してください。

カーソルを移動するとき	▲音量▼ を押します。
項目を選択するとき	決定 を押します。 カーソル位置の項目が選択されます。
次の画面に移動するとき	発信履歴を押します。
元の画面に戻るとき	着信履歴を押します。 （クリア/再ダイヤル を押しても同じ操作ができ ます。）
数字や文字を入力するとき	ダイヤルボタンで入力します。（「文字の入力方法（P.3-32）」） 入力中にクリア/再ダイヤル を押すと、最後の文字が 1 文字消去されます。 1 秒以上押すと、全ての文字が消去されます。
入力した数字や文字を確定するとき	決定 を押します。入力したデータが登録されて、約 3 秒後に各設定画面の先頭に戻ります。
メニューオペレーションを終了するとき	メニュー を押します。 （“メニュー終了”でもメニューオペレーションを終了できます。）

外線へかける

受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>

受話器を上げてから、外線に電話をかけます。

1. 受話器を上げます。

内線
11

Information

◆ 受話器を上げるだけで、空いている外線を自動捕捉することもできます。
取り付け時設定

2. 発信 を押します。

空いている外線を自動捕捉します。
外線を捕捉すると、外線発信音（プー）が聞こえます。また、捕捉した外線の 外線 が緑色に点滅します。

局線 #2　GP.1
一般回線

Note

● 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、ディスプレイに「回線使用中」の表示が出ます。
● 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、受話器を上げると話中音（プープープー）が聞こえます。

Information

◆ 発信 の代わりに、外線 を押して、使用する外線を指定することもできます。
◆ 発信 の代わりに、索線 を押して、使用する外線グループを指定することもできます。取り付け時設定
◆ あらかじめフレキシブルボタンに 索線 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

ISDN 回線を自動捕捉したときは、最後に # を押します。

030570XXXX
一般回線

Note

● 構内交換機に接続されている場合は、相手の電話番号の前に、構内交換機の外線発信番号（例：0）をダイヤルする必要があります。
● ISDN 回線を自動捕捉して、最後に # を押さなかったときは、約 6 秒後に自動的にダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は変更できます。取り付け時設定

4. 相手が応答したら、お話しします。

```
 局線 #1    GP.1
0:05         9円
```

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- 発信した外線に準じたキャリア名称を表示することができます。取り付け時設定

受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>

受話器を置いたまま、外線に電話をかけます。

1. 受話器を置いたまま、スピーカ を押します。

```
 内線
              11
```

Information

◆ スピーカ を押すだけで、空いている外線を自動捕捉することもできます。

取り付け時設定

2. 発信 を押します。

空いている外線を自動捕捉します。
外線を捕捉すると、外線発信音（プー）が聞こえます。また、捕捉した外線の 外線 が緑色に点滅します。

Note

- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、ディスプレイに「回線使用中」の表示が出ます。
- 外線グループ内の全ての外線が使用中のときは、受話器を上げると話中音（プープープー）が聞こえます。

Information

◆ 発信 の代わりに、外線 を押して、使用する外線を指定することもできます。

◆ 発信 の代わりに、索線 を押して、使用する外線グループを指定することもできます。取り付け時設定

◆ あらかじめフレキシブルボタンに 索線 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

ISDN 回線を自動捕捉したときは、最後に[♯]を押します。

030570XXXX
一般回線

Note

- 構内交換機に接続されている場合は、相手の電話番号の前に、構内交換機の外線発信番号（例：[0]）をダイヤルする必要があります。
- ISDN 回線を自動捕捉して、最後に[♯]を押さなかったときは、約 6 秒後に自動的にダイヤルが送出されます。ダイヤルを送出するまでの時間は変更できます。[取り付け時設定]

4. 相手が応答したら、受話器を上げてお話しします。

局線 #2 GP.1	
0:05	9円

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

相手の声を電話機のスピーカで聞く

1. お話し中に、[スピーカ] を押します。

局線 #2 GP.1
11

2. 受話器を戻します。

相手の声がスピーカから聞こえます。

受話器でのお話しに戻すには

受話器を上げると、スピーカがオフとなり、受話器でのお話しに戻ります。

Information

◆ スピーカの音量は、[▲音量][▼]で調整してください。

ダイヤルの途中で電話番号を間違えたとき <ロングフラッシュ>

取り付け時設定

受話器を戻さなくてもワンタッチで発信状態に戻すことができます。

1. ダイヤルを間違えた時点で、[フラッシュ] を押します。

発信状態に戻ります。

局線 #2　GP.1
一般回線

Information

◆ [フラッシュ] の代わりに、[機能] [1] [1] を押しても同じ操作ができます。

2. 再度、最初からダイヤルします。

030570X
一般回線

Note

● ロングフラッシュ機能を使用する場合、フラッシュ時間の調整が必要な場合があります。取り付け時設定

3

基本操作編

電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける <プリセットダイヤル>

ダイヤルした電話番号をディスプレイで確認してから電話をかけることができます。

1. 受話器を置いたまま、相手の電話番号をダイヤルします。

ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（各桁の表示時間：10秒)。

030570XXXX
11

Note

- 各桁をダイヤルしてから、10 秒以内に次の操作をしないと、入力したダイヤルが無効になります。
- 入力できるダイヤルは、最大 32 桁です。

Information

◆ ダイヤルを訂正するには、ディスプレイにダイヤルした番号が表示されている間に、機能を押します。機能を押すごとに、末尾の数字が 1 文字ずつ消えます。

クリア/再ダイヤルでは、ダイヤルを訂正することはできません。

◆ 外線接続のための待ち時間を設定するには、保留を押した後、数字キー（1 ～ 9）を押すことで、外線に接続するときの待ち時間を設定できます（1 ～ 9 秒)。

2. 外線または索線を押します。

030570XXXX
一般回線

Note

- 索線は、各外線グループ番号に対応して設けることのできるボタンです。

  索線を使用して外線へかけると、外線グループ内の空いている外線を自動捕捉することができます。
- あらかじめフレキシブルボタンに索線の割り付けを行う必要があります。

  取り付け時設定

3. 受話器を上げます。

ディスプレイに表示している電話番号を自動発信します。

4. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #2　GP.1
11

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月　8日(火)16:35
11

最後にかけた相手に再びかけ直す <ラストナンバリダイヤル>

外線に電話をかけたときの最後の電話番号（1 件）を記憶し、再び電話をかけるときに、その番号を簡単な操作で呼び出します。相手が出ないとき、または話中でかけ直すときに、同じ番号を再度ダイヤルしなくても自動的に呼び出すことができます。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 空いている 外線 を押します。

局線 #1　GP.1
一般回線

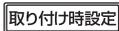
3. クリア/再ダイヤル を押します。

最後にかけた相手の電話番号を自動発信します。

Information

- ◆ クリア/再ダイヤル の代わりに、再発信 、または 短縮 ＃ を押しても同じ操作ができます。
- ◆ あらかじめフレキシブルボタンに 再発信 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

030570XXXX
一般回線

4. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　GP.1
11

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 転送後のダイヤル、お話し中のダイヤルは、記憶されません。
- 記憶できるダイヤル桁数は、最大 48 桁です。

電話帳に登録した電話番号にかける

電話帳から相手を検索して電話をかけることができます。また、電話帳に登録している相手の短縮番号をダイヤルして電話をかけることもできます。

電話帳を検索してかける（読み仮名検索）

Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、クリア/再ダイヤル を押してください。

1. **受話器を置いたまま、電話帳検索/文字 を押します。**
検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

2. **▲音量▼ を押し、"読み仮名検索"にカーソルを合わせます。**
各モードの検索内容は、「検索モードと検索方法（P.3-14）」を参照してください。

3. **決定 を押します。**
実行する検索モードの条件入力画面が表示されます。

読み？
_

4. **検索条件を入力します。**
検索条件の入力方法は、「検索モードと検索方法（P.3-14）」を参照してください。

読み？
ﾔﾏ

5. **決定 を押します。**
手順４で入力した検索条件で検索が実行されます。
検索の実行後は、検索結果により次の操作が異なります。
該当した相手先がない場合：手順２に戻ります。
該当した相手先がある場合：手順６に進みます。

6. **（検索結果が複数ある場合）▲音量▼ を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。**
検索結果が１件の場合は、操作不要です。

▶山田商事
030570XXXX
山本一郎
03XXXX1234

7. **（検索結果が複数ある場合）決定 を押します。**
検索結果が１件の場合は、操作不要です。
検索結果（詳細）画面が表示されます。

SPD No. 0010
山田商事
030570XXXX

8. 使用する 外線 を押します。

0010　山田商事
001:030570XXXX

Information

◆ 外線 の代わりに、索線 または 発信 を押しても外線を捕捉できます。

◆ あらかじめフレキシブルボタンに 索線 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

9. 受話器を上げます。
ディスプレイに表示している相手に自動発信します。

10. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　GP.1
0:05　9円

11. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

電話帳を検索してかける（グループ検索）

Note

● 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、クリア/再ダイヤル を押してください。

1. 受話器を置いたまま、電話帳検索/文字 を押します。
検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

2. ▲音量▼ を押し、“グループ検索”にカーソルを合わせます。
各モードの検索内容は、「検索モードと検索方法（P.3-14)」を参照してください。

検索モード選択
読み仮名検索
▶グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

3. 決定 を押します。
実行する検索モードの条件入力画面が表示されます。

電話帳グループ？
▶グループなし
グループ01
グループ02
グループ03
グループ04

4. 検索条件を選択します。
検索条件の選択方法は、「検索モードと検索方法（P.3-14)」を参照してください。

電話帳グループ？
グループなし
▶グループ01
グループ02
グループ03
グループ04

5. 決定 を押します。

手順 4 で入力した検索条件で検索が実行されます。
検索の実行後は、検索結果により次の操作が異なります。
該当した相手先がない場合：手順 2 に戻ります。
該当した相手先がある場合：手順 6 に進みます。

6. （検索結果が複数ある場合）▲音量▼ ▲ ▼ を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。

検索結果が 1 件の場合は、操作不要です。

```
▶山田商事
        030570XXXX
山本一郎
        03XXXX1234
```

7. （検索結果が複数ある場合）決定 を押します。

検索結果が 1 件の場合は、操作不要です。
検索結果（詳細）画面が表示されます。

```
SPD No. 0010

山田商事

030570XXXX
```

8. 使用する 外線 を押します。

```
0010  山田商事
    001:030570XXXX
```

Information

- ◆ 外線 の代わりに、索線 または 発信 を押しても外線を捕捉できます。
- ◆ あらかじめフレキシブルボタンに 索線 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

9. 受話器を上げます。

ディスプレイに表示している相手に自動発信します。

10. 相手が応答したら、お話しします。

```
局線 #1    GP.1
0:05            9円
```

11. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
                11
```

電話帳を検索してかける（短縮番号検索）

Note

- 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、クリア/再ダイヤル を押してください。

1. 受話器を置いたまま、電話帳検索/文字 を押します。

検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

2. ▲音量▼ を押し、"短縮番号検索"にカーソルを合わせます。

各モードの検索内容は、「検索モードと検索方法（P.3-14）」を参照してください。

検索モード選択
読み仮名検索
グループ検索
▶短縮番号検索
電話番号検索

3. 決定 を押します。

実行する検索モードの条件入力画面が表示されます。

短縮番号？

4. 検索条件を入力します。

検索条件の入力方法は、「検索モードと検索方法（P.3-14）」を参照してください。

短縮番号？
001

5. 決定 を押します。

手順４で入力した検索条件で検索が実行されます。
検索の実行後は、検索結果により次の操作が異なります。
該当した相手先がない場合：手順２に戻ります。
該当した相手先がある場合：手順６に進みます。

6. （検索結果が複数ある場合）▲音量▼ を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。

検索結果が１件の場合は、操作不要です。

▶山田商事
030570XXXX
山本一郎
03XXXX1234

7. （検索結果が複数ある場合）決定 を押します。

検索結果が１件の場合は、操作不要です。
検索結果（詳細）画面が表示されます。

SPD No. 0010
山田商事
030570XXXX

8. 使用する 外線 を押します。

0010　山田商事
001:030570XXXX

Information

- ◆ 外線 の代わりに、索線 または 発信 を押しても外線を捕捉できます。
- ◆ あらかじめフレキシブルボタンに 索線 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

9. 受話器を上げます。
ディスプレイに表示している相手に自動発信します。

10. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　GP.1
0:05　9円

11. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

電話帳を検索してかける（電話番号検索）

Note

- ● 検索操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。ただし、検索結果が表示されているときは、クリア/再ダイヤル を押してください。

1. 受話器を置いたまま、電話帳検索/文字 を押します。
検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

2. ▲音量▼ を押し、"電話番号検索"にカーソルを合わせます。
各モードの検索内容は、「検索モードと検索方法（P.3-14）」を参照してください。

検索モード選択
読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
▶電話番号検索

3. 決定 を押します。
実行する検索モードの条件入力画面が表示されます。

ダイヤル？

4. **検索条件を入力します。**

検索条件の入力方法は、「検索モードと検索方法（P.3-14)」を参照してください。

ダイヤル？
03

5. **（決定）を押します。**

手順４で入力した検索条件で検索が実行されます。
検索の実行後は、検索結果により次の操作が異なります。
該当した相手先がない場合：手順２に戻ります。
該当した相手先がある場合：手順６に進みます。

6. **（検索結果が複数ある場合）（▲音量▼）を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。**

検索結果が１件の場合は、操作不要です。

▶山田商事
030570XXXX
山本一郎
03XXXX1234

7. **（検索結果が複数ある場合）（決定）を押します。**

検索結果が１件の場合は、操作不要です。
検索結果（詳細）画面が表示されます。

SPD No. 0010
山田商事
030570XXXX

8. **使用する［外線］を押します。**

0010　山田商事
001:030570XXXX

Information

◆ ［外線］の代わりに、［索線］または（発信）を押しても外線を捕捉できます。

◆ あらかじめフレキシブルボタンに［索線］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

9. **受話器を上げます。**

ディスプレイに表示している相手に自動発信します。

10. **相手が応答したら、お話しします。**

局線 #1　GP.1
0:05　9円

11. **お話しが終了したら、受話器を戻します。**

4月 8日(火)16:35
11

3
基本操作編

検索モードと検索方法

各検索モードでの検索方法は以下になります。

検索モード	検索内容	検索条件の入力方法
読み仮名検索	**文字列指定** 電話帳に登録している読み仮名と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	**検索する読み仮名を入力**します（最大 20 文字）。 例）“カワ”と入力した場合、“カワ”で始まる相手先を表示します。 文字列の入力方法は、「電話帳に登録する（P.3-20)」を参照してください。
	50 音順検索 電話帳に登録している読み仮名の 1 桁目の文字をキーに、50 音順で表示します。文字の表示順は、アルファベット →数字 →記号 →カタカナの順になります。	**入力不要**です。
グループ検索	選択したグループに登録している相手先を表示します。	▲音量▼ を押し、検索するグループにカーソルを合わせます。
短縮番号検索	電話帳に登録している短縮番号と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	**検索する短縮番号を入力**します。 短縮番号の桁数が 4 桁の場合 取り付け時設定 例）“015”と入力した場合、“0150”以降の相手先を全て表示します。 短縮番号の桁数が 3 桁の場合 取り付け時設定 例）“01”と入力した場合、“010”以降の相手先を全て表示します。 短縮番号の桁数が 2 桁の場合 例）“1”と入力した場合、“10”以降の相手先を全て表示します。
電話番号検索	電話帳に登録している電話番号と前方一致で比較し、一致した相手を表示します。	**検索する電話番号を入力**します（先頭から最大 10 桁）。 例）“03”と入力した場合、“03”で始まる相手先を全て表示します。

短縮ダイヤルでかける

1. 受話器を上げます。

```
内線
             11
```

2. 短縮 を押します。

短縮 が赤色に点灯します。

```
             11
```

3. 相手の短縮番号をダイヤルします。

短縮ダイヤルに登録されている電話番号を自動発信します。

Note

- アナログ回線に対して、短縮ダイヤルの発信を行なった場合、ダイヤルの送出中は 短縮 が赤点滅します。

```
0010  山田商事
    001:030570XXXX
```

4. 相手が応答したら、お話しします。

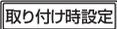
短縮ダイヤルに登録されている電話番号を自動発信します。

```
局線 #1   GP.1
0:05          9円
```

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

Note

- 短縮番号は、電話帳の情報として登録されています。
  短縮 を押した後に、この短縮番号をダイヤルすると、電話帳の機能により相手に電話をかけることができます。
- 短縮番号の桁数が２桁の場合、ダイヤルできる短縮番号は、以下のようになります。
  - ・共通短縮ダイヤル：００～８９
  - ・個別短縮ダイヤル：９０～９９
- 短縮番号の桁数が３桁の場合、以下のようになります。取り付け時設定
  - ・共通短縮ダイヤル：０００～８９９
  - ・個別短縮ダイヤル：９００～９１９
- 短縮番号の桁数が４桁の場合、以下のようになります。取り付け時設定
  - ・共通短縮ダイヤル：００００～０９９９
  - ・内線グループ短縮ダイヤル：８０００～８９９９ 取り付け時設定
  - ・個別短縮ダイヤル：９００～９１９

3

基本操作編

短縮ダイヤルをスクロール表示してかける

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 短縮 [＊] を押します。

11

3. 任意の短縮番号をダイヤルします。

ダイヤルした短縮番号に対応する相手先の電話番号と相手先名がディスプレイに表示されます。

0010　山田商事
001:030570XXXX

4. [＊] または [#] を押してスクロールし、発信する相手をディスプレイに表示します。

[＊]: ディスプレイに表示している次の短縮番号の情報を表示します。
[＊] を押すごとに、次の短縮番号の情報が順次表示されます。

[#]: ディスプレイに表示している 1 つ前の短縮番号の情報を表示します。
[#] を押すごとに、1 つ前の短縮番号の情報が順次表示されます。

0009　山本一郎
001:03XXXX1234

5. 短縮 を押します。

空いている外線を自動捕捉し、ディスプレイに表示している電話番号を自動発信します。

0004　山本一郎
001:03XXXX1234

6. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　GP.1
0:05　9円

7. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 短縮番号は、電話帳の情報として登録されています。

  短縮番号の情報をディスプレイに表示させた後に、短縮 を押すと、電話帳の機能により相手に電話をかけることができます。

発信履歴／着信履歴からかける

過去に発信／着信した電話番号は、発信履歴／着信履歴としてそれぞれ最新の 20 件を記憶しています。
発信履歴／着信履歴から、相手を選んで外線に電話をかけることができます。

発信履歴からかける

1. 受話器を置いたまま、発信履歴を押します。

発信履歴が表示されます。

発信履歴の表示中に、着信履歴またはクリア/再ダイヤルを押すと、発信履歴の表示を終了します。

```
▶山本一郎        4/ 8
  03XXXX1234   10:34
 山田商事        4/ 8
  030570XXXX   10:32
 山田商事        4/ 8
  030570XXXX   10:31
```

Note

- 発信履歴に記憶されるダイヤル桁数は、最大 48 桁です。

2. 音量▲ ▼を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。

```
 山本一郎        4/ 8
  03XXXX1234   10:35
▶山田商事        4/ 8
  030570XXXX   10:35
 山本一郎        4/ 8
  03XXXX1234   10:34
```

3. 受話器を上げます。

選択している相手に自動発信します。

```
 0005   山田商事
     001:030570XXXX
```

Note

- 受話器を上げたときの発信操作は、発信履歴を記憶したときと同様の方法で外線を捕捉し、発信します。

4. 相手が応答したら、お話しします。

```
 局線 #1    GP.1
0:05             9円
```

5. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Information

- ◆ 以下のボタンを押した後に、受話器を上げても発信できます。

  外線：外線指定発信（「受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>（P.3-2)」、「受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>（P.3-3)」）

  発信／索線／ダイヤルイン：外線グループ発信（「受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>（P.3-2)」、「受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>（P.3-3)」、「ダイヤルイン（付加サービス）（P.7-4)」）

  ACR発信：ACR 発信（「ACR 機能を使って電話をかける（P.6-6)」）

- ◆ あらかじめフレキシブルボタンに索線、ダイヤルイン、ACR発信の割り付けを行う必要があります。

着信履歴からかける

1. **受話器を置いたまま、着信履歴を押します。**

着信履歴が表示されます。

着信履歴の表示中に、着信履歴またはクリア/再ダイヤルを押すと、着信履歴の表示を終了します。

▶非通知	4/ 8
未	10:36
山田商事	4/ 8
未 030570XXXX	10:05
	4/ 7
未 01XXXX6789	13:27

Note

- 着信履歴に記憶されるダイヤル桁数は、最大 32 桁です。

2. **▲音量▼を押し、電話をかける相手にカーソルを合わせます。**

非通知	4/ 8
未	10:36
▶山田商事	4/ 8
未 030570XXXX	10:05
	4/ 7
未 01XXXX6789	13:27

3. **受話器を上げます。**

選択している相手に自動発信します。

030570XXXX
一般回線

Note

- 受話器を上げたときの発信操作は、着信した外線の所属グループ（発信グループ）での外線グループ発信となります。

4. **相手が応答したら、お話しします。**

局線 #1　GP.1
0:05　9円

5. **お話しが終了したら、受話器を戻します。**

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 着信拒否（ドントディスターブ）中の着信は、着信履歴に記憶されません。
- 着信時に NTT 等から発信者名情報が通知された場合は、電話帳に相手先名称が登録されていても、通知された発信者名情報を優先して着信履歴に表示します。
- 着信履歴に非通知で記憶されている相手に対しては、発信できません。

Information

◆ 以下のボタンを押した後に、受話器を上げても発信できます。

外線 ：外線指定発信（「受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>（P.3-2）」、「受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>（P.3-3）」）

発信／索線／ダイヤルイン ：外線グループ発信（「受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>（P.3-2）」、「受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>（P.3-3）」、「ダイヤルイン（付加サービス）（P.7-4）」）

ACR発信 ：ACR 発信（「ACR 機能を使って電話をかける（P.6-6）」）

◆ あらかじめフレキシブルボタンに索線、ダイヤルイン、ACR発信 の割り付けを行う必要があります。

Note

- 発信／着信履歴に表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前で表示します。登録されていない場合は、相手先の電話番号を表示します。
- 内線の発信／着信は、発信／着信履歴に蓄積されません。
- 着信履歴は、応答した電話機にのみ残ります（他の電話機には着信履歴は残りません）。または、他の応答していない電話機に残すこともできます。取り付け時設定
- 全ての電話機が応答しない着信履歴は、着信している電話機全てに蓄積されます。

3 基本操作編

電話帳に登録する

システムが持っている電話帳に、相手先の情報を登録できます。
電話帳には、以下の件数を登録することができます。
なお、短縮番号の桁数に応じて登録できる件数が異なります。
短縮番号の桁数を3桁または4桁でご使用になる場合は、あらかじめ設定が必要です。お買い求め時（初期値）の短縮番号の桁数は2桁です。 取り付け時設定

電話帳の種別	2桁の場合	3桁の場合	4桁の場合
システム電話帳	90件	900件	1000件
内線グループ電話帳（グループ全体）	使用不可	使用不可	1000件
個別電話帳（電話機ごと）	10件	20件	20件

電話帳に登録しておくことで、登録した名前をスクロールして検索したり、発信に便利な機能（短縮発信や検索発信など）が使用できます。携帯電話の操作感覚で使えます。

システム電話帳、内線グループ電話帳への登録は、システム電話機またはあらかじめ決められた電話機で行うことができます。 システム 取り付け時設定

新規に登録する

● **登録操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。**

例） 以下の操作は、名前：鈴木一郎、電話番号：03-XXXX-5678、電話帳グループ：グループ2、外線発信グループ：1、相手識別着信音番号：2、バックライト表示色：ブルーベリーを登録する方法について説明しています。

1. **受話器を置いたまま、[メニュー] または [決定] を押します。もしくは、[機能][短縮]を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。
[機能][短縮]を押した場合は、手順4に進みます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. **[▲音量▼] を押し、“電話帳登録”にカーソルを合わせます。**

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
▶電話帳登録
メニュー終了

3. **[決定] を押します。**
登録モード選択画面が表示されます。

登録モード選択
▶新規登録
編集／削除
グループ編集

4. **[▲音量▼] を押し、“新規登録”にカーソルを合わせます。**

5. 決定 **を押します。**

名称の入力画面が表示されます。

名前？
_

6. 登録先の名称（例：“すずき”）を入力します。

す：3 を 3 回押す

ず：発信履歴 を 1 回押して、右に 1 文字移動し、3 を 3 回（す）、0 を 5 回押す（濁点）

き：2 を 2 回押す

入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32)」、「文字の入力方法（P.3-32)」を参照してください。
名前は、ひらがな・漢字は全角 10 文字まで、カタカナ・英数字は半角 20 文字まで入力できます。

すずき

7. ▲音量▼ **を押します。**

カーソル位置までの文字列（“すずき”）が漢字変換されます。
▲音量▼ を押し、目的の漢字（“鈴木”）にカーソルを合わせます。

_
【鈴木】
▶鈴木
鈴樹
鈴城
鈴置

8. 決定 **を押します。**

目的の漢字（“鈴木”）が確定されます。

鈴木_

9. 登録先の名称（例：“いちろう”）を入力します。

い：1 を 2 回押す

ち：4 を 2 回押す

ろ：9 を 5 回押す

う：1 を 3 回押す

入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32)」、「文字の入力方法（P.3-32)」を参照してください。
着信時は、全角 10 文字までディスプレイに表示されます。

鈴木
いちろう

10. ▲音量▼ **を押します。**

カーソル位置までの文字列（“いちろう”）が漢字変換されます。
▲音量▼ を押し、目的の漢字（“一郎”）にカーソルを合わせます。
読み仮名には、名称の入力時に入力した文字が自動的に入力されています。

鈴木_
【一郎】
▶一郎
一朗
市郎
一良

11. 決定 **を押します。**

目的の漢字（“一郎”）が確定されます。

鈴木一郎_

3
基本操作編

12. 決定 を押します。

名称の入力を確定し、読み仮名の入力画面が表示されます。
読み仮名には、名称の入力時に入力した文字が自動的に入力されています。

読み？
ｽｽﾞｷｲﾁﾛｳ_

Information

◆ 新規登録で名称を入力する際に入力した読みは、読み仮名に自動的に反映されます。

13. 表示されている読み仮名が違う場合は、修正します。

読み仮名は、カタカナ・英数字で半角 20 文字まで入力できます。
読み仮名は、名称を検索するために使われます。
入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32)」、「文字の入力方法（P.3-32)」を参照してください。

14. 決定 を押します。

読み仮名を確定し、電話番号の入力画面が表示されます。

電話帳グループは、０１から２０グループまで登録できます。

ダイヤル？

15. 電話番号（例：“03XXXX5678”）を入力します。

ダイヤル？
03XXXX5678

Information

◆ 文字入力として数字を入力する場合は、文字入力のキー割り当てに従いますが、電話番号など、番号を登録する操作では、ダイヤル 1 〜 9 、 0 、 ＊ 、 ＃ の直接入力となります。
◆ 電話番号は最大 32 桁まで入力できます。

制御コードを入力する場合は、「制御コードの入力方法（P.3-25)」を参照してください。

16. 決定 を押します。

電話番号を確定し、電話帳グループの選択画面が表示されます。

電話帳グループ？
▶グループなし
グループ01
グループ02
グループ03
グループ04

Information

◆ 電話帳グループは、01 から 20 グループまで登録できます。

17. ▲音量▼ を押し、“グループ 02”にカーソルを合わせます。

電話帳グループ？
グループなし
グループ01
▶グループ02
グループ03
グループ04

18. 決定 を押します。

電話帳グループの選択を確定し、外線発信グループ番号の入力画面が表示されます。
外線発信グループ番号を入力しない場合は、手順 20 に進みます。

発信グループ？

19. 外線発信グループ番号（例：“01”）を入力します。

0 1 から 3 0 をダイヤルしてください。
外線グループ番号を入力する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

発信グループ？
01

20. [決定] を押します。

外線発信グループ番号の入力を確定し、相手識別着信音番号の入力画面が表示されます。
相手識別着信音番号を入力しない場合は、手順 22 に進みます。

```
着信音>
```

21. 相手識別着信音番号（例：“02”）を入力します。

[0][1]から[1][7]をダイヤルしてください。

```
着信音>            02
```

Note

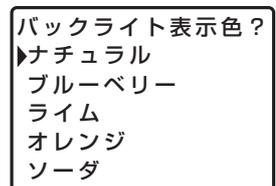
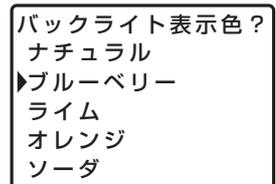
- 相手識別着信音番号（[0][1]から[1][7]）は、電話帳に登録された相手から着信があったときに、どの着信音で鳴らすかを決める番号です。
- 相手識別着信音番号に対応する着信音は、「相手識別着信音の種類（P.12-6）」を参照してください。

22. [決定] を押します。

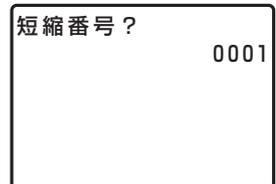
相手識別着信音番号の入力を確定し、バックライト表示色の選択画面が表示されます。

```
バックライト表示色？
▶ナチュラル
 ブルーベリー
 ライム
 オレンジ
 ソーダ
```

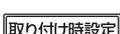
23. [▲音量] [▼] を押し、“ブルーベリー”にカーソルを合わせます。

```
バックライト表示色？
 ナチュラル
▶ブルーベリー
 ライム
 オレンジ
 ソーダ
```

24. [決定] を押します。

バックライト表示色の選択を確定し、短縮番号の入力画面が表示されます。
短縮番号には、未登録の短縮番号の中で、最も若い番号が登録候補として自動的に入力されています。

```
短縮番号？
              0001
```

25. 入力されている短縮番号を変更する場合は、修正します。

Note

- 短縮番号は、電話帳の情報として登録されます。
- システム電話機またはあらかじめ決められた電話機から登録する場合、若番の短縮番号００から未登録の短縮番号が表示されます。個別短縮番号に登録する場合は短縮番号を９０以降に変更して登録してください。[システム][取り付け時設定]
- 短縮番号の桁数が 2 桁の場合、入力できる短縮番号は、以下のようになります。
  - ・共通短縮ダイヤル：00 ～ 89[システム][取り付け時設定]
  - ・個別短縮ダイヤル：90 ～ 99
- 短縮番号の桁数が 3 桁の場合、以下のようになります。[取り付け時設定]
  - ・共通短縮ダイヤル：000 ～ 899[システム][取り付け時設定]
  - ・個別短縮ダイヤル：900 ～ 919
- 短縮番号の桁数が 4 桁の場合、以下のようになります。[取り付け時設定]
  - ・共通短縮ダイヤル：0000 ～ 0999[システム][取り付け時設定]
  - ・内線グループ短縮ダイヤル：1000 ～ 1999[システム][取り付け時設定]
  - ・個別短縮ダイヤル：900 ～ 919
- 特定の短縮番号を登録する場合は、入力されている短縮番号を修正してください。修正した短縮番号が登録済みの場合は、以前に登録されていた内容が上書きされますので、ご注意ください。

26. (決定) **を押します。**

システム電話機（またはあらかじめ決められた電話機）で操作して、短縮番号に共通短縮ダイヤルを入力した場合は、手順 27 に進みます。
システム電話機（またはあらかじめ決められた電話機）以外で操作している場合は、手順 31 に進みます（登録確認画面が表示されます）。

27. 発信者番号毎転送を行う場合は、発信者番号毎転送グループ番号を入力します。

[0]から[9]をダイヤルしてください（お買い求め時は、「転送しない」です）。

```
転送グループ？
```

Note

- 発信者番号毎転送は、電話帳に登録された相手からの着信を、外部の転送先に自動転送する機能です。
- 発信者番号毎転送グループ番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。
- 発信者毎転送の転送先の登録方法は、「電話機から転送先を登録する（発信者番号毎転送）(P.4-9)」を参照してください。

28. (決定) **を押します。**

発信者番号毎転送グループ番号の入力を確定し、転送電話／着番号毎転送機能の対象／非対象の選択画面が表示されます。

```
転送電話／
  着番号毎転送
▶対象
 非対象
```

29. (▲音量▼) **を押し、“対象”／“非対象”を選択します。**

30. (決定) **を押します。**

登録確認画面が表示されます。

```
登録しますか？
▶はい
 いいえ
```

31. (▲音量▼) **を押し、“はい”にカーソルを合わせます。**

32. (決定) **を押します。**

登録が完了します。
登録完了後は、継続確認画面が表示されます。

```
継続しますか？
▶はい
 いいえ
```

33. 登録を継続（引き続き、次の相手先を登録）するか／終了するかを選択します。

登録を継続する場合

1. (▲音量▼) を押し、“はい”にカーソルを合わせます。
2. (決定) を押します。
   手順 6 に戻ります。

登録を終了する場合

1. (▲音量▼) を押し、“いいえ”にカーソルを合わせます。
2. (決定) を押します。

制御コードの入力方法

制御コードの入力方法は、以下になります。なお、制御コードは、電話番号２桁分必要となります。

制御コード	入力方法
ポーズ時間	保留と1～9（ポーズ時間：１～９秒のいずれか）を押します。 ディスプレイには、"－ n"と表示されます（n：１～９）。
ダイヤルリバース（ＤＰ→ＰＢ）	保留 * を押します。 ディスプレイには、"T"と表示されます。
ダイヤルリバース（ＰＢ→ＤＰ）	保留 # を押します。 ディスプレイには、"P"と表示されます。
ロングフラッシュ	フラッシュ、または保留 0 を押します。 ディスプレイには、"F"と表示されます。

Note

- **ポーズ時間は電話帳でかけるときに、ダイヤルとダイヤルの間の時間を、ポーズ時間分あけてダイヤルします。**
- **ダイヤルリバース（保留 *）は電話帳でかけるときに、ダイヤル信号（DP）からプッシュ信号（PB）に切替えます。**

  また、保留 # は、プッシュ信号（PB）からダイヤル信号（DP）に切替えます。<ダイヤルリバースは、電話回線がアナログ回線の場合のみ有効>

登録内容を編集する

Note

- **編集操作を途中でキャンセルする場合は、一旦受話器を上げて戻してください。**

1. **受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。もしくは、機能 短縮 を押します。**

メインメニュー画面が表示されます。

機能 短縮 を押した場合は、手順４に進みます。

```
▶不在転送設定
 留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
 電話帳登録
 メニュー終了
```

2. **▲音量▼ を押し、"電話帳登録"にカーソルを合わせます。**

```
 不在転送設定
 留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
▶電話帳登録
 メニュー終了
```

3. **決定 を押します。**

モード選択画面が表示されます。

```
登録モード選択
▶新規登録
 編集／削除
 グループ編集
```

4. ▲音量▼ ▲ ▼ **を押し、“編集／削除”にカーソルを合わせます。**

登録モード選択
新規登録
▶編集／削除
グループ編集

5. 決定 **を押します。**

検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

6. 編集する登録先を検索します。

検索方法は「電話帳に登録した電話番号にかける（P.3-8)」を参照してください。
検索結果詳細画面に検索結果が表示されます。

7. 決定 **を押します。**

編集／削除選択画面が表示されます。

▶編集（参照）
削除

8. ▲音量▼ ▲ ▼ **を押し、“編集”にカーソルを合わせます。**

9. 決定 **を押します。**

名称の入力画面が表示されます。
以後の入力画面と操作は、新規登録と同様です。各入力画面、選択画面には既存の値が入っています。必要に応じて クリア/再ダイヤル を押して既存の値を削除してから入力または選択し、決定 を押します。既存の値から変更しない場合は、そのまま 決定 を押してください。

編集完了後は、継続確認画面が表示されます。

継続しますか？
▶はい
いいえ

10. 編集を継続（引き続き、別の相手先を編集）するか／終了するかを選択します。

編集を継続する場合

1. ▲音量▼ ▲ ▼ を押し、“はい”にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。
   手順 6 に戻ります。

編集を終了する場合

1. ▲音量▼ ▲ ▼ を押し、“いいえ”にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。

登録内容を削除する

1. **受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。もしくは、機能 短縮 を押します。**

メインメニュー画面が表示されます。

機能 短縮 を押した場合は、手順 4 に進みます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. **▲音量▼ を押し、“電話帳登録”にカーソルを合わせます。**

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
▶電話帳登録
メニュー終了

3. **決定 を押します。**

モード選択画面が表示されます。

登録モード選択
▶新規登録
編集／削除
グループ編集

4. **▲音量▼ を押し、“編集／削除”にカーソルを合わせます。**

登録モード選択
新規登録
▶編集／削除
グループ編集

5. **決定 を押します。**

検索モード選択画面が表示されます。

検索モード選択
▶読み仮名検索
グループ検索
短縮番号検索
電話番号検索

6. **削除する登録先を検索します。**

検索方法は「電話帳に登録した電話番号にかける（P.3-8)」を参照してください。
検索結果詳細画面に検索結果が表示されます。

7. **決定 を押します。**

編集／削除選択画面が表示されます。

▶編集（参照）
削除

8. **▲音量▼ を押し、“削除”にカーソルを合わせます。**

編集（参照）
▶削除

9. 決定 を押します。

削除確認画面が表示されます。

削除しますか？
▶はい
いいえ

10. ▲音量▼ を押し、"はい"にカーソルを合わせます。

11. 決定 を押します。

削除が完了します。
削除完了後は、継続確認画面が表示されます。

継続しますか？
▶はい
いいえ

12. 削除を継続（引き続き、別の相手先を削除）するか／終了するかを選択します。

削除を継続する場合

1. ▲音量▼ を押し、"はい"にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。
   手順 6 に戻ります。

削除を終了する場合

1. ▲音量▼ を押し、"いいえ"にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。

電話帳グループの名称を編集する

例）以下の操作は、電話帳グループ 02 を"取引先"と編集する方法について説明しています。

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。もしくは、機能 短縮 を押します。

メインメニュー画面が表示されます。

機能 短縮 を押した場合は、手順 4 に進みます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"電話帳登録"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
▶電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。

モード選択画面が表示されます。

登録モード選択
▶新規登録
編集／削除
グループ編集

4. ▲音量▼ を押し、“グループ編集”にカーソルを合わせます。

登録モード選択
新規登録
編集／削除
▶グループ編集

5. 決定 を押します。

電話帳グループの選択画面（グループ 01 ～ 20）が表示されます。

電話帳グループ？
▶グループ01
グループ02
グループ03
グループ04
グループ05

6. ▲音量▼ を押し、“グループ 02”にカーソルを合わせます。

電話帳グループ？
グループ01
▶グループ02
グループ03
グループ04
グループ05

7. 決定 を押します。

電話帳グループの選択を確定し、電話帳グループの名称を編集する画面が表示されます。

グループ02_

8. クリア/再ダイヤル を長押しします。

現在の名称（“グループ 02”）表示がクリアされます。

_

9. **電話帳グループの名称（例：“とりひき”）を入力します。**

と：4 を 5 回押す

り：9 を 2 回押す

ひ：6 を 2 回押す

き：2 を 2 回押す

入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32）」、「文字の入力方法（P.3-32）」を参照してください。
名称は、ひらがな・漢字は全角 10 文字まで、カタカナ・英数字は半角 20 文字まで入力できます。

とりひき

10. ▲音量▼ を押します。

カーソル位置までの文字列（“とりひき”）が漢字変換されます。
▲音量▼ を押し、目的の漢字（“取引”）にカーソルを合わせます。

【取引】
▶取引
取引き
トリヒキ
とりひき

11. 決定 を押します。

目的の漢字（“取引”）が確定されます。

取引_

12. **電話帳グループの名称（例：“さき”）を入力します。**

さ：3 を 1 回押す

き：2 を 2 回押す

取引
さき

13. ▲音量▼ を押します。

カーソル位置までの文字列（“さき”）が漢字変換されます。

▲音量▼ を押し、目的の漢字（“先”）にカーソルを合わせます。

取引_
【先】
▶先
裂き
割き
咲き

14. 決定 を押します。

目的の漢字（“先”）が確定されます。

取引先_

15. 決定 を押します。

名称の編集が確定し、電話帳グループ名称の登録確認画面が表示されます。

登録しますか？
▶はい
いいえ

16. ▲音量▼ を押し、“はい”にカーソルを合わせます。

17. 決定 を押します。

編集が完了します。
編集完了後は、継続確認画面が表示されます。

継続しますか？
▶はい
いいえ

18. **編集を継続（引き続き、別の電話帳グループの名称を編集）するか／終了するかを選択します。**

編集を継続する場合

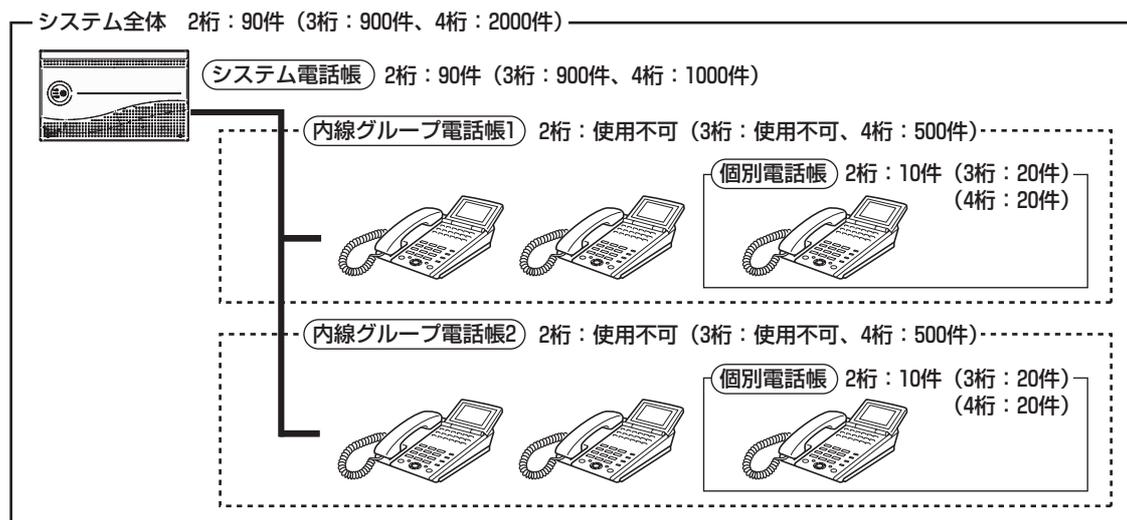
1. ▲音量▼ を押し、“はい”にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。
   手順 6 に戻ります。

編集を終了する場合

1. ▲音量▼ を押し、“いいえ”にカーソルを合わせます。
2. 決定 を押します。

Note

- 登録中および検索中の画面で一定時間（30 秒）操作を行わない場合は、電話機は空き状態に戻ります。
- 何らかの理由で登録／編集が不可の場合は、(決定)を押した時に、登録不可のメッセージが 3 秒間表示され、入力前の状態に戻ります。再度、登録操作をやり直してください。
- 短縮番号を登録する際は、編集の場合は既存の短縮番号が登録候補として自動的に表示されます。新規登録の場合は、未登録の短縮番号の中で最も若い番号が登録候補として自動的に表示されます。
- 電話帳登録データと短縮ダイヤル登録データは同一のデータです。
- 電話帳の最大件数は、短縮番号の桁数に応じて異なります。取り付け時設定

例：グループ数が2つの場合

Information

- ◆ 電話帳登録／編集中に着信があった場合、電話機は着信状態となりますが、ディスプレイは登録／編集画面のままです。続けて電話帳を登録／編集できます。
- ◆ 短縮番号の桁数４桁で内線グループ電話帳をシステム電話帳として使用する場合、内線グループ電話帳の登録時の短縮番号は１０００～１９９９、発信は８０００～８９９９となります。取り付け時設定

入力モードの切替え

文字を入力するときは、入力する文字に応じて入力モードを切替えます。

◯電話帳検索/文字 を押すごとに、入力モードがひらがな→カタカナ（半角）→英字記号（半角）→数字 （半角）の順で切替わります。漢字変換は、ひらがなモードで行います。

文字の入力方法

各ボタンに複数の文字が割り当てられています。入力する文字のボタンを繰り返し押すことで、割り当てられた文字が順に表示されます。
各入力モードで使用できるボタンと文字は、以下のとおりです。

ダイヤルボタン

ボタン	ひらがなモード（仮名漢字変換）	カタカナモード	英字記号モード	数字モード
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	未使用	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABCabc	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEFdef	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz	9
0	わをんゎ゛゜ー。、！？ 空白	ﾜｦﾝﾞﾟｰ!? 空白	-&[]#*!?@:/._() 空白	0
*	変換候補の選択中は、前ページの変換候補に切替えます。	未使用		*
#	変換候補の選択中は、次ページの変換候補に切替えます。	未使用		#

マルチファンクションボタンほか

ボタン	ひらがなモード（仮名漢字変換）	カタカナモード	英字記号モード	数字モード
電話帳検索/文字	カタカナモードに切替えます。	英字記号モードに切替えます。	数字モードに切替えます。	名称の入力中は、ひらがなモードに切替えます。 読み仮名の入力中は、カタカナモードに切替えます。
▲音量▼（▲）	入力した文字の変換候補を選択します。	半角／全角変換を選択します。		
▼				
発信履歴	カーソルを右に移動します。 変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。	カーソルを右に移動します。		
着信履歴	カーソルを左に移動します。 変換候補の選択中は、変換をキャンセルします。	カーソルを左に移動します。		
決定	入力した文字や選択した変換候補を確定します。	入力した文字を確定します。		名称の入力中は、入力した文字を確定します。
クリア/再ダイヤル	短く押すと、カーソル上の１文字を消去します（ひらがなモードで、変換候補の選択中は、変換をキャンセルします）。 １秒以上押すと、入力した全ての文字を消去します。			

Information

- ◆ 変換できる漢字は、JIS 第 1 水準漢字、JIS 第 2 水準漢字です。
- ◆ 文字入力が確定すると、カーソル位置は次の桁に移動します。
- ◆ すでに確定した文字の上から違う文字を入力すると、カーソルの位置に挿入されます。
- ◆ 数字モードでは、ダイヤルボタン（0～9、＊ ＃）を押した時点で、入力が確定されます。

3 基本操作編

発信履歴を操作する

外線を発信した履歴を最新の 20 件まで表示できます。

発信履歴を表示する（リスト表示）

1. **受話器を置いたまま、発信履歴を押します。**

発信履歴リストが表示されます。

▲音量▼ を押すと、前後の履歴にカーソルが移動します。

発信履歴リストの表示中に、着信履歴または クリア/再ダイヤル を押すと、発信履歴リストの表示を終了します。

```
▶岩崎通信機        4/ 8
  12XXXX7890   09:23
 岩崎通信機株      4/ 8
  09XXXX4321   12:45
 岩崎ソフト        4/ 8
  13XXXX4680   13:50
```

発信履歴を表示する（詳細表示）

1. **発信履歴リストの表示中に、発信履歴または 決定 を押します。**

カーソル上の発信履歴を詳細表示します。

▲音量▼ を押すと、前後の履歴が詳細表示されます。

発信履歴の詳細表示中に、着信履歴または クリア/再ダイヤル を押すと、発信履歴リストの表示に戻ります。

```
岩崎通信機

12XXXX7890

2008年 4月 8日 09:23
```

Note

- 発信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます（「発信履歴から電話帳に登録する（P.3-37）」）。
- 発信履歴は、1 件または全件削除ができます（「発信履歴を削除する（1 件ごとの削除）（P.3-35）」「発信履歴を削除する（全件削除）（P.3-36）」）。
- 発信履歴の表示中に、30 秒間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態となります。
- 発信履歴に記録される時刻は、相手が応答した時、または発信を途中で放棄した時の時刻になります。
- 発信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。
- 発信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大 48 桁です。
- 内線の発信は、発信履歴に蓄積されません。

発信履歴を削除する（1 件ごとの削除）

1. **受話器を置いたまま、発信履歴を押します。**
発信履歴リストが表示されます。

```
▶岩崎通信機      4/ 8
   12XXXX7890  09:23
 岩崎通信機株    4/ 8
   09XXXX4321  12:45
 岩崎ソフト      4/ 8
   13XXXX4680  13:50
```

2. **音量▲▼を押し、削除する発信履歴にカーソルを合わせます。**

```
 岩崎通信機      4/ 8
   12XXXX7890  09:23
▶岩崎通信機株    4/ 8
   09XXXX4321  12:45
 岩崎ソフト      4/ 8
   13XXXX4680  13:50
```

3. **発信履歴または決定を押します。**
発信履歴詳細が表示されます。

```
岩崎通信機株

09XXXX4321

2008年 4月 8日 12:45
```

4. **発信履歴または決定を押します。**
動作選択表示画面が表示されます。

```
▶電話帳へ登録
 1件削除
 全件削除
 戻る
09XXXX4321
2008年 4月 8日 12:45
```

5. **音量▲▼を押し、"1 件削除"にカーソルを合わせます。**

```
 電話帳へ登録
▶1件削除
 全件削除
 戻る
09XXXX4321
2008年 4月 8日 12:45
```

6. **決定を押します。**
削除確認画面が表示されます。

```
▶取り消し
 実行
 終了

09XXXX4321
削除しますか?
```

7. **音量▲▼を押し、"実行"にカーソルを合わせます。**

```
 取り消し
▶実行
 終了

09XXXX4321
削除しますか?
```

8. **決定を押します。**

```
 取り消し
▶実行
 終了

09XXXX4321
削除しました
```

3 基本操作編

発信履歴を削除する（全件削除）

1. 受話器を置いたまま、発信履歴を押します。
発信履歴リストが表示されます。

▶岩崎通信機　4/ 8
12XXXX7890　09:23
岩崎通信機株　4/ 8
09XXXX4321　12:45
岩崎ソフト　4/ 8
13XXXX4680　13:50

2. ▲音量▼ を押し、任意の発信履歴にカーソルを合わせます。

3. 発信履歴または決定を押します。
発信履歴詳細が表示されます。

岩崎通信機
12XXXX7890
2008年 4月 8日 09:23

4. 発信履歴または決定を押します。
動作選択表示画面が表示されます。

▶電話帳へ登録
１件削除
全件削除
戻る
12XXXX7890
2008年 4月 8日 09:23

5. ▲音量▼ を押し、“全件削除”にカーソルを合わせます。

電話帳へ登録
１件削除
▶全件削除
戻る
12XXXX7890
2008年 4月 8日 09:23

6. 決定を押します。
削除確認画面が表示されます。

▶取り消し
実行
終了
全て削除しますか？

7. ▲音量▼ を押し、“実行”にカーソルを合わせます。

取り消し
▶実行
終了
全て削除しますか？

8. 決定を押します。

取り消し
▶実行
終了
削除しました

発信履歴から電話帳に登録する

1. 受話器を置いたまま、発信履歴を押します。
発信履歴リストが表示されます。

```
▶岩崎通信機      4/ 8
  12XXXX7890  09:23
               4/ 8
  09XXXX4321  12:45
 岩崎ソフト      4/ 8
  13XXXX4680  13:50
```

2. ▲音量▼ を押し、電話帳に登録する発信履歴にカーソルを合わせます。

```
 岩崎通信機      4/ 8
  12XXXX7890  09:23
               4/ 8
▶ 09XXXX4321  12:45
 岩崎ソフト      4/ 8
  13XXXX4680  13:50
```

3. 発信履歴または決定を押します。
発信履歴詳細が表示されます。

```
09XXXX4321

2008年 4月 8日 12:45
```

4. 発信履歴または決定を押します。
動作選択表示画面が表示されます。

```
▶電話帳へ登録
 1件削除
 全件削除
 戻る
09XXXX4321
2008年 4月 8日 12:45
```

5. ▲音量▼ を押し、"電話帳へ登録"にカーソルを合わせます。

6. 決定を押します。
電話帳の登録画面が表示されます。
電話帳の登録操作は、「電話帳に登録する（P.3-20）」を参照してください。

```
名前？
_
```

Note

- 発信履歴の表示中に、30 秒間ダイヤル操作がない場合は、発信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 発信履歴に表示される相手先は、電話帳に登録されていれば、その名前で表示します。登録されていない場合は、相手先の電話番号を表示します。
- 発信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。
- 発信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大 48 桁です。
- 既に電話帳に登録されている相手先は、電話帳に登録できません。
- 発信履歴リストの電話番号表示は、最大 11 桁です。

着信履歴を操作する

外線を着信した履歴を最新の 20 件まで表示できます。

着信履歴を表示する（リスト表示）

1. 受話器を置いたまま、着信履歴を押します。

着信履歴リストが表示されます。

▲音量▼を押すと、前後の履歴にカーソルが移動します。

着信履歴リストの表示中に、着信履歴またはクリア/再ダイヤルを押すと、着信履歴リストの表示を終了します。

```
岩崎通信機          4/ 8
  12XXXX7890     10:23
▶岩崎通信機株       4/ 8
  09XXXX4321     13:45
岩崎ソフト          4/ 8
  13XXXX4680     14:50
```

着信履歴を表示する（詳細表示）

1. 着信履歴リストの表示中に、発信履歴または決定を押します。

カーソル上の着信履歴を詳細表示します。

▲音量▼を押すと、前後の履歴が詳細表示されます。

着信履歴の詳細表示中に、着信履歴またはクリア/再ダイヤルを押すと、着信履歴リストの表示に戻ります。

```
岩崎通信機株

09XXXX4321

2008年 4月 8日 13:45
未応答
```

相手先が不明な着信を表示する

非通知等により、相手先が不明な着信の場合も、着信履歴に蓄積されます。相手先の表示は、以下の非通知理由を表示します。

非通知理由	リスト表示時	詳細表示時
ユーザ拒否	非通知	非通知（プライバシー）
サービス提供不可	非通知	非通知（表示圏外）
公衆電話発信	非通知	非通知（公衆電話）
サービス競合	非通知	非通知（表示圏外）

Note

- 着信履歴の中から任意の相手を選択し、電話帳に登録できます（「着信履歴から電話帳に登録する（P.3-41）」）。
- 着信履歴は、1 件または全件削除ができます（「着信履歴を削除する（1 件ごとの削除）（P.3-39）」「着信履歴を削除する（全件削除）（P.3-40）」）。
- ドントディスターブ中の着信は、着信履歴に蓄積されません。
- 着信履歴の表示中に、30 秒間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 電話機が着信状態になると着信履歴に蓄積されます。
- 転送機能が設定されているときの着信に対する着信履歴は、転送モードにより異なります。
  即時不在転送モード：転送先が蓄積されます。
  未応答転送モード：転送元、転送先ともに蓄積されます。
- 着信履歴は、着信に応答した電話機にのみ残ります（他の電話機には着信履歴は残りません）。または、他の応答していない電話機に残すこともできます。取り付け時設定
- 着信履歴に記録されるタイムスタンプは、着信に応答した時、または着信を途中で放棄した時になります。
- 着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 着信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大 32 桁です。
- 着信時に NTT 等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名を着信履歴に表示します。
- 内線の着信は、着信履歴に蓄積されません。

着信履歴を削除する（1 件ごとの削除）

1. 受話器を置いたまま、着信履歴を押します。
着信履歴リストが表示されます。

```
▶岩崎通信機      4/ 8
   12XXXX7890  10:23
 岩崎通信機株    4/ 8
   09XXXX4321  13:45
 岩崎ソフト      4/ 8
   13XXXX4680  14:50
```

2. ▲音量▼ を押し、削除する着信履歴にカーソルを合わせます。

```
 岩崎通信機      4/ 8
   12XXXX7890  10:23
▶岩崎通信機株    4/ 8
   09XXXX4321  13:45
 岩崎ソフト      4/ 8
   13XXXX4680  14:50
```

3. 発信履歴または決定を押します。
着信履歴詳細が表示されます。

```
岩崎通信機株

09XXXX4321

2008年 4月 8日 13:45
未応答
```

4. 発信履歴または決定を押します。
動作選択表示画面が表示されます。

```
▶電話帳へ登録
 1件削除
 全件削除
 戻る
09XXXX4321
2008年 4月 8日 13:45
```

5. ▲音量▼ を押し、“1 件削除”にカーソルを合わせます。

```
 電話帳へ登録
▶1件削除
 全件削除
 戻る
09XXXX4321
2008年 4月 8日 13:45
```

6. 決定を押します。
削除確認画面が表示されます。

```
▶取り消し
 実行
 終了

09XXXX4321
削除しますか?
```

7. ▲音量▼ を押し、“実行”にカーソルを合わせます。

```
 取り消し
▶実行
 終了

09XXXX4321
削除しますか?
```

8. 決定を押します。

```
 取り消し
▶実行
 終了

09XXXX4321
削除しました
```

着信履歴を削除する（全件削除）

1. 受話器を置いたまま、着信履歴を押します。
着信履歴リストが表示されます。

```
▶岩崎通信機     4/ 8
  12XXXX7890  10:23
 岩崎通信機株   4/ 8
  09XXXX4321  13:45
 岩崎ソフト     4/ 8
  13XXXX4680  14:50
```

2. 音量▲▼を押し、任意の着信履歴にカーソルを合わせます。

3. 発信履歴または決定を押します。
着信履歴詳細が表示されます。

```
岩崎通信機

12XXXX7890

2008年 4月 8日 10:23
未応答
```

4. 発信履歴または決定を押します。
動作選択表示画面が表示されます。

```
▶電話帳へ登録
 1件削除
 全件削除
 戻る
12XXXX7890
2008年 4月 8日 10:23
```

5. 音量▲▼を押し、“全件削除”にカーソルを合わせます。

```
 電話帳へ登録
 1件削除
▶全件削除
 戻る
12XXXX7890
2008年 4月 8日 10:23
```

6. 決定を押します。
削除確認画面が表示されます。

```
▶取り消し
 実行
 終了

全て削除しますか？
```

7. 音量▲▼を押し、“実行”にカーソルを合わせます。

```
 取り消し
▶実行
 終了

全て削除しますか？
```

8. 決定を押します。

```
 取り消し
▶実行
 終了

削除しました
```

着信履歴から電話帳に登録する

1. 受話器を置いたまま、着信履歴を押します。
着信履歴リストが表示されます。

```
▶岩崎通信機      4/ 8
  12XXXX7890  10:23
 岩崎通信機株     4/ 8
  09XXXX4321  13:45
 岩崎ソフト      4/ 8
  13XXXX4680  14:50
```

2. 音量▲▼を押し、電話帳に登録する着信履歴にカーソルを合わせます。

```
 岩崎通信機      4/ 8
  12XXXX7890  10:23
 岩崎通信機株     4/ 8
  09XXXX4321  13:45
▶岩崎ソフト      4/ 8
  13XXXX4680  14:50
```

3. 発信履歴または決定を押します。
着信履歴詳細が表示されます。

```
岩崎ソフト

13XXXX4680

2008年 4月 8日 14:50
応答
```

4. 発信履歴または決定を押します。
動作選択表示画面が表示されます。

```
▶電話帳へ登録
 1件削除
 全件削除
 戻る
13XXXX4680
2008年 4月 8日 14:50
```

5. 音量▲▼を押し、"電話帳へ登録"にカーソルを合わせます。

6. 決定を押します。
電話帳の登録画面が表示されます。
電話帳の登録操作は、「電話帳に登録する（P.3-20）」をしてください。

```
名前？
_
```

Note

- 着信履歴の表示中に、30 秒間ダイヤル操作がない場合は、着信履歴表示を終了します。なお、着信が発生した場合は、着信状態になります。
- 着信履歴の表示中に受話器を上げる、または外線発信を行うボタンを押すと、外線発信します。ただし、着信履歴が非通知で保存されている相手に対しては発信できません。
- 着信履歴に記録されるダイヤル桁数は、最大 32 桁です。
- 着信時に NTT 等から発信者名情報が通知された場合でも、電話帳に相手先名が登録されている場合は、電話帳に登録されている相手先名を着信履歴に表示します。
- 既に電話帳に登録されている、または非通知理由を表示している相手先は、電話帳に登録できません。

さらに便利な使い方･･･応用操作／応用機能編へ

本章（基本操作編）で説明している機能のほかにも、以下の便利な機能があります。

機能	参照ページ
応答しない相手に何度もかけ直すことができます。<オートリピートダイヤル>	P.6-2
受話器を持たないでお話しできます。<外線ハンズフリー通話>	P.6-3
受話器を上げるだけで外線を捕捉できます。<空外線自動捕捉>	P.6-5
市外にかける電話を規制できます。<市外発信規制／市外発信クラス切替え>	P.6-5
通話料金の安い電話会社を選択して、電話をかけることができます。	P.6-6
3人または4人でお話しすることができます。 <外線会議通話>／<複数外線会議通話>／<外線間会議通話>／<内線会議通話>	P.6-53
お話し中の外線に割り込んで、3人でお話しすることができます。	P.6-60
外線とお話し中に他の人を割り込ませて、3人でお話しすることができます。<秘話解除>	P.6-61
外線とお話し中に、通話内容を他の電話機から聞くことができます。	P.6-62
ダイヤル回線でプッシュ信号が使えます。<ダイヤルリバース>	P.6-63
外線とお話し中に、ダイヤル操作をしてダイヤルを記憶しておくことができます。<メモダイヤル>	P.6-71
外線に電話をかけることを禁止することができます。<電話機パスワード／市外発信規制>	P.6-73
外線とお話し中に、こちらの声が相手に聞こえないようにすることができます。<送話ミュート>	P.6-78
外線に電話をかけるときの一連のボタン操作をワンタッチで実行することができます。	P.6-85

内線へかける

受話器を上げてかける <オフフックダイヤル>

受話器を上げてから、内線に電話をかけます。

1. 受話器を上げます。

内線発信音（プップッ）が聞こえます。

Note

- 内線発信音が聞こえるのは 20 秒間です。その間に相手の内線番号をダイヤルしないと、警告音が鳴り内線発信ができなくなります。

Information

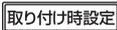
◆ 電話機の受話器を上げたときは、以下の優先順位で、設定された機能が働きます。
・ 着信自動応答
・ 外線自動発信
・ 外線自動捕捉
・ 内線ホットライン
・ 内線自動応答

◆ 内線の自動捕捉が設定されていない電話機では、受話器を上げたときに無音状態となります（ただし、他の機能が有効となっているときは除きます）ので、［内線］を押してから内線番号をダイヤルしてください。

2. 相手の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　12
11

Note

- 設定により、内線への電話を規制することができます。［取り付け時設定］

3. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線　12

Information

◆ 話中の電話機を呼び出した場合、以下の状態になります。
・ 着信側電話機が話中で呼び出し不可能ならば、発信側電話機には話中音（プープープー）が聞こえます。

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 内線に電話をかけ直すとき、受話器を上げたままで、［フラッシュ］を押すと、内線発信音が聞こえ、相手の内線番号をダイヤルすることができます。

受話器を置いたままかける <オンフックダイヤル>

受話器を置いたまま、内線に電話をかけます。

1. 受話器を置いたまま、［スピーカ］を押します。

内線
11

2. 相手の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　12
11

3. 相手が応答したら、受話器を上げてお話しします。

4月 8日(火)16:35
内線　12

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

相手の声を電話機のスピーカで聞く

1. お話し中に、［スピーカ］を押します。

4月 8日(火)16:35
内線　12

2. 受話器を戻します。
相手の声がスピーカから聞こえます。

受話器でのお話しに戻すには

受話器を上げると、スピーカがオフとなり、受話器でのお話しに戻ります。

Information

◆ スピーカの音量は、［▲音量］［音量▼］で調整してください。

電話番号をディスプレイで確認してから電話をかける <プリセットダイヤル>

ダイヤルした電話番号をディスプレイで確認してから電話をかけることができます。

1. 受話器を置いたまま、相手の内線番号をダイヤルします。
ダイヤルした番号がディスプレイに表示されます（各桁の表示時間：10秒）。

```
                    12
                  11
```

Note

● 各桁をダイヤルしてから、10秒以内に次の操作をしないと、入力したダイヤルが無効になります。

Information

◆ ダイヤルを訂正するには、ディスプレイにダイヤルした番号が表示されている間に、[機能]を押します。[機能]を押すごとに、末尾の数字が1文字ずつ消えます。

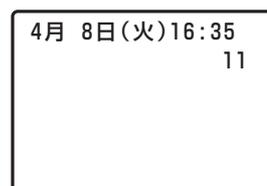
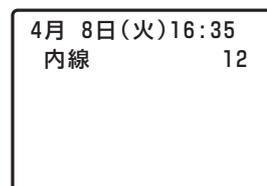
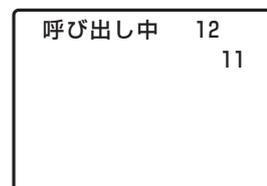
2. 受話器を上げます。
ディスプレイに表示している内線番号を自動的に呼び出します。

```
 呼び出し中    12
              11
```

3. 相手が応答したら、お話しします。

```
4月 8日(火)16:35
 内線          12
```

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
               11
```

内線呼び出し音を切替える <音声呼び出し>／<トーン呼び出し>

相手を呼び出し中に、呼び出し方法（トーン呼び出し／音声呼び出し）を切替えることができます。

トーン呼び出し中の切替え

1. トーン呼び出し中に、[＃]を押します。
呼出音から、予告音の後に音声呼び出しに替わります。

呼び出し中　12
11

Note

● 呼び出し中は、[＃]を押すごとに、呼び出し方法（トーン呼び出し／音声呼び出し）が切替わります。

2. 受話器から「○○さん」のように呼びかけます。

4月 8日(火)16:35
内線　12

音声呼び出し中の切替え

1. 音声呼び出し中に、[＃]を押します。
音声呼び出しの状態から、呼出音に替わります。

呼び出し中　12
11

Note

● 呼び出し中は、[＃]を押すごとに、呼び出し方法（トーン呼び出し／音声呼び出し）が切替わります。

2. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線　12

Note

● 単独電話機を呼び出す場合は、トーン呼び出しのみになります。
● 以下の呼び出しは、音声呼び出しのみになります。

着信側による呼び出され方法の選択

取り付け時設定

着信側で自分の呼び出され方（トーン呼び出し／音声呼び出し）を選択しておくことができます。

1. 受話器を置いたまま、内線呼出しモード切替 を押します。

内線呼出しモード切替 が赤色に点灯し、トーン呼び出しモードに切替わります。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに内線呼出しモード切替 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 内線呼出しモード切替 の代わりに、機能 6 5 を押しても同じ操作ができます。

2. 再び、内線呼出しモード切替 を押します。

内線呼出しモード切替 が消灯し、音声呼び出しモードに切替わります。

Note

● 着信側で呼び出され方をトーン呼び出しモードに切替えた場合は、呼び出し側からトーン呼び出し／音声呼び出しの切替えができなくなります。

3 基本操作編

さらに便利な使い方･･･応用操作／応用機能編へ

本章（基本操作編）で説明している機能のほかにも、以下の便利な機能があります。

機能	参照ページ
呼び出したい部署の空いている電話機を、自動選択して呼び出すことができます。<内線代表呼び出し>	P.6-7
呼び出したい部署の全ての電話機を、呼び出すことができます。<グループ呼び出し>	P.6-8
複数の電話機（外部スピーカも含む）に対して、音声呼び出しで呼び出すことができます。<一斉呼び出し>	P.6-9
受話器を上げるだけで特定の電話機を呼び出すことができます。<内線ホットライン>	P.6-10
内線をワンタッチで呼び出すことができます。< DSS >	P.6-11
呼び出した相手が応答しないときに、受話器を上げたまま、別の内線を呼び出すことができます。<クリアコール>／<シフトコール>	P.6-12
呼び出した相手が話中のときに、お話しが終了したことを通知音で知ることができます。<コールバック>	P.6-13
呼び出した相手が応答しないときに、強制的に呼び出すことができます。<オーバーライド>	P.6-15
3 人または 4 人の内線同士でお話しすることができます。<内線会議通話>	P.6-58
内線とお話し中に、通話内容を他の電話機から聞くことができます。	P.6-62
呼び出した相手が応答しないときに、折り返し連絡が欲しい旨のメッセージを伝えることができます。<メッセージウェイト>	P.6-64
内線とお話し中に、こちらの声が相手に聞こえないようにすることができます。<送話ミュート>	P.6-78
内線に電話をかけるときの一連のボタン操作をワンタッチで実行することができます。	P.6-85

外線を受ける

外線からの電話を受けるとき

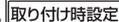
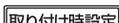
受話器を上げてから、外線に応答します。

1. 着信音が鳴ります。

相手先　山田商事
030570XXXX

2. 赤色に点滅している［外線］を押します。

Note

- ［外線］の代わりに、着信により点滅している［外線応答グループ］、［ダイヤルイン応答］および［ダイヤルイングループ］により応答することもできます。取り付け時設定
  ［外線］を押さなくても受話器を上げて自動応答することができます。
  取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに［外線応答グループ］、［ダイヤルイン応答］、［ダイヤルイングループ］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

3. 受話器を上げてお話しします。

相手先　山田商事
0:02

Note

- お話し中に他の外線に着信があったときに、「プルプルプル」という小さな着信音を鳴らすことができます。取り付け時設定

さらに便利な使い方･･･応用操作／応用機能編へ

本章（基本操作編）で説明している機能のほかにも、以下の便利な機能があります。

機能	参照ページ
発信者番号ごとに着信音を指定できます。	P.3-66
外線ごとに鳴音する電話機を指定できます。	P.6-17
外線ごとに着信音を指定できます。	P.3-66
電話機ごとに着信音を変更できます。	P.3-66
昼間と夜間の着信先を変更できます。	P.6-17
着信に応答できないときに、メッセージを流してお待ちいただくことができます。 <自動おまたせメッセージ>	P.6-19
夜間休日にかかってきた電話に、メッセージを流して応答することができます。<外線自動応答>	P.6-20
着信に応答できないときに、話中音で応答することができます。	P.6-43
発信者番号が非通知の着信に、メッセージで応答することができます。	P.6-45
発信者番号が通知された着信（着信拒否したい着信）に、メッセージで応答することができます。	P.6-46
外出先から電話機周辺の音を聞くことができます。	P.6-51
外出先から内線を呼び出すことができます。	P.6-18
外線からの着信に、音声案内で応答することができます。	P.6-79
外線からの電話に応答するときの一連のボタン操作をワンタッチで実行することができます。	P.6-85

内線を受ける

受話器を上げて受ける <内線着信自動応答>

受話器を上げてから、内線に応答します。

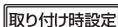
1. 着信音または音声呼び出しが聞こえたら、受話器を上げます。

［内線］が内線着信時に赤色に点滅し、応答後は緑色に点滅します。

```
4月 8日(火)16:35
 内線          12
```

Information

◆ 受話器を上げる代わりに、［スピーカ］を押して応答することもできます。

◆ 呼び出しモードが着信側でかつ空き状態のときは、自分の呼び出され方（トーン呼び出し／音声呼び出し）を自由に切替えることができます。
［取り付け時設定］

2. お話しします。

3. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
               11
```

Information

◆ 内線呼び出しがあると、ディスプレイは着信表示になり、応答すると内線通話表示になります。

3

基本操作編

受話器を上げずに受ける <内線ハンズフリー通話>

手が離せないときなどに、受話器を持たないでお話しすることができます。

マイクをオン／オフする

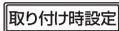
1. 受話器を置いたまま、［マイク］を押し、マイクをオンにします。

マイクがオンになると、［マイク］が赤色に点灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［マイク］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

- マイクをオンにするには、［マイク］の代わりに、［機能］［6］［1］を押しても同じ操作ができます。

2. 再び、［マイク］を押すと、マイクはオフになります。

マイクがオフになると、［マイク］が消灯します。

Information

- マイクをオフにするには、［マイク］の代わりに、［機能］［0］［6］［1］を押しても同じ操作ができます。

内線ハンズフリー通話を行う

Note

- あらかじめマイクをオンの状態にしておきます。

1. 着信音が聞こえたら、受話器を置いたまま、［スピーカ］を押します。

［スピーカ］が赤色に点滅します。

4月 8日(火)16:35
内線 12

2. マイクに向かって、話します。

Note

- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくくなり通話が途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。

3. お話しが終了したら、[スピーカ]を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- マイクがオフのときは、受話器を使用してお話ししてください。受話器を上げてお話し中は、ハンズフリー通話にできません。
- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が 1m を越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。

音声呼び出しに受話器をとらずにこたえる ＜内線ハンズフリー応答＞

他の内線電話機から音声呼び出しされたときに、受話器を上げずに、ハンズフリー応答ができます。
手が離せないときでも、受話器を上げずに応答、お話しができます。

マイクをオン／オフする

1. 受話器を置いたまま、[マイク]を押し、マイクをオンにします。

マイクがオンになると、[マイク]が赤色に点灯します。

内着 12
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[マイク]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ マイクをオンにするには、[マイク]の代わりに、[機能] [6] [1]を押しても同じ操作ができます。

2. 再び、[マイク]を押すと、マイクはオフになります。

マイクがオフになると、[マイク]が消灯します。

Information

◆ マイクをオフにするには、[マイク]の代わりに、[機能] [0] [6] [1]を押しても同じ操作ができます。

3 基本操作編

内線ハンズフリー応答を行う

Note

● あらかじめマイクをオンの状態にしておきます。

1. 音声呼び出しが聞こえたら、マイクに向かって話します。

内着 12
11

Note

● 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくくなり通話が途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。

Note

● ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が 1m を越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。

Information

◆ 内線音声呼び出しは、通話状態ではなく呼び出し状態のため、他の内線電話から応答することもできます。<内線代理応答>

◆ 内線音声呼び出し時は、[マイク]をオンにするとハンズフリー応答となり、オフにすると通常の内線呼び出しとなります。

◆ あらかじめフレキシブルボタンに[マイク]の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

さらに便利な使い方･･･応用操作／応用機能編へ

本章（基本操作編）で説明している機能のほかにも、以下の便利な機能があります。

機能	参照ページ
他の電話機で着信しているときに、代わりに応答することができます。<内線代理応答>	P.6-21
電話に出られないときに、着信を拒否することができます。<ドントディスターブ>	P.6-32
電話に出られないときに、不在理由を表示することができます。<不在メッセージ>	P.6-67
内線からの着信に、音声案内で応答することができます。	P.6-79
内線からの電話に応答するときの一連のボタン操作をワンタッチで実行することができます。	P.6-85

保留・転送する

外線を保留する／再応答する

お話し中の外線を保留します。他の電話機からも応答できる保留状態（共通保留）になります。

外線を保留する

1. お話し中に、[保留]を押します。

お話し中の外線が保留状態となります。また、[外線]が緑色に点滅します。

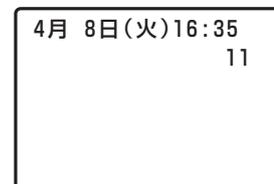
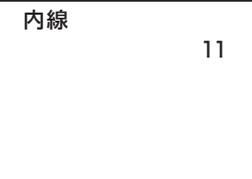
内線
11

Note

- 保留操作を行うと、他の電話機の外線ランプは赤色に点滅します。
- 保留を行った電話機の[外線]または[索線]は、緑色に点滅します。
- あらかじめフレキシブルボタンに[索線]の割り付けを行う必要があります。
  [取り付け時設定]

Information

◆ フレキシブルボタン（[内線]）に、外線自動保留機能が設定されている場合は、[内線]を押しても外線を保留することができます。

2. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

保留中の外線に応答する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 保留中の外線を押します。

相手先 山田商事
0:02

3. お話しします。

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 外線とお話し中に、一斉、ページンググループ、またはページング呼び出しを押すと、自動的に保留状態（共通保留）になります。
- 外線を保留したまま一定時間が超過した場合、保留警報が鳴ります。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに一斉、ページンググループ、ページング呼び出しの割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

内部保留音と外部保留音

内部保留音

外線／内線とお話し中に保留したとき、内部保留音源（システム内に 1 つ搭載）から保留相手に保留音を鳴らします。

内部保留音は以下の 6 曲から選択することができます。取り付け時設定

1：瞳がほほえむから
2：HERE COMES THE SUN
3：ハイ・ホー
4：未来予想図Ⅱ
5：I NEED TO BE IN LOVE
6：パッヘルベルのカノン

ご使用の主装置によっては、MIDI 音源を内部保留音に指定することもでき、そのまま外線の着信音としても使用できます。取り付け時設定
詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外部保留音

内部保留音の代わりに、外部保留音装置からの音を保留音にすることができます。お客様をお待たせしている間に、お知らせや季節の音楽を保留音として使用することができます。取り付け時設定

◆ 外部保留音を使用するには、オプションユニットが必要です。
オプションユニットについては、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

外線を保留する（他の人がとれないようにする）／再応答する <外線自己保留>

お話し中の外線を保留します。自分だけが応答できる保留状態（自己保留）になります。

外線を保留する

1. お話し中に、[機能]を押します。

[機能]が赤色に点滅します。

相手先　山田商事
0:02

2. (保留)を押します。

お話し中の外線が保留状態となります。また、[外線]が緑色に点滅します。

内線
11

Note

- 自己保留操作を行うと、他の電話機の外線ランプは赤色に点灯し、話中表示になります。
- 自己保留を行った電話機の[外線]または[索線]は、緑色で点滅します。
- あらかじめフレキシブルボタンに[索線]の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

3. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

保留中の外線に応答する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 保留中の[外線]を押します。

相手先　山田商事
0:02

3. お話しします。

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 外線を自己保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴り、他の電話機からも応答が可能になります。
  取り付け時設定

3 基本操作編

近くの人に外線を転送する

お話し中の外線を保留状態（共通保留）にします。他の電話機からも応答できるため、近くの人に電話を代わってもらうときなど、声をかけるだけで済みます。

外線を保留する

1. お話し中に、[保留]を押します。

お話し中の外線が保留状態となり、[外線]が緑色に点滅します。

内線
11

Note

- 保留操作を行うと、他の電話機の外線ランプは赤色に点滅します。
- 保留を行った電話機の[外線]または[索線]は、緑色に点滅します。
- あらかじめフレキシブルボタンに[索線]の割り付けを行う必要があります。

2. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

3. 呼び出したい人に口頭で電話が入っていることを伝えます。

保留中の外線に応答する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 保留中の[外線]を押します。

相手先 山田商事
0:02

3. お話しします。

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 外線とお話し中に、[一斉]、[ページング グループ]、または[ページング 呼び出し]を押すと、自動的に共通保留になります。
- 外線を保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴ります。[取り付け時設定]
- あらかじめフレキシブルボタンに[一斉]、[ページング グループ]、[ページング 呼び出し]の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

特定の人に外線を転送する <自動転送>／<キャンプオン>

お話し中の外線を保留した後、他の電話機を呼び出し、保留した外線を呼び出した相手へ転送します。
保留状態には、以下の状態があります。

共通保留

お話し中の外線を他の電話機からも応答できる保留状態にします。

転送保留

お話し中の外線を転送を前提とした保留状態にします。保留した外線は、他の電話機からは応答できません。
転送方法には、以下の方法があります。

自動転送

他の電話機へ転送するときに、転送先の相手が応答してから転送します。

キャンプオン

他の電話機へ転送するときに、転送先の相手を呼び出し中、または話中であっても強制的に転送します。

共通保留後に転送（自動転送）する

1. お話し中に、保留を押します。

お話し中の外線が保留状態となり、外線が緑色に点滅します。

内線
11

Information

◆ **フレキシブルボタン（内線）に、外線自動保留機能が設定されている場合は、保留の代わりに内線を押しても同じ操作ができます。取り付け時設定**

2. 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　12
11

3. 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

応答しない場合は、外線を押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

4月 8日(火)16:35
内線　12

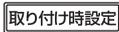
3

基本操作編

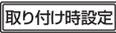
4. 接続 [ボタン]を押します。

保留した外線と呼び出した相手が通話状態になります。

4月 8日(火)16:35
11

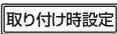
Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 接続 [ボタン]の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

Information

◆ 接続 [ボタン]の代わりに、受話器を戻して外線の自動転送を行うオンフック転送もできます。取り付け時設定

5. 受話器を戻します。

Note

- <ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中に、外線を転送することはできません。
- 転送する外線は、転送操作を行う電話機が共通保留した外線の中で、1 番新しい保留外線（最新保留外線）です。<自己保留>した外線が、最新保留外線であれば、自己保留中の外線が自動転送されます。

Information

◆ 外線を保留したまま一定時間が経過した場合、保留警報が鳴ります。取り付け時設定

共通保留後に転送（キャンプオン）する

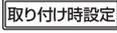
1. お話し中に、(保留)を押します。

お話し中の外線が保留状態となり、外線 [ボタン]が緑色に点滅します。

内線
11

Information

◆ フレキシブルボタン（内線 [ボタン]）に、外線自動保留機能が設定されている場合は、(保留)の代わりに 内線 [ボタン]を押しても同じ操作ができます。取り付け時設定

◆ (保留)、または 内線 [ボタン]を押して外線を保留し、受話器を戻すことでキャンプオン転送することもできます。取り付け時設定

2. 転送先の内線番号をダイヤルします。

相手が応答する前に、外線 [ボタン]を押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

呼び出し中　12
11

3. 接続 [ ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 接続 [ ] の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

4. 受話器を戻します。

Note

● 共通保留した外線を、他の外線へ転送することはできません。
● キャンプオンの対象となる外線は、自分の電話機で共通保留または自己保留した保留外線の中で、1 番新しい保留外線（最新保留外線）です。
● <ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>によるキャンプオン着信はできません（ただし、グループのトーン呼び出しによるキャンプオン着信は可能です）。
● 外線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。

Information

◆ 外線を保留したまま一定時間（初期値：180 秒）が経過した場合、保留警報が鳴ります。取り付け時設定

転送保留後に転送（自動転送）する

1. お話し中に、転送 [ ] を押します。

お話し中の外線が保留状態となり、外線 [ ] が緑色に点滅します。また、第 2 発信音（ププププ）が聞こえます。

内線
11

Information

◆ フレキシブルボタンに 内線代表 [ ]、DSS [ ] が設定してある場合は、お話し中に 内線代表 [ ]、DSS [ ] を押すだけで、お話し中の外線を転送保留し、転送先を呼び出すことができます。取り付け時設定

◆ あらかじめフレキシブルボタンに 内線代表 [ ]、DSS [ ] の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

2. 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 12
11

3. 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

応答しない場合は、転送 [ ] を押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

4月 8日(火)16:35
内線 12

3 基本操作編

4. **受話器を戻します。**

保留した外線と呼び出した相手が通話状態になります。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 転送保留中の外線には、転送を押すと応答できます。
- <ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中に、外線を転送することはできません。

転送保留後に転送（キャンプオン）する

1. **お話し中に、転送を押します。**

お話し中の外線が保留状態となり、外線が緑色に点滅します。また、第２発信音（ププププ）が聞こえます。

内線
11

Information

◆ フレキシブルボタンに内線代表、DSSが設定してある場合は、お話し中に内線代表、DSSを押すだけで、お話し中の外線を転送保留し、転送先を呼び出すことができます。取り付け時設定

◆ あらかじめフレキシブルボタンに内線代表、DSSの割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

2. **転送先の内線番号をダイヤルします。**

相手が応答する前に、転送を押すと、保留した外線とのお話しに戻ります。

呼び出し中　12
11

3. **受話器を戻します。**

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 転送保留中の外線には、転送を押すと応答できます。
- 外線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。
- 転送保留した外線を、他の外線へ転送することはできません。
- キャンプオンにより着信中の電話機には、以下の方法で他の電話機からも応答できます。
  - ・フレキシブルボタンに外線が設定してある場合は、外線を押します。取り付け時設定
  - ・フレキシブルボタンに外線が設定されていない場合は、着信代理応答と同じ操作で応答できます（「離席の人への呼び出しに自席で応答する <代理応答>（P.6-21)」）。
- <ドアホン呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>によるキャンプオン着信はできません（ただし、グループのトーン呼び出しによるキャンプオン着信は可能です）。

外線の保留状態が続いた場合に保留警報を鳴らす

外線を保留したまま一定時間（初期値：180 秒）が超過した場合、保留警報を鳴らすことができます。
保留したことを忘れてしまうのを防げます。

- 保留警報を鳴らせるのは、以下の保留状態が対象になります。
  - 共通保留（「外線を保留する／再応答する（P.3-53）」）
  - 自己保留（「外線を保留する（他の人がとれないようにする）／再応答する ＜外線自己保留＞（P.3-55）」）
  - パーク保留（「外線／内線を特定ボタンに保留する／再応答する ＜個別パーク保留＞＜グループパーク保留＞（P.6-36）」）
- 保留警報を行うには、保留警報を鳴らすまでの移行時間の設定が必要です。取り付け時設定
- 保留警報の移行時間が経過した場合、保留を行った電話機がお話し中のときは、保留警報が鳴ります。
- 保留警報が鳴ると、保留中の外線に対する保留音が止まり、保留中の相手に呼び出し音を鳴らすか、保留音を継続して鳴らすかを選択できます。取り付け時設定
- 外線会議通話の保留は、保留警報が鳴りません。

内線を保留する／再応答する

内線通話を、他の電話機から応答できない保留状態にすることができます。

内線を保留する

1. お話し中に、(保留)を押します。

お話し中の内線が保留状態となり、[内線]が緑色に点滅します。

内線
11

Note

- お話し中の内線を保留すると、相手には保留音が聞こえます。
- 内線自動捕捉が設定されている場合は、内線を保留した時点で内線が自動捕捉されます。
- 既に別の内線通話を転送保留している場合は、内線保留操作を行っても無効になります。

2. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

保留中の内線に応答する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. [内線]を押します。

4月 8日(火)16:35
内線 12

3. お話しに戻ります。

Note

- 保留できる内線通話は、１つだけです。
- システムは、内線通話の保留に対して保留警報の監視を行いません。

内線を転送する <自動転送>／<キャンプオン>

お話し中の内線を保留した後、他の電話機を呼び出し、保留した内線を呼び出した相手へ転送します。
保留した内線は、転送保留状態になるため、他の電話機からは応答できません。
転送方法には、以下の方法があります。

自動転送

他の電話機に転送するときに、転送先の相手が応答してから転送します。

キャンプオン

他の電話機に転送するときに、転送先の相手を呼び出し中、または話中であっても強制的に転送します。

転送（自動転送）する

1. **お話し中に、[転送]を押します。**

お話し中の内線が保留状態となり、[転送]が赤色に点滅します。また、第２発信音（ププププ）が聞こえます。

内線
11

2. **転送先の内線番号をダイヤルします。**

呼び出し中　15
11

3. **転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。**

転送先が応答しない場合は、[転送]を押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

4月　8日(火)16:35
内線　15

4. **受話器を戻します。**
保留した内線と呼び出した相手が通話状態になります。

4月　8日(火)16:35
11

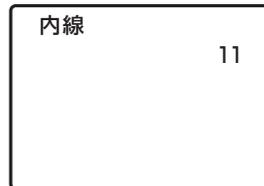
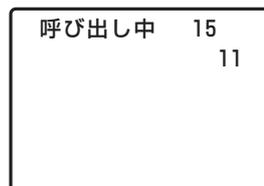
Note

- **<ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中には、内線通話を転送できません。**

保留を押して転送（自動転送）する

取り付け時設定

1. お話し中に、保留を押します。

お話し中の内線が保留状態となり、内線が緑色に点滅します。また、第２発信音（ププププ）が聞こえます。

内線
11

2. 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　15
11

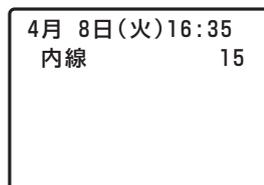
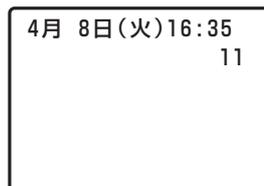
3. 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

転送先が応答しない場合は、内線を押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

4月 8日(火)16:35
内線 15

4. 受話器を戻します。

保留した内線と呼び出した相手が通話状態になります。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 内線会議のお話しも、自動転送することができます。
- ＜ドアホン呼び出し＞、＜一斉呼び出し＞、＜グループ呼び出し＞、および＜ページング呼び出し＞中には、内線通話を転送できません。

転送（キャンプオン）する

1. **お話し中に、転送を押します。**

お話し中の内線が保留状態となり、転送が赤色に点滅します。また、第２発信音（ププププ）が聞こえます。

内線
11

2. **転送先の内線番号をダイヤルします。**

相手が応答する前に、転送を押すと、保留した内線とのお話しに戻ります。

3. **受話器を戻します。**

転送先の電話機：保留中の内線が着信します。保留中の内線からの着信音が聞こえます。
保留中の内線：保留音が転送先の電話に対する呼出音に替わります。

4月　8日(火)16:35
11

Note

- **キャンプオン着信の鳴音は、トーン呼び出しのみです。**
- **内線会議のお話しも、キャンプオン転送することができます。**
- **<ドアホン呼び出し>、<一斉呼び出し>、<グループ呼び出し>、および<ページング呼び出し>中には、キャンプオン着信できません。**

Information

◆ **外線とのお話し中にその外線を他の内線電話機へ転送したとき、転送先の内線電話機が呼び出し中、または話中でも強制的に転送することをキャンプオン転送といいます。**

さらに便利な使い方･･･応用操作／応用機能編へ

本章（基本操作編）で説明している機能のほかにも、以下の便利な機能があります。

機能	参照ページ
外線／内線を特定ボタンに保留することができます。<パーク保留>	P.6-36
離席時にかかってきた電話を転送することができます。<不在転送>	P.6-24、P.6-28
外線／内線を保留／再応答、転送するときの一連のボタン操作をワンタッチで実行することができます。	P.6-85

着信音を変更する

発信者番号により着信音を指定する 取り付け時設定

外線から着信があったときに、相手から通知される発信者番号によって着信音を指定することができます。
各着信音の鳴動パターンは、「相手識別着信音の種類（P.12-6)」を参照してください。

Note

- アナログ回線で発信者番号の通知を受けるためには、NTT とナンバーディスプレイの契約が必要です。
- ISDN 回線を使用している場合、ISDN 回線の相手からの電話は、ナンバーディスプレイの契約なしでも発信者番号が通知されます。ただし、アナログ回線の相手から発信者番号の通知を受ける場合は、ナンバーディスプレイの契約が必要です。

外線により着信音を指定する 取り付け時設定

外線から着信があったときに、外線ごとに着信音を指定することができます。別の内線グループが近くにあっても着信音を変えることで外線着信を区別できます。
外線着信音は、8 パターンを指定できます。
各着信音の鳴動パターンは、「外線着信音の種類（P.12-5)」を参照してください。

電話機ごとに着信音を指定する（機能ボタンからの操作）

電話機ごとに、外線／内線着信時の着信音を変更できます。変更しない場合は、システムで定義されている着信音になります。

着信音を変更する

1. 受話器を置いたまま、[機能] [#] [*] を押します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

2. 変更する着信音に対応した番号（[1]～[8]）を押します。
着信音には、以下の 8 パターンがあります。選択できるパターンは 1 つです。

1	着信音 1 外線の着信音 1 と同じ	5	着信音 5 内線リコールの着信音と同じ
2	着信音 2 外線の着信音 2 と同じ	6	着信音 6 内線キャンプオンの着信音と同じ
3	着信音 3 外線の着信音 3 と同じ	7	着信音 7 外線リコールの着信音と同じ
4	着信音 4 内線の着信音と同じ	8	着信音 8 ドントディスターブ音と同じ

Information

◆ 着信音の鳴音パターンは、「電話機着信音の種類（P.12-6)」を参照してください。

3. [#]を押します。

Note

- 以下の着信が対象となります。
  - ・外線着信、外線キャンプオン着信
  - ・内線着信、内線キャンプオン着信
  - ・遅延鳴音による着信（発信者番号通知による着信時に、鳴音タイミングを遅らせている場合の着信）

着信音の変更を取り消す

1. 受話器を置いたまま、[機能][#][*]を押します。

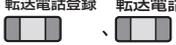
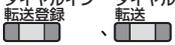
```
4月 8日(火)16:35
              11
```

2. [0][#]を押します。

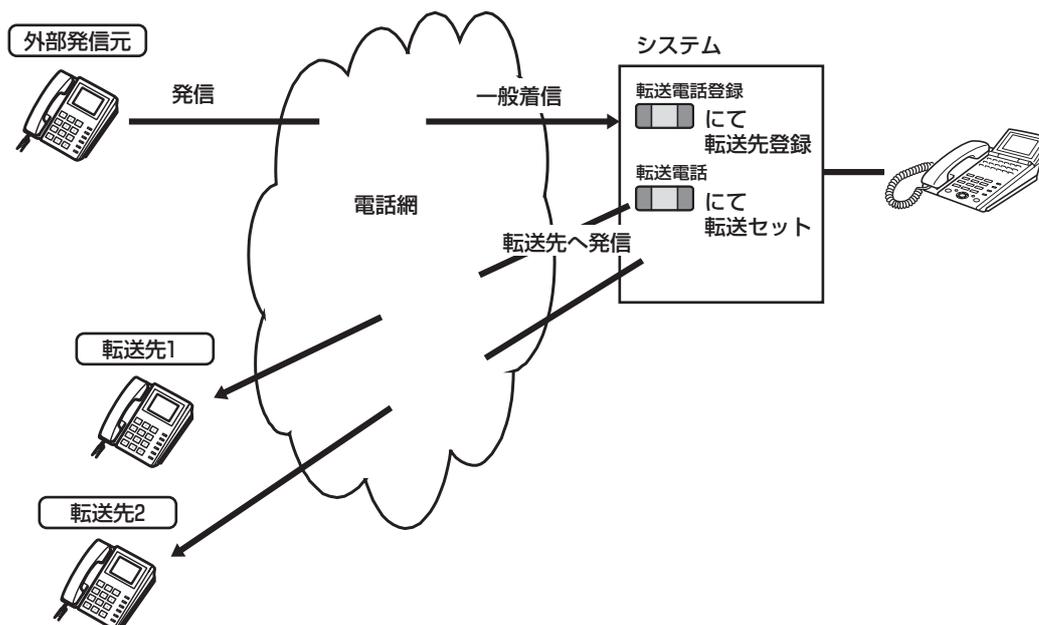
転送電話概要

本システムは、NTT 等の付加サービス（ボイスワープ・フレックスホン着信転送）の契約をしなくても、転送機能を使用することができます。ただし、着信した回線とは別に、転送発信用の回線が必要になります。
また、本システムでは、着信があったときに、着信指定された電話機への鳴音と転送先の呼び出しを同時（一斉）に行う一斉呼び出し< 3WAY コール>を使用することもできます。

自動転送

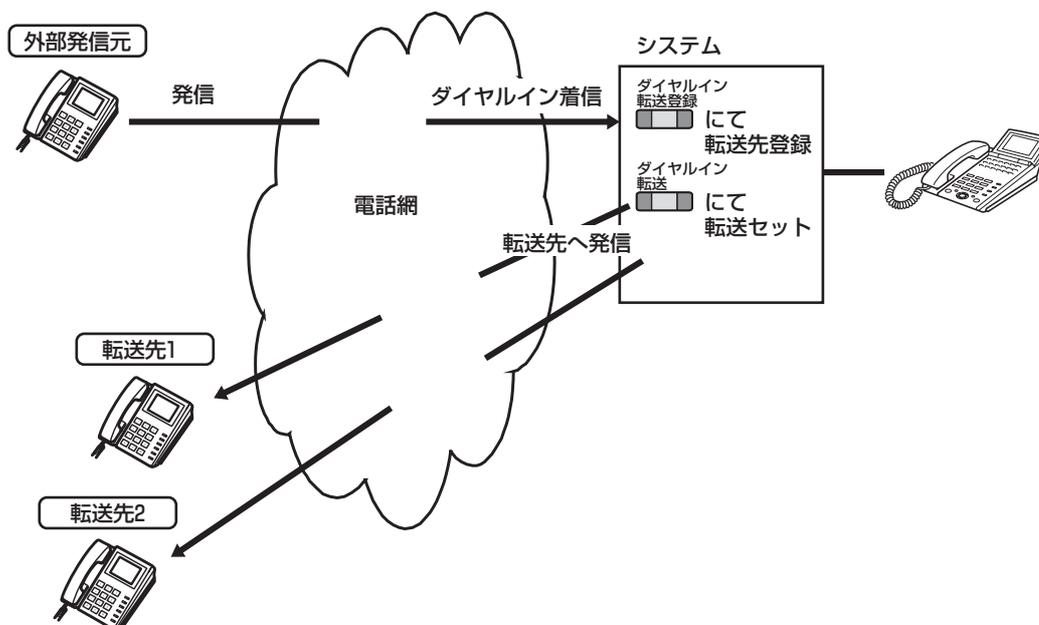
	転送電話パターン			
	一般着信	着番号毎転送	発信者番号毎転送	不在転送
適用回線	アナログ回線、ISDN 回線、IP 回線			
転送対象	一般着信	ダイヤルイン着信	一般着信 （発信者番号通知）	内線着信 ダイヤルイン個別着信 DISA 着信
操作ボタン	転送電話登録、転送電話	ダイヤルイン転送登録、ダイヤルイン転送	発番号転送登録、発番号転送	不在転送
転送モード	即時転送・未応答転送			即時転送 話中・未応答転送 未応答転送
転送先登録	最大 2ヵ所			最大 3ヵ所 （外線は最大 2ヵ所）
一斉呼び出し < 3WAY コール>	可			不可
外線からの設定／変更	可 （サブアドレス通知により設定します。）			不可

Note

- 転送電話（一般着信、着番号毎転送、発信者番号毎転送）を動作させるには、着信指定（外線ごとに着信する電話機の指定）をする必要があります。取り付け時設定

1．一般着信

あらかじめ、ある外線に着信があったときの転送先ダイヤル番号を転送先ボックスに設定しておくことで、その外線に着信があったときに、転送先ボックスに設定された転送先を呼び出して、外線着信を転送することができます。

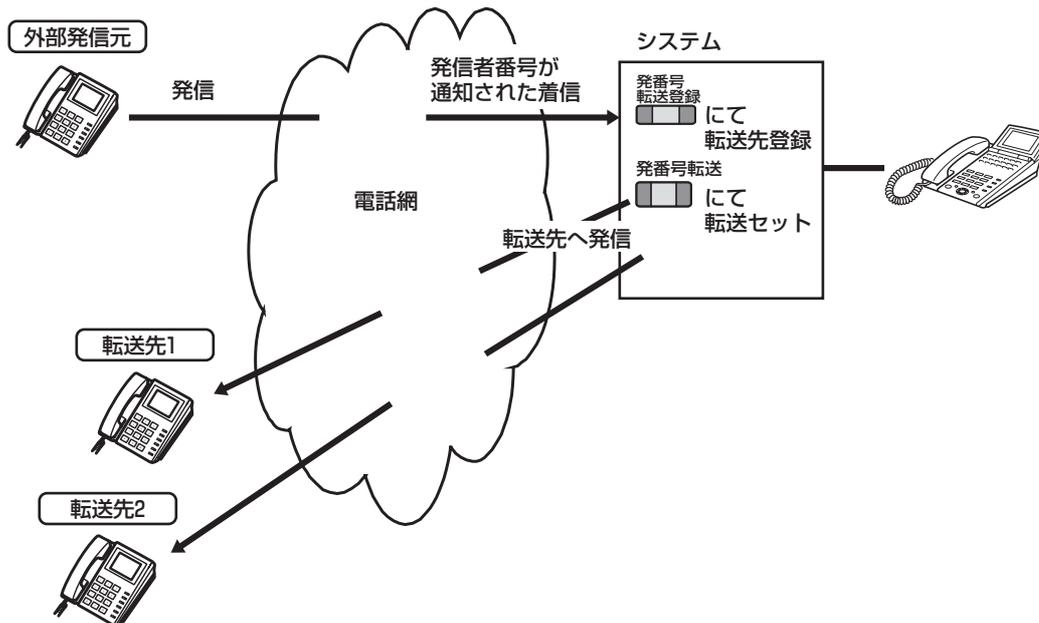
転送するには、転送電話のグループ（1 ～ 4）と転送先ボックス（0 ～ 9）を設定する必要があります。1 つの転送電話のグループに設定できる転送先ボックスは 1 つです。また、1 つの転送先ボックスに設定できる転送先ダイヤル番号は 2 つです。

転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うこともできます。

2．着番号毎転送（NTT ダイヤルイン／ i ナンバー）

あらかじめ、ダイヤルイン着信があったときの転送先ダイヤル番号を、着番号ごとに転送先ボックスに設定しておくことで、ダイヤルイン着信を転送することができます。

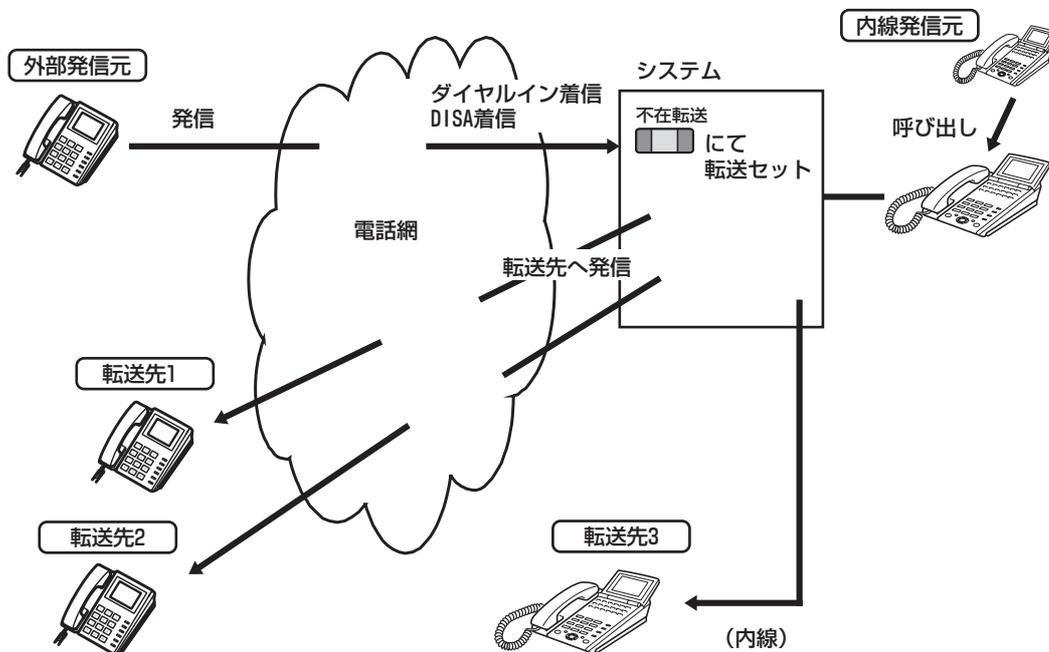
転送するには、着番号転送のグループ（1 ～ 100）と転送先ボックス（0 ～ 99）を設定する必要があります。また、1 つの転送先ボックスに設定できる転送先ダイヤル番号は 2 つです。

転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うこともできます。

3. 発信者番号毎転送< VIP 転送>

あらかじめ、発信者番号が通知された着信の転送先ダイヤル番号を、発信者番号ごとに転送先ボックスに設定しておくことで、発信者番号が通知された着信を転送することができます。

転送するには、発信者番号転送のグループ（1 ～ 10）と転送先ボックス（0 ～ 9）を設定する必要があります。また、1 つの転送先ボックスに設定できる転送先ダイヤル番号は 2 つです。

転送電話の開始／停止、転送先ボックスの設定／変更は、サブアドレス通知が可能な電話機から行うこともできます。

4. 個別着信の不在転送

あらかじめ多機能電話機に転送先を設定しておくことで、不在転送を登録した多機能電話機に内線着信・ダイヤルイン着信・DISA 着信があったときに、設定された転送先へ不在転送をすることができます。

転送先は最大 3ヵ所（うち、外線は最大 2ヵ所）まで設定することができます。

自動転送 (一斉呼び出し< 3WAY コール>)

外線に着信があったときに、着信指定された電話機への鳴音と転送先の呼び出しを同時（一斉）に行うことができます。
一斉呼び出し< 3WAY コール>を行うには、転送移行時間の登録時に 99 秒を設定します。

手動転送（外線間転送）

外線とお話し中に、別の外線を使用して転送用の外線を呼び出した後、お話し中の外線と転送用の外線を接続して転送することができます。

Note

- **アナログ回線の場合、転送電話を終話しても即時、回線を切断できない場合があります。この場合、あらかじめ登録した終話条件により回線を切断します。**

自動転送（一般着信・着番号毎転送・発信者番号毎転送）

電話機から転送先を登録／確認する

電話機から転送先を登録する（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [転送電話登録] を押します。

[転送電話登録] が赤色に点滅します。

転送先ボックス

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [転送電話登録] の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

[0] から [9]（番）をダイヤルしてください。

第1転送先　ボックス 1

4. 第 1 転送先の番号をダイヤルします。
続けて第 2 転送先を登録する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を登録しない場合は、手順 7 に進みます。

電話番号をダイヤルする場合

転送先の電話番号（最大 48 桁）をダイヤルします。

第1転送先　ボックス 1
03XXXX1111

短縮番号をダイヤルする場合

[短縮] を押した後、短縮番号をダイヤルします。

第1転送先　ボックス 1
短縮:0001

Note

- 登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
- 短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
  - ・短縮番号が 2 桁の場合：00 ～ 89
  - ・短縮番号が 3 桁の場合：000 ～ 899 [取り付け時設定]
  - ・短縮番号が 4 桁の場合：0000 ～ 0999 [取り付け時設定]

5. （第２転送先を入力する場合）機能を押します。

第2転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1

6. （第２転送先を入力する場合）第２転送先の番号をダイヤルします。

第2転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX2222

7. 転送電話登録 を押します。

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、転送電話登録 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- 第１転送先に転送できない場合、第２転送先に転送します。第２転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

電話機から転送先を登録する（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. ダイヤルイン転送登録 を押します。

ダイヤルイン転送登録 が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにダイヤルイン転送登録 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

転送先ﾎﾞｯｸｽ

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

0 0 から 9 9 (番）をダイヤルしてください。

第1転送先　　ﾎﾞｯｸｽ01

4 外線転送（転送電話）機能編

4. 第 1 転送先の番号をダイヤルします。
続けて第 2 転送先を登録する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を登録しない場合は、手順 7 に進みます。

電話番号をダイヤルする場合

転送先の電話番号（最大 48 桁）をダイヤルします。

```
第1転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
          03XXXX1111
```

短縮番号をダイヤルする場合

短縮 を押した後、短縮番号をダイヤルします。

```
第1転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
短縮:0001
```

Note

- 登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
- 短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
  - ・短縮番号が 2 桁の場合：00 ～ 89
  - ・短縮番号が 3 桁の場合：000 ～ 899 取り付け時設定
  - ・短縮番号が 4 桁の場合：0000 ～ 0999 取り付け時設定

5. （第 2 転送先を入力する場合）機能 を押します。

```
第2転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
```

6. （第 2 転送先を入力する場合）第 2 転送先の番号をダイヤルします。

```
第2転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
          03XXXX2222
```

7. ダイヤルイン転送登録 を押します。
登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、
ダイヤルイン転送登録 が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- 第 1 転送先に転送できない場合、第 2 転送先に転送します。第 2 転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

電話機から転送先を登録する（発信者番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、［スピーカ］を押します。

内線
11

2. ［発番号転送登録］を押します。

［発番号転送登録］が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［発番号転送登録］の割り付けを行う必要があります。

［取り付け時設定］

転送先ﾎﾞｯｸｽ

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

［0］から［9］（番）をダイヤルしてください。

第1転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1

4. 第 1 転送先の番号をダイヤルします。

続けて第 2 転送先を登録する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を登録しない場合は、手順 7 に進みます。

電話番号をダイヤルする場合

転送先の電話番号（最大 48 桁）をダイヤルします。

第1転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

短縮番号をダイヤルする場合

［短縮］を押した後、短縮番号をダイヤルします。

第1転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1
短縮:0001

Note

- 登録時に使用できる短縮番号は、共通短縮ダイヤルのみです。
- 短縮番号の桁数に応じて、登録できる共通短縮ダイヤルが異なります。
  - ・短縮番号が 2 桁の場合：00 〜 89
  - ・短縮番号が 3 桁の場合：000 〜 899［取り付け時設定］
  - ・短縮番号が 4 桁の場合：0000 〜 0999［取り付け時設定］

5. （第 2 転送先を入力する場合）［機能］を押します。

第2転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1

6. （第 2 転送先を入力する場合）第 2 転送先の番号をダイヤルします。

第2転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX2222

7. 発番号転送登録 を押します。
登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、
発番号転送登録 が消灯します。

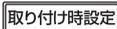
4月 8日(火)16:35
11

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

● 第 1 転送先に転送できない場合、第 2 転送先に転送します。第 2 転送先にも転送できない場合は、一般着信になります。

電話機から転送先を確認する（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送電話登録 を押します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 転送電話登録 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

転送先ﾎﾞｯｸｽ

3. 転送先を確認する転送先ボックス番号をダイヤルします。
0 から 9 （番）をダイヤルしてください。
登録している第 1 転送先がディスプレイに表示されます。
続けて第 2 転送先を確認する場合は、手順 4 に進みます。
第 2 転送先を確認しない場合は、手順 5 に進みます。

第1転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

4. （第 2 転送先を確認する場合）機能 を押します。
登録している第 2 転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX2222

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

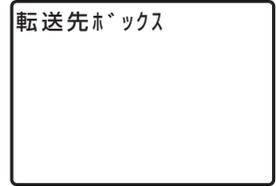
電話機から転送先を確認する（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. ダイヤルイン転送登録 を押します。

ダイヤルイン転送登録 が赤色に点滅します。

転送先ﾎﾞｯｸｽ

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに ダイヤルイン転送登録 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 転送先を確認する転送先ボックス番号をダイヤルします。

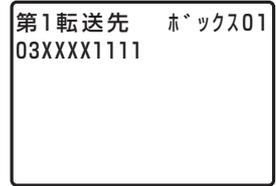
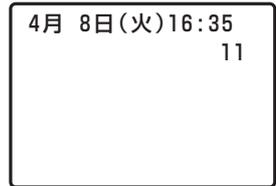
0 0 から 9 9（番）をダイヤルしてください。
登録している第 1 転送先がディスプレイに表示されます。
続けて第 2 転送先を確認する場合は、手順 4 に進みます。
第 2 転送先を確認しない場合は、手順 5 に進みます。

第1転送先　ﾎﾞｯｸｽ01
03XXXX1111

4. （第 2 転送先を確認する場合）機能 を押します。
登録している第 2 転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先　ﾎﾞｯｸｽ01
03XXXX2222

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

電話機から転送先を確認する（発信者番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [発番号転送登録] を押します。

[発番号転送登録] が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[発番号転送登録] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

転送先ﾎﾞｯｸｽ

3. 転送先を確認する転送先ボックス番号をダイヤルします。

[0]から[9]（番）をダイヤルしてください。
登録している第 1 転送先がディスプレイに表示されます。
続けて第 2 転送先を確認する場合は、手順 4 に進みます。
第 2 転送先を確認しない場合は、手順 5 に進みます。

第1転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

4. （第 2 転送先を確認する場合）[機能]を押します。
登録している第 2 転送先がディスプレイに表示されます。

第2転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX2222

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

電話機から転送先ボックスを割り付ける／解除する

電話機から転送先ボックスを割り付ける（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送先ボックスを割り付ける転送電話グループの 転送電話 を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

転送先ﾎﾞｯｸｽ

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 転送電話 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

0 から 9 (番）をダイヤルしてください。

転送先ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

4. 転送電話 を押します。

割り付けが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、転送電話 が赤色に点灯し、転送電話がオン（転送する）になります。

4月 8日(火)16:35
11

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

電話機から転送先ボックスを割り付ける（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送先ボックスを割り付ける転送電話グループの ダイヤルイン転送 を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

転送先ﾎﾞｯｸｽ

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに ダイヤルイン転送 の割り付けを行う必要があります。

3. **転送先ボックス番号をダイヤルします。**

0 0 から 9 9 （番）をダイヤルしてください。

```
転送先ボックス　　　01
03XXXX1111
```

4. ダイヤルイン転送 **を押します。**

割り付けが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、ダイヤルイン転送 が赤色に点灯し、転送電話がオン（転送する）になります。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

5. **受話器を戻します。または、スピーカ を押します。**

電話機から転送先ボックスを割り付ける（発信者番号毎転送）

1. **受話器を上げます。または、スピーカ を押します。**

```
内線
              11
```

2. **転送先ボックスを発信者番号毎転送グループの 発番号転送 を押します。**

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。また、発番号転送 が赤色に点滅します。

```
転送先ボックス
```

Note

- **あらかじめフレキシブルボタンに 発番号転送 の割り付けを行う必要があります。**

取り付け時設定

3. **転送先ボックス番号をダイヤルします。**

0 から 9 （番）をダイヤルしてください。

```
第1転送先　　ボックス 1
03XXXX1111
```

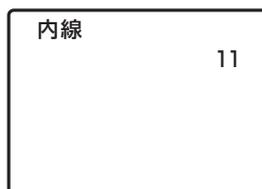
4. 発番号転送 **を押します。**

割り付けが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、発番号転送 が赤色に点灯し、転送電話がオン（転送する）になります。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

5. **受話器を戻します。または、スピーカ を押します。**

電話機から転送先ボックスを解除する（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送先ボックスの割り付けを解除する転送電話グループの転送電話 を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

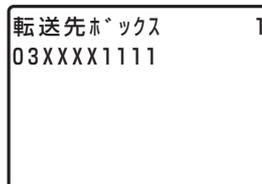
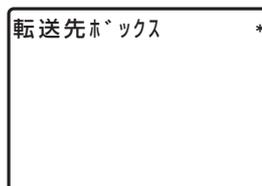
転送先ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

Note

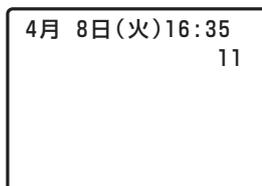
- あらかじめフレキシブルボタンに転送電話 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

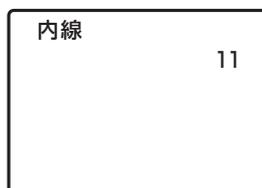
3. ＊ をダイヤルします。

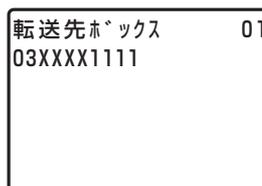
転送先ﾎﾞｯｸｽ ＊

4. 転送電話 を押します。

割り付けの解除が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、転送電話 が消灯し、転送電話がオフ（転送しない）になります。

4月 8日(火)16:35
11

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

電話機から転送先ボックスを解除する（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送先ボックスの割り付けを解除する転送電話グループのダイヤルイン転送 を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

転送先ﾎﾞｯｸｽ 01
03XXXX1111

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにダイヤルイン転送 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. [＊]をダイヤルします。

```
転送先ﾎﾞｯｸｽ          *
```

4. [ダイヤルイン転送] を押します。

割り付けの解除が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[ダイヤルイン転送] が消灯し、転送電話がオフ（転送しない）になります。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

電話機から転送先ボックスを解除する（発信者番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

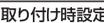
```
内線
              11
```

2. 転送先ボックスの割り付けを解除する発信者番号毎転送グループの [発番号転送] を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。また、[発番号転送] が赤色に点滅します。

```
転送先ﾎﾞｯｸｽ          3
03XXXX5555
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [発番号転送] の割り付けを行う必要があります。 [取り付け時設定]

3. [＊]をダイヤルします。

```
転送先ﾎﾞｯｸｽ          *
```

4. [発番号転送] を押します。

割り付けの解除が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[発番号転送] が消灯し、転送電話がオフ（転送しない）になります。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

電話機から転送移行時間を登録する

電話機から転送移行時間を登録する（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. 転送移行時間を登録する転送電話グループの[転送電話] を押します。
現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

転送先ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[転送電話] の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. [#]をダイヤルします。
現在、設定されている転送移行時間がディスプレイに表示されます。

転送移行時間ﾎﾞｯｸｽ 1
20

4. 転送移行時間をダイヤルします。

[0][0]から[9][9](秒）をダイヤルしてください。

転送移行時間ﾎﾞｯｸｽ 1
30

Note

● 転送移行時間は、第 1 転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
・0 秒を設定した場合、電話機には着信せず、即時に転送します。
・99 秒を設定した場合、指定した電話機への着信と第 1 転送先、第 2 転送先への転送を同時に行います（一斉呼び出し）。

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● 第 1 転送先から第 2 転送先（または一般着信）、第 2 転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。取り付け時設定

電話機から転送移行時間を登録する（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送移行時間を登録する転送電話グループの ダイヤルイン転送 を押します。
現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。

転送先ﾎﾞｯｸｽ 01
03XXXX1111

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに ダイヤルイン転送 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. ＃ をダイヤルします。
現在、設定されている転送移行時間がディスプレイに表示されます。

転送移行時間 ﾎﾞｯｸｽ01
20

4. 転送移行時間をダイヤルします。
0 0 から 9 9（秒）をダイヤルしてください。

転送移行時間 ﾎﾞｯｸｽ01
30

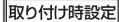
Note

- 転送移行時間は、第 1 転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
  - ・0 秒を設定した場合、電話機には着信せず、即時に転送します。
  - ・99 秒を設定した場合、指定した電話機への着信と第 1 転送先、第 2 転送先への転送を同時に行います（一斉呼び出し）。

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 第 1 転送先から第 2 転送先（または一般着信）、第 2 転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。取り付け時設定

電話機から転送移行時間を登録する（発信者番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
        11
```

2. 転送移行時間を登録する発信者番号毎転送グループの[発番号転送] を押します。

現在、割り付けている転送先ボックス番号、第 1 転送先がディスプレイに表示されます。また、[発番号転送] が赤色に点滅します。

```
転送先ﾎﾞｯｸｽ    1
03XXXX1111
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[発番号転送] の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

3. [#]をダイヤルします。

現在、設定されている転送移行時間がディスプレイに表示されます。

```
転送移行時間ﾎﾞｯｸｽ 1
20
```

4. 転送移行時間をダイヤルします。

[0][0]から[9][9]（秒）をダイヤルしてください。

```
転送移行時間ﾎﾞｯｸｽ 1
30
```

Note

- 転送移行時間は、第 1 転送先に転送するまでの間、電話機に着信させる時間です。
  - ・0 秒を設定した場合、電話機には着信せず、即時に転送します。
  - ・99 秒を設定した場合、指定した電話機への着信と第 1 転送先、第 2 転送先への転送を同時に行います（一斉呼び出し）。

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

```
4月 8日(火)16:35
        11
```

Note

- 第 1 転送先から第 2 転送先（または一般着信）、第 2 転送先から一般着信に移行する時間は、取り付け時に設定します。取り付け時設定

4

外線転送（転送電話）機能編

電話機から転送を取り消す

電話機から転送先を取り消す（一般着信）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 転送電話登録 を押します。

転送電話登録 が赤色に点滅します。

転送先ボックス

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 転送電話登録 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

0 から 9 (番）をダイヤルしてください。

第1転送先　ボックス 1
03XXXX1111

4. クリア/再ダイヤル を押します。

第 1 転送先の電話番号が消去されます。
続けて第 2 転送先を消去する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を消去しない場合は、手順 7 に進みます。

第1転送先　ボックス 1

5. （第 2 転送先を消去する場合）機能 を押します。

第2転送先　ボックス 1
03XXXX2222

6. （第 2 転送先を消去する場合）クリア/再ダイヤル を押します。

第 2 転送先の電話番号が消去されます。

第2転送先　ボックス 1

7. 転送電話登録 を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、
転送電話登録 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

電話機から転送先を取り消す（着番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

```
内線
            11
```

2. ダイヤルイン転送登録 を押します。

ダイヤルイン転送登録 が赤色に点滅します。

```
転送先ﾎﾞｯｸｽ
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにダイヤルイン転送登録 の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

0 0 から 9 9（番）をダイヤルしてください。

```
第1転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
03XXXX1111
```

4. クリア/再ダイヤル を押します。

第 1 転送先の電話番号が消去されます。
続けて第 2 転送先を消去する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を消去しない場合は、手順 7 に進みます。

```
第1転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
```

5. （第 2 転送先を消去する場合）機能 を押します。

```
第2転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
03XXXX2222
```

6. （第 2 転送先を消去する場合）クリア/再ダイヤル を押します。

第 2 転送先の電話番号が消去されます。

```
第2転送先    ﾎﾞｯｸｽ01
```

7. ダイヤルイン転送登録 を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、ダイヤルイン転送登録 が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。

電話機から転送先を取り消す（発信者番号毎転送）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 発番号転送登録 を押します。

発番号転送登録 が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 発番号転送登録 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

転送先ﾎﾞｯｸｽ

3. 転送先ボックス番号をダイヤルします。

0 から 9 （番）をダイヤルしてください。

第1転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX1111

4. クリア/再ダイヤル を押します。

第 1 転送先の電話番号が消去されます。
続けて第 2 転送先を消去する場合は、手順 5 に進みます。
第 2 転送先を消去しない場合は、手順 7 に進みます。

第1転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1

5. （第 2 転送先を消去する場合）機能 を押します。

第2転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1
03XXXX2222

6. （第 2 転送先を消去する場合）クリア/再ダイヤル を押します。

第 2 転送先の電話番号が消去されます。

第2転送先　　ﾎﾞｯｸｽ 1

7. 発番号転送登録 を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、発番号転送登録 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

8. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

電話機から転送電話をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、転送電話のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。

電話機から転送電話をオン／オフする（一般着信）

1. 受話器を置いたまま、転送電話 を押し、転送電話をオフにします。

転送電話がオフになると、転送電話 が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 転送電話 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 再び 転送電話 を押すと、転送電話はオンになります。

転送電話がオンになると、転送電話 が赤色に点灯します。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

電話機から転送電話をオン／オフする（着番号毎転送）

1. 受話器を置いたまま、ダイヤルイン転送 を押し、転送電話をオフにします。

転送電話がオフになると、ダイヤルイン転送 が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに ダイヤルイン転送 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 再び ダイヤルイン転送 を押すと、転送電話はオンになります。

転送電話がオンになると、ダイヤルイン転送 が赤色に点灯します。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

電話機から転送電話をオン／オフする（発信者番号毎転送）

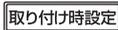
4月 8日(火)16:35
11

1. 受話器を置いたまま、発番号転送 を押し、転送電話をオフにします。

転送電話がオフになると、発番号転送 が消灯します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 発番号転送 の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

2. 再び 発番号転送 を押すと、転送電話はオンになります。

転送電話がオンになると、発番号転送 が赤色に点灯します。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

外出先から転送電話をオン／オフする 取り付け時設定

Note

- 外出先から転送電話の設定／変更を行うには、システムでリモート特番の設定が必要です。設定内容の確認または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

外出先から転送電話をオフする（一般着信）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【0】を押します。

5. 転送電話グループ番号をダイヤルします。
【1】から【4】（番）をダイヤルしてください。

6. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

7. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

外出先から転送電話をオフする（着番号毎転送）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【0】を押します。

5. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

6. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

外出先から転送電話をオフする（発信者番号毎転送）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【0】を押します。

5. 転送グループ番号をダイヤルします。
【0】【1】から【1】【0】（番）をダイヤルしてください。

6. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

7. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

外出先から転送電話をオンする（一般着信）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【1】を押します。

5. 転送電話グループ番号をダイヤルします。
【1】から【4】（番）をダイヤルしてください。

6. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

7. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

外出先から転送電話をオンする（着番号毎転送）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【1】を押します。

5. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

6. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

外出先から転送電話をオンする（発信者番号毎転送） ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【1】を押します。

5. 転送グループ番号をダイヤルします。
【0】【1】から【1】【0】（番）をダイヤルしてください。

6. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

7. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

Note

- 転送先ボックスの割り付けを解除している場合は、転送電話はオンになりません。

外出先から転送ボックスを割り付ける 取り付け時設定

外出先から転送先ボックスを割り付ける（一般着信） ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【2】を押します。

5. 転送電話グループ番号をダイヤルします。
【1】から【4】（番）をダイヤルしてください。

6. 転送先ボックス番号をダイヤルします。
【0】から【9】（番）をダイヤルしてください。

7. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

8. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

外出先から転送先ボックスを割り付ける（着番号毎転送）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【2】を押します。

5. 転送先ボックス番号をダイヤルします。
【0】【0】から【9】【9】（番）をダイヤルしてください。

6. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

7. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

外出先から転送先ボックスを割り付ける（発信者番号毎転送）ISDN

1. 外出先から、転送先が登録されている電話番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. リモート特番（初期値：【9】【4】）をダイヤルします。

4. 【2】を押します。

5. 転送グループ番号をダイヤルします。
【0】【1】から【1】【0】（番）をダイヤルしてください。

6. 転送先ボックス番号をダイヤルします。
【0】から【9】（番）をダイヤルしてください。

7. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

8. 呼び出し音が聞こえたら、電話を切ります。
設定に失敗した場合は、話中音が聞こえます。

Note

- 外出先から転送電話の設定／変更を行うには、システムでリモート特番の設定が必要です。設定内容の確認または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

不在転送先を外線に転送する<不在転送ールート方式>

メニューオペレーションで転送先を登録／取り消す

転送先を登録する

1. **受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. **音量▲▼ を押し、"不在転送設定"にカーソルを合わせます。**

3. **決定 を押します。**
不在転送／解除選択画面が表示されます。

不在転送／解除選択
▶不在転送設定
不在転送解除設定
戻る

4. **音量▲▼ を押し、"不在転送設定"にカーソルを合わせます。**

5. **決定 を押します。**
ルート選択画面が表示されます。

ルート選択
▶ルート１
ルート２
戻る

6. **目的のルートを選択します。**
転送モード選択画面が表示されます。

転送モード選択
▶即時転送
話中・未応答転送
未応答転送
戻る

7. **目的の不在転送モードを選択します。**
各不在転送モードにカーソルを合わせると、以下のように、現在の設定内容を表示します。

即時転送選択時
（内線番号設定が有る時）

転送モード選択
▶即時転送
話中・未応答転送
未応答転送
戻る
　内線へ転送

即時転送選択時
（短縮番号設定が有る時）

転送モード選択
▶即時転送
話中・未応答転送
未応答転送
戻る
　短縮へ転送

話中・未応答転送選択時
（内線番号設定が有る時）

転送モード選択
即時転送
▶話中・未応答転送
未応答転送
戻る
　内線へ転送

未応答転送選択時
（内線番号設定が有る時）

転送モード選択
即時転送
話中・未応答転送
▶未応答転送
戻る
　内線へ転送

8. 決定 を押します。

転送先選択画面が表示されます。

```
転送先選択
▶内線番号
 短縮番号
 戻る
```

9. 目的の転送先選択項目（内線番号／短縮番号）を選択します。

各項目にカーソルを合わせると、以下のように、現在の設定内容を表示します。

内線番号選択時
（転送先設定が有る時）

```
転送先選択
▶内線番号
 短縮番号
 戻る

 nn
```

短縮番号選択時
（転送先設定が有る時）

```
転送先選択
 内線番号
▶短縮番号
 戻る

 nnnn
```

10. 決定 を押します。

転送先番号入力画面（内線番号入力画面／短縮番号入力画面）が表示されます。

```
内線番号を入力
      してください


              nn
```

```
短縮番号を入力
      してください


            nnnn
```

11. 転送先番号をダイヤルします。

短縮番号を登録する場合、電話帳登録（共通短縮ダイヤル登録）により、短縮ダイヤルの登録が必要です。

12. ダイヤルが正しければ、決定 を押します。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後にメインメニュー画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に転送先番号入力画面に戻ります。

転送先を取り消す

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. 音量▲▼ を押し、"不在転送設定"にカーソルを合わせます。

3. 決定 を押します。
不在転送／解除選択画面が表示されます。

不在転送／解除選択
▶不在転送設定
不在転送解除設定
戻る

4. 音量▲▼ を押し、"不在転送解除設定"にカーソルを合わせます。

不在転送／解除選択
不在転送設定
▶不在転送解除設定
戻る

5. 決定 を押します。
ルート解除画面が表示されます。

ルート解除
▶ルート１
ルート２
全ルート
戻る

6. 目的のルートを選択し、決定 を押します。
解除が完了した場合、設定完了画面が表示され、３秒後にメインメニュー画面に戻ります。
解除できなかった場合、設定不完了画面が表示され、３秒後にルート解除画面に戻ります。

Note

- 不在転送方式が"単一方式"の場合、ルート１のみ設定が有効となります。設定内容のご確認や、設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

転送先を登録する

1. **受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。**

内線
11

2. **[不在転送] を押します。**

[不在転送] が赤色に点滅します。

不在転送ルート[1/2]
[*]解除 [#]その他

3. **ルート番号（[1]または[2]）を押します。**

[1]: ルート 1

[2]: ルート 2

不在転送ﾓｰﾄﾞ1[1,2,3]
[*]解除

Note

● **ルート番号 2 を登録したときは、必ずルート番号 1 も登録してください。**

4. **転送モード（[1]〜[3]）を押します。**

[1]: 即時転送モード

[2]: 話中・未応答転送モード

[3]: 未応答転送モード

即時転送先

5. **[短縮]を押します。**

発信先 短縮:
11

6. **転送先の短縮番号をダイヤルします。**

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、ルート番号 1 に登録した転送モードにより、[不在転送] が赤色に点灯または点滅します。

0004
11

Information

◆ **転送先が登録不可のときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。**

7. **受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。**

続けて、別のルート番号の転送先を登録する場合は、再度、手順 1 から登録操作を行います。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- ルート３は取り付け時の設定で登録します。取り付け時設定
- ルート３は内線専用です。
- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。

不在転送をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。

1. 受話器を置いたまま、[不在転送] を押し、不在転送をオフにします。

不在転送がオフになると、[不在転送] が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

2. 再び[不在転送] を押すと、不在転送はオンになります。

不在転送がオンになると、[不在転送] が赤色に点灯します。

転送先を一括して取り消す

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
             11
```

2. [不在転送] [＊]を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[不在転送] が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

3. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

Note

- この操作を行うと、登録しているルート番号１とルート番号２の転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。
- ルート番号３の登録を取り消すには、設定を変更する必要があります。取り付け時設定

転送先をルートごとに取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 を押します。

不在転送ルート[1/2]
[*]解除 [#]その他

3. ルート番号（1または2）を押します。

不在転送ﾓｰﾄﾞ1[1,2,3]
[*]解除

4. * を押します。
取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。ルート番号 1 が取り消された場合、不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。

不在転送先を外線に転送する<不在転送－単一方式>

取り付け時設定

転送先を登録する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [不在転送] を押します。

[不在転送] が赤色に点滅します。

不在転送ﾓｰﾄﾞ [1,2,3]
[*]解除 [#]その他

3. 転送モード（[1]～[3]）を押します。

[1]：即時転送モード

[2]：話中・未応答転送モード

[3]：未応答転送モード

即時転送先

4. [短縮] を押します。

発信先 短縮:
11

5. 転送先の短縮番号をダイヤルします。

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

[不在転送] のランプ表示は、登録した転送モードにより異なります。

即時転送モード：赤色に点灯
話中・未応答転送モード：赤色に点滅
未応答転送モード：赤色に点滅、消灯を繰り返す

0004
11

Information

◆ 転送先が登録不可のときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。

6. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。

4

外線転送（転送電話）機能編

不在転送先をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。

1. 受話器を置いたまま、[不在転送] を押し、不在転送をオフにします。

不在転送がオフになると、[不在転送] が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

2. 再び[不在転送] を押すと、不在転送はオンになります。

不在転送がオンになると、[不在転送] が赤色に点灯します。

転送先を取り消す

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
              11
```

2. [不在転送] [＊]を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[不在転送] が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

3. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

Note

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。

固定不在転送 取り付け時設定

転送先を固定的に割付けておくことができます。転送の登録操作をしなくても必ず転送します。

Note

- 固定不在転送を設定している場合でも、不在転送 を使って不在転送の登録を変更することができます。
- 不在転送 を使った登録を一時休止および解除した場合、固定不在転送で設定された転送先と転送モードに戻ります。

転送電話アナウンス 取り付け時設定

自動転送が行われているときは、転送先の相手に対して転送電話であることを通知するメッセージを流すことができます。
メッセージには、固定メッセージが用意されています。

転送先の相手に対するメッセージ

転送電話に応答したときに、転送電話であることを知らせせるメッセージを流します。
固定メッセージ：「転送電話です。」

各メッセージは、任意に録音したメッセージを使用することもできます。
各メッセージの録音方法は、「音声案内（P.6-79）」を参照してください。
メッセージが録音されている場合は、録音したメッセージが優先して流れます。
メッセージが録音されていない場合は、固定メッセージが流れます。

手動転送

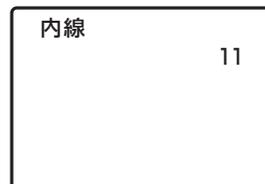
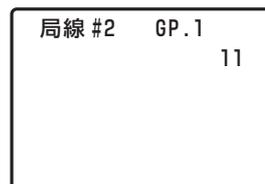
外線への手動転送 <外線間会議 接続キー> 取り付け時設定

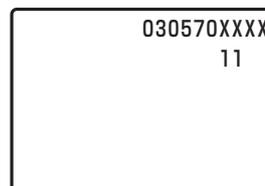
外線とお話し中に一旦保留にした後、転送先にダイヤルして転送先が応答したのを確認してから転送することができます。

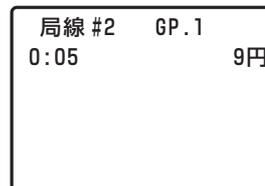
1. 外線とお話し中に（保留）を押します。

内線
11

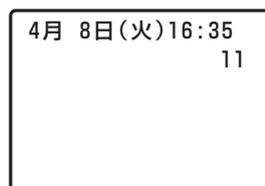
2. 空いている［外線］を押します。

局線 #2　GP.1
11

3. 転送先の電話番号をダイヤルします。

030570XXXX
11

4. 相手が応答したら、電話を転送することを伝えます。

局線 #2　GP.1
0:05　9円

5. ［接続］を押します。

保留した外線と転送先の相手が通話状態になります。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［接続］の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

6. 受話器を戻します。

留守番電話機能編

メニューオペレーションで留守番電話を操作する

メニューオペレーションの留守番／メール設定メニューで、個別ボックス、グループボックス、同報ボックスの留守番動作に関する設定ができます。
各ボックスのボックス番号およびパスワードについては、お買い求めの販売店にご相談ください。

取り付け時設定

お買い求め時（初期値）は、以下になります。

ボックス	ボックス番号	再生パスワード	設定パスワード
個別ボックス	11 ～ 58	0011 ～ 0058	1111
グループボックス	59 ～ 70	0059 ～ 0070	1111

留守録機能を動作させるためには、あらかじめ設定が必要です。 取り付け時設定

ボックス	設定		
･個別ボックス ･グループボックス	留守番設定	応答メッセージ選択	
		留守録モニタ動作	
		留守録自動発報設定	呼出先ダイヤル設定
			動作モード
			発報時刻
	メッセージ自動消去	消去除外ボックス設定	
		消去対象属性条件選択	
	パスワード変更	再生パスワード変更	
		設定パスワード変更	
同報ボックス	所属ボックス設定		

応答メッセージを選択する

1. **受話器を置いたまま、［メニュー］または（決定）を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. **［▲音量］［▼］を押し、“留守番／メール設定”にカーソルを合わせます。**

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. **（決定）を押します。**
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. **［▲音量］［▼］を押し、“個別ボックス”または“グループボックス”にカーソルを合わせます。**

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

Note

- 個別留守番の場合は“個別ボックス”、グループ留守番の場合は“グループボックス”を選択します。

5. （決定）を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. （決定）を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

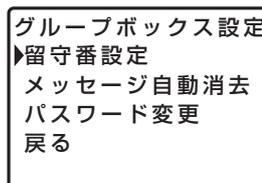
8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. （決定）を押します。
個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

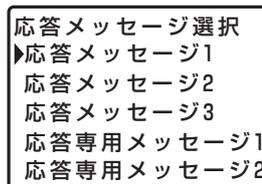
グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. （▲音量▼）を押し、“留守番設定”にカーソルを合わせます。

11. （決定）を押します。
留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. （▲音量▼）を押し、“応答メッセージ選択”にカーソルを合わせます。

13. （決定）を押します。
応答メッセージ選択画面が表示されます。

応答メッセージ選択
▶応答メッセージ1
応答メッセージ2
応答メッセージ3
応答専用メッセージ1
応答専用メッセージ2

14. 設定したい応答メッセージを選択し、（決定）を押します。
設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に留守番設定画面に戻ります。
設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に応答メッセージ選択画面に戻ります。

留守録モニタ動作を選択する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス" または "グループボックス" にカーソルを合わせます。

Note

● 個別留守番の場合は "個別ボックス"、グループ留守番の場合は "グループボックス" を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. (決定)**を押します。**

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. (▲音量)(▼)**を押し、"留守番設定"にカーソルを合わせます。**

11. (決定)**を押します。**

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. (▲音量)(▼)**を押し、"留守録モニタ動作"にカーソルを合わせます。**

留守番設定
応答メッセージ選択
▶留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

13. (決定)**を押します。**

留守録モニタ動作設定画面が表示されます。

留守録モニタ動作設定
▶不可
自動
手動
戻る

14. 設定したい動作を選択し、(決定)**を押します。**

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に留守番設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に留守録モニタ動作設定画面に戻ります。

呼出先ダイヤルを設定する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

ボックス種別選択
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス" または "グループボックス" にカーソルを合わせます。

Note

- 個別留守番の場合は "個別ボックス"、グループ留守番の場合は "グループボックス" を選択します。

ボックス種別選択
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. （決定）を押します。

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. （▲音量▼）を押し、"留守番設定"にカーソルを合わせます。

11. （決定）を押します。

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. （▲音量▼）を押し、"留守録自動発報"にカーソルを合わせます。

留守番設定
応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
▶留守録自動発報
お知らせメール

13. （決定）を押します。

留守録自動発報設定画面が表示されます。

留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード
発報時刻１
発報時刻２

14. （▲音量▼）を押し、"呼出先ダイヤル"にカーソルを合わせます。

15. （決定）を押します。

呼出先ダイヤル設定画面が表示されます。

呼出先ダイヤル?

16. 呼び出し先の電話番号をダイヤルし、（決定）を押します。

内線を呼び出す場合は、呼び出し先の内線番号を登録します。外線を呼び出す場合は、外線アクセス番号または外線グループアクセス番号と、呼び出し先電話番号を登録します。外線アクセス番号または外線グループアクセス番号の後に、ポーズ時間の登録（（保留）を押した後、ポーズ時間（1 ～ 9 秒）を押します）が必要な場合があります。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に呼出先ダイヤル設定画面に戻ります。

Note

● 呼び出し先の電話番号をなしに設定することはできません。

動作モードを設定する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス" または "グループボックス" にカーソルを合わせます。

Note

- 個別留守番の場合は "個別ボックス"、グループ留守番の場合は "グループボックス" を選択します。

留守録／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. (決定)を押します。

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. ▲音量▼ を押し、"留守番設定"にカーソルを合わせます。

11. (決定)を押します。

留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. ▲音量▼ を押し、"留守録自動発報"にカーソルを合わせます。

留守番設定
応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
▶留守録自動発報
お知らせメール

13. (決定)を押します。

留守録自動発報設定画面が表示されます。

留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード
発報時刻１
発報時刻２

14. ▲音量▼ を押し、"動作モード"にカーソルを合わせます。

留守録自動発報設定
呼出先ダイヤル
▶動作モード
発報時刻１
発報時刻２

15. (決定)を押します。

動作モード設定画面が表示されます。

動作モード設定
▶無
定刻
定刻＆即時
戻る

16. 動作モードを選択し、(決定)を押します。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に動作モード設定画面に戻ります。

発報時刻を設定する

1. **受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。**
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. **▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。**

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. **決定 を押します。**
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. **▲音量▼ を押し、"個別ボックス" または "グループボックス" にカーソルを合わせます。**

Note

- **個別留守番の場合は "個別ボックス"、グループ留守番の場合は "グループボックス" を選択します。**

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. **決定 を押します。**
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. **ボックス番号を入力します。**

ボックス番号?
59

7. **決定 を押します。**
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. **設定パスワードを入力します。**

パスワード?
****

9. (決定) **を押します。**
個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. ▲音量▼ **を押し、“留守番設定”にカーソルを合わせます。**

11. (決定) **を押します。**
留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. ▲音量▼ **を押し、“留守録自動発報”にカーソルを合わせます。**

留守番設定
応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
▶留守録自動発報
お知らせメール

13. (決定) **を押します。**
留守録自動発報設定画面が表示されます。

留守録自動発報設定
▶呼出先ダイヤル
動作モード
発報時刻 1
発報時刻 2

14. ▲音量▼ **を押し、“発報時刻 1”～“発報時刻 4”にカーソルを合わせます。**

留守録自動発報設定
呼出先ダイヤル
動作モード
▶発報時刻 1
発報時刻 2

15. (決定) **を押します。**
発報時刻設定画面が表示されます。

発報時刻
:

16. 発報時刻を入力し、(決定) **を押します。**
24 時間表記で 4 桁数字を入力します。

（例：午後 3 時 30 分の場合、[1][5][3][0]を押します。）

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に留守録自動発報設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に発報時刻設定画面に戻ります。

Note

- **発報時刻をなしに設定することはできません。**

5 留守番電話機能編

消去除外ボックスを設定する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、“留守番／メール設定”にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、“個別ボックス”または“グループボックス”にカーソルを合わせます。

Note

- 個別留守番の場合は“個別ボックス”、グループ留守番の場合は“グループボックス”を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. （決定）**を押します。**

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. （▲音量▼）**を押し、"メッセージ自動消去"にカーソルを合わせます。**

グループボックス設定
留守番設定
▶メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

11. （決定）**を押します。**

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

メッセージ自動消去
▶消去除外ボックス
消去対象属性条件
戻る

12. （▲音量▼）**を押し、"消去除外ボックス"にカーソルを合わせます。**

13. （決定）**を押します。**

消去除外ボックス設定画面が表示されます。

消去除外ボックス設定
▶除外ﾎﾞｯｸｽとする
除外ﾎﾞｯｸｽとしない
戻る

14. 消去除外ボックスとするか／しないかを選択し、（決定）**を押します。**

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後にメッセージ自動消去設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に消去除外ボックス設定画面に戻ります。

消去対象属性条件を設定する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス"または"グループボックス"にカーソルを合わせます。

Note

- 個別留守番の場合は"個別ボックス"、グループ留守番の場合は"グループボックス"を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. （決定）を押します。

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. （▲音量）（▼）を押し、"メッセージ自動消去"にカーソルを合わせます。

グループボックス設定
留守番設定
▶メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

11. （決定）を押します。

メッセージ自動消去設定画面が表示されます。

メッセージ自動消去
▶消去除外ボックス
消去対象属性条件
戻る

12. （▲音量）（▼）を押し、"消去対象属性条件"にカーソルを合わせます。

メッセージ自動消去
消去除外ボックス
▶消去対象属性条件
戻る

13. （決定）を押します。

消去対象属性条件設定画面が表示されます。

消去対象属性条件
▶既読メール
保護以外
未読メール以外
全メール
戻る

14. 属性条件を選択し、（決定）を押します。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後にメッセージ自動消去設定画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に消去対象属性条件設定画面に戻ります。

再生パスワードを変更する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス"または"グループボックス"にカーソルを合わせます。

Note

- 個別留守番の場合は"個別ボックス"、グループ留守番の場合は"グループボックス"を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. (決定)を押します。

個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. ▲音量▼ を押し、"パスワード変更"にカーソルを合わせます。

グループボックス設定
留守番設定
メッセージ自動消去
▶パスワード変更
戻る

11. (決定)を押します。

パスワード変更画面が表示されます。

パスワード変更
▶再生パスワード
設定パスワード
戻る

12. ▲音量▼ を押し、"再生パスワード"にカーソルを合わせます。

13. (決定)を押します。

再生パスワード変更画面が表示されます。

再生パスワード変更

14. 変更後の再生パスワードを入力します。

再生パスワード変更
****

Note

- 再生パスワードは、数字 4 桁を入力してください。

15. (決定)を押します。

再生パスワード再入力画面が表示されます。

再生パスワード変更
****
再入力

16. もう一度、変更後の再生パスワードを入力し、(決定)を押します。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後にパスワード変更画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に再生パスワード変更画面に戻ります。

再生パスワード変更
****
再入力
****

設定パスワードを変更する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス"または"グループボックス"にカーソルを合わせます。

Note

● 個別留守番の場合は"個別ボックス"、グループ留守番の場合は"グループボックス"を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. （決定）を押します。
個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. ▲音量▼（▲）（▼）を押し、"パスワード変更"にカーソルを合わせます。

グループボックス設定
留守番設定
メッセージ自動消去
▶パスワード変更
戻る

11. （決定）を押します。
パスワード変更画面が表示されます。

パスワード変更
▶再生パスワード
設定パスワード
戻る

12. ▲音量▼（▲）（▼）を押し、"設定パスワード"にカーソルを合わせます。

パスワード変更
再生パスワード
▶設定パスワード
戻る

13. （決定）を押します。
設定パスワード変更画面が表示されます。

設定パスワード変更

14. 変更後の設定パスワードを入力します。

Note

- 設定パスワードは、数字４桁を入力してください。

設定パスワード変更
****

15. （決定）を押します。
設定パスワード再入力画面が表示されます。

設定パスワード変更
****
再入力

16. もう一度、変更後の設定パスワードを入力し、（決定）を押します。
設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、３秒後にパスワード変更画面に戻ります。
設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、３秒後に設定パスワード変更画面に戻ります。

設定パスワード変更
****
再入力
****

同報ボックスを設定する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"同報ボックス"にカーソルを合わせます。

留守番／メール設定
個別ボックス
▶同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
66

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. 決定 **を押します。**

所属ボックス選択画面が表示されます。

所属ボックス選択
▶所属ボックス1
所属ボックス2
所属ボックス3
所属ボックス4
所属ボックス5

10. 所属ボックスを選択し、決定 を押します。

ボックス番号入力画面が表示されます。

11. ボックス番号を入力し、決定 を押します。

設定が完了した場合、設定完了画面が表示され、3 秒後に所属ボックス選択画面に戻ります。

設定できなかった場合、設定不完了画面が表示され、3 秒後に所属ボックス選択画面に戻ります。

ボックス番号?
11

留守番電話

グループ留守番録音を開始／終了する 取り付け時設定

システム内の電話機をいくつかの留守番グループに分けている場合、留守番グループごとに留守番機能の開始／終了（解除）、および応答メッセージを設定できます。
留守番機能を開始すると、外線着信時にボイスメールが自動応答し、事前に録音された応答メッセージを流します。また、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音できます。
応答メッセージの設定は、「応答メッセージ（P.5-33）」を参照してください。

留守番機能の開始／解除

1. **受話器を置いたまま、［留守番］を押します。**

押すたびに、留守番機能が開始／解除されます。
留守番機能を開始すると、電話機のスピーカから現在の応答メッセージが流れ、［留守番］が赤色に点灯します。
留守番機能を解除すると、留守録されたメッセージの有無を知らせるガイダンスが電話機のスピーカから自動的にアナウンスされます。また、留守録されたメッセージの再生を行うことができます。取り付け時設定

応答ﾒｯｾｰｼﾞ 1
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［留守番］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定
- 留守番機能の開始操作を行うときに、留守録用ボックスの録音件数が 500 件に達しているか、または録音メモリ残量が不足している状態では、開始操作は無効になります。
  この場合、一旦、聞き終わって不要になった録音内容を消去（「録音された内容を保存または消去する（P.5-30)」）してから、あらためて留守番機能の開始操作を行ってください。

留守番録音の再生

録音された用件は、留守番グループに対応する留守録用の［ボックス］を押して再生します（「録音された内容を再生する（P.5-29)」）。

Note

- グループ留守番録音は、外線着信（ダイヤルイン着信、ｉ ナンバー着信、外線着信（群着））が対象です。
  ・ダイヤルイン着信の内線番号呼びや着サブアドレスなどの個別の電話機が指定される着信は、個別着信になります（「7 回線サービス編」）。
  ・DISA 着信はグループ留守番録音の対象外です。
- 各留守番グループに対応する留守録用ボックスは、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- 留守番グループごとに、着信から留守録動作に移行するまでの時間を指定できます。取り付け時設定
- 留守番グループは最大 12 グループまでです。
- 複数の電話機に同じ［留守番］が割り当てられている場合、同じ留守番グループの［留守番］に開始／終了状態が反映されます。
- 留守番機能の開始／解除操作を行うときにボイスメールのチャネルがビジーの場合、操作は無効となります。
- あらかじめフレキシブルボタンに［ボックス］、［留守番］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

個別留守番録音を開始／終了する

電話機への着信をボイスメールに不在転送し、留守番電話としての応答メッセージを流した後、電話をかけてきた人の用件を指定ボックスに録音することができます。

留守番機能の開始（不在転送の設定がルート方式のとき 取り付け時設定）

1. 受話器を上げます。または、［スピーカ］を押します。

```
内線
                 11
```

2. ［不在転送］を押します。

［不在転送］が赤色に点滅します。

```
不在転送ﾙｰﾄ [1/2]
[*]解除 [#]その他
```

3. ルート番号（［1］または［2］）を押します。

［1］: ルート 1

［2］: ルート 2

```
不在転送ﾓｰﾄﾞ1[1,2,3]
[*]解除
```

4. 転送モード（［1］～［3］）を押します。

［1］: 即時転送モード

［2］: 話中・未応答転送モード

［3］: 未応答転送モード

```
即時転送先
```

5. ボイスメールのアクセス番号をダイヤルします。

確認音（ピッピッピッ）が聞こえ、［不在転送］が赤色に点灯します。

```
                  50
                 11
```

Note

- ボイスメールのアクセス番号は、あらかじめ設定する必要があります。 取り付け時設定

6. 受話器を戻します。または、［スピーカ］を押します。

```
4月 8日(火)16:35
                 11
```

5

留守番電話機能編

留守番機能の開始（不在転送の設定が単一方式のとき 取り付け時設定）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 を押します。

不在転送 が赤色に点滅します。

不在転送ﾓｰﾄﾞ [1,2,3]
[*]解除 [#]その他

3. 転送モード（1～3）を押します。

1: 即時転送モード

2: 話中・未応答転送モード

3: 未応答転送モード

即時転送先

4. ボイスメールのアクセス番号をダイヤルします。

確認音（ピッピッピッ）が聞こえ、不在転送 が赤色に点灯します。

50
11

Note

- ボイスメールのアクセス番号は、あらかじめ設定する必要があります。取り付け時設定

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

留守番機能の解除

1. 受話器を置いたまま、不在転送 を押します。

不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

留守番録音の再生

1. 受話器を上げます。または、［スピーカ］を押します。

内線
11

2. 録音先ボックスの［ボックス］を押します。
録音されているメッセージが再生されます。

030570XXXX
再生中 山田商事

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［ボックス］の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定
- ボックスに暗証番号が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。取り付け時設定

3. メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。または、［スピーカ］を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 個別留守番録音は、あらかじめシステムで不在転送を使用できる設定にしておく必要があります。取り付け時設定
- 録音された内容は、電話機ごとにあらかじめ登録されている留守録優先ボックスに保存されます。ただし、留守録優先ボックスがあらかじめ登録されていない場合には、電話機対応ボックスに保存されます。取り付け時設定
- 応答メッセージは、録音先のボックスに録音しておいてください（「応答メッセージを録音／再生／消去する（P.5-33）」）。留守番機能で使われる応答メッセージは、あらかじめボックスごとに設定することもできます。
取り付け時設定
- 録音ボックスの録音メモリ残量が不足している場合は、応答専用メッセージが流された後、お話しが切断されます。
- 録音メモリ残量なしなどで録音が終了した場合、録音が終了した時点までの録音内容がボックスに保存されます。
- 録音可能時間は、1 件あたり最大 120 分（システム全体で 7200 分）です。

Information

◆ 不在転送の転送モード切替えにより、話中時および未応答時でもボイスメールに転送して留守番機能を使用できます。

ボイスメールにスライド着信する 取り付け時設定

外線着信時に、一定時間内に応答しない場合、自動的にボイスメールに接続することができます。ボイスメールに接続後は、リモート操作ガイダンスがアナウンスされます。
これにより、留守番電話をセットし忘れても、ボイスメールで応答できます。また、外部から伝言の再生などを行えるようになります。

Note

- スライド着信に移行するまでの時間は設定が必要です。取り付け時設定
- スライド着信先に電話機も設定されている場合、その電話機が個別留守番録音を開始している場合は、ボイスメールへのスライド着信が優先されます。

留守録中に相手の声をモニタする ＜留守録モニタ＞ 取り付け時設定

留守番録音中に、スピーカで録音内容をモニタできます。居留守などをしているときに、かけてきた相手の声を確認できます。

留守録モニタの設定

1. 受話器を置いたまま、［メニュー］または（決定）を押します。
ディスプレイにメインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. メインメニュー画面を操作して、留守録モニタの開始動作（不可／自動／手動）を選択します。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

◆ メインメニュー画面の操作は、「留守録モニタ動作を選択する（P.5-4）」を参照してください。

留守録モニタの開始動作が“自動”の場合

留守録開始音が鳴った後、留守録モニタが自動的に開始され、［留守録モニタ］が緑色に点滅します。
留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります（そのまま受話器を上げれば、スピーカから受話器に切替わります）。

Note

- 留守録モニタ中に［留守録モニタ］を押すと、ピー音が出てお話しできます。
- あらかじめフレキシブルボタンに［留守録モニタ］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

留守録モニタの開始動作が“手動”の場合

着信すると、留守録開始音（ポッ音）が鳴り、留守録モニタ が赤色に点滅します。

1. 留守番録音中に受話器を置いたまま、留守録モニタ を押します。

留守録モニタが開始され、留守録モニタ が緑色に点滅します。

留守録モニタ中は、スピーカ受話状態になります（そのまま受話器を上げれば、スピーカから受話器に切替わります）。

Note

- 電話機が使用中の場合、留守録開始音は鳴りません。
- 留守録モニタ中に受話器を上げると、留守録モニタ中の音声が受話器から聞こえます（留守録モニタは継続しています）。
- 留守録モニタ中に受話器を戻すと、留守録モニタは終了し、留守録モニタ が赤色に点滅します（留守録は継続しています）。
- 留守録モニタ中に 留守録モニタ を押すと、ピー音がでて受話器を上げるとお話しできます。留守録は終了し、その時点までの録音内容を所定のボックスに保存します。
- 1 台の電話機で複数のモニタは行えません。
- 1 つの留守録を複数の電話機でモニタすることはできません。
- 留守録モニタの開始動作が“自動”に設定されていても、留守録モニタを行う電話機がすでにスピーカオンまたはオフフックの場合は、留守録モニタは開始されません。
- あらかじめフレキシブルボタンに 留守録モニタ の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

呼び出し

伝言が録音されたら自動的に知らせる 取り付け時設定

伝言が録音されると、あらかじめ設定しておいた相手を自動的に呼び出すことができます。

1. 外部の電話で、着信したボイスメールからの呼び出しに応答します。
「この電話は伝言センターからおかけしております。暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

Note

- ボイスメールからの呼び出しに応答しないときは、あらかじめ設定されたリトライ回数、周期で、再発信を繰り返します。取り付け時設定

2. ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

Note

- 外出先からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。
- 入力した暗証番号が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。

3. 伝言を聞きます。

4. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

Note

- 自動的に呼び出しを行う動作モードには、以下があります。いずれか 1 つを選択できます。取り付け時設定
  - ・発報なし：自動発報しません。
  - ・定刻発報モード：あらかじめ指定した時刻に自動発報します。1 日に最大 4 つの時刻を指定できます。
  - ・定刻＋即時発報モード：定刻発報と新着メッセージが保存されたときに自動発報します。

録音内容再生

録音された内容を再生する

留守番電話に残された伝言を聞きます。聞いていない伝言があるときには、そのボックスの[ボックス]が赤色に点灯しています。

録音内容の再生

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ]を押します。

```
内線
              11
```

2. 伝言を聞くボックスの[ボックス]を押します。

```
ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

```
                0059
```

Note

● ボックスに暗証番号が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。取り付け時設定

4. 伝言を聞きます。

```
030570XXXX
再生中 山田商事
```

Note

● 先頭の伝言を再生する前に、未再生の伝言の件数がアナウンスされます。
● 複数の伝言が録音されている場合は、伝言は連続して再生されます。
● 全ての伝言を再生または消去して未再生の伝言がなくなると、[ボックス]は消灯します。
● 全ての伝言を再生し終わると、そのボックスの録音メモリ残量がアナウンスされます。
● 同報ボックスは再生できません。

Information

◆ 発信者番号が通知された相手からの伝言が録音されている場合は、伝言の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。

5. 伝言を聞き終わったら、受話器を戻します。または、[スピーカ]を押します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

録音内容再生中の操作

録音内容再生中には、次の操作を行えます。

ダイヤル	再生中機能
1	複数の録音内容がある場合、１つ前の録音内容を再生します。
2	再生中の録音内容を繰り返し再生します。
3	再生を中止し、次の録音内容を再生します。
4	再生中の録音内容を倍速再生します。
5	再生中の録音内容を消去します。
7	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します。
8	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します。
9	再生中の録音内容を保存します。
0	ボイスメールの操作ガイダンスを読み上げます。
# #	再生を終了します。
ボックス または 6 1	指定ボックスへメッセージを転送します。
* * 1	ボックス内の全ての録音内容が消去されます。

録音された内容を保存または消去する

聞き終わった伝言を消去します。また、伝言を保存しておくこともできます。

1 件消去

1. 伝言の再生中に、5 を押します。

再生中の伝言が消去されます。

00595

Note

- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 再生中の伝言を消去または保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
- 未再生の伝言がなくなると、ボックス は消灯します。
- あらかじめフレキシブルボタンにボックス の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言を消去できない場合があります。

全件消去

1. 伝言の再生中に、[＊][＊]を押します。
確認のガイダンスが流れます。

0059＊＊

2. [1]を押します。
ボックス内の全ての伝言が消去されます。

0059＊＊1

Note

- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 再生中の伝言を消去または保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
- 未再生の伝言がなくなると、[ボックス]は消灯します。
- あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

Information

◆ 全件消去するために[＊][＊]を押したあと、[2]を押すか、何も操作しなかった場合には、全件消去の操作はキャンセルされて次の伝言の再生が開始されます。
◆ 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言を消去できない場合があります。

保存

1. 伝言の再生中に、[9]を押します。
再生中の伝言が保存されます。

00599

Information

◆ 保存された伝言も、既定の日数（初期値：30 日）が経過すると自動的に消去することもできます。[取り付け時設定]

録音された伝言を転送する ＜振り分け＞

録音されている伝言を、他のボックスに転送します。グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。

1. 伝言の再生中に、[ボックス] を押します。

転送先ボックスの[ボックス] が赤色に点灯します。

```
ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ
再生中 山田商事
振り分け: 14
```

Information

◆ [ボックス] の代わりに、[6][1]と転送先ボックスの番号と[#]を押しても同じ操作ができます。

Note

- 転送の操作は、次の伝言の再生が始まる前までは可能です。
- 録音されている伝言を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、１件の伝言を複数のボックスに転送するときに使用できます。
- 再生中の伝言を転送すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
- あらかじめフレキシブルボタンに、[ボックス] の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

Information

◆ 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。[取り付け時設定]

◆ 転送先の同報ボックスは、[同報ボックス1] ～[同報ボックス4] を使用できます。

◆ 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が設定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。

◆ 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。

◆ 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
一部の同報先ボックスに保存できない場合には、そのボックスにはタイムスタンプのみが保存されます。

◆ 転送先が同報ボックスの場合で、転送する１件の伝言の録音時間が 50 分を超える場合、同報ボックスへの転送はできません。録音できない旨のガイダンスが聞こえます。個別に転送先のボックスを指定して転送してください。

◆ あらかじめフレキシブルボタンに[同報ボックス1] ～[同報ボックス4] の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

再生時の暗証番号について ＜再生パスワード＞ [取り付け時設定]

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。再生パスワードを設定すると、ボックスの内容を再生するときに、再生パスワードの入力が必要になります。入力された再生パスワードが間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。

Information

◆ 入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

応答メッセージ

応答メッセージを録音／再生／消去する

留守番電話（グループ／個別）で、ボイスメールが着信に応答したときに流すメッセージを、録音、再生、または消去します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

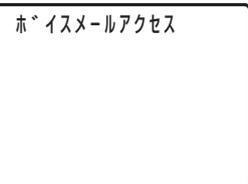
応答メッセージの録音

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. [機能]を押します。

[機能]が赤色に点滅します。

3. 応答メッセージを録音するボックスの[ボックス]を押します。

「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。
[取り付け時設定]

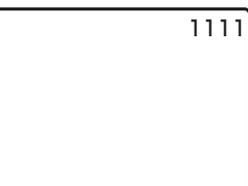
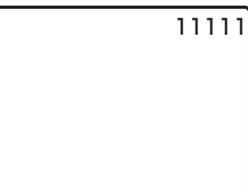
4. 暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

1111

5. 留守番応答のメッセージ番号（[1]～[5]）をダイヤルします。

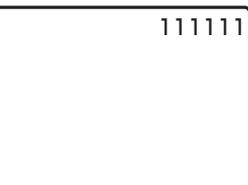
「録音は[1]、再生は[2]、消去は[3]をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

6. [1]を押します。

「録音を開始します。ピーという発信音の後にメッセージをお話しください。録音の終了は、[#]をダイヤルしてください。もう一度録音する場合は、[*]をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。
開始音（ピー）の後に録音が始まります。

111111

7. **応答メッセージを話します。**

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ

Information

◆ 録音をやり直すときは、[＊]を押してください。

8. **応答メッセージを話し終わったら、[＃]を押します。**
「録音を終了しました。」のガイダンスが流れます。録音を終了した後、手順５のガイダンスが流れます。

111111#

9. **受話器を戻します。**

4月 8日(火)16:35
11

応答メッセージの再生／消去

1. **受話器を上げます。または、[スピーカ]を押します。**

内線
11

2. **[機能]を押します。**

3. **応答メッセージを再生または消去するボックスの[ボックス]を押します。**
「暗証番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

4. **暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。**
「留守番応答のメッセージ番号をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

1111

5. **留守番応答のメッセージ番号（[1]～[5]）をダイヤルします。**

「録音は[1]、再生は[2]、消去は[3]をダイヤルしてください。」のガイダンスが流れます。

11111

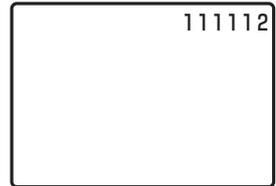
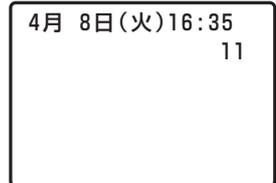
6. 録音されたメッセージを聞くときは 2 、消去するときは 3 を押します。

2 を押したときは、録音されたメッセージが再生されます。メッセージが再生された後、手順５のガイダンスが流れます。

3 を押したときは、「もう一度、3 を押すと消去します。」のガイダンスが流れるので、再度、3 を押してください。
「メッセージを消去しました。」のガイダンスが流れ、メッセージが消去されます。メッセージが消去された後、手順５のガイダンスが流れます。

111112

7. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

共通応答メッセージ

応答メッセージが録音されていない場合は、あらかじめボイスメールで用意されている共通応答メッセージが流れます。
共通応答メッセージは次のとおりです。

応答メッセージ番号	種別	音声ガイダンス内容
1	応答メッセージ１	「本日の業務は終了しました。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
2	応答メッセージ２	「只今、席を外しています。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
3	応答メッセージ３	「只今、外出しています。ご用件のある方はピーッという発信音のあとにメッセージをお話しください。」
4	応答専用メッセージ１	「只今、留守にしております。恐れ入りますが後ほどおかけ直しください。」
5	応答専用メッセージ２	「本日の業務は、終了致しました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直しください。」

Note

- **共通応答メッセージは消去できません。同一番号に応答メッセージを録音すると、そちらが優先されます。応答メッセージを消去すると、ふたたび共通応答メッセージが流れます。**
- **応答メッセージの録音上限時間（1 分）に達すると、録音は中止され、その時点までの録音は消去されます。この際、終了ガイダンスが聞こえます。**
- **ボイスメールの全ての通話チャネルがビジーの場合は、本操作はできません。**
- **入力した暗証番号（設定パスワード）が間違っていると、入力エラーのガイダンスが流れます。正しく入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は入力できません。**

応答メッセージを選ぶ 取り付け時設定

グループ留守番電話の応答メッセージを、ユーザが録音したメッセージまたは応答メッセージ、および応答専用メッセージ（録音しないとき）の合計５種類のメッセージから選択できます。
応答メッセージの選択は、留守番機能が解除されている状態で操作してください。

1. **受話器を置いたまま、［留守番］を押します。**
応答メッセージが再生されます。

```
応答ﾒｯｾｰｼﾞ1
        11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［留守番］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. **［留守番］を押すたびに、応答メッセージが順次切替わり、再生されます。目的の応答メッセージが再生されたら、その応答メッセージが終わるまで待ちます。**
応答メッセージの再生が終わると、その応答メッセージが選ばれます。

```
応答ﾒｯｾｰｼﾞ2
        11
```

Note

- グループ留守番電話の応答メッセージの切替えは、その留守番電話グループに属する電話機から操作してください。
- ボイスメールの全ての通話チャンネルがビジーの場合は、操作できません。
- 留守番電話グループに属する電話機から応答メッセージの切替えを行っているときには、他の電話機から留守番電話の開始／終了の操作はできません。
- 応答メッセージの選択は、次に応答メッセージが切替えられるまで有効です。グループ留守番電話を開始／終了しても変化しません。

リモート

録音された内容を外部から再生する 取り付け時設定

留守番電話に残された伝言を、外出先から操作して聞くことができます。

ボイスメールに直接着信する場合

ボイスメール着信を行う専用番号を使用して、ボイスメールへ直接着信させます。取り付け時設定

1. 外出先から、ボイスメールに着信する電話番号にダイヤルします。
「メッセージの再生は【1】、伝言録音は【2】、留守録の操作は【3】、終了は【#】をダイヤルしてください」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2. 【1】をダイヤルします。
「メッセージの再生するボックス番号をダイヤルし、最後に【#】をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

3. ガイダンスに従って、ボックス番号と【#】をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

Note

- あらかじめ再生パスワードが設定されている場合、再生パスワードの入力が必要です。取り付け時設定

4. 伝言を聞きます。

5. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

ボイスメールにスライド着信する場合

あらかじめボイスメールにスライド着信する設定が必要です。取り付け時設定

1. 外部の電話で、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。
「メッセージの再生は【1】、伝言録音は【2】、留守録の操作は【3】、終了は【#】をダイヤルしてください」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2. 【1】をダイヤルします。
「メッセージの再生するボックス番号をダイヤルし、最後に【#】をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

3. ガイダンスに従って、ボックス番号と【#】をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

Note

- あらかじめ再生パスワードが設定されている場合、再生パスワードの入力が必要です。取り付け時設定

4. 伝言を聞きます。

5. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

留守番電話が応答する場合

1. 外部の電話で、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。
応答メッセージが流れます。

2. 【#】【#】を押し、続いて暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

3. 【1】をダイヤルします。
「メッセージの再生するボックス番号をダイヤルし、最後に【#】をダイヤルしてください」というガイダンスが流れます。

4. ガイダンスに従って、ボックス番号と【#】をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

Note

- あらかじめ再生パスワードが設定されている場合、再生パスワードの入力が必要です。取り付け時設定

5. 伝言を聞きます。

6. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

ボイスメールからの呼び出しに応答する場合

1. 外部の電話で、着信したボイスメールからの呼び出しに応答します。
「この電話は伝言センターからおかけしています」というガイダンスが流れます。

2. ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。
録音されている伝言が再生されます。

3. 伝言を聞きます。

4. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

Note

- ガイダンスが流れた後に規定時間なにも操作しないと、自動的に通話は切断されます。
- DISA 外線からボイスメールの内線代表番号をダイヤルすると、ボイスメールを直接呼び出せます。取り付け時設定
- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

Information

◆ 伝言の再生中に、消去や保存などの操作を行うこともできます。また、伝言を録音することもできます（「録音内容再生（P.5-29)」、「外部から伝言を録音する ＜リモート伝言録音＞（P.5-42)」）。

録音された内容を外部から再生する <取次再生>

留守番電話に残された伝言を、内線電話を操作してもらって聞くことができます。

内線電話機の操作

外線からの着信に応答します。

1. 外線とお話し中に、[転送]を押します。
第 2 発信音（プププ）が聞こえます。
また、[転送]が点滅します。

2. 取次再生する番号（初期値：[＊][0]）、続いてボックス番号をダイヤルします。
確認音 2 が聞こえます。

Note

- 内線電話機での取次ぎ操作時に、ボイスメールの通話チャンネルが話中の場合、受話器を戻すとキャンプオン（呼び出し待ち）状態になります。また、[転送]を押すと、外線とお話しできます。
- 内線電話機で入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。

3. 転送操作を促すガイダンスが聞こえたら、受話器を戻します。
お話し中の外線をボイスメールに接続します。

外部の電話機での操作

1. ボイスメールに接続されたら、ガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

2. ガイダンスに従って操作します。
録音されている伝言が再生されます。

3. 伝言を聞きます。

4. 伝言を聞き終わったら、お話しを終了します。

外部から留守番電話をオン／オフする 取り付け時設定

留守番電話をセットし忘れたときなど、外出先から留守番電話機能をオンにすることができます（オフにすることもできます）。
また、伝言の録音先ボックスを変更することもできます。

留守番電話をオン（開始）する場合

1. 外出先から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。
「メッセージの再生は【1】、伝言録音は【2】、留守録の操作は【3】、終了は【#】をダイヤルしてください」というボイスメールのガイダンスが流れます。

2. ガイダンスが聞こえたら、【3】をダイヤルします。
留守録の操作を開始します。

Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

3. 「留守番の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に【#】をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と【#】をダイヤルします。

Note

- ボックス番号はお買い求めの販売店にご確認ください。
- 入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。

4. 「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

Note

- お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は【1】【1】【1】【1】が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にご確認ください。

5. 「メッセージ番号をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、応答メッセージ番号【1】～【5】をダイヤルします。

6. 応答メッセージが聞こえたら、お話しを終了します。

Note

- 操作終了後に、再び手順 1 のリモート操作ガイダンスが送出されます。電話を切ることなく、続いて、伝言の再生等の操作を行えます。

留守番電話をオフ（解除）にする場合

1. 外出先から、留守番電話に着信する電話番号にダイヤルします。
応答メッセージが流れます。

2. 応答メッセージが聞こえているうちに、【#】【#】を押し、続けて暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。
「メッセージの再生は【1】、伝言録音は【2】、留守録の操作は【3】、終了は【#】をダイヤルしてください」というボイスメールのガイダンスが流れます。

Note

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

3. ガイダンスが聞こえたら、【3】をダイヤルします。
留守録の操作を開始します。

4. 「留守録の操作を開始します。ボックス番号をダイヤルし、最後に【#】をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、ボックス番号と【#】をダイヤルします。

Note

- ボックス番号は、お買い求めの販売店にご確認ください。

5. 「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、暗証番号（設定パスワード）をダイヤルします。

Note

- お買い求め時の暗証番号（設定パスワード）は、【1】【1】【1】【1】が設定されています。詳細については、お買い求めの販売店にご確認ください。

6. 「メッセージ番号をダイヤルしてください」というガイダンスが聞こえたら、【0】をダイヤルします。

7. 「解除しました」というガイダンスが聞こえたら、お話しを終了します。

Note

- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときには、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。取り付け時設定
- すでに留守番電話機能がオンに設定されているときに、上記の操作６で【0】の代わりに、応答メッセージ番号【1】～【5】を押すと、応答メッセージを切替えることができます。留守番電話機能はオンの状態を継続します。

外部から伝言を録音する <リモート伝言録音> 取り付け時設定

外出先から任意のボックスに伝言を録音できます。

1. 外出先から、ボイスメールにスライド着信する電話番号にダイヤルします。
ボイスメールの応答メッセージが流れます。

2. 【2】をダイヤルします。

- 外線からの操作は、プッシュ信号で送られます。プッシュ信号を送出できない電話機からは操作できません。

3. 録音先のボックス番号をダイヤルします。

Note

- 入力したボックス番号がエラーの場合、ガイダンスが流れます。ガイダンスが流れている間は、何も入力できません。

4. メッセージを話します。

5. お話しを終了します。

Note

- グループ留守番電話機能がオフの状態でも、着信に一定時間応答しないときには、自動的に留守番電話に着信するように設定されている必要があります。取り付け時設定

通話録音

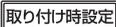
お話しを手動で録音する

外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。
録音は、お話し中のいつでも開始できます。

録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の保存先［ボックス］を押すとそのボックスに保存されます。（「録音した通話の保存先を変更する（P.5-47）」）

1. お話し中に、［通話録音］を押します。

録音が開始され、［通話録音］と保存先の［ボックス］が赤色に点滅します。

```
相手先 山田商事
0:03
```

Note

- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。［取り付け時設定］
- あらかじめフレキシブルボタンに［通話録音］、［ボックス］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

2. お話しが終了したら、受話器を戻します。

録音は自動的に終了し、［通話録音］が消灯します。また、保存先の［ボックス］は赤色に点灯します。
録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

お話し中に録音を一旦終了するときには、点滅している［ボックス］を押します。

再び［通話録音］を押すと、新たに通話録音が開始されます。

録音先ボックスが自動指定されていない場合

通話録音終了時、［ボックス］を押さないと録音内容は保存されません。

1. お話し中に、［通話録音］を押します。

録音が開始され、［通話録音］が赤色に点滅します。

```
相手先 山田商事
0:03
```

Note

- 通話録音を開始すると、録音開始音が聞こえます。［取り付け時設定］
- あらかじめフレキシブルボタンに［通話録音］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

5 留守番電話機能編

2. **通話録音中に、保存先の ボックス を押します。**

保存先の ボックス が赤色に点滅します。

Note

- 保存先の ボックス を押さずに受話器を戻した場合、録音内容は消去されます。
- あらかじめフレキシブルボタンに ボックス の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. **お話しが終了したら、受話器を戻します。**

録音内容がボックスに保存され、通話録音 が消灯します。また、保存先の

ボックス は赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

お話し中に録音を一旦終了するときには、点滅している ボックス を押します。

再び 通話録音 を押すと、新たに通話録音が開始されます。

Note

- 受話器を戻してお話しを終了したとき、または ボックス を押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します（その時点までの通話は ボックス に録音されています）。
  - ・お話しが切断されたとき
  - ・お話しを保留したとき（保留応答後、再び通話録音する場合、通話録音 を押します。最初の録音とは別に録音されます。）
  - ・録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
  - ・録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- 次の場合は、通話録音できません。
  - ・録音するボックスの録音件数が 500 件に達している、または録音メモリ残量が不足している場合
  - ・内線とお話し中の場合
  - ・4 者会議通話中の場合
  - ・録音通話チャンネルが全て使用中の場合

Information

- ◆ 録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する（P.5-29)」を参照してください。
- ◆ 通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます（「録音した通話の保存先を変更する（P.5-47)」)。
- ◆ 録音した通話を他のボックスに転送することもできます（「録音された伝言を転送する <振り分け>（P.5-32)」)。
- ◆ 通話中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます（「通話録音を中止する（P.5-47)」)。
- ◆ 録音した通話内容を外部に出力する場合は、通話録音外部出力用ペディストル（オプション）が必要です。
- ◆ 単独電話機では、通話録音（手動・自動ともに）できません。

お話しを自動で録音する 取り付け時設定

外線通話を録音して、メッセージボックスに保存しておくことができます。
録音は、かかってきた電話に応答するだけで、自動的に開始できます。

録音先ボックスが自動指定されている場合

録音内容は、自動的に自ボックスに保存されます。

通話中に他の保存先［ボックス］を押すとそのボックスに保存されます。（「録音した通話の保存先を変更する（P.5-47）」）

1. 着信中に、受話器を上げます。

録音が開始され、［通話録音］と保存先の［ボックス］が赤色に点滅します。

相手先　山田商事 0:03

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［通話録音］、［ボックス］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

2. お話しが終了したら、受話器を戻します。

録音は自動的に終了し、［通話録音］が消灯します。また、保存先の［ボックス］は赤色に点灯します。
録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

4月　8日（火）16:35 11

お話し中に録音を一旦終了するときには、点滅している［ボックス］を押します。

再び［通話録音］を押すと、新たに通話録音が開始されます。

録音先ボックスが自動指定されていない場合 取り付け時設定

通話録音終了時、［ボックス］を押さないと録音内容は保存されません。

1. 着信中に、受話器を上げます。

録音が開始され、［通話録音］が赤色に点滅します。

相手先　山田商事 0:03

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［通話録音］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 通話録音中に、保存先の[ボックス]を押します。

保存先の[ボックス]が赤色に点滅します。

Note

- 保存先の[ボックス]を押さずに受話器を戻した場合、録音内容は消去されます。
- あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. お話しが終了したら、受話器を戻します。

録音内容がボックスに保存され、[通話録音]が消灯します。また、保存先の[ボックス]は赤色に点灯します。

録音した通話は、点灯しているボックスに保存されています。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

お話し中に録音を一旦終了するときには点滅している[ボックス]を押します。

再び[通話録音]を押すと、新たに通話録音が開始されます。

Note

- 受話器を戻してお話しを終了したとき、または[ボックス]を押したとき以外に、次の場合に通話録音は終了します（その時点までの通話は[ボックス]に録音されています）。
  - ・お話しが切断されたとき
  - ・お話しを保留したとき（保留応答後、再び通話録音する場合、[通話録音]を押します。最初の録音とは別に録音されます。）
  - ・録音可能時間に達したとき（録音終了音が聞こえます）
  - ・録音メモリ残量がなくなったとき（録音終了音が聞こえます）
- 次の場合は、通話録音できません。
  - ・録音するボックスの録音件数が 500 件に達している、または録音メモリ残量が不足している場合
  - ・内線とお話し中の場合
  - ・4 者会議通話中の場合
  - ・録音通話チャンネルが全て使用中の場合

Information

- ◆ 録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する（P.5-29)」を参照してください。
- ◆ 通話録音中に、録音先のボックスを変更することもできます（「録音した通話の保存先を変更する（P.5-47)」)。
- ◆ 録音した通話を他のボックスに転送することもできます（「録音された伝言を転送する <振り分け>（P.5-32)」)。
- ◆ お話し中に録音を中止し、それまでに録音された通話を消去することもできます（「通話録音を中止する（P.5-47)」)。
- ◆ 録音した通話内容を外部に出力する場合は、通話録音外部出力用ペディストル（オプション）が必要です。
- ◆ 単独電話機では、通話録音（手動・自動ともに）できません。

録音した通話の保存先を変更する

必要に応じて、通話の録音を保存するボックスを変更できます。
通常、通話の録音は、ご使用の電話機に対応したボックスに保存されます。

1. 通話録音中に、保存先の［ボックス］を押します。

押した［ボックス］が赤色に点滅します。

相手先　山田商事
0:03

Note

- 保存先のボックスは、通話録音中に何回でも変更できます。通話の録音は、複数回変更した場合には、最後に押した［ボックス］のボックスに保存されます。
- 保存先を同報ボックスにすることもできます。
- あらかじめフレキシブルボタンに［ボックス］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 録音メモリ残量の不足等で指定したボックス（同報ボックスを含む）に保存できない場合、通話の録音はご使用の電話機用のボックスに保存され、指定したボックスにはタイムスタンプのみが保存されます（タイムスタンプのみでも 1 件とカウントされます）。
ただし、そのボックスでタイムスタンプが「読み上げなし」に設定されている場合、タイムスタンプも保存されません。

通話録音を中止する

録音が不要な通話だった場合には、録音を中止できます。
中止すると、それまでの録音は消去されます。

1. 通話録音中に、［通話録音］を押します。

録音が中止され、［通話録音］および［ボックス］が消灯します。

相手先　山田商事
0:03

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［通話録音］、［ボックス］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 通話録音を中止した後、再び［通話録音］を押すと、新たに通話録音が開始できます（「お話しを手動で録音する（P.5-43)」、「お話しを自動で録音する （P.5-45)」）。

5
留守番電話機能編

通話録音の再生

通話録音された内容を再生する

留守番電話に残された伝言を聞きます。聞いていない伝言があるときには、そのボックスの［ボックス］が赤色に点灯しています。

録音内容の再生

1. 受話器を上げます。または、［スピーカ］を押します。

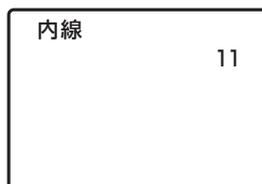
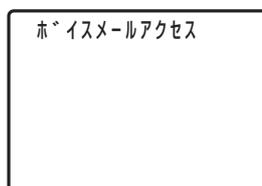
内線
11

2. 伝言を聞くボックスの［ボックス］を押します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［ボックス］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ

3. ボックスの暗証番号（再生パスワード）をダイヤルします。

録音されている伝言が再生されます。

Note

- ボックスに暗証番号（再生パスワード）が設定されている場合は、「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力してください。取り付け時設定

0011

4. 伝言を聞きます。

Note

- 先頭の伝言を再生する前に、未再生の伝言の件数がアナウンスされます。
- 複数の伝言が録音されている場合は、伝言は連続して再生されます。
- 全ての伝言を再生または消去して未再生の伝言がなくなると、［ボックス］は消灯します。
- 全ての伝言を再生し終わると、そのボックスの録音メモリ残量がアナウンスされます。
- 同報ボックスは再生できません。

Information

◆ 発信者番号が通知された相手からの伝言が録音されている場合は、伝言の再生中に、発信者番号をディスプレイに表示します。また、発信者番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録している登録名称も表示します。

030570XXXX
再生中　山田商事

5. 伝言を聞き終わったら、受話器を戻します。または、［スピーカ］を押します。

4月　8日(火)16:35
11

録音内容再生中の操作

録音内容再生中には、次の操作を行えます。

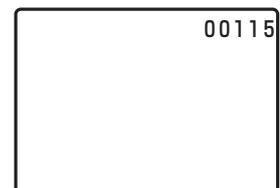
ダイヤル	再生中機能
1	複数の録音内容がある場合、１つ前の録音内容を再生します。
2	再生中の録音内容を繰り返し再生します。
3	再生を中止し、次の録音内容を再生します。
4	再生中の録音内容を倍速再生します。
5	再生中の録音内容を消去します。
7	再生中の録音内容を数秒間巻き戻して再生します。
8	再生中の録音内容を数秒間早送りして再生します。
9	再生中の録音内容を保存します。
0	ボイスメールの操作ガイダンスを読み上げます。
# #	再生を終了します。
ボックス または 6 1	指定ボックスへメッセージを転送します。
* * 1	ボックス内の全ての録音内容が消去されます。

通話録音された内容を保存または消去する

聞き終わった伝言を消去します。また、伝言を保存しておくこともできます。

1 件消去

1. 伝言の再生中に、5 を押します。
再生中の伝言が消去されます。

00115

Note

- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 再生中の伝言を消去または保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
- 未再生の伝言がなくなると、ボックス は消灯します。
- あらかじめフレキシブルボタンに ボックス の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言の消去ができない場合があります。

全件消去

1. 伝言の再生中に、[＊][＊]を押します。
確認のガイダンスが流れます。

0011**

2. [1]を押します。
ボックス内の全ての伝言が消去されます。

0011**1

Note

- 消去した伝言を復活させる方法はありません。間違いのないように、慎重に操作してください。
- 再生中の伝言を消去または保存すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
- 未再生の伝言がなくなると、[ボックス]は消灯します。
- あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

- ◆ 全件消去するために[＊][＊]を押したあと、[2]を押すか、何も操作しなかった場合には、全件消去の操作はキャンセルされて次の伝言の再生が開始されます。
- ◆ 同じボックスを他の電話機でも再生している場合は、伝言の消去ができない場合があります。

保存

1. 伝言の再生中に、[9]を押します。
再生中の伝言が保存されます。

00119

Information

- ◆ 保存された伝言も、既定の日数（初期値：30 日）が経過すると自動的に消去されます。取り付け時設定

通話録音された内容を転送する <振り分け>

録音されている伝言を、他のボックスに転送します。グループ留守番電話のボックスに録音されている内容を、個別留守番電話のボックスに転送することもできます。

1. 伝言の再生中に、[ボックス] を押します。

転送先ボックスの[ボックス] が赤色に点灯します。

ﾎﾞｲｽﾒｰﾙｱｸｾｽ
再生中　山田商事
振り分け：　14

Information

◆ [ボックス] の代わりに、[6][1]と転送先ボックスの番号と[#]を押しても同じ操作ができます。

Note

● 転送の操作は、次の伝言の再生が始まる前までは可能です。
● 録音されている伝言を同報ボックスに転送することもできます。同報ボックスに転送すると、設定されている同報先ボックスに転送されます。この方法は、1 件の伝言を複数のボックスに転送するときに使用できます。
● 再生中の伝言を転送すると、次の伝言の再生が始まります。次の未再生の伝言がない場合は、伝言の再生は終了します。
● あらかじめフレキシブルボタンに[ボックス] の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

Information

◆ 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。[取り付け時設定]
◆ 転送先の同報ボックスは、[同報ボックス1]　～[同報ボックス4]　を使用できます。
◆ 転送先に無効なボックスを指定した場合や、同報先が設定されていない同報ボックスを指定した場合、ボックス番号がない旨のガイダンスが聞こえます。
◆ 録音メモリが満杯等で転送先のボックスに保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
◆ 転送先が同報ボックスの場合で、全ての同報先ボックスで録音メモリが満杯等で転送先のボックスに伝言を保存できない場合には、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
一部の同報先ボックスに保存できない場合には、そのボックスにはタイムスタンプのみが保存されます。
◆ 転送先が同報ボックスの場合で、転送する 1 件の伝言の録音時間が 50 分を超える場合、同報ボックスへの転送はできません。録音できない旨のガイダンスが聞こえます。個別に転送先のボックスを指定して転送してください。
◆ あらかじめフレキシブルボタンに[同報ボックス1]　～[同報ボックス4]　の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

再生時の暗証番号について <再生パスワード> [取り付け時設定]

ボックスに暗証番号（再生パスワード）を設定して、ボックス使用者以外が再生することを防ぐことができます。再生パスワードを設定すると、ボックスの内容を再生するときに、再生パスワードの入力が必要になります。入力された再生パスワードが間違っていると、ボックスの再生はキャンセルされます。

Information

◆ 入力した暗証番号（再生パスワード）が間違っていると、「暗証番号が違います」というガイダンスが流れます。「暗証番号をダイヤルしてください」というガイダンスに従って、暗証番号（再生パスワード）を入力しなおしてください。なお、ガイダンスが流れている間は、入力できません。

伝言録音機能

メッセージを指定ボックス／同報ボックスに録音する ＜伝言録音／同報録音＞

指定したボックスにメッセージを録音できます。
また、同報ボックスに録音すると、メッセージは、その同報ボックスの宛先として設定されているボックスの全てに保存されます。
同報ボックスは、会議の招集など、同一のメッセージを複数のボックスに録音したいときに便利です。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 伝言録音 を押します。
“メールボックス No.”と表示されます。

メールボックス No.
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 伝言録音 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

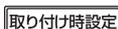
3. 伝言を保存するボックスの ボックス を押します。

メッセージを同報する場合は、同報ボックス を押します。

伝言録音 が赤色に点滅します。

ボイスメールアクセス

Note

- ボックス の代わりに、ボックス番号と ＃ を押しても同じ操作ができます。
- メッセージの録音中は、録音先のボックスを変更できません。
- 同報ボックスを使うためには、あらかじめ同報ボックスに同報先のボックスを設定しておく必要があります。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに ボックス 、同報ボックス の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

4. メッセージを話します。

Information

◆ 録音中に録音メモリ残量がなくなったときには、その時点でメッセージ録音を終了します。それまでのメッセージは録音されています。

5. 受話器を戻します。

録音は自動的に終了し、伝言録音[ ]が消灯します。また、保存先のボックス[ ]は赤色に点灯します。
録音したメッセージは、点灯しているボックスに保存されています。

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

Information

- ◆ 録音した通話を再生するときは、「録音された内容を再生する（P.5-29）」を参照してください。
- ◆ 指定した保存先ボックスが次の場合は、メッセージを録音できません。
  この場合、同報メッセージが全ての同報先ボックスに保存できない場合は、録音できない旨のガイダンスが聞こえます。
  一部の同報先ボックスに保存できない場合は、そのボックスにはタイムスタンプのみが保存されます。
  - ・録音件数が 500 件に達している、または録音メモリ容量が不足している場合
  - ・録音通話チャンネルが全て使用中の場合
  - ・押したボックス[ ]にボックスが設定されていない場合

5
留守番電話機能編

録音お知らせメール 取り付け時設定

あらかじめ携帯電話等のＥメールアドレスを設定しておくことで、留守番録音、通話録音、伝言録音でメッセージが録音されたときに、Ｅ メールで知らせてくれます。外出先等でもメッセージが録音されたことを知ることができるようになります。
録音お知らせメールの設定は、メニューオペレーションの留守番／メール設定メニューで行います。

携帯電話の表示例	No.	表示内容
留守番録音（通話録音） 鈴木さん 録音お知らせメール 留守番録音 (2) 4/7 17時05分 メールBOX 70(1)に留守番録音が入っています。(2) 登録なし (3) 03XXXX4567 (4) 4月7日16時58分 (5) ・録音時間：0分20秒 (6) ・アクセス先 03XXXX5678 (8) 03XXXX9876 (9) ・新着：計1件 (7) このメールが届いていますか？ (10)	1.	録音されたメールボックスのボックス番号が表示されます。
	2.	録音種別により表示内容が異なります。 留守番録音：“留守番録音” 通話録音：“通話録音” 伝言録音：“伝言録音”
	3.	発信者番号が電話帳に登録されている／いないで表示が異なります。 登録あり：電話帳の名称 登録なし：“登録なし”
	4.	電話番号の通知状況により表示が異なります。 電話番号あり：通知された電話番号 電話番号なし：“番号なし” 電話番号非通知：“非通知”
	5.	録音メッセージの録音日時が表示されます。
伝言録音 鈴木さん 録音お知らせメール 伝言録音 (2) 4/7 17時05分 メールBOX 11(1)に伝言録音が入っています。(2) 4月7日16時58分 (5) ・録音時間：0分20秒 (6) ・アクセス先 03XXXX5678 (8) 03XXXX9876 (9) ・新着：計1件 (7) このメールが届いていますか？ (10)	6.	録音メッセージのおおよその通話時間が表示されます。
	7.	Ｅメールを送付した時点での未読件数が表示されます。
	8.	折り返し電話番号（電話番号 1）が登録されている／いないで表示が異なります。 登録あり：電話番号 登録なし：空白行（電話番号 2 も登録されていない場合は、“登録なし”を表示）
	9.	折り返し電話番号（電話番号 2）が登録されている／いないで表示が異なります。 登録あり：電話番号 登録なし：空白行
	10.	コメントが登録されている／いないで表示が異なります。 登録あり：コメント 登録なし：空白行

Note

- 折り返し電話番号およびコメントの入力には、半角カタカナを使用しないでください。
- 電話帳の名称に半角カタカナが使用されている場合、正しく表示されないことがあります。

送信元の情報を登録する

送信元の情報は、システム全体（共通）で設定します。

送信元 E メールアドレスを登録する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

```
▶不在転送設定
 留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
 電話帳登録
 メニュー終了
```

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。

```
 不在転送設定
▶留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
 電話帳登録
 メニュー終了
```

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

```
留守番／メール設定
▶個別ボックス
 同報ボックス
 グループボックス
 留守番スケジュール
 メール基本情報
```

4. ▲音量▼ を押し、"メール基本情報" にカーソルを合わせます。

```
留守番／メール設定
 個別ボックス
 同報ボックス
 グループボックス
 留守番スケジュール
▶メール基本情報
```

5. 決定 を押します。
メール基本情報画面が表示されます。

```
メール基本情報
▶折り返し電話番号
 コメント
 送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
 戻る
```

6. ▲音量▼ を押し、"送信元 E メールアドレス登録" にカーソルを合わせます。

```
メール基本情報
 折り返し電話番号
 コメント
▶送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
 戻る
```

7. 決定 を押します。
送信元 E メールアドレス登録画面が表示されます。

```
送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
        （最大64文字）
_
```

8. 送信元の E メールアドレスを入力します。
半角英数字を最大 64 文字入力できます。
入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32）」、「文字の入力方法（P.3-32）」を参照してください。

```
送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
        （最大64文字）
abcdefghijklmnopqrst
uvwxyz@docomo.ne.jp_
```

9. (決定)を押します。
登録確認画面が表示されます。

送信元Eメールアドレス登録
登録しますか？
▶はい
いいえ

10. "はい"を選択し、(決定)を押します。
登録が完了します。

折り返し先の電話番号を登録する

折り返しかけて欲しい電話番号を登録することで、E メールを受け取る携帯電話等に表示することができます。携帯電話等からは、表示されている電話番号を選択するだけで発信できるようになります。
折り返し先の電話番号は、最大 2 カ所まで設定できます。

1. メール基本情報画面を表示します。

Information

◆ メール基本情報画面の表示は、「送信元 E メールアドレスを登録する（P.5-55）」の手順 1 ～ 5 を参照してください。

メール基本情報
▶折り返し電話番号
コメント
送信元Eメールアドレス登録
戻る

2. (▲音量▼)を押し、"折り返し電話番号"にカーソルを合わせます。

3. (決定)を押します。
折り返し電話番号設定画面が表示されます。

折り返し電話番号設定
▶電話番号1
電話番号2
戻る

4. "電話番号 1"または"電話番号 2"を選択し、(決定)を押します。

電話番号1
[決定]編集

5. (決定)（編集）を押します。

電話番号1（半角32桁）

6. 折り返し先の電話番号を入力します。
半角英数字を最大 32 文字入力できます。
入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32）」、「文字の入力方法（P.3-32）」を参照してください。

電話番号1（半角32桁）
03123456_

7. (決定)を押します。
登録確認画面が表示されます。

電話番号1
登録しますか？
▶はい
いいえ

8. "はい"を選択し、(決定)を押します。
登録が完了します。

コメントを登録する

コメントを登録することで、E メールを受け取る携帯電話等に表示することができます。

1. メール基本情報画面を表示します。

メール基本情報
▶折り返し電話番号
コメント
送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

◆ メール基本情報画面の表示は、「送信元 E メールアドレスを登録する（P.5-55)」の手順 1 〜 5 を参照してください。

2. ▲音量▼ を押し、“コメント”にカーソルを合わせます。

メール基本情報
折り返し電話番号
▶コメント
送信元Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

3. 決定 を押します。

コメント画面が表示されます。

コメント
［決定］編集

4. 決定（編集）を押します。

コメント編集画面が表示されます。

ｺﾒﾝﾄ編集（全角40文字）

5. コメントを入力します。

漢字、ひらがな、半角英数字を最大全角 40 文字入力できます（半角カタカナは使用しないでください）。
入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32)」、「文字の入力方法（P.3-32)」を参照してください。

ｺﾒﾝﾄ編集（全角40文字）
このメールが届いてい

6. 決定 を押します。

登録確認画面が表示されます。

コメント
登録しますか？
▶はい
いいえ

7. “はい”を選択し、決定 を押します。

登録が完了します。

5

留守番電話機能編

送信先の情報を登録する

送信先の情報は、メールボックス単位に設定します。

送信先 E メールアドレスを登録する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定" にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"個別ボックス" または "グループボックス" にカーソルを合わせます。

Note

● 個別留守番の場合は "個別ボックス"、グループ留守番の場合は "グループボックス" を選択します。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
▶グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
ボックス番号入力画面が表示されます。

ボックス番号?

6. ボックス番号を入力します。

ボックス番号?
59

7. 決定 を押します。
パスワード入力画面が表示されます。

パスワード?

8. 設定パスワードを入力します。

パスワード?
****

9. (決定)を押します。
個別ボックスまたはグループボックス設定画面が表示されます。

グループボックス設定
▶留守番設定
メッセージ自動消去
パスワード変更
戻る

10. ▲音量▼ を押し、"留守番設定"にカーソルを合わせます。

11. (決定)を押します。
留守番設定画面が表示されます。

留守番設定
▶応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
お知らせメール

12. ▲音量▼ を押し、"お知らせメール"にカーソルを合わせます。

留守番設定
応答メッセージ選択
留守録モニタ動作
留守録自動発報
▶お知らせメール

13. (決定)を押します。
お知らせメール設定画面が表示されます。

お知らせメール設定
▶お知らせメール
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

14. ▲音量▼ を押し、"送信先Eメールアドレス登録"にカーソルを合わせます。

お知らせメール設定
お知らせメール
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
▶送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

15. (決定)を押します。
送信先Eメールアドレス登録画面が表示されます。

Note

- 送信先Eメールアドレスは、最大5つまで登録できます。

送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
▶送信先アドレス1
送信先アドレス2
送信先アドレス3
送信先アドレス4

16. ▲音量▼ を押し、"送信先アドレス1"～"送信先アドレス5"にカーソルを合わせます。

17. (決定)を押します。
送信先アドレス画面が表示されます。

送信先アドレス1
（最大64文字）
_

5 留守番電話機能編

18. 送信先Ｅメールアドレスを入力します。

半角英数字を最大 64 文字入力できます。
入力方法は、「入力モードの切替え（P.3-32)」、「文字の入力方法（P.3-32)」を参照してください。

送信先アドレス1
（最大64文字）
abcdefghijklmnopqrst
uvwxyz@docomo.ne.jp_

19. 決定 を押します。

登録確認画面が表示されます。

送信先アドレス1
登録しますか？
▶はい
いいえ

20. “はい”を選択し、決定 を押します。

送信先Ｅメールアドレスの登録が完了します。

送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
▶送信先アドレス1
送信先アドレス2
送信先アドレス3
送信先アドレス4

21. 手順 16 ～ 20 を繰り返し、その他の送信先Ｅメールアドレスを登録します。

Note

● 送信先Ｅメールアドレスは、最大５つまで登録できます。

送信先を選択する

1. お知らせメール設定画面を表示します。

Information

◆ お知らせメール設定画面の表示は、「送信先Ｅメールアドレスを登録する（P.5-58)」の手順１～ 13 を参照してください。

お知らせメール設定
▶お知らせメール
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

2. ▲音量▼ を押し、“送信先Ｅメールアドレス選択”にカーソルを合わせます。

お知らせメール設定
お知らせメール
▶送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

3. 決定 を押します。

送信先Ｅメールアドレス選択画面が表示されます。

送信先Ｅメールアドレスに登録しているＥメールアドレスは、Ｅメールアドレスごとに、送信する／しないを設定できます。

送信しないＥメールアドレスには、□が表示されます。
送信するＥメールアドレスには、■が表示されます。

送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
▶□abcdef@docomo.ne
□abcd@ezweb.ne.jp
□登録なし
□abcdef@softbank.
［保留］登録

4. 設定を変更するEメールアドレスにカーソルを合わせ、(決定)を押します。
□または■の表示が反転します（□→■、■→□になります）。

送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
▶■abcdef@docomo.ne
□abcd@ezweb.ne.jp
□登録なし
□abcdef@softbank.
［保留］登録

● “Eメールアドレスが登録されていない宛先は変更できません。

5. 手順３～４を繰り返し､送信する／しないEメールアドレスを設定します。

6. (保留)を押します。
登録確認画面が表示されます。

送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
登録しますか？
▶はい
いいえ

Note

● “いいえ”を選択すると、それまでの変更は全てキャンセルされて送信先Eメールアドレス選択を終了します。

7. “はい”を選択し、(決定)を押します。
送信先Eメールアドレス選択の登録が完了します。

録音お知らせメールの有効／無効を切替える

1. お知らせメール設定画面を表示します。

お知らせメール設定
▶お知らせメール
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ選択
送信先Eﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ登録
戻る

Information

◆ お知らせメール設定画面の表示は、「送信先Eメールアドレスを登録する(P.5-58)」の手順1～13を参照してください。

2. ▲音量▼ を押し、“お知らせメール”にカーソルを合わせます。

3. (決定)を押します。
お知らせメール画面が表示されます。

お知らせメール
▶する
しない

4. “する”を選択し、(決定)を押します。
録音お知らせメールが有効になります。

録音お知らせメールを無効にする場合は、“しない”を選択し、(決定)を押します。

5 留守番電話機能編

グループ留守番スケジュール

会社や店舗の業務スケジュールにあわせて、曜日ごとに留守番機能を自動で開始／停止できます。
グループごとに留守番機能を設定するため、部署単位で異なるスケジュールを設定することもできます。
グループ留守番スケジュールの設定は、メニューオペレーションの留守番／メール設定メニューで行います。

Note

- 手動で留守番機能が開始された場合、グループ留守番スケジュールは無効になります。

留守番スケジュールを登録する

新規に登録する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"留守番／メール設定"にカーソルを合わせます。

不在転送設定
▶留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

留守番／メール設定
▶個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
留守番スケジュール
メール基本情報

4. ▲音量▼ を押し、"留守番スケジュール"にカーソルを合わせます。

留守番／メール設定
個別ボックス
同報ボックス
グループボックス
▶留守番スケジュール
メール基本情報

5. 決定 を押します。
留守番スケジュール画面が表示されます。

留守番スケジュール
▶ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
ｽｹｼﾞｭｰﾙ即時適用
戻る

6. ▲音量▼ を押し、"スケジュール登録"にカーソルを合わせます。

7. 決定 を押します。
留守番スケジュールを登録する画面が表示されます（留守番グループは、1 ～ 12 グループを選択できます）。

留守番スケジュール
▶留守番1
留守番2
留守番3
留守番4
留守番5

8. **留守番グループを選択し、(決定)を押します。**
スケジュール - 留守番画面が表示されます。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙｰ留守番1
▶月曜日
 火曜日
 水曜日
 木曜日
 金曜日
```

9. **曜日または特定日を選択し、(決定)を押します。**
留守番 - 曜日画面が表示されます。

```
留守番1-月曜日
▶ﾀｲﾏ1 登録なし
 ﾀｲﾏ2 登録なし
 ﾀｲﾏ3 登録なし
 ﾀｲﾏ4 登録なし
```

10. **"タイマ 1"～"タイマ 4"を選択し、(決定)を押します。**

```
留守番1-月 -ﾀｲﾏ1
▶編集
 消去
 戻る
```

11. **(▲音量▼)を押し、"編集"にカーソルを合わせます。**

12. **(決定)を押します。**

```
留1-月 -ﾀｲﾏ1-時間
      (00:00～24:00)
          :  ～  :
ﾀｲﾏ1 00:00-09:00 M3
ﾀｲﾏ2 12:00-13:00 M2
ﾀｲﾏ3 17:30-24:00 M1
```

13. **タイマを設定します。**
開始時間と停止時間を 24 時間表記で、4 桁数字（0000 ～ 2400）を入力します。

（例：0 時～ 9 時の場合、[0][0][0][0][0][9][0][0]を押します。）

```
留1-月 -ﾀｲﾏ1-時間
      (00:00～24:00)
        00:00～09:00
ﾀｲﾏ1 00:00-09:00 M3
ﾀｲﾏ2 12:00-13:00 M2
ﾀｲﾏ3 17:30-24:00 M1
```

14. **(決定)を押します。**

```
留1-月 -ﾀｲﾏ1-ﾒｯｾｰｼﾞ
▶M1:応答ﾒｯｾｰｼﾞ1
 M2:応答ﾒｯｾｰｼﾞ2
 M3:応答ﾒｯｾｰｼﾞ3
 M4:応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1
 M5:応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ2
```

15. **応答メッセージを選択し、(決定)を押します。**
登録確認画面が表示されます。

```
留守番1-月 -ﾀｲﾏ1
登録しますか？
▶はい
 いいえ
```

16. **"はい"を選択し、(決定)を押します。**
タイマの登録が完了します。

```
留守番1-月曜日
▶ﾀｲﾏ1 00:00-09:00 M4
 ﾀｲﾏ2 登録なし
 ﾀｲﾏ3 登録なし
 ﾀｲﾏ4 登録なし
  M4:応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1
```

17. **手順 10 ～ 16 を繰り返し、その他のタイマを設定します。**

18. 着信履歴 または クリア/再ダイヤル を押します。もしくは、“戻る”を選択し 決定 を押します。

スケジュール - 留守番画面に戻ります。

スケジュール-留守番1
▶月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日

19. 手順 9 ～ 18 を繰り返し、その他の曜日または特定日を設定します。

登録されている曜日または特定日の設定内容をコピーすることもできます。

コピーの方法は、「曜日または特定日の設定をコピーする（P.5-66）」を参照してください。

20. 着信履歴 または クリア/再ダイヤル を押します。もしくは、“戻る”を選択し 決定 を押します。

留守番スケジュール画面に戻ります。

留守番スケジュール
▶留守番1
留守番2
留守番3
留守番4
留守番5

21. 手順 8 ～ 20 を繰り返し、その他の留守番グループを設定します。

登録されている留守番グループの設定内容をコピーすることもできます。

コピーの方法は、「留守番グループの設定をコピーする（P.5-67）」を参照してください。

22. 着信履歴 または クリア/再ダイヤル を押します。もしくは、“戻る”を選択し 決定 を押します。

留守番スケジュール画面に戻ります。

留守番スケジュール
▶ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
ｽｹｼﾞｭｰﾙ即時適用
戻る

23. ▲音量▼ を押し、“スケジュール即時適用”にカーソルを合わせます。

留守番スケジュール
ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶ｽｹｼﾞｭｰﾙ即時適用
戻る

24. 決定 を押します。

適用確認画面が表示されます。

設定したスケジュール
を適用しますか？
▶はい
いいえ

25. “はい”を選択し、決定 を押します。

現在時刻に合ったグループ留守番スケジュールが適用（ON または OFF）されます。

Information

◆ 手動で留守番機能を開始している場合でも、現在時刻のスケジュールが停止となっていた場合、留守番機能は停止されます。

タイマの設定を消去する

例） 以下の操作は、留守番グループ 1 の月曜日（タイマ 1）の設定を消去する方法について説明しています。

1. 留守番スケジュール画面を表示します。

Information

◆ 留守番スケジュール画面の表示は、「新規に登録する（P.5-62）」の手順 1 〜 7 を参照してください。

```
留守番スケジュール
▶留守番1
 留守番2
 留守番3
 留守番4
 留守番5
```

2. ▲音量▼ を押し、“留守番 1”にカーソルを合わせます。

3. 決定 を押します。
スケジュール - 留守番画面が表示されます。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ-留守番1
▶月曜日
 火曜日
 水曜日
 木曜日
 金曜日
```

4. ▲音量▼ を押し、“月曜日”にカーソルを合わせます。

5. 決定 を押します。
留守番 - 曜日画面が表示されます。

```
留守番1-月曜日
▶ﾀｲﾏ1 00:00-09:00 M4
 ﾀｲﾏ2 12:00-13:00 M2
 ﾀｲﾏ3 17:30-24:00 M1
 ﾀｲﾏ4 登録なし
  M4:応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1
```

6. ▲音量▼ を押し、“タイマ 1”にカーソルを合わせます。

7. 決定 を押します。

```
留守番1-月 -ﾀｲﾏ1
▶編集
 消去
 戻る
```

8. ▲音量▼ を押し、“消去”にカーソルを合わせます。

```
留守番1-月 -ﾀｲﾏ1
 編集
▶消去
 戻る
```

9. 決定 を押します。
消去確認画面が表示されます。

```
留守番1-月 -ﾀｲﾏ1
消去しますか？
 はい
▶いいえ
```

10. “はい”を選択し、決定 を押します。
タイマ 1 の消去が完了します。

5
留守番電話機能編

曜日または特定日の設定をコピーする

例）以下の操作は、留守番グループ 1 の月曜日の設定を、火曜日と木曜日にコピーする方法について説明しています。

1. 留守番スケジュール画面を表示します。

Information

◆ 留守番スケジュール画面の表示は、「新規に登録する（P.5-62）」の手順 1 〜 7 を参照してください。

留守番スケジュール
▶留守番1
留守番2
留守番3
留守番4
留守番5

2. ▲音量▼ を押し、"留守番 1"にカーソルを合わせます。

3. 決定 を押します。

スケジュール - 留守番画面が表示されます。

ｽｹｼﾞｭｰﾙ-留守番1
▶月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日

4. ▲音量▼ を押し、"月曜日"にカーソルを合わせます。

5. 決定 を押します。

留守番 - 曜日画面が表示されます。

留守番1-月曜日
▶ﾀｲﾏ1 00:00-09:00 M4
ﾀｲﾏ2 12:00-13:00 M2
ﾀｲﾏ3 17:30-24:00 M1
ﾀｲﾏ4 登録なし
M4:応答専用ﾒｯｾｰｼﾞ1

6. ▲音量▼ を押し、"月曜日以外へコピー"にカーソルを合わせます。

留守番1-月曜日
▶月曜日以外へｺﾋﾟｰ
戻る

7. 決定 を押します。

留守番 - 曜日 - コピー先画面が表示されます。

コピー元の曜日または特定日には、●が表示されます。

コピー先の曜日または特定日は複数設定でき、□または■が表示されます。

■：コピーします。
□：コピーしません。

留守番1-月 -ｺﾋﾟｰ先
▶●月曜日
□火曜日
□水曜日
□木曜日
[保留]実行

8. ▲音量▼ を押し、"火曜日"にカーソルを合わせます。

留守番1-月 -ｺﾋﾟｰ先
●月曜日
▶□火曜日
□水曜日
□木曜日
[保留]実行

9. （決定）**を押します。**

火曜日の表示が□→■になります。

曜日または特定日にカーソルを合わせて（決定）を押すたびに、□または■の表示が反転します（□→■、■→□になります）。

留守番1-月 -ｺﾋﾟ-先
●月曜日
▶■火曜日
□水曜日
□木曜日
[保留]実行

10. （▲音量▼）**を押し、"木曜日"にカーソルを合わせます。**

留守番1-月 -ｺﾋﾟ-先
●月曜日
■火曜日
□水曜日
▶□木曜日
[保留]実行

11. （決定）**を押します。**

木曜日の表示が□→■になります。。

留守番1-月 -ｺﾋﾟ-先
●月曜日
■火曜日
□水曜日
▶■木曜日
[保留]実行

12. （保留）**を押します。**

実行確認画面が表示されます。

留守番1-月 -ｺﾋﾟ-
実行しますか？
はい
▶いいえ

13. "はい"を選択し、（決定）**を押します。**

コピーが完了します。

留守番グループの設定をコピーする

例） 以下の操作は、留守番グループ 1 の設定を、留守番グループ 2 と 3 にコピーする方法について説明しています。

1. 留守番スケジュール画面を表示します。

留守番スケジュール
▶留守番1
留守番2
留守番3
留守番4
留守番5

Information

◆ 留守番スケジュール画面の表示は、「新規に登録する（P.5-62）」の手順 1 ～ 7 を参照してください。

2. （▲音量▼）**を押し、"留守番 1"にカーソルを合わせます。**

3. （決定）**を押します。**

スケジュール - 留守番画面が表示されます。

ｽｹｼﾞｭｰﾙ-留守番1
▶月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日

4. （▲音量▼）**を押し、"留守番 1 以外へコピー"にカーソルを合わせます。**

ｽｹｼﾞｭｰﾙ-留守番1
土曜日
日曜日
特定日1
特定日2
▶留守番1以外へｺﾋﾟｰ

5

留守番電話機能編

5. 決定 **を押します。**

留守番 - コピー先選択画面が表示されます。

コピー元の留守番グループには、●が表示されます。

コピー先の留守番グループは複数設定でき、□または■が表示されます。

■：コピーします。
□：コピーしません。

留守番1-コピ゜-先
▶●留守番1
□留守番2
□留守番3
□留守番4
[保留]実行

6. ▲音量▼ **を押し、"留守番 2" にカーソルを合わせます。**

留守番1-コピ゜-先
●留守番1
▶□留守番2
□留守番3
□留守番4
[保留]実行

7. 決定 **を押します。**

留守番 2 の表示が□→■になります。

留守番グループにカーソルを合わせて 決定 を押すたびに、□または■の表示が反転します（□→■、■→□になります）。

留守番1-コピ゜-先
●留守番1
▶■留守番2
□留守番3
□留守番4
[保留]実行

8. ▲音量▼ **を押し、"留守番 3" にカーソルを合わせます。**

留守番1-コピ゜-先
●留守番1
■留守番2
▶□留守番3
□留守番4
[保留]実行

9. 決定 **を押します。**

留守番 3 の表示が□→■になります。

留守番1-コピ゜-先
●留守番1
■留守番2
▶■留守番3
□留守番4
[保留]実行

10. 保留 **を押します。**

実行確認画面が表示されます。

留守番1-コピ゜-
実行しますか？
はい
▶いいえ

11. **"はい" を選択し、** 決定 **を押します。**

コピーが完了します。

特定日を登録する

祝日などの特別な日（特定日）には、曜日とは別の留守番スケジュールを設定することができます。特定日の留守番スケジュールを設定するには、あらかじめ特定日を特定日に登録しておく必要があります。
特定日はその目的に合わせて、2 種類（特定日 1 または特定日 2）を設定することができます。
特定日の登録内容は、全グループ共通で使用します。

新規に登録する

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

```
▶不在転送設定
 留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
 電話帳登録
 メニュー終了
```

2. 音量▲ ▼ を押し、“留守番／メール設定”にカーソルを合わせます。

```
 不在転送設定
▶留守番／メール設定
 鳴音種別設定
 音量調整
 電話帳登録
 メニュー終了
```

3. 決定 を押します。
留守番／メール設定画面が表示されます。

```
留守番／メール設定
▶個別ボックス
 同報ボックス
 グループボックス
 留守番スケジュール
 メール基本情報
```

4. 音量▲ ▼ を押し、“留守番スケジュール”にカーソルを合わせます。

```
留守番／メール設定
 個別ボックス
 同報ボックス
 グループボックス
▶留守番スケジュール
 メール基本情報
```

5. 決定 を押します。
留守番スケジュール画面が表示されます。

```
留守番スケジュール
▶ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録
 ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
 ｽｹｼﾞｭｰﾙ即時適用
 戻る
```

6. 音量▲ ▼ を押し、“スケジュール特定日設定”にカーソルを合わせます。

```
留守番スケジュール
 ｽｹｼﾞｭｰﾙ登録
▶ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
 ｽｹｼﾞｭｰﾙ即時適用
 戻る
```

7. 決定 を押します。
スケジュール特定日設定画面が表示されます。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
 特定日2
 戻る
```

8. **“特定日 1”または“特定日 2”を選択し、（決定）を押します。**
特定日画面が表示されます。

特定日1
登録なし
[保留]新規登録

9. **（保留）を押します。**

特定日1-登録
月　日

10. **特定日を入力します。**
4 桁数字を入力します。
（例：1 月 1 日の場合、0 1 0 1 を押します。）

特定日1-登録
01月01日

11. **（決定）を押します。**
特定日が登録されます。

12. **手順 9 〜 11 を繰り返し、特定日を設定します。**
特定日 1 または特定日 2 の月日登録は、各 50 日まで登録できます。

特定日1
▶01月01日
[保留]新規登録

13. **着信履歴（ または クリア/再ダイヤル を押します。**
スケジュール特定日設定画面に戻ります。

ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
特定日2
戻る

登録内容を編集する

1. スケジュール特定日設定画面を表示します。

◆ スケジュール特定日設定画面の表示は、「新規に登録する（P.5-69）」の手順 1 ～ 7 を参照してください。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
 特定日2
 戻る
```

2. 編集する特定日が登録されている“特定日 1”または“特定日 2”を選択し、決定を押します。

特定日画面が表示されます。

```
特定日1
▶01月01日
 04月02日
 08月07日
        [保留]新規登録
```

3. 編集する特定日を選択し、決定を押します。

```
特定日1-01月01日
▶編集
 1件消去
 全件消去
 戻る
```

4. ▲音量▼ を押し、“編集”にカーソルを合わせます。

5. 決定を押します。

```
特定日1-登録
          01月01日
```

6. 特定日を編集します。

（例：1 月 15 日の場合、0 1 1 5 を押します。）

```
特定日1-登録
          01月15日
```

7. 決定を押します。

編集した特定日が登録されます。
続けて他の特定日を編集する場合は、手順 3 ～ 7 を繰り返します。

```
特定日1
▶01月15日
 04月02日
 08月07日
        [保留]新規登録
```

8. 着信履歴 または クリア/再ダイヤル を押します。

スケジュール特定日設定画面に戻ります。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
 特定日2
 戻る
```

登録内容を消去する（1 件ごとの削除）

1. スケジュール特定日設定画面を表示します。

Information

◆ スケジュール特定日設定画面の表示は、「新規に登録する（P.5-69）」の手順 1 ～ 7 を参照してください。

スｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
特定日2
戻る

2. 消去する特定日が登録されている“特定日 1”または“特定日 2”を選択し、決定を押します。

特定日画面が表示されます。

特定日1
▶01月01日
04月02日
08月07日
[保留]新規登録

3. 消去する特定日を選択し、決定を押します。

特定日1-01月01日
▶編集
1件消去
全件消去
戻る

4. ▲音量▼ を押し、“1 件消去”にカーソルを合わせます。

特定日1-01月01日
編集
▶1件消去
全件消去
戻る

5. 決定を押します。

特定日1-01月01日
消去しますか？
はい
▶いいえ

6. “はい”を選択し、決定を押します。

1 件消去が完了します。
続けて他の特定日を消去する場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

特定日1
▶04月02日
08月07日
[保留]新規登録

7. 着信履歴 または クリア/再ダイヤル を押します。

スケジュール特定日設定画面に戻ります。

スｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
特定日2
戻る

登録内容を消去する（全件削除）

1. スケジュール特定日設定画面を表示します。

◆ スケジュール特定日設定画面の表示は、「新規に登録する（P.5-69）」の手順1～7を参照してください。

```
ｽｹｼﾞｭｰﾙ特定日設定
▶特定日1
 特定日2
 戻る
```

2. 消去する特定日が登録されている“特定日 1”または“特定日 2”を選択し、(決定)を押します。

特定日画面が表示されます。

```
特定日1
▶01月01日
 04月02日
 08月07日
         [保留]新規登録
```

3. (決定)を押します。

```
特定日1-01月01日
▶編集
 1件消去
 全件消去
 戻る
```

4. ▲音量▼ (▲)(▼)を押し、“全件消去”にカーソルを合わせます。

```
特定日1-01月01日
 編集
 1件消去
▶全件消去
 戻る
```

5. (決定)を押します。

```
特定日1
全件消去しますか？
 はい
▶いいえ
```

6. “はい”を選択し、(決定)を押します。

全件消去が完了します。

```
特定日1
登録なし
         [保留]新規登録
```

5

留守番電話機能編

応用操作 / 応用機能編

外線発信関連

応答しない相手に何度もかけ直す <オートリピートダイヤル> 取り付け時設定

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、一旦、受話器を戻して待機しておくだけで、一定時間ごとに自動的に再発信できます。

オートリピートダイヤルの登録・再発信

1. 相手が応答しない状態（呼び出し中または話中）で、[オートリピートダイヤル] を押します。

[オートリピートダイヤル] が赤色に点灯します。

登録が完了すると、現在使用中の外線が切断されます。

```
030570XXXX
        11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[オートリピートダイヤル] の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

2. 受話器を戻して、待機しておきます。

登録したダイヤル宛にあらかじめ設定された周期で再発信します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

Note

- 再発信するするときは、登録したときの発信方法と同じ方法で外線を自動選択します。
- 再発信する周期は、初期値：120 秒です。61 秒周期にすることもできます。 取り付け時設定
- 再発信しても相手が応答しないときは、あらかじめ設定されたオートリピートダイヤル回数分、発信を繰り返します。取り付け時設定
- 再発信に使用する外線が話中の場合でも、オートリピートダイヤル回数にカウントされます。
- 再発信による呼び出し中に、[スピーカ] を押すと、呼び出しを中止し、次の周期に移行します。

3. 相手が応答したら、受話器を上げてお話しします。

```
局線 #2   GP.1
0:05        9円
```

オートリピートダイヤルの解除

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. オートリピートダイヤル ＊ を押します。
解除が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、オートリピートダイヤル が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにオートリピートダイヤル の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

受話器を持たないでお話しする <外線ハンズフリー通話> 取り付け時設定

受話器を持たないでお話しすることができます。

マイクをオン／オフする

1. 受話器を置いたまま、マイク を押し、マイクをオンにします。
マイクがオンになると、マイク が赤色に点灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにマイク の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

Information

◆ マイクをオンにするには、マイク の代わりに、機能 6 1 を押しても同じ操作ができます。

2. 再び、マイク を押すと、マイクはオフになります。
マイクがオフになると、マイク が消灯します。

Information

◆ マイクをオフにするには、マイク の代わりに、機能 0 6 1 を押しても同じ操作ができます。

外線ハンズフリー通話を行う（発信）

Note

- あらかじめマイクをオンの状態にしておきます。

1. 受話器を置いたまま、外線を捕捉して相手の電話番号をダイヤルします。

電話機のスピーカから、呼び出し音が聞こえます。

```
     03XXXX0570
一般回線
```

2. 相手が応答したら、マイクに向かって話します。

Note

- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくくなりお話しが途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。

```
局線 #2   GP.1
0:05        9円
```

3. お話しが終了したら、［スピーカ］を押します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

外線ハンズフリー通話を行う（着信）

Note

- あらかじめマイクをオンの状態にしておきます。

1. 着信音が聞こえたら、受話器を置いたまま、［スピーカ］を押します。

［スピーカ］が赤色に点滅します。

```
相手先 山田商事
0:02
```

2. マイクに向かって、話します。

Note

- 相手側の周囲、または自分側の周囲の騒音が大きいときは、マイクが音声をひろいにくくなりお話しが途切れることがあります。このときは、受話器を上げてお話ししてください。

3. お話しが終了したら、［スピーカ］を押します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

Note

- マイクがオフのときは、受話器を使用してお話ししてください。受話器を上げてお話し中は、ハンズフリー通話にできません。
- ハンズフリー通話のときは、電話機との距離が 1m を越えないようにしてください。マイクが声をひろいにくくなります。
- あらかじめフレキシブルボタンに［マイク］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

受話器を上げるだけで外線を捕捉する <空外線自動捕捉> 取り付け時設定

受話器を上げるだけで、自動的に空いている外線を捕捉することができます。

1. 受話器を上げます。

```
内線
            11
```

2. 空いている外線が自動的に捕捉されます。

外線を捕捉すると、外線発信音（プー）が聞こえます。

Note

● 発信グループに設定されている全ての外線が使用中のときは、受話器を上げると、「プープープー」という話中音が聞こえます。また、ディスプレイには「話し中」と表示されます。

```
局線 #1    GP.1
一般回線
```

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

```
       030570XXXX
一般回線
```

4. 相手が応答したら、お話しします。

```
局線 #1    GP.1
0:05           9円
```

市外発信規制／市外発信クラス切替え 取り付け時設定

電話機ごとに、市外にかける外線を規制できます。各電話機に市外発信クラス（0～7の8クラス）を設定して規制します。市外発信クラスは、電話機ごとに8クラスの中から1つを設定します。

市外発信クラス	規　制　内　容
0	規制はありません。
1～4	市外発信クラス、外線の市外発信グループで示される規制方法、規制するダイヤル登録によりダイヤル規制をおこないます。 規制ダイヤルデータは、最大48桁です。
5	システム電話帳での発信のみを許可します。
6	全ての外線発信を禁止します。外線着信の規制はありません。
7	全ての外線の発着信を禁止します（ただし、外線鳴音中、および外線自動転送は除きます）。

Note

● 市外発信クラスは2種類のモード（モード1、モード2）を設定でき、電話機、またはグループ単位で切替えることができます。モードの切替え操作は、システム電話機からおこないます。システム

● グループ単位でモード2に切替えているときは、グループに所属している電話機のモードを、モード1に切替えることはできません。

ACR 機能を使って電話をかける 取り付け時設定

ACR とは、自動的に特定の電話会社に接続する機能のことです。通信回線各社と契約している場合、通常の外線へかけるときと同じ操作で自動的に電話会社を選択して発信することができます。

強制 ACR に設定されていない場合

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. ACR発信 を押します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに ACR発信 の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

ACR発信
11

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

030570XXXX
11

強制 ACR に設定されている場合

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 外線 を押します。

局線 #1　GP.1
一般回線

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

030570XXXX
一般回線

Note

- どの電話会社を優先するかをあらかじめ登録しておくことができます。
- ACR 機能をお使いになった場合、お使いにならない場合に比べてダイヤルされるまでに少し時間がかかります。
- 強制 ACR 機能に設定されている場合で、ACR 機能を使わないで発信したいときは、相手番号をダイヤルする前に、ACR オーバーライドコード（初期値：009）をダイヤルしてください。
- ACR 発信時、システムの設定により、使用中のキャリア名称を電話機の LCD へ表示することができます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

内線発信関連

呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出す <内線代表呼び出し> 取り付け時設定

特定グループの誰でも良いので呼び出したい場合に、グループ内で空いている電話機を自動選択し、呼び出します。

1. 受話器を上げます。

```
内線
        11
```

2. 呼び出したいグループの代表番号をダイヤルします。

```
呼び出し中 7201
        11
```

Note

- グループ内の電話機を呼び出せない場合は、「プープープー」という話中音が聞こえます。
- 代表番号はシステムで設定します。設定内容の確認または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

Information

◆ グループごとに設定されている代表番号をダイヤルする代わりに、[内線代表グループ]を押しても同じ操作ができます。取り付け時設定

◆ あらかじめフレキシブルボタンに[内線代表グループ]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

3. 相手が応答したら、お話しします。

```
4月 8日(火)16:35
内線         12
```

Note

- 外線とお話し中に再度同じグループのボタンを押すと、お話し中の外線を転送保留にした後、呼び出します。

Information

◆ 内線代表呼び出しは、トーン呼び出しになります。呼び出し中に、音声呼び出しに切替えることもできます(「内線呼び出し音を切替える <音声呼び出し>/<トーン呼び出し>(P.3-46)」)。

◆ 呼び出した電話機が応答しない場合、一定時間(初期値:10 秒)経過後に、次の電話機に呼び出し先が変更されます。ただし、音声呼び出しに切替わった場合は、呼び出し先の変更は行われません。

呼び出したい部署の電話機を一斉に呼び出す <グループ呼び出し> 取り付け時設定

特定グループの全員を呼び出したい場合に、グループ内の全ての電話機を呼び出します。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 呼び出したいグループの［ページング グループ］を押します。

予告音が聞こえます。

Note

- グループ内の呼び出し対象電話機が全て話中の場合は、「プープープー」という話中音が聞こえます。
- グループ呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音が送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに［ページング グループ］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ ［ページング グループ］の代わりに、グループごとに設定されている呼び出し番号をダイヤルして呼び出すこともできます。取り付け時設定

◆ グループの呼び出し番号の詳細は、お買い求めの販売店にご確認ください。

呼び出し中　8#1
11

3. 用件を話します。

Note

- 外線とお話し中に、［ページング グループ］を押すと、お話し中の外線を共通保留にした後、呼び出します。
- グループ呼び出しは、音声呼び出しになります。トーン呼び出しによる呼び出しもできます。取り付け時設定
- グループ呼び出しには、以下の電話機が応答できます。
  - ・音声呼び出しの場合：最初に<ミート・ミー応答>で応答した電話機のみが応答できます（「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する <ミート・ミー応答>（P.9-9）」）。取り付け時設定
  - ・トーン呼び出しの場合：最初に受話器を上げて応答した電話機のみが応答できます。
- 以下の電話機は、鳴音しません。
  - ・不在転送が設定されている
  - ・ドントディスターブが設定されている
  - ・不在メッセージが設定されている
  - ・強制解放されている
- グループ呼び出し開始時の予告音は、ページング呼び出し開始時の予告音と同じです（「外部スピーカを使用して呼び出す<ページング呼び出し>（P.9-8）」）。

全ての電話機を一斉に呼び出す <一斉呼び出し> 取り付け時設定

複数の電話機と外部スピーカに対して、音声呼び出しを行います。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 一斉 を押します。
予告音が聞こえます。

Note

- 一斉呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音が送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに 一斉 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

呼び出し中　8#0
11

3. 用件を話します。

Information

◆ 一斉 の代わりに、一斉呼び出し番号（初期値：8 # 0）をダイヤルして呼び出すこともできます。
取り付け時設定

一斉呼び出し を押して呼び出す

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 一斉呼び出し を押し、押したまま用件をお話します。

予告音が聞こえ、一斉呼び出し を押している間のみ、音声呼び出しができます。

呼び出し中　8#0
11

Note

- 一斉呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音が送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに 一斉呼び出し の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. お話しが終わったら、[一斉呼び出し]から手を離します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 外線とお話し中に、[一斉]または[一斉呼び出し]を押すと、お話し中の外線を共通保留にした後、呼び出します。
- 以下の電話機は、鳴音しません。
  - ・不在転送が設定されている
  - ・ドントディスターブが設定されている
  - ・不在メッセージが設定されている
  - ・強制解放されている
- 一斉呼び出しには、最初に<ミート・ミー応答>で応答した電話機のみが応答できます（「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する <ミート・ミー応答>（P.9-9）」）。
- 一斉呼び出し開始時の予告音は、ページング呼び出し開始時の予告音と同じです（「外部スピーカを使用して呼び出す<ページング呼び出し>（P.9-8）」）。

Information

◆ 外部スピーカからの呼び出しを行うには、外部スピーカ、アンプが別途必要です。取り付け時設定

受話器を上げるだけで特定の内線を呼び出す <内線ホットライン> 取り付け時設定

受話器を上げるだけで、あらかじめ設定された電話機を呼び出すことができます。

1. 受話器を上げます。

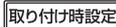
設定されている内線番号を自動的に呼び出します。

呼び出し中　12
11

2. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線　12

Note

- 呼び出し先には、<内線番号>、<代表呼び出し番号>、<一斉呼び出し番号>、<グループ呼び出し番号>、<ページング呼び出し番号>が設定できます。取り付け時設定
- 以下の機能が設定されている場合、受話器を上げたときに<内線ホットライン>より優先されます。
  - ・着信自動応答
  - ・外線自動発信
  - ・外線自動捕捉

内線をワンタッチで呼び出す ＜ DSS ＞ 取り付け時設定

内線相手をワンタッチで呼び出します。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 呼び出す相手の DSS を押します。

設定されている内線番号を自動的に呼び出します。

● あらかじめフレキシブルボタンに DSS の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

呼び出し中　12
11

3. 相手が応答したら、お話しします。

4月　8日（火）16:35
内線　12

DSS のランプ表示

DSS には、設定されている内線相手の状態が以下の優先順位で表示されます。

1：ドントディスターブ中または不在転送中のとき（赤色に点滅します）
2：話中のとき（赤色に点灯します）
3：空き状態のとき（消灯します）

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに DSS の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

● システム電話機の DSS は、該当する電話機が呼び出されている時も赤色に点灯します。

呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出す <クリアコール>／<シフトコール> 取り付け時設定

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、受話器を上げたまま、他の内線番号の呼び出しに切替えることができます。<クリアコール>と<シフトコール>の機能は、どちらか 1 つを設定できます。

呼び出し中の内線番号をクリアし、別の内線番号を呼び出す<クリアコール>

1. **呼び出し中または話中のときに、別の内線番号をダイヤルします。**
呼び出し中の内線番号の呼び出しを終了し、ダイヤルした別の内線番号を呼び出します。

```
呼び出し中　13
　　　　　　 11
```

2. **相手が応答したら、お話しします。**

```
4月 8日(火)16:35
 内線　　　　　13
```

Note

- <クリアコール>は、呼び出した相手が以下の状態のときにも行えます。
  - ・警告音が聞こえるとき
  - ・ドントディスターブ音が聞こえるとき
  - ・話中呼び出し音が聞こえるとき
  - ・音声呼び出しを行っているとき

呼び出し中の内線番号の末尾 1 桁を変更し、別の内線番号を呼び出す <シフトコール>

1. **呼び出し中または話中のときに、別の内線番号の末尾 1 桁をダイヤルします。**
呼び出し中の内線番号の呼び出しを終了し、ダイヤルした別の内線番号（最初に呼び出した内線番号と末尾 1 桁違いの内線番号）を呼び出します。

```
呼び出し中　13
　　　　　　 11
```

2. **相手が応答したら、お話しします。**

```
4月 8日(火)16:35
 内線　　　　　13
```

Note

- <シフトコール>は、呼び出した相手が以下の状態のときにも行えます。
  - ・ドントディスターブ音が聞こえるとき
  - ・話中呼び出し音が聞こえるとき
  - ・音声呼び出しを行っているとき

呼び出した相手が話中の場合に、お話しが終了したことを知らせる <コールバック> 取り付け時設定

呼び出した相手が話中の場合に、コールバック（呼び返し）の登録をしておくと、相手のお話しが終了次第、通知音で知らせてくれます。また、通知音が鳴ったら応答する（受話器を上げる）だけで、自動的にコールバックの登録をした相手を呼び出します。

コールバックを設定する

1. 相手が話中のときに、[内線コールバック]を押します。

設定が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[内線コールバック]が赤色に点灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- 話中の状態には、ドントディスターブ中、話中呼び出し中も含みます。
- あらかじめフレキシブルボタンに[内線コールバック]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ [内線コールバック]の代わりに、[機能] [4] [3]を押しても同じ操作ができます。

2. 受話器を戻して、待機しておきます。

Note

- <コールバック>を設定できる相手は、1ヵ所のみです。

コールバックに応答する

1. コールバックを設定した相手のお話しが終了すると、通知音が鳴ります。

```
内線ｺｰﾙﾊﾞｯｸ 12
              11
```

2. 受話器を上げます。

コールバックを設定した相手の内線番号を自動的に呼び出します。

```
呼び出し中   12
              11
```

3. 相手が応答したら、お話しします。

```
4月 8日(火)16:35
 内線         12
```

Note

- 相手がドントディスターブ中にコールバックを設定した場合、ドントディスターブが解除された時点で、コールバックを行います。
- 以下の場合、<コールバック>は無効になります。
  - ・通知音が鳴っている間に応答しないとき
  - ・コールバック通知時に、内線着信よりも優先順位の高い呼び出しで話中状態のとき

設定したコールバックを取り消す

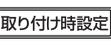
1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 内線コールバック ＊ を押します。
取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、
内線コールバック が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 内線コールバック の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 内線コールバック の代わりに、機能 0 4 3 を押しても同じ操作ができます。

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

呼び出した相手の応答がない場合に強制的に呼び出す ＜オーバーライド＞ 取り付け時設定

呼び出した相手が着信拒否または話中で応答しない場合に、強制的に呼び出すことができます。

1. 相手が話中のときに、［オーバーライド］を押します。
相手の電話機には、割り込み音が聞こえます。

話中呼び出し　12
　　　　　　　　11

Note

- 話中の状態には、ドントディスターブ中も含みます。
- あらかじめフレキシブルボタンに［オーバーライド］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線　　　　　12

Information

◆ あらかじめオーバーライド可の電話機を指定することができます。取り付け時設定
◆ オーバーライド可の電話機で内線呼び出しを行った場合は、手順 1 の操作は不要です。内線呼び出しを行った時点で、強制呼び出しになります。

Note

- 話中呼び出し禁止の電話機に対しても、＜オーバーライド＞は有効です。
- オーバーライド可能な電話機からの呼び出しが着信中の電話機に、他のオーバーライド可能な電話機が呼び出しを行うと、呼び出した電話機には話中音が聞こえます。
- 以下の場合、＜オーバーライド＞は無効になります。
  ・ 操作規制が設定されている電話機に対する呼び出し
  ・ お話し中のドアホンに対する呼び出し

着信関連

メニューオペレーションで着信音を設定する

多機能電話機の鳴音種別を設定します。

Information

◆ 鳴音種別設定にて着信音を変更した場合は、外線／内線ともに、変更した着信音になります。

1. 受話器を置いたまま、[メニュー] または (決定) を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. [▲音量] [▼] を押し、“鳴音種別設定”にカーソルを合わせます。

不在転送設定
留守番／メール設定
▶鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

3. (決定) を押します。
鳴音種別選択画面が表示されます。

鳴音種別選択
▶次
前
登録
戻る
2

4. [▲音量] [▼] を押して項目を選択し、(決定) を押します。
現在選択されている鳴音種別がディスプレイの右下に表示されます。

鳴音種別選択
▶次
前
登録
戻る
3

項目	動作
次	次候補の着信音が鳴ります。
前	前候補の着信音が鳴ります。
登録	現在、選択している着信音に設定します。
戻る	メインメニュー画面に戻ります。

5. 選択した着信音でよろしければ、“登録”にカーソルを合わせ、(決定) を押します。
登録が完了した場合、設定完了画面が表示され、３秒後にメインメニュー画面に戻ります。

Note

● 着信音は１～８の８種類です。各着信音の鳴動パターンは、「電話機着信音の種類（P.12-6)」を参照してください。

● [メニュー] の代わりに、[機能] [#] [＊] を押して設定を行う場合

・電話機が空きの状態のときに、[機能] [#] [＊] を押した後、着信音（[1]～[8]）と [#] を押して、着信音を設定することもできます。

・着信音に [0] を指定すると、着信音の変更を取り消します。なお、[メニュー] からの操作では、取り消すことができません。

外線着信時、外線により鳴音する電話機を指定する 取り付け時設定

外線から着信があったときに、外線ごとに鳴音する電話機を指定することができます。

鳴音を伴わない着信（無鳴音着信）を設定することもできます。取り付け時設定

無鳴音着信とは、ランプ、ディスプレイ表示等は、鳴音着信と同様です。無鳴音着信できる着信は、一般着信のみです。

Note

● 無鳴音着信を設定していても、相手別の着信音を指定している場合は、鳴音着信となります（スライド着信した場合も同様です）。

スライド着信 取り付け時設定

外線着信時に、指定された電話機が鳴音しますが、一定時間内に応答しない場合、別に指定した電話機も鳴音することができます。
スライド着信できる着信は、一般着信のみです。
スライド着信に移行するまでの時間とスライド着信する電話機の設定が必要です。
スライド着信に移行すると、スライド着信前に鳴音していた電話機とスライド着信先の電話機は、警報音で鳴音します。

昼間と夜間の着信先を変更する 取り付け時設定 システム

外線着信時に鳴音する電話機を夜間モードに切替えることができます。
夜間モードに切替えると、夜間または休日に外線着信があったときに、鳴音する電話機を特定の部署だけ（例えば守衛所だけ）にすることができます。

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 夜間切替 を押します。

切替えが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。
夜間モード状態のとき
夜間切替 が赤色に点灯します。
昼間モード状態のとき
夜間切替 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 夜間切替 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

● あらかじめ切替え時刻を設定し、自動的に夜間モードに切替えることもできます（夜間モードから昼間モードへの切替えは、夜間切替 を押して切替えてください)。取り付け時設定

● 昼間／夜間に鳴音させる電話機は、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定

6
応用操作／応用機能編

DISA 外部からプッシュ信号により内線個別呼び出しをする 取り付け時設定

外出先から電話をかけ、システムが自動応答した後に、アクセスダイヤルをプッシュ信号によりダイヤルすることで、システム内の電話機を呼び出すことができます。また、システム内の機能をコントロールすることもできます。
システムは、音声案内、または確認音による自動応答ができます。
DISA 着信の機能をお使いになる場合は、DISA 用の専用回線が必要となります。

Note

- アクセスダイヤルは呼び出し方法やアクセスする機能に対応した番号で、それぞれをシステムで設定します。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

外出先からの操作（内線の個別呼び出し）

1. DISA 用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
システムが自動応答し、音声案内、または確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

2. 呼び出す相手の内線番号をダイヤルします。

Information

◆ 内線番号の代わりに、グループごとに設定している代表番号をダイヤルすることで、代表呼び出しもできます。

3. 相手が応答したら、お話しします。

Information

◆ 呼び出した相手が一定時間応答しなかった場合、その他の電話機への着信とすることができます。
取り付け時設定
◆ 個別呼び出し／代表呼び出しは、システムの機能アクセスからも行えます。

外出先からの操作（システムの機能アクセス）

1. DISA 用に設定した外線の電話番号をダイヤルします。
システムが自動応答し、音声案内、または確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

2. [＊] を押します。

3. パスワードを登録している電話機の内線番号をダイヤルします。
パスワード入力の要求案内、または第 2 発信音（ププププ）が聞こえます。

4. パスワードを登録している電話機のパスワードをダイヤルします。

パスワードを間違えた場合は、[＃] を 2 回押すと、ガイダンス（音声案内、または確認音）に戻ります（手順 2 からやり直しができます）。ただし、やり直しは 3 回以内です。

5. アクセスする機能に対応した番号をダイヤルします。

内線を呼び出す場合

1.呼び出し方法に対応した番号をダイヤルします。
- 内線番号
- グループごとに設定している代表番号
- 一斉呼び出し番号／グループ呼び出し番号／ページング呼び出し番号

内線呼び出し中に、[#]を2回押すと、内線発信音に戻ります。

外線発信する場合

1.外線ごとに設定している番号をダイヤルします。
2.相手の電話番号をダイヤルします。

外線グループ発信する場合

1.使用する外線グループの外線グループアクセス番号をダイヤルします。
2.相手の電話番号をダイヤルします。

ACR 発信する場合

1.ACR 発信する外線に設定している番号をダイヤルします。
2.相手の電話番号をダイヤルします。

短縮ダイヤル発信する場合

1.[*]を押します。
2.相手の短縮番号をダイヤルします。

6. 相手が応答したら、お話しします。一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出しの場合は、用件を話します。

着信に応答できないときにメッセージを送ってお待ちいただく ＜自動おまたせメッセージ＞ 取り付け時設定

外線着信があったときに、空いている電話機を自動選択して着信させることができます。
また、複数の外線着信に応答していて、新たな外線着信に応答できない場合に、相手にメッセージを流してお待ちいただくことができます。

Note

- **ダイヤルイン回線およびｉナンバー回線でも動作します。**

メッセージについて

一定時間内に応答できない場合に、システムが自動応答してメッセージを流します。自動応答するまでの時間はあらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
メッセージ終了後は、保留音になります。

メッセージは、一定間隔ごとに流します。メッセージの間隔はあらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
メッセージとメッセージの間は、保留音になります。

メッセージ内容は、1 回目と 2 回目以降で異なるメッセージが流れます。可変メッセージをあらかじめ録音すると、録音したメッセージを流すことができます。取り付け時設定
夜間モードに切替えているときは動作しません。（自動おまたせメッセージのオン／オフは、夜間モード切替で行います。）

外線着信について

メッセージを流している間、または保留音を流している間も、外線着信の呼び出しが継続されます。

夜間休日に応答メッセージを流す <外線自動応答> 取り付け時設定

外線着信時に、システムが自動応答してメッセージを流すことができます。夜間や休日にかかってきた電話もメッセージで応対できます。

Note

- ダイヤルイン回線およびｉナンバー回線では動作しません。

自動応答の開始

外線着信後、一定時間が経過するとシステムが自動応答してメッセージを流します。自動応答するまでの時間はあらかじめ設定が必要です。取り付け時設定

自動応答する前に電話機で着信に応答した場合は、自動応答しません。

自動応答のレベル

自動応答には、オフ／自動応答 1 ／自動応答 2 の 3 つのレベルがあります。
オフレベルでは自動応答しません。自動応答 1 と自動応答 2 は、メッセージ内容が異なります。
自動応答 1 と自動応答 2 には、それぞれ 1 つずつ固定メッセージが用意されています（「音声案内 （P.6-79）」）。可変メッセージも設定できますが、あらかじめ録音が必要です。取り付け時設定

手動で自動応答のレベルを切替える

システム

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
          11
```

2. [外線着信 自動応答] を押します。

現在のレベルが表示されます。（空白：オフ、1：自動応答 1、2：自動応答 2）

```
自動応答ﾚﾍﾞﾙ
          11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [外線着信 自動応答] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. [外線着信 自動応答] を押すたびにレベルが替わります。

```
自動応答ﾚﾍﾞﾙ  1
          11
```

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

```
4月 8日(火)16:35
          11
```

Note

- 各レベルを切替えるタイミングは、あらかじめ設定した内容で自動切換えすることができます。取り付け時設定

離席の人への呼び出しに自席で応答する <代理応答> 取り付け時設定

着信鳴音している電話機の人が不在でも、他の電話機から代理応答することができます。

自グループ内の着信に代理応答する

1. 他の電話機が着信中に、受話器を上げます。

内線
11

2. グループ内代理応答 を押します。

4月 8日(火)16:35
内線 12

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにグループ内代理応答の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

Information

◆ グループ内代理応答 の代わりに、機能 3 1 を押しても同じ操作ができます。

3. お話しします。

他グループ内の着信に代理応答する

1. 他の電話機が着信中に、受話器を上げます。

内線
11

2. グループ外代理応答 を押します。

11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにグループ外代理応答の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

Information

◆ グループ外代理応答 の代わりに、機能 3 2 を押しても同じ操作ができます。

3. 応答したいグループのグループ番号（3 桁）をダイヤルします。

001
11

4. お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線 12

電話機を指定して代理応答する

1. 他の電話機が着信中に、受話器を上げます。

内線
11

2. 個別代理応答 を押します。

11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 個別代理応答 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 個別代理応答 の代わりに、機能 3 3 を押しても同じ操作ができます。

3. 着信中の電話機の内線番号をダイヤルします。

12
11

4. お話しします。

相手先 341020
0:40

全グループ内の着信に代理応答する

1. 他の電話機が着信中に、受話器を上げます。

```
内線
          11
```

2. [グループ外代理応答] を押します。

```
          11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[グループ外代理応答]の割り付けを行う必要があります。
  [取り付け時設定]

Information

◆ [グループ外代理応答] の代わりに、[機能] [3] [2] を押しても同じ操作ができます。

3. [0] [0] [0] をダイヤルします。

```
           000
          11
```

4. お話しします。

```
相手先 341020
0:40
```

Note

- 以下の着信を代理応答できますが、代理応答の対象とするか非対象とするかの選択もできます。[取り付け時設定]
  - ・外線着信
  - ・キャンプオン着信
  - ・内線着信
  - ・リコール着信
- 話中着信の場合も代理応答できます。
- 以下の着信には代理応答できません。
  - ・外線応答規制されている外線の着信
  - ・内線テナントで規制されている電話機からの内線呼び出し
  - ・呼び出した電話機と代理応答する電話機が相互に内線通話規制されている場合の内線呼び出し

離席時にかかってきた電話を転送する <不在転送 - ルート方式> 取り付け時設定

席を離れているときや話中に着信があったときに、内線電話機や外部の転送先に自動転送することができます。

不在転送には次の転送モードがあります。

1. 即時転送
   着信があったときに、ただちに転送します。
2. 話中・未応答転送
   話中に着信があったとき、または一定時間着信に応答しないときに転送します。
3. 未応答転送
   一定時間着信に応答しないときに、転送します。

転送先には、3 つの転送先（ルート 1 ～ルート 3 まで）を持つことができます。ルート 1 に転送し応答しないときは、ルート 2、ルート 3 に転送します。

Information

- ◆ **不在転送と表記した場合は、全ての転送モードを包括しています。個々の不在転送モードを示す場合は、即時転送、話中未応答転送、未応答転送と表記します（このページ以外での記載も同様です）。**
- ◆ **外部の転送先に自動転送する方法は、「不在転送先を外線に転送する<不在転送－ルート方式>（P.4-29）」を参照してください。**

転送先を登録する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
                11
```

2. [不在転送] を押します。

[不在転送] が赤色に点滅します。

```
不在転送ﾙｰﾄ [1/2]
[*]解除 [#]その他
```

3. ルート番号（[1]または[2]）を押します。

[1]: ルート 1

[2]: ルート 2

```
不在転送ﾓｰﾄﾞ1[1,2,3]
[*]解除
```

Note

- ● **ルート番号 2 を登録したときは、必ずルート番号 1 も登録してください。**

4. 転送モード（[1]～[3]）を押します。

```
即時転送先   50
```

[1]: 即時転送モード

[2]: 話中・未応答転送モード

[3]: 未応答転送モード

5. **転送先の内線番号をダイヤルします。**

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

不在転送 のランプ表示は、ルート番号 1 に登録した転送モードにより異なります。
即時転送モード：赤色に点灯
話中・未応答転送モード：赤色に点滅
未応答転送モード：赤色に点滅、消灯を繰り返す

12
11

Information

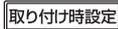
◆ 転送先が登録不可のときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。

6. **受話器を戻します。または、スピーカ を押します。**

続けて、別のルート番号の転送先を登録する場合は、再度、手順 1 から登録操作を行います。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 内線通話規制されている電話機は、不在転送先に設定できません。
- ルート３は取り付け時の設定で登録します。取り付け時設定
- ルート３は内線専用です。
- 外線着信は、転送先の内線電話機がその外線に対し外線応答規制されている場合には転送されません。
- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。
- 内線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送元の電話機が呼び出されます。
- 外線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送先、転送元の電話機ともに着信しません。ただし、外線個別着信の場合は、内線着信と同様な動作となります（転送元の電話機が呼び出されます）。

不在転送をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン（転送する）／オフ（転送しない）を切替えることができます。

1. **受話器を置いたまま、不在転送 を押し、不在転送をオフにします。**

不在転送がオフになると、不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

2. **再び 不在転送 を押すと、不在転送はオンになります。**

不在転送がオンになると、不在転送 が赤色に点灯します。

Note

- ルート番号２およびルート番号３が登録されていた場合、ルート番号２またはルート番号３の不在転送が動作します。

6 応用操作／応用機能編

登録を一括して取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 [＊]を押します。
取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- この操作を行うと、登録しているルート番号 1 とルート番号 2 の転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。
- ルート番号 3 の登録を取り消すには、設定を変更する必要があります。取り付け時設定

登録をルートごとに取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 を押します。

不在転送ﾙｰﾄ [1/2]
[*]解除 [#]その他

3. ルート番号（[1]または[2]）を押します。

不在転送ﾓｰﾄﾞ1[1,2,3]
[*]解除

4. [＊]を押します。
取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。ルート番号 1 が取り消された場合、不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。

転送モードを変更する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [不在転送] [#][#]を押します。

転送ﾓｰﾄﾞ (1,2,3)
11

3. 変更する転送モード（[1]～[3]）を押します。

[1]：即時転送モード

[2]：話中・未応答転送モード

[3]：未応答転送モード

変更が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

[不在転送] のランプ表示は、変更した転送モードにより異なります。

即時転送モード：赤色に点灯
話中・未応答転送モード：赤色に点滅
未応答転送モード：赤色に点滅、消灯を繰り返す

話中転送
11

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

別の電話機から転送先を変更する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
12

2. [不在転送] [#]を押します。

不在転送先変更
[#]ｿﾉﾀ

6

応用操作／応用機能編

3. **転送先を登録した電話機の内線番号をダイヤルします。**
変更が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

11
12

Information

◆ 転送先の変更が無効なときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。

4. **受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。**

4月 8日(火)16:35
11

Note

● 変更される内線電話機の転送機能が休止中のとき、転送先の変更はできません。
● 不在転送先の変更対象はルート１の転送先のみです。

離席時にかかってきた電話を転送する <不在転送 - 単一方式> 取り付け時設定

席を離れているときや話中に着信があったときに、内線電話機や外部の転送先に自動転送することができます。
不在転送には次の転送モードがあります。

1. 即時転送
   着信があったときに、ただちに転送します。
2. 話中・未応答転送
   話中に着信があったとき、または一定時間着信に応答しないときに転送します。
3. 未応答転送
   一定時間着信に応答しないときに、転送します。

Information

◆ 不在転送と表記した場合は、全ての転送モードを包括しています。個々の不在転送モードを示す場合は、即時転送、話中未応答転送、未応答転送と表記します（このページ以外での記載も同様です）。
◆ 外部の転送先に自動転送する方法は、「不在転送先を外線に転送する<不在転送−単一方式>（P.4-35)」を参照してください。

転送先を登録する

1. **受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。**

内線
11

2. **[不在転送] を押します。**
[不在転送] が赤色に点滅します。

不在転送ﾓｰﾄﾞ [1,2,3]
[*]解除 [#]その他

3. 転送モード（1～3）を押します。

1：即時転送モード

2：話中・未応答転送モード

3：未応答転送モード

即時転送先　50

4. 転送先の内線番号をダイヤルします。

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

不在転送 のランプ表示は、登録した転送モードにより異なります。

即時転送モード：赤色に点灯
話中・未応答転送モード：赤色に点滅
未応答転送モード：赤色に点滅、消灯を繰り返す

12
11

Information

◆ 転送先が登録不可のときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月　8日(火)16:35
11

Note

- 内線通話規制されている電話機は、不在転送先に設定できません。
- 外線着信は、転送先の内線電話機がその外線に対し外線応答規制されている場合には転送されません。
- 転送先として外線の電話番号を登録後、電話機の市外発信クラスが外線発信禁止になった場合は、外線への不在転送はできません。
- 転送先の内線電話機も不在転送を登録している場合は、さらにその転送先の内線電話機へ転送されます。ただし、転送回数には制限があります。
- 内線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送元の電話機が呼び出されます。
- 外線着信を不在転送するとき、転送先の電話機がドントディスターブ中、または不在メッセージを登録している場合、転送先、転送元の電話機ともに着信しません。ただし、外線個別着信の場合は、内線着信と同様な動作となります（転送元の電話機が呼び出されます）。

不在転送をオン／オフする

転送先が登録されている状態で、不在転送のオン(転送する)／オフ(転送しない)を切替えることができます。

1. 受話器を置いたまま、不在転送 を押し、不在転送をオフにします。

不在転送がオフになると、不在転送 が消灯します。

4月　8日(火)16:35
11

2. 再び不在転送 を押すと、不在転送はオンになります。

不在転送がオンになると、不在転送 が赤色に点灯します。

登録を取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 ＊ を押します。
取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、不在転送 が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

● この操作を行うと、登録している転送先（転送ダイヤル）が消去されます。消去された後にこの機能を使用するには、再度、転送先の登録が必要となります。

転送モードを変更する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 不在転送 # # を押します。

転送ﾓｰﾄﾞ (1,2,3)
11

3. 変更する転送モード（1～3）を押します。

1：即時転送モード

2：話中・未応答転送モード

3：未応答転送モード

変更が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。
不在転送 のランプ表示は、変更した転送モードにより異なります。
即時転送モード：赤色に点灯
話中・未応答転送モード：赤色に点滅
未応答転送モード：赤色に点滅、消灯を繰り返す

話中転送
11

4. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

別の電話機から転送先を変更する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
12

2. [不在転送] [#]を押します。

不在転送先変更
[#]ソノタ

3. 転送先を登録した電話機の内線番号をダイヤルします。
変更が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

11
12

Information

◆ 転送先の変更が無効なときは警告音が鳴りますので、操作をやり直してください。

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● 変更される内線電話機の転送機能が休止中のとき、転送先の変更はできません。

固定不在転送 取り付け時設定

転送先を固定的に割付けておくことができます。
固定的に転送モード（即時転送、話中・未応答転送、未応答転送のいずれか）と転送先を決めておけますので、転送の登録操作をしなくても必ず転送します。

Note

● 固定不在転送を設定している場合でも、[不在転送] を使用して不在転送の登録や転送モードを変更することができます。
● [不在転送] を使用した登録を一時休止および解除した場合、固定不在転送で設定された転送先と転送モードに戻ります。

電話に出られないときに着信を拒否する <ドントディスターブ> 取り付け時設定

忙しいときに電話がかかってきて仕事の妨げにならないように、呼び出しを一時的にストップさせておくことができます。

ドントディスターブを登録する

1. 受話器を置いたまま、[ドントディスターブ]を押します。

[ドントディスターブ]が赤色に点灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ドントディスターブ]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ ドントディスターブ登録中の電話機を呼び出すと、発信側にはドントディスターブ音が聞こえ、ディスプレイには着信側がドントディスターブ登録中であることが表示されます。

◆ ドントディスターブ登録中の着信には鳴音しません。また、ディスプレイに相手番号の表示も行いません。

例外として、[外線]、または[外線応答グループ]に割り付けられた外線に着信があった場合は、着信表示は行われます。

取り付け時設定

◆ ドントディスターブ、不在転送、もしくは不在メッセージを登録中に着信がある場合、以下の順で機能が優先されます。

不在メッセージ→不在転送（未応答転送を除く）→ドントディスターブ

◆ 着信中に[ドントディスターブ]を押しても、着信を拒否することはできません。ドントディスターブ登録後の着信から拒否されます。

登録したドントディスターブを解除する

1. 受話器を置いたまま、[ドントディスターブ]を押します。

[ドントディスターブ]が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ドントディスターブ]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

秘書応答

設定された他の電話機（例えば上司の電話機）への着信に応答することができます。

設定された他の電話機への着信に応答する

1. 秘書応答 が緑色に点滅し、秘書応答着信音が鳴ります。
高速点滅しているとき：外線着信
低速点滅しているとき：内線着信

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 秘書応答 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

2. 受話器を上げ、秘書応答 を押します。

相手先 341020
0:40

3. お話しします。

Note

- リコール着信、ページング呼び出し、内線音声呼び出しなどは、秘書応答着信の対象外となります。
- 秘書応答 の設定およびその他の秘書応答に関する設定については、お買い求めの販売店にご相談ください。
取り付け時設定

設定された他の電話機を呼び出す

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 秘書応答 を押します。
秘書応答 に設定されている内線電話機を自動的に呼び出します。

呼び出し中 12
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 秘書応答 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線 12

6
応用操作／応用機能編

秘書応答着信音のモードを変更する（即時鳴音モード）

1. 受話器を置いたまま、機能を押します。

4月 8日(火)16:35
11

2. 秘書応答 を押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ディスプレイに表示されます。

内線12 遅延鳴音
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに秘書応答の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

3. 1 を押します。

内線12 即時鳴音
11

秘書応答着信音のモードを変更する（遅延鳴音モード）

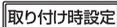
1. 受話器を置いたまま、機能を押します。

4月 8日(火)16:35
11

2. 秘書応答 を押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ディスプレイに表示されます。

内線12 即時鳴音
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに秘書応答の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

3. 2 を押します。

内線12 遅延鳴音
11

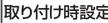
秘書応答着信音のモードを変更する（無鳴音モード）

1. 受話器を置いたまま、［機能］を押します。

4月 8日(火)16:35
11

2. ［秘書応答］を押します。
現在の秘書応答着信音のモードが、ディスプレイに表示されます。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［秘書応答］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. ［3］を押します。

内線12 無鳴音
11

保留・転送関連

外線／内線を特定ボタンに保留する／再応答する <個別パーク保留><グループパーク保留> 取り付け時設定

お話し中の外線／内線を特定ボタンに保留します（パーク保留）。パーク保留には、個別パーク保留とグループパーク保留があります。

個別パーク保留

お話し中の外線／内線を電話機固有のボタンに保留します（電話機に 1 個だけ持てます）。
自己保留となるため、誤って他の人が応答することを防げます。

グループパーク保留

お話し中の外線をシステム共通のボタンにグループ分けして保留します（システムに最大 30 個持てます）。
お話しの保留をグループ分けできるため、電話の取次ぎがスムーズに行えます。

個別パークに保留する

1. 外線または内線とお話し中に、[個別パーク] を押します。

お話し中の外線／内線が保留状態となり、[個別パーク] が緑色に点滅します。

内線
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [個別パーク] の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

2. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

お話し中に着信があったときは

[個別パーク] を押すと、お話し中の相手を個別パーク保留して着信に応答できます。

[個別パーク] を押すごとに、通話相手（お話し中の相手と個別パーク保留中の相手）が切替わります。

個別パークに保留中の外線／内線に応答する（保留した電話機からの応答）

1. 個別パーク を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 個別パーク の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

2. 受話器を上げます。
保留していた相手とのお話しに戻ります。

4月 8日(火)16:35
内線 12

3. お話しします。

個別パークに保留中の外線／内線に応答する（保留した電話機以外からの応答）

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. コールパーク ピックアップ を押します。
コールパーク ピックアップ が赤色に点滅します。

11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに コールパーク ピックアップ の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

Information

◆ コールパーク ピックアップ の代わりに、機能 3 4 を押しても同じ操作ができます。

3. 個別パークに保留した電話機の内線番号をダイヤルします。
保留していた相手とのお話しに戻ります。

12
11

4. お話しします。

局線 #1 GP.1
0:05 9円

6
応用操作／応用機能編

グループパークに保留する

1. 外線とお話し中に、保留する グループパーク を押します。

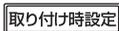
お話し中の外線が保留状態となり、グループパーク が緑色に点滅します。

```
内線
        11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに グループパーク の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

2. 受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

Note

- 内線をグループパークに保留することもできます。取り付け時設定

空いているグループパークに自動保留する

1. 外線とお話し中に、自動パーク保留 を押します。

電話機に割り当てられている空きの グループパーク を検索し、お話し中の外線を空いているグループパークに保留します。

保留した グループパーク が緑色に点滅します。

```
内線
        11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 自動パーク保留 、グループパーク の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

2. 受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
            11
```

Note

- 内線をグループパークに保留することもできます。取り付け時設定

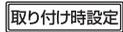
グループパークに保留中の外線に応答する（保留した電話機からの応答）

1. 保留中の グループパーク を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに グループパーク の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 受話器を上げます。

保留していた相手とのお話しに戻ります。

相手先 山田商事
0:01

3. お話しします。

グループパークに保留中の外線に応答する（保留した電話機以外からの応答）

取り付け時設定

1. 受話器を上げます。

2. 保留中のグループパークに対応するパークオービット番号をダイヤルします。

保留していた相手とのお話しに戻ります。

3. お話しします。

システム不応答履歴

特定の相手先からの不応答記録から折り返し電話をかける <不応答> 取り付け時設定

発信者番号通知の着信に応答できなかった場合、システムに不応答の着信履歴が記録されます。不応答履歴を確認後、折り返し電話をかけることができます。
不応答の着信履歴を記録する発信者番号を、あらかじめ登録しておく必要があります。

Note

- ISDN 回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するにはNTT とナンバーディスプレイ契約が必要です。
- 着信に応答した場合は、不応答履歴に記録されません。
- あらかじめ、登録した発信者番号のみ記録する方法とすべての不応答を記録する方法があります。取り付け時設定

不応答履歴を確認してから電話をかける

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
          11
```

2. [ステーション放棄呼] を押します。
ディスプレイに不応答履歴が表示されます。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ステーション放棄呼]の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

Information

- ◆ 不応答履歴が記録されると、[ステーション放棄呼]が赤色に点灯します。

```
03XXXX1111    13:50
              04/08
```

3. 電話をかける相手をディスプレイに表示します。

[＊]を押すごとに、次の不応答履歴が順次表示されます。

[＃]を押すごとに、1 つ前の不応答履歴が順次表示されます。

[0]を押すごとに、最古／最新の不応答履歴が表示されます。

```
03XXXX2222    14:46
              04/08
```

4. [外線]を押します。

Information

- ◆ [外線]の代わりに、[索線]を押しても同じ操作ができます。
- ◆ あらかじめフレキシブルボタンに[索線]の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

```
          03XXXX2222
一般回線
```

5. （[スピーカ] を押している場合）受話器を上げます。

不応答履歴を削除する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. ステーション放棄呼 を押します。

ディスプレイに不応答履歴が表示されます。

03XXXX1111 13:50
04/08

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにステーション放棄呼の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 不応答履歴が記録されると、ステーション放棄呼が赤色に点灯します。

3. 削除する相手をディスプレイに表示します。

＊を押すごとに、次の不応答履歴が順次表示されます。

＃を押すごとに、1つ前の不応答履歴が順次表示されます。

0を押すごとに、最古／最新の不応答履歴が表示されます。

03XXXX2222 14:46
04/08

4. 放棄呼情報削除 を押します。

ディスプレイに表示している不応答履歴が削除されます。

03XXXX3333 15:35
04/08

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに放棄呼情報削除の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 全ての不応答履歴が削除されると、ステーション放棄呼が消灯します。

◆ あらかじめフレキシブルボタンにステーション放棄呼の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

不応答の着信履歴を記録する発信者番号の登録 システム

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 機能 呼び返し発信 を押します。

呼び返し発信 が赤色に点滅します。

11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 呼び返し発信 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. テーブル番号（9 5 1～9 9 9）と発信者番号をダイヤルします。

001
01XXXX6789

4. 機能 を押します。

発信者番号が登録され、呼び返し発信 が消灯します。

続けて登録する場合は、呼び返し発信 を押した後、手順３～４を繰り返します。

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 記録可能な不応答履歴数は最大 500 件です。500 件を超えた場合、最も古い履歴から削除され、新しい履歴が記録されます。登録した発信者番号のみ記録する場合、登録できる発信者番号は最大 50 個までです。
- 不応答履歴の記録保存期間を、システムで設定できます。保存期間をすぎた履歴は削除されます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

擬似話中返し

着信できる回線数を制限する ISDN

夜間や休日、忙しいときなど、外線着信に対応できない場合に、電話をかけてきた相手に対して話中音を返すことで、呼び出し状態で長く待たさないようにできます。

擬似話中返しを設定する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 擬似話中返しを設定したい外線の［外線］を押します。

局線 #2　GP.1
一般回線

3. （保留）を押します。

［外線］が緑色に点滅します。

内線
11

4. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Information

◆ 複数の外線に擬似話中返しを設定したい場合は、設定したい外線全てに、同じ設定操作を繰り返してください。

◆ ［外線］の代わりに、［ダイヤルイン］を押しても同じ操作ができます。

6 応用操作／応用機能編

擬似話中返しを解除する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 保留中の外線を押します。

外線が点滅します。

局線 #2　GP.1
11

3. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Information

◆ 擬似話中返しを設定した電話機以外の電話機からも解除できます。

Note

- 擬似話中返しを設定した外線は、保留警報の対象外となります。
- 記録可能な不対応履歴数は最大 500 件です。500 件を超えた場合、最も古い履歴から削除され、新しい履歴が記録されます。

Information

◆ 擬似話中返しを設定した外線に着信があると、システムの不応答履歴に記録されます。
システムの着信不応答履歴に記録するためには、設定（取り付け時設定）が必要です。
電話機に、取り付け時の設定でステーション放棄呼が割り付けられていると、ステーション放棄呼が赤色に点灯します。受話器を上げてからステーション放棄呼を押し、履歴を確認できます。

◆ あらかじめフレキシブルボタンにステーション放棄呼の割り付けを行う必要があります。

迷惑電話防止

非通知の着信にメッセージまたは話中音で応答する 取り付け時設定

発信者番号非通知の着信（ダイヤルイン含む）があると、メッセージまたは話中音が自動的に流れます。
発信者番号非通知の着信は、オン（着信拒否する）／オフ（着信拒否しない）を切替えることができます。

1. 受話器を置いたまま、[非通知着信拒否] を押し、非通知着信拒否をオンにします。

非通知着信拒否がオンになると、[非通知着信拒否] が赤色に点灯します。

内線
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[非通知着信拒否] の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

2. 再び[非通知着信拒否] を押すと、非通知着信拒否はオフになります。

非通知着信拒否がオフになると、[非通知着信拒否] が消灯します。

Note

- ISDN 回線、アナログ回線でお使いの場合も、IP 回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するには NTT とナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。
- 発信者番号非通知の着信に対する迷惑電話防止を使用するには、システムの設定が必要です。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
- 着信拒否の方法（メッセージまたは話中音）は、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定

Information

◆ メッセージが 2 回流れた後に、外線が自動的に切断されます。
◆ 発信者番号非通知に対する迷惑電話防止を設定する場合、下記の組合せで迷惑電話防止の対象を設定できます。
取り付け時設定
・非通知のみ
・公衆電話のみ
・表示圏外のみ
・非通知と公衆電話
・非通知と表示圏外
・公衆電話と表示圏外
・非通知、公衆電話と表示圏外

6
応用操作／応用機能編

登録された相手に着信拒否のメッセージ、または話中音で応答する

ある発信元に対して、次回から着信に応答したくない場合、発信者番号通知のある着信では、ワンタッチで相手の電話番号を迷惑電話番号リストに登録できます（最大 200 件）。拒否登録した電話番号から電話がかかってきたとき、電話を受けないようにして迷惑電話を防止することができます。このような相手から電話がかかってきたときに、メッセージまたは話中音が自動的に流れます。

着信拒否する電話番号を自動で登録する

1. 着信した外線とお話し中に、[迷惑電話防止] を押します。

着信中の相手の電話番号が迷惑電話番号リストに登録されます。

相手先 03XXXX0570
0:09

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[迷惑電話防止] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

着信拒否する電話番号を手動で登録する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [迷惑電話防止] を押します。

[迷惑電話防止] が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[迷惑電話防止] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. [9][9][9]をダイヤルします。

登録

4. 登録する電話番号（最大 16 桁）をダイヤルします。

登録
03XXXX2222

5. [迷惑電話防止] を押します。

ダイヤルした電話番号が迷惑電話番号リストに登録されます。

続けて登録する場合は、手順 4 ～ 5 を繰り返します。

登録

6. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Information

◆ 登録した電話番号には、自動的に迷惑番号リストの編集番号（001 から 200）が割り当てられます。

登録した電話番号を変更する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 迷惑電話防止 を押します。

迷惑電話防止 が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 迷惑電話防止 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 変更したい迷惑電話番号リストの編集番号（001 ～ 200）をダイヤルします。

登録されている電話番号が表示されます。

001
03XXXX2222

4. 新しく登録する電話番号（最大 16 桁）をダイヤルします。

001
03XXXX1111

5. 迷惑電話防止 を押します。

上書き登録されます。

迷惑電話防止 が消灯し、確認音（ピッピッピッ）が鳴ります。

続けて登録する場合は、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

6. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

登録した電話番号を消去する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 迷惑電話防止 を押します。

迷惑電話防止 が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに迷惑電話防止 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 消去したい迷惑電話番号リストの編集番号（001 ～ 200）をダイヤルします。
登録されている電話番号が表示されます。

002
03XXXX0570

4. 保留 を押します。
ディスプレイの電話番号が消去されます。

002

5. 迷惑電話防止 を押します。
迷惑電話番号リストから消去されます。
迷惑電話防止 が消灯し、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

6. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

登録した電話番号を全て消去する

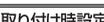
1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 迷惑電話防止 を押します。

迷惑電話防止 が赤色に点滅します。

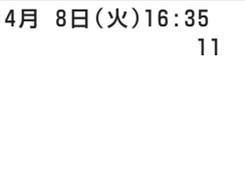
Note

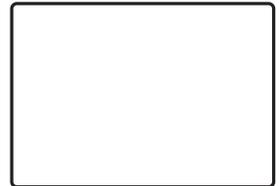
- あらかじめフレキシブルボタンに迷惑電話防止 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 9 8 7 をダイヤルします。
ディスプレイに"全消去"と表示されます。

全消去

4. 迷惑電話防止 を押します。
迷惑電話番号リストから全ての電話番号が消去されます。
迷惑電話防止 が消灯し、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

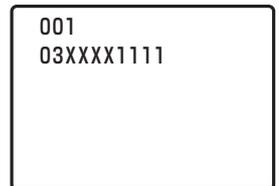
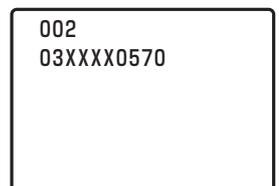
5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

登録した電話番号を確認する

1. 受話器を置いたまま、迷惑電話防止 を押します。
迷惑電話防止 が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 迷惑電話防止 の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

2. 確認したい迷惑電話番号リストの編集番号（001 ～ 200）をダイヤルします。
登録されている電話番号が表示されます。

001
03XXXX1111

3. 次の電話番号を表示するときは * 、前の電話番号を表示するときは # を押します。

002
03XXXX0570

Note

- ISDN 回線、アナログ回線でお使いの場合も、IP 回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するには NTT とナンバーディスプレイサービスの契約が必要です。
- 迷惑電話番号リストに登録できる電話番号の件数は、システムで最大 200 件までです。
- 発番号非通知の着信は、登録できません。
- 着信拒否の方法（メッセージまたは話中音）は、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定

Information

◆ メッセージが 2 回流れた後に、外線が自動的に切断されます。

通話中の相手にきっかけ音を聞かせる 取り付け時設定

通話中の相手に、電話を切るきっかけ音（ドアホンの着信音など）を聞かせることができます。
勧誘電話などの通話中に電話を早々に切りたいときなど、きっかけ音を通話中の相手に聞かせることで、電話を切る口実として利用できます。きっかけ音は、操作者にも聞こえます。

相手先　03XXXX0570
0:09

1. 外線とお話し中に、[きっかけ音] を押します。

[きっかけ音] が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[きっかけ音]の割り付けを行う必要があります。
  取り付け時設定

2. きっかけ音に対応する番号（[1]〜[3]）を押します。

きっかけ音が相手と操作者に聞こえます。
再度、きっかけ音を送出する場合は、手順 1 から操作します。

1	警報類似音	3	ドアホン着信音
2	通話途切れ音		

Note

- ドアホン着信音は、冒頭の音が操作者には聞こえない場合があります。
- 通話録音、通話モニタ中でも、きっかけ音を送出できます。

Information

- [きっかけ音] の代わりに、[機能] [1] [5] を押しても同じ操作ができます。
- きっかけ音のパターンは、「その他（P.12-8）」を参照してください。

外線ルームモニタ

外から電話をかけて電話機周辺の音を聞く 取り付け時設定

外出先から電話をかけて、室内で不審な物音がしていないか確認したり、音声で呼びかけることができます。

ルームモニタ機能を登録する／解除する

1. **受話器を置いたまま、ルームモニタ を押します。**

ルームモニタ機能が登録されます。ルームモニタ が赤色に点灯します。

再度、ルームモニタ を押すと、ルームモニタ機能が解除されます。ルームモニタ が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにルームモニタ の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ ルームモニタ機能登録中の電話機の受話器を上げると、電話機は通常の状態になります。そのまま、他の操作を行うことができます。

外出先からモニタする

1. **外出先から、ルームモニタ対象の外線番号に電話をかけます。**
システムが自動応答します。

2. **ルームモニタを登録した内線電話機の内線番号をダイヤルします。**
室内をモニタしたり音声で呼びかけることができます。

ルームモニタ機能を登録していないときに外出先からモニタする ISDN

1. 外出先から、ルームモニタ対象の外線番号をダイヤルします。

2. 【サブアドレス】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。

3. ルームモニタ特番をダイヤルします。

Note

- ルームモニタ特番は、システムで設定します。設定内容の確認または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

4. ルームモニタを行う内線電話機の内線番号をダイヤルします。

5. 【発信】を押します。
この操作は、お使いの電話機によって異なります。
室内をモニタしたり音声で呼びかけることができます。

Note

- ダイヤルイン、i ナンバーを契約している場合、それぞれの着信をルームモニタの対象とするか、システムで設定できます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
- 相手が外線を切断したことを検出できない外線は使用できません。
- 音声がスピーカから送出されますので、ミュート機能がある電話機から発信した場合は、ミュートをご使用ください。

外線会議通話

1 本の外線と会議通話する <外線会議通話>

外線とお話し中に、他の内線電話機を呼び出して３人または４人でお話しできます。

と による方法

1. **外線とお話し中、転送を押します。**

第２発信音（プププププ）が聞こえ、転送が赤色に点滅します。

また、内線が緑色に点滅し、外線が緑色に点滅します。

内線
11

2. **会議通話に参加させたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。**

呼び出し中　12
11

3. **参加させたい相手が応答したら、会議通話に参加するよう伝えます。**

4月　8日(火)16:35
内線　12

4. **内線とお話し中の状態で、会議を押します。**

３人でのお話しが可能になり、外線が緑色に点滅します。

また、転送と内線は消灯します。

さらにもう１人、会議通話に参加させたい場合は、手順１～４を繰り返します。

相手先　山田商事
0:01

5. **会議通話を始めます。**

保留と秘話解除による方法

1. **外線とお話し中に、保留を押します。**

第２発信音（ププププ）が聞こえ、外線が緑色に点滅します。

内線が緑色に点滅します。

内線
11

2. **会議通話に参加させたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。**

呼び出し中　12
11

3. **参加させたい相手が応答したら、会議通話に参加するよう伝えます。**

4月 8日(火)16:35
内線　12

4. **内線とお話し中の状態で、秘話解除を押します。**

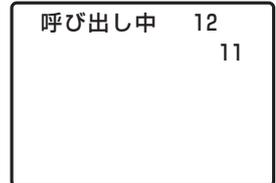
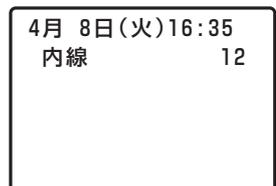
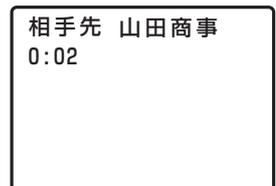
３人でのお話しが可能になり、外線が緑色に点滅します。また、内線は消灯します。

さらにもう１人、会議通話に参加させたい場合は、手順１～４を繰り返します。

相手先　山田商事
0:02

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに秘話解除の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

5. **会議通話を始めます。**

Note

- 最大４人で会議通話を行うことができます。
- ドアホンを外線会議通話に参加させることはできません。
- 外線の相手がお話しを終了すると、外線会議通話が終了し、各内線電話機に話中音が聞こえます。

Information

◆ 内線グループが完全に別れている場合を除き、外線応答規制されている内線電話機でも、会議通話へ参加できます。内線グループの登録内容は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。取り付け時設定

◆ 外線会議通話への参加操作が完了すると、その会議通話中の内線の通話者には参加音が聞こえます。参加音は、可に設定することにより、送出することができます。取り付け時設定

複数の外線と会議通話する ＜複数外線会議通話＞

複数の内線と複数の外線とで会議通話します。

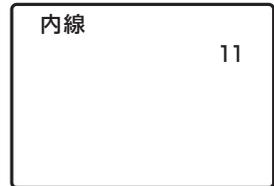
外線を会議通話に参加させる

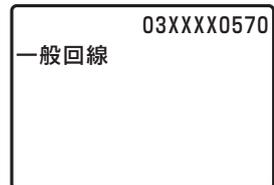
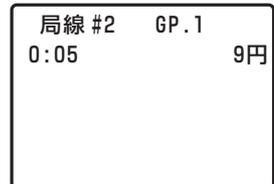
1. 外線とお話し中に、保留 または 個別パーク を押します。

内線
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 個別パーク の割り付けを行う必要があります。

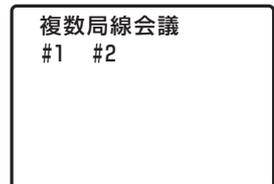
取り付け時設定

2. 外線 を押して、会議通話に参加させたい相手の番号をダイヤルします。

03XXXX0570
一般回線

3. 参加させたい相手が応答したら、会議通話に参加するよう伝えます。

4. 外線とお話し中の状態で、会議 を押します。

会議 が赤色に点滅します。

5. 手順 1 で保留した 外線 を押して外線に応答すると、外線 2 本と内線 1 本の 3 者会議通話が始まります。

2 つの 外線 は緑色に点滅し、会議 は消灯します。
さらに外線 1 本を複数外線会議に参加させたい場合は、手順 1 ～ 5 を繰り返します。

複数局線会議
#1　#2

Note

- 最大 4 人で会議通話を行うことができます。

Information

- ◆ 内線 1 本を複数外線会議に参加させたい場合は、転送 と 会議 による内線呼び出しを行ってください。
- ◆ 複数外線会議中に特定の外線とだけ会話したい場合は、その外線以外の 外線 を押し保留状態にし、一時的に複数外線会議を解除することができます。また、再度、参加させたい場合は、保留中の 外線 を押します。

6
応用操作／応用機能編

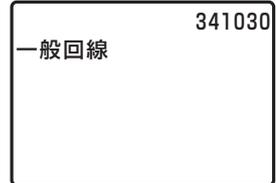
内線 1 本と複数外線による複数外線会議通話時に特定の外線を切断する

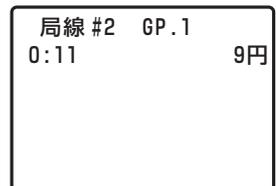
1. 切断しない外線の外線を押して保留します。
（例：外線 1、外線2と複数外線会議中に、外線 1 を切断する場合は外線2を押します。）

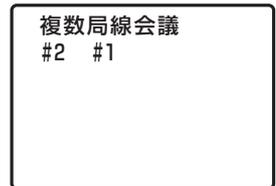
他方の外線（例では外線 1）との通話状態になります。

```
内線
                11
```

2. 受話器を戻します。
お話ししている外線（例では外線 1）が切断されます。

```
              341030
一般回線
```

3. 話をしたい保留中の外線を押します。

```
 局線 #2   GP.1
0:11              9円
```

4. 受話器を上げて、複数外線会議（または外線通話）を続けます。

```
 複数局線会議
 #2   #1
```

Note

● 外線 2 本と内線 2 本での会議通話時には、任意の外線を切断することはできません。

Information

◆ 複数外線会議通話中に特定の外線の相手がお話しを終了したときは、その外線だけが切断され、複数外線会議は続けることができます。
◆ 外線 2 本と内線 2 本での会議通話時に特定の内線が保留操作を行うと、その電話機だけが会議通話から抜けることができます。複数外線会議は続けることができます。この場合、残っている内線では保留操作は無効となり、外線間会議の状態には移行できません。
◆ システムの設定を変更すると、複数外線会議中にボタン電話機が保留操作を行うと、その複数外線会議を共通保留状態または自己保留状態にすることができます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。

取り付け時設定

複数の外線のみで会議通話する ＜外線間会議通話＞

外線 2 本と内線 1 本での複数外線会議では、複数外線会議終了後、外線どうしだけでお話しを続けることができます。

外線 2 本と内線 1 本でのお話し中に、外線どうしの通話にする場合

1. 複数外線通話（外線 2 本、内線 1 本）中に、内線側で（保留）、、または グループパーク を押します。

外線間会議通話になります。
内線電話機は保留状態になります。

Note

- 通話終了の信号が検出できない外線の場合は、あらかじめ通話終了を判断するための登録が必要です。登録内容は、お買い求めの販売店にお問合せください。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに 個別パーク 、グループパーク の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 外線どうしでお話し中（外線間会議通話中）に、該当するフレキシブルボタンを押すと、再び会議（複数外線会議）に参加できます。

内線会議通話

内線電話機は、最大４人までの内線会議通話を行うことができます。

転送と会議による方法

1. 内線とお話し中に、転送を押します。

転送が赤色に点滅します。

内線
11

2. 会議通話に参加させたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　15
11

3. 参加させたい相手が応答したら、会議通話に参加するよう伝えます。

4月　8日(火)16:35
内線　15

4. 内線とお話し中の状態で、会議を押します。

３人でのお話しが可能になり、転送が消灯します。

さらにもう１人、会議通話に参加させたい場合は、手順１～４を繰り返します。

内線会議　13
15

保留と秘話解除/会議による方法

1. 内線とお話し中に、保留を押します。
内線発信音（プップッ）が聞こえます。

内線
11

2. 会議通話に参加させたい内線電話機の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 15
11

3. 参加させたい相手が応答したら、会議通話に参加するよう伝えます。

4月 8日(火)16:35
内線 15

4. 内線とお話し中の状態で、秘話解除/会議を押します。
３人でのお話しが可能になります。
さらにもう１人、会議通話に参加させたい場合は、手順１～４を繰り返します。

内線会議 13
15

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに秘話解除/会議の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Note

- 最大４人で会議通話を行うことができます。
- 内線会議通話への参加操作が完了すると、その会議通話中の内線の通話者には参加音が聞こえます。参加音は、可に設定することにより、送出することができます。取り付け時設定

Information

◆ 会議通話参加中の電話機のうちどれか１台が内線保留または転送保留状態にすると、その電話機は内線会議から抜け、残りの会議通話者は以下の状態になります。
・３者会議通話中のときにこの操作を行うと、残りの２者による内線通話となります。
・４者会議通話中のときにこの操作を行うと、残りの３者による会議通話となります。
・上記の状態では、残っている会議通話者は保留操作はできません。

バージイン（割り込み）

他のお話しに割り込む <バージイン> 取り付け時設定

外線通話割り込み（バージイン）が設定された電話機から、お話し中の外線通話に割り込み、3 人でお話しすることができます。

1. 受話器を上げます。

```
内線
            11
```

2. 該当するお話しを選択します。

・ 外線の場合

割り込みたい外線とお話し中の［外線］を押します。

・ 内線の場合

割り込みたい内線とお話し中の内線電話機にダイヤルします。

```
回線使用中
            11
```

3. ［会議］を押します。

```
局線 #2    GP.1
0:11          9円
```

Note

● 次の条件のお話しには割り込みできません。
- ・システムの設定でプロテクトされている電話機のお話し
- ・保留中および着信中
- ・外線応答規制がかかっている外線のお話し
- ・4 人による外線会議通話および複数外線会議通話
- ・外線間会議通話
- ・DISA 機能において外線アクセスにより行っているお話し

● バージインが行われると、操作者と通話者には、割り込み音が聞こえます。

Information

◆ 外線通話にバージインするときは、［外線］を押し、受話器を上げてから［会議］を押しても同じ操作ができます。

◆ オーバーライド可能な内線電話機から、［会議］を押して、ドントディスターブ中、オフフック（スピーカオン）中、話中呼び出し禁止の内線電話機にバージインできます。

秘話解除

他の電話が割り込めるようにする <秘話解除>

外線とお話し中に他の人を割り込ませることができます。

1. 外線とお話し中に、[秘話解除/会議] を押します。

[秘話解除/会議] が点灯します。

相手先 山田商事
0:01

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [秘話解除/会議] の割り付けを行う必要があります。

[取り付け時設定]

Information

◆ [秘話解除/会議] の代わりに、[機能] [1] [4] を押しても同じ操作ができます。

◆ 電話機の [秘話解除/会議] は、外線が秘話解除中でその外線に割り込める状態のときのみ点灯します。ただし外線が秘話解除中であってもその外線の通話者が４人になったときは消灯します。

2. 割り込む人に、使用している外線を知らせます。

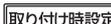
3. 割り込む人が、受話器を上げ、[外線] を押します。

相手先 山田商事
0:01

4. ３人でお話しします。

秘話にするには、再度、[秘話解除/会議] を押します。

Note

● ４人が参加している外線会議通話および複数外線会議通話は、秘話解除できません。
● 内線通話は、秘話解除できません。
● 外線着信に応答すると、常に秘話解除状態にすることもできます。[取り付け時設定]
● 秘話解除が完了すると、内線の通話者には秘話解除音が聞こえます。秘話解除音は、送出しないようにすることもできます。[取り付け時設定]

Information

◆ 操作するたびに、秘話と秘話解除が切替わります。

通話モニタ

他の電話機の通話内容を聞く

他の電話機の通話内容を聞くことができます。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 該当するお話しを選択します。

・外線の場合

外線とお話し中の[外線]を押します。

・内線の場合

モニタする内線電話機にダイヤルします。

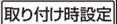
回線使用中
11

3. [通話モニタ] を押します。

通話内容を聞くことができます。

モニタ
12

Note

- 次の条件のお話しは、通話モニタは行えません。
  - ・システムの設定でプロテクトされている電話機のお話し
  - ・保留中および着信中
  - ・外線応答規制がかかっている外線のお話し
  - ・4人が参加した外線会議通話および複数外線会議通話
  - ・外線間会議通話
- 通話モニタ中トーンを、モニタする電話機およびモニタされる電話機に送出することができます。[取り付け時設定]
- あらかじめフレキシブルボタンに[通話モニタ]の割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]

Information

◆ 通話モニタ中に秘話解除を行うことができます。

◆ 通話モニタを行なっている電話機がバージイン可に設定されている場合、[会議]を押すと、モニタ中のお話しに会議通話として参加することができます。

◆ 話中呼び出し可の電話機を話中呼び出ししても、相手が話中とはならないため、モニタすることはできません。

◆ 外線通話をモニタするときは、[外線]を押し、受話器を上げてから[通話モニタ]を押しても同じ操作ができます。

ダイヤルリバース

プッシュ信号を送る 取り付け時設定

アナログ回線（ダイヤル式）に送出するダイヤル信号をプッシュ信号に切替えます。

1. 外線とお話し中に、[ダイヤルリバース]を押します。

[ダイヤルリバース]が赤色に点灯します。

```
 局線#2   GP.1
0:05         9円
```

Note

- ダイヤルリバース機能は、ダイヤル式回線のときのみ有効です。
- あらかじめフレキシブルボタンに[ダイヤルリバース]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

- [ダイヤルリバース]の代わりに、[機能] [1] [3]を押しても同じ操作ができます。
- 同じ操作を繰り返すと、ダイヤル信号に戻せます。
- 取り付け時の設定で自動ダイヤルリバースモードが指定されているときは、発信、着信にかかわらず、応答後に自動でダイヤルリバース状態となります。取り付け時設定
  PBX、CES（ビル電話）の外線着信のときには、自動ダイヤルリバースはできません。

メッセージウェイト

応答しない内線相手に、折り返し連絡をほしい旨のメッセージを伝える 取り付け時設定

呼び出した相手が不在または話中で応答しない場合に、相手の電話機にランプを点灯して、呼び出したことを知らせることができます。

呼び出し側：メッセージウェイトを登録する

1. **相手が応答しない状態（呼び出し中または話中）で、メッセージウェイト ♯ を押します。**

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、相手の電話機の メッセージウェイト が赤色に点灯します。

話中音（プープープー）が聞こえた場合は、登録できません。

呼び出し中　12
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに メッセージウェイト の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

2. **受話器を戻します。**

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 着信側の電話機には、３件までの<メッセージウェイト>を受け取ることができます。

呼び出し側：登録したメッセージウェイトを取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. メッセージウェイト ＊ を押します。

11

Note

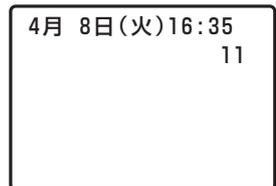
● あらかじめフレキシブルボタンにメッセージウェイト の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 相手の内線番号をダイヤルします。
取消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、相手の電話機のメッセージウェイト が消灯します。

11
12

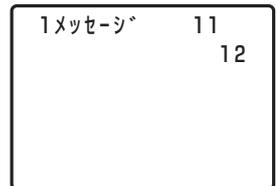
4. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● 相手とお話しした場合は、自動的に<メッセージウェイト>が取り消されます。

応答側：メッセージウェイトを確認する

1. 受話器を置いたまま、メッセージウェイト を押します。
ディスプレイに<メッセージウェイト>を登録した相手の内線番号が表示されます。

1ﾒｯｾｰｼﾞ 11
12

複数の<メッセージウェイト>が登録されているとき

・ メッセージウェイト を押すごとに、登録した相手の内線番号が切替わります。

Note

● 1 台の電話機には、3 件までの<メッセージウェイト>を受け取ることができます。

● あらかじめフレキシブルボタンにメッセージウェイト の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

応答側：メッセージウェイトに応答する

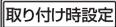
1. 受話器を上げます。

内線
12

2. メッセージウェイト ＃ を押します。
ディスプレイに表示している相手の内線番号を自動的に呼び出します。

呼び出し中　11
12

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに メッセージウェイト の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 相手が応答したら、お話しします。

4月　8日(火)16:35
内線　11

応答側：メッセージウェイトを全消去する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
12

2. メッセージウェイト ＊ ＊ を押します。
着信している全ての<メッセージウェイト>を未応答の状態で消去します。

12

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに メッセージウェイト の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月　8日(火)16:35
12

不在メッセージ

電話に出られないときに不在理由を表示する ＜不在メッセージ＞ 取り付け時設定

席を空けるときに、不在メッセージを登録しておけば、留守中に電話をかけてきた相手に、戻り時間や行き先の電話番号を知らせることができます。

不在メッセージを登録する（戻り時間）

1. 受話器を上げます。または、［スピーカ］を押します。

```
内線
                11
```

2. ［不在メッセージ］を押します。

［不在メッセージ］が赤色に点滅します。

```
                11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［不在メッセージ］の割り付けを行う必要があります。

 取り付け時設定

3. ［1］を押します。

```
hh:mm まで不在
                11
```

4. 戻り時間を 24 時間表記で入力します。

例）午後 3 時 30 分に戻る場合は、［1］［5］［3］［0］を押します。

```
15:30 まで不在
15:30 まで不在
```

5. 受話器を戻します。または、［スピーカ］を押します。

```
4月 8日(火)15:46
15:30 まで不在
```

不在メッセージを登録する（戻り日）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

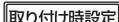
内線
11

2. 不在メッセージ を押します。

不在メッセージ が赤色に点滅します。

11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 不在メッセージ の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

3. 2 を押します。

xx日まで不在
11

4. 戻り日を 2 桁で入力します。

例）5 日に戻る場合は、0 5 を押します。

05日まで不在
05日まで不在

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月　8日(火)16:00
05日まで不在

不在メッセージを登録する（会議終了時間）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

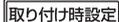
内線
11

2. 不在メッセージ を押します。

不在メッセージ が赤色に点滅します。

11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 不在メッセージ の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

3. 3 を押します。

```
hh:mm まで会議
            11
```

4. 会議終了時間を 24 時間表記で入力します。

例）午前 9 時 30 分に終了する場合は、0 9 3 0 を押します。

```
09:30 まで会議
09:30 まで会議
```

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

```
4月 8日(火)16:01
09:30 まで会議
```

不在メッセージを登録する（行先電話番号）

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

```
内線
            11
```

2. 不在メッセージ を押します。

不在メッセージ が赤色に点滅します。

```
            11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 不在メッセージ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 4 を押します。

```
行き先>
            11
```

4. 行先電話番号を入力します（最大 11 桁)。

```
行き先>03XXXX1111
            11
```

5. # を押します。

の代わりにオンフックしても登録が完了します。
登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

```
行き先>03XXXX1111
行き先>03XXXX1111
```

6. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

```
4月 8日(火)16:03
行き先>03XXXX1111
```

登録した不在メッセージを取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

```
内線
15:30 まで不在
```

2. 不在メッセージ ＊ を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、不在メッセージ が消灯します。

```
15:30 まで不在
```

Note

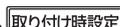
- あらかじめフレキシブルボタンに 不在メッセージ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Information

- 登録できる不在メッセージ数は 1 つです。最新の情報が有効となります。
- 不在メッセージを登録した電話機のディスプレイには、待機中に登録した不在メッセージが表示されます。
- 不在メッセージを登録した電話機に対して内線呼び出しを行った場合、発信側電話機には不在音が送出されます。また発信側電話機のディスプレイに不在メッセージの内容が表示されます。
- 行先電話番号を登録する場合、登録できる桁数は 11 桁までです。
- 不在メッセージを登録中の着信には鳴音しません。また、ディスプレイにも表示を行いません。例外として、外線 、または 外線応答グループ に割り付けられた外線への着信の場合は、着信表示は行われます。
- 不在メッセージを登録している電話機を不在転送先に登録した場合、着信は転送されません。内線着信の場合、転送元の電話機を呼び出し、外線着信の場合、転送先、転送元ともに着信されません。
- 内線着信した電話機が不在メッセージを登録していた場合、その内線電話機が不在転送、またはドントディスターブを登録していても不在メッセージが優先されます。
- あらかじめフレキシブルボタンに 外線応答グループ の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

メモダイヤル 取り付け時設定

外線とお話し中に、ダイヤル（通話相手とは異なるダイヤルも可）を記憶できます。また、記憶したダイヤルを使用して外線に自動発信できます。

ダイヤルを登録する

1. 外線とお話し中に、[メモダイヤル]を押します。

[メモダイヤル]が赤色に点滅します。

0:05　9円

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[メモダイヤル]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ ダイヤルの登録開始操作は、[メモダイヤル]の代わりに、[機能][2][2]を押しても同じ操作ができます。

2. 登録したい番号をダイヤルします。

3. [メモダイヤル]を押します。

登録が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

◆ ダイヤルの登録終了操作は、[メモダイヤル]の代わりに、[機能]を押しても同じ操作ができます。

Note

● 登録できるダイヤル桁数は最大48桁です。
● ダイヤルを登録できるのは、以下の状態のときです。
・外線通話中
・外線会議中
・複数外線会議中

Information

◆ ダイヤルの登録操作中に、他の操作（外線をパーク保留する、お話しを切断するなど）を行うと、登録が中断され、中断前のダイヤル内容が登録されます。
◆ ダイヤルの登録操作中に、ダイヤルを入力しないまま終了操作を行うと、以前入力されていたダイヤルもクリアされます。

発信する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 使用する 外線 を押します。

局線 #2　GP.1
一般回線

3. メモダイヤル を押します。

登録したダイヤル宛に自動発信します。

030570XXXX
一般回線

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに メモダイヤル の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ メモダイヤル の代わりに、機能 2 2 を押しても同じ操作ができます。

4. 相手が応答したら、お話しします。

電話機パスワード 取り付け時設定

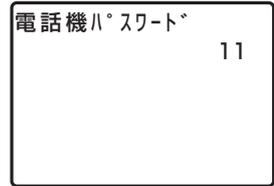
電話機ごとにパスワードを設定して、外線発信を禁止することができます。

電話機をロックする

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [電話機パスワード] を押します。

[電話機パスワード] が赤色に点滅します。

電話機パスワード
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [電話機パスワード] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

- [電話機パスワード] の代わりに、[機能] [4] [4] を押しても同じ操作ができます。

3. パスワードをダイヤルします。

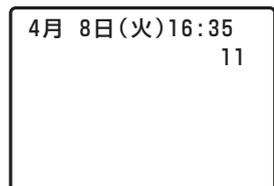
ロックされ、[電話機パスワード] が赤色に点灯します。

1234
11

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

6

応用操作/応用機能編

電話機のロックを解除する

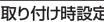
1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [電話機パスワード] を押します。

[電話機パスワード] が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[電話機パスワード] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [電話機パスワード] の代わりに、[機能] [0] [4] [4] を押しても同じ操作ができます。

電話機ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
11

3. パスワードをダイヤルします。

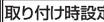
ロックが解除され、[電話機パスワード] は消灯します。

1234
11

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

● パスワード（最大６桁）は、内線電話機ごとに登録します。取り付け時設定
● パスワードを忘れた場合は、お買い求めの販売店にご確認ください。

Information

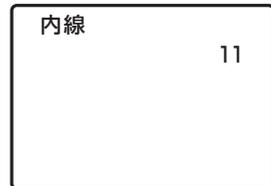
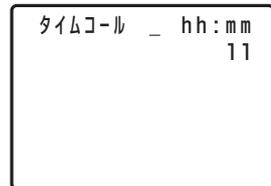
◆ システム電話機からも内線電話機のロック / ロック解除を行えます。このとき、その内線電話機のパスワードは不要です。
◆ 外線着信、外線転送、外線キャンプオンなど、外線発信以外の機能は規制されません。
◆ DISA によるシステム機能へのアクセスも禁止されます。

タイムコール

タイムコールを設定する

タイムコールを設定しておくと、その電話機から指定した時刻にアラーム音を鳴らすことができます。

タイムコールを 1 回だけ通知する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [タイムコール] を押します。

[タイムコール] が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [タイムコール] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [タイムコール] の代わりに、[機能] [4] [1] を押しても同じ操作ができます。

ﾀｲﾑｺｰﾙ _ hh:mm
11

3. [1] を押します。

ﾀｲﾑｺｰﾙ 1 hh:mm
11

4. 時刻を入力します。

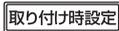
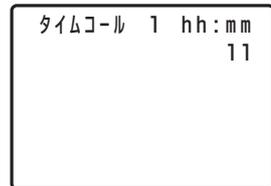
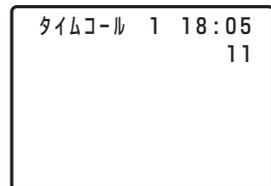
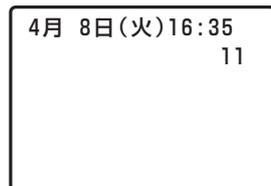
24 時間表記で 4 桁数字を入力します。

（例：午後 6 時 5 分の場合、[1] [8] [0] [5] を押します。）

[タイムコール] が赤色に点灯し、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

ﾀｲﾑｺｰﾙ 1 18:05
11

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

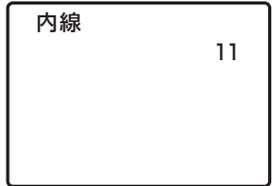
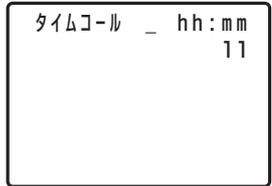
4月 8日(火)16:35
11

Information

◆ 受話器を上げてアラームを止めた場合、または鳴音継続時間が過ぎた場合、アラームは停止し、自動的に登録データも消去されます。

6

応用操作/応用機能編

タイムコールを毎日通知する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [タイムコール] を押します。

[タイムコール] が赤色に点滅します。

タイムコール _ hh:mm
11

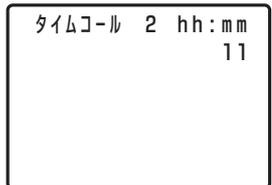
Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [タイムコール] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [タイムコール] の代わりに、[機能] [4] [1] を押しても同じ操作ができます。

3. [2] を押します。

タイムコール 2 hh:mm
11

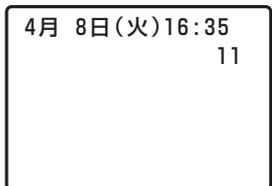
4. 時刻を入力します。

24 時間表記で 4 桁数字を入力します。

（例：午後 6 時 5 分の場合、[1] [8] [0] [5] を押します。）

[タイムコール] が赤色に点灯し、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

タイムコール 2 18:05
11

5. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日（火）16:35
11

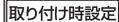
タイムコールの解除

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. タイムコール を押します。

タイムコール が赤色に点滅します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに タイムコール の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

3. ＊ を押します。

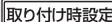
タイムコール が消灯します。

Information

◆ タイムコール の代わりに、機能 0 4 1 を押しても同じ操作ができます。

4. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

Note

- アラーム音の鳴音継続時間は、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- 鳴っているアラームは、受話器を上げると止まります。

送話ミュート

こちらの声が相手に聞こえないようにすることができます。

1. 外線または内線とお話し中に、[ミュート] を押します。
押すたびに、ミュートのオン／オフが切替わります。
ミュートがオンのときは、[ミュート] が赤色に点滅します。

```
4月 8日(火)16:35
 内線          12
```

Note

- 受話器を戻したとき、ミュートは自動的にオフになります。
- ハンズフリー通話中にもミュートは有効です。
- あらかじめフレキシブルボタンに [ミュート] の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

音声案内

外線や内線からかかってきた電話に対し、音声による案内サービスができます。

音声案内サービス概要

音声案内サービスは、以下のようなものがあります。

- 接続案内サービス
- ダイレクトインワードサービスアクセス（DISA）
- 外線への自動応答メッセージ
- 転送電話の応答メッセージ
- 迷惑電話防止のおことわりメッセージ

メッセージ番号	機能／状態	メッセージ
01	案内サービス	可変メッセージのみ
02	ＤＩＳＡ（P.6-18）	こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。
03		こちらは、ダイレクトインサービスです。おかけの電話機が、プッシュホンでしたら発信音の後に、内線番号をダイヤルしてください。ただしコレクトコールではお呼び出しできません。
05		ピー （発信音）
06 ～ 09	外線自動応答１（P.6-20）	本日の業務は、終了致しました。恐れ入りますが、就業時間におかけ直しください。
10 ～ 13	外線自動応答２（P.6-20）	恐れ入りますが本日は、定休日となっています。
14 ～ 17	転送電話（P.4-38）	転送電話です。
18	話中音	ただいまお話し中です。
19	警告音	おかけになった番号は、使われておりません。
20	ドントディスターブ（P.6-32）	ただいまお呼び出しできません。
21	不在メッセージ（P.6-24、P.6-67）	ただいま不在のため、お呼び出しできません。
22	モーニングコール（P.11-7）	こちらは、モーニングコールサービスです。ダイヤルをどうぞ。
23	モーニングコール応答（P.11-7）	こちらは、モーニングコールサービスです。お時間になりました。
24	音声案内録音（P.6-80）	録音を開始します。メッセージをどうぞ。
25	音声案内録音取消（P.6-80）	録音を取り消しました。
26	音声案内登録不可（P.6-80）	ただいま録音できません。
27	音声案内登録終了（P.6-80）	録音を終了します。
28	音声案内録音再生（P.6-80）	録音を再生します。
29	登録完了（P.6-80）	登録を受け付けました。
30	登録取消（P.6-80）	登録を取り消しました。
31	着信呼均等分配（自動おまたせメッセージ・１回目）（P.6-19）	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態でしばらくお待ちください。
32	着信呼均等分配（自動おまたせメッセージ・２回目以降）（P.6-19）	お待たせして申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
33	DCL 圏外	可変メッセージのみ
42	センサ自動発報（P.9-15）	センサーが動作しました。
45	迷惑電話防止（番号通知型）（P.6-45）	この電話はお受けできません。ご了承ください。
46	迷惑電話防止（番号非通知型）（P.6-45）	恐れ入りますが、電話番号の先頭に 186 とつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直しください。
47	迷惑電話防止（公衆／表示圏外型）（P.6-45）	恐れ入りますが、電話番号が通知されていないため、この電話はお受けできません。電話番号が通知される電話からおかけ直しください。

メッセージ番号	機能／状態	メッセージ
48	FAX 自動転送（P.9-7）	ただいま呼び出しを行っていますので、恐れ入りますがそのままの状態でしばらくお待ちください。
49	DISA パスワード入力要求（P.6-18）	可変メッセージのみ

可変メッセージを録音する

可変メッセージを録音する システム

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 音声案内録音 を押します。

音声案内録音 が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 音声案内録音 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 登録する 2 桁の可変メッセージ番号をダイヤルします。

音声案内録音 が消灯します。「録音を開始します。メッセージをどうぞ。」とアナウンスが流れます。

録音種別　15
11

4. 受話器を通してメッセージを録音します。

5. # を押してから、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- すでに録音されている可変メッセージ番号には、上書き録音されます。
- 可変メッセージ番号は 01 ～ 49 まであります。
- 可変メッセージの録音時間には制限があります。制限を越えた録音はできません。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
- 可変メッセージを録音する場合には、あらかじめ設定の変更が必要です。取り付け時設定

可変メッセージを消去する システム

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 音声案内録音 を押します。

音声案内録音 が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 音声案内録音 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. ＊ を押します。

クリア種別
11

4. 消去する 2 桁の可変メッセージ番号をダイヤルします。

音声案内録音 が消灯します。「登録を取り消しました。」とアナウンスが流れます。

クリア種別　01
11

5. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月　8日(火)16:35
11

可変メッセージを再生する システム

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 音声案内録音 を押します。

音声案内録音 が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに 音声案内録音 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. ＃ を押します。

音声案内録音 が消灯します。「録音を再生します。」とアナウンスが流れます。

再生種別
11

4. 再生する 2 桁の可変メッセージ番号をダイヤルします。

録音されていた可変メッセージが流れます。

再生種別 15
11

5. 可変メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

全ての可変メッセージを再生する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

2. 音声案内録音 を押します。

音声案内録音 が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 音声案内録音 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. ＃ を押します。

音声案内録音 が消灯します。「録音を再生します。」とアナウンスが流れます。

再生種別
11

4. ＃ を押します。

録音されていた全ての可変メッセージが流れます。

再生種別 #
11

5. 可変メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

4月 8日(火)16:35
11

全ての固定メッセージを再生する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [音声案内録音] を押します。

[音声案内録音] が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[音声案内録音] の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

3. [#]を押します。

[音声案内録音] が消灯します。「録音を再生します。」とアナウンスが流れます。

再生種別
11

4. [＊]を押します。

全ての固定メッセージが流れます。

再生種別 *
11

5. 固定メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

案内サービスを使う

伝えたい内容があるときに、案内サービスを使用して録音しておくと、他の人が再生して聞くことができます。

案内サービスを使って伝言を録音する

1. 受話器を上げます。

内線
11

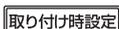
2. [音声案内録音] を押します。

[音声案内録音] が緑色に点灯します。

録音種別
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[音声案内録音] の割り付けを行う必要があります。
取り付け時設定

6
応用操作／応用機能編

3. 案内サービスの可変メッセージ番号（[0][1]）をダイヤルします。

音声案内録音 が消灯します。「録音を開始します。メッセージをどうぞ。」とアナウンスが流れます。

```
録音種別          01
                 11
```

4. 受話器を通して伝言を録音します。

5. [#]を押してから、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
                 11
```

Note

- すでに録音されている可変メッセージ番号には、上書き録音されます。
- 可変メッセージの録音時間には制限があります。制限を越えた録音はできません。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
- 可変メッセージを録音する場合には、あらかじめ設定の変更が必要です。取り付け時設定

案内サービスを使って伝言を再生する

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

```
内線
                 11
```

2. 録音案内再生 を押します。

録音されていた伝言が流れます。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに 録音案内再生 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ 録音案内再生 の代わりに、機能 [4][5]を押しても同じ操作ができます。

```
再生種別          01
                 11
```

3. 伝言を聞き終わったら、受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

```
4月 8日(火)16:35
                 11
```

マクロキーオペレーション

頻繁に使う長いキー操作をワンタッチ操作でおこなう

マクロに電話機で可能な一連のキー操作を登録しておけば、次回からは、マクロを押すだけで、登録した一連のキー操作を行うことができます。

マクロに操作を登録する

1. 受話器を置いたまま、機能 マクロを押します。

マクロが赤色に点滅します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにマクロの割り付けを行う必要があります。

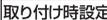
取り付け時設定

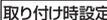
2. 登録したい一連のキー操作を行います。

3. マクロを押します。

マクロが 3 秒間点滅した後、消灯します。

Note

- 登録できる一連のキー操作は最大 32 操作です。
- キーによっては登録できないものもあります。ご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
- マクロをマクロに登録できません。
- ナビゲーションキーのカーソル操作は登録できません。
- 受話器を上げてオフフックする操作は登録できません。スピーカ を登録してください。
- 1 台の電話機につき、設定できるマクロは最大 4 つです。
- 最後に実行したマクロを点灯したままとすることができます。取り付け時設定

6

応用操作／応用機能編

登録した マクロ を解除する

1. 受話器を置いたまま、機能 マクロ を押します。

マクロ が赤色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに マクロ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

```
4月  8日(火)16:35
              11
```

2. 再び マクロ を押します。

マクロ が消灯します。

登録した マクロ を実行する

1. 受話器を置いたまま、マクロ を押します。

マクロ が 3 秒間、赤色に点灯します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに マクロ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

```
0010  山田商事
    001:030570XXXX
```

機能ボタンの使い方

機能ボタンと 0 〜 9 のダイヤルボタン、＊、＃ ボタンを組み合わせて、以下のような豊富な機能の操作ができます。主に、電話機のフレキシブルボタンに機能が登録されていない場合に使用します。

Note

● 以下の表に示す機能特番は、取り付け時に設定する必要があります。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

特　番	機能名称	用途	参照先
機能 1 1	フラッシュ	ダイヤルを途中でかけ直しするときに使用します。	P.3-5
機能 1 2	ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します。	P.7-15
機能 1 3	ダイヤルリバース	プッシュ信号とダイヤル信号を切替えるときに使用します。	P.6-63
機能 1 4	秘話解除	お話し中の外線に割り込みできます。	P.6-61
機能 1 5	きっかけ音	迷惑電話を切りたいときに相手にきっかけ音を聞かせることができます。	P.6-50
機能 2 1	セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記録し、かけ直すことができます。	P.11-2
機能 2 2	メモダイヤル	お話し中に別の電話番号を記録し、かけ直すことができます。	P.6-71
機能 2 3	トランクキューイング	外線の使用予約ができます。	P.11-3
機能 2 4	タイムドトランクキューイング	指定時間後の外線使用予約ができます。	P.11-5
機能 3 1	グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機から応答できます。	P.6-21
機能 3 2	グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機から応答できます。	P.6-21
機能 3 3	個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます。	P.6-21
機能 3 4	コールパークピックアップ	パーク保留に応答するときに使用します。	P.6-36
機能 3 5	ミート･ミー応答	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します。	P.9-9
機能 4 1	タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします。	P.6-75
機能 4 2	モーニングコール	指定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します。	P.11-7
機能 4 3	内線コールバック	お話し中の内線通話が終了したことをお知らせします。	P.6-13
機能 4 4	電話機パスワード	外線の発信規制ができます。	P.6-73
機能 4 5	案内サービス	案内サービスに録音されたメッセージを再生します。	P.6-79

特　番	機能名称	用途	参照先
機能 6 1	マイク	マイクのオン／オフの切替えを行うことができます。	P.3-50、P.3-51、P.6-3
機能 6 2	BGM	スピーカから BGM を流します。	P.9-10
機能 6 3	LCD 表示切替え	ディスプレイの表示内容を切替えることができます。	P.2-10
機能 6 4	時刻調整	時刻の調整を行うことができます。	P.2-17
機能 6 5	内着モード切替え	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます。	P.3-46
機能 7 1	通話料金表示（前回）	前回通話した 1 回分の料金を表示します。	P.2-13
機能 7 2	通話料金表示（本日）	当日分の料金を表示します。	P.2-13
機能 7 3	通話料金表示（今月）	当月分の料金を表示します。	P.2-13
機能 7 4	通話料金表示（先月）	先月分の料金を表示します。	P.2-13
機能 7 5	グループ予算額設定／使用率表示	内線グループ（部署など）別の予算額に対する使用率を表示します。	P.2-13
機能 9 9	自内線番号表示	自分の電話機の内線番号を表示します。	P.2-10
機能 9 1	システム情報表示	システムの IP アドレス、ソフトウェアバージョン等の情報を表示します。	P.2-12
機能 # 9	キー案内	各ボタンに何が割り当ててあるか確認できます。	P.6-90
機能 # *	鳴音種別設定	端末ごとに着信時の鳴音を変更することができます。	P.3-66

フレキシブルボタンの初期割り当て

フレキシブルボタンの初期割り当ては、以下のとおりです。
なお、NR-18KT の初期割り当ては、ボタン番号 1 ～ 18 になります。

NR-30KT/18KT

6

応用操作／応用機能編

フレキシブルボタンの確認

あらかじめ電話機のフレキシブルボタンに各種機能を登録することによって、ワンタッチ操作で豊富な機能を活用できます。

Note

- フレキシブルボタンへの各種機能の登録は、取り付け時に設定する必要があります。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。[取り付け時設定]

フレキシブルボタンに設定されている機能を確認する

1. [機能] [#] [9] を押します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

2. 確認したいフレキシブルボタンを押します。

```
メニュー
              11
```

電話機の LCD 表示	用途	参照先
グループパーク 1 ～ 30 グループパーク 0（自動パーク保留）	システムパーク保留を行うときに使用します。	P.6-36
局線 1 ～ 40	外線を指定して発信するときに使用します。	P.3-2、 P.3-3
局線グループ 0（ACR 発信）、 局線グループ 1 ～ 30、 局線グループ 32（索線）	自動的に特定の電話会社に接続します。（ACR 発信） 自動的に外線を選択して外線発信するときに使用します。	P.6-6
DSS　1 ～ 400（内線番号）	内線番号を登録しておくことで、ワンタッチで目的の内線を呼び出すことができます。	P.6-11
内線代表グループ 1 ～ 30	部署などの内線グループごとに呼び出すことができます。	P.6-7
ページンググループ（一斉）、 ページンググループ 1 ～ 30	電話機を一斉に呼び出すことができます。	P.6-8、 P.6-9、 P.9-8
局線応答グループ、 局線応答グループ 1 ～ 30	外線ボタンを選ばずに応答できます。	P.9-11
即時鳴音（秘書応答）1 ～ 400	あらかじめ設定された他の電話機への着信に代理応答するときに使用します。 対象先と同時に鳴音します。	P.6-33
遅延鳴音（秘書応答）1 ～ 400	あらかじめ設定された他の電話機への着信に代理応答するときに使用します。 対象先とは一定時間遅れて鳴音します。	P.6-33
無鳴音（秘書応答）1 ～ 400	あらかじめ設定された他の電話機への着信に代理応答するときに使用します。 着信表示のみで鳴音しません。	P.6-33
通話録音	お話し中の会話を録音するときに使用します。	P.5-43
システム短縮　00 ～ 89	システムに登録した短縮番号に電話をかけるときに使用します。 短縮番号の桁数が 3 桁または 4 桁の場合は、システム短縮の使用範囲が異なります。取り付け時設定 ･短縮番号が 3 桁の場合：000 ～ 899 ･短縮番号が 4 桁の場合：0000 ～ 0999、8000 ～ 8999	P.3-8
短縮（ダイレクト短縮）90 ～ 99	電話機ごとに登録した短縮番号に電話をかけるときに使用します。 短縮番号の桁数が 3 桁または 4 桁の場合は、900 ～ 919 を使用します。取り付け時設定	P.3-8
内線コールバック	お話し中の電話機の内線通話が終了したことをお知らせします。	P.6-13
不在メッセージ	不在中の連絡事項をメッセージとして伝えることができます。	P.6-67
局線着信自動応答 システム	外線の着信に対して、システムが自動応答し、メッセージを流すことができます。	P.6-20
会議	3 人または 4 人でお話しできます。	P.6-53、 P.6-58
BGM（バックグウンドミュージック）	スピーカから BGM を流します。	P.9-10
時刻調整 システム	システムに内蔵されている時計を補正することができます。	P.2-17
トランクキューイング	外線の使用予約ができます。	P.11-3
個別代理応答	着信している電話機の番号をダイヤルして代わりに応答できます。	P.6-21
転送電話（一般転送）1 ～ 4	着信した外線を転送します。	P.4-2、 P.4-6
LCD 表示切替え	ディスプレイの表示内容を切替えることができます。	P.2-10
番号表示	内線電話番号を表示します。	P.2-10
機能	各種機能が活用できます。	P.6-87

電話機の LCD 表示	用途	参照先
不在転送	離席時に別の内線に電話を転送するときに使用します。	P.4-2、P.4-29、P.4-35、P.6-24、P.6-28
フラッシュ	ダイヤルを途中でかけ直しするときに使用します。	P.3-5
グループ外代理応答	他の内線グループにかかってきた電話に別の電話機から応答できます。	P.6-21
内線	内線を捕捉します。	P.3-43
電話機パスワード	外線の発信規制ができます。	P.6-73
一斉呼出し	電話機を一斉に呼び出すことができます。	P.6-9
モーニングコール	設定した時刻に電話機を鳴らし、メッセージを流します。	P.11-7
ミート・ミー応答	スピーカ呼び出しに応答するときに使用します。	P.9-9
メモダイヤル	お話し中に別の電話番号を記録し、かけ直すことができます。	P.6-71
マイク	マイクのオン／オフの切替えを行うことができます。	P.3-50、P.3-51、P.6-3
メッセージウェイト	不在中、またはお話し中の相手に折り返し連絡して欲しい ときに使用します。	P.6-64
モニタ（通話モニタ）	他の電話機の通話内容を聞くことができます。	P.6-62
オーバーライド	応答しない電話機（着信拒否／話中）を強制的に呼び出します。	P.6-15
個別コールパーク（個別パーク）	保留に他の人が出て欲しくないときに使用します。	P.6-36
グループ内代理応答	同じ内線グループにかかってきた電話に別の電話機から応答できます。	P.6-21
コールパークピックアップ	パーク保留に応答するときに使用します。	P.6-36
ダイヤルリバース	プッシュ信号とダイヤル信号を切替えるときに使用します。	P.6-63
オートリピートダイヤル	自動的に繰り返し何度もかけ直すことができます。	P.6-2
タイムコール	設定した時刻に電話機を鳴らしてお知らせします。	P.6-75
切断	現在のお話しを終了するときに使用します。	-
リレー １～８	外部機器を操作するときに使用します。	P.9-5、P.9-5
スピーカ	受話器を置いたまま発信・着信・応答状態になります。	P.3-3、P.3-44、P.3-49、P.3-50、P.6-3
短縮	短縮ダイヤルがかけられます。	P.3-15
ショートフラッシュ	ショートフラッシュ信号を送出するときに使用します。	P.7-15
セーブナンバリダイヤル	ダイヤルした番号を記録し、かけ直すことができます。	P.11-2
転送	転送するときに使用します。	P.3-57、P.3-63
タイムドトランクキューイング	指定時間後の外線使用予約ができます。	P.11-5
音声案内録音 システム	音声メッセージを録音します。	P.6-79
録音案内再生（案内サービス）	案内サービスに録音したメッセージを聞くことができます。	P.6-79
内線呼出しモード切替	内線着信を音声着信、トーン着信のどちらかに指定できます。	P.3-46
クリア／再ダイヤル（再発信）	最後に発信した相手に再び発信できます。	P.3-7
CID 転送（発番号転送）1 ～ 10	発信者番号毎転送の設定で、発信者番号毎転送グループを指定するときに使用します。	P.4-2、P.4-6
接続	保留したお話しを呼び出した相手へ転送するときに使用します。	P.3-57、P.3-63
ダイヤルイン（ダイヤルイン応答）1 ～ 999	ダイヤルイン番号を指定して応答するときに使用します。	P.7-4
通信中転送	通信中転送サービスを利用するときに使用します。	P.7-16

電話機の LCD 表示	用途	参照先
着信転送	着信転送サービスを利用するときに使用します。	P.7-17
伝言録音	指定したボックスにメッセージを録音するときに使用します。	P.5-52
VM 設定	ボイスメールの管理に使用します。	「5 留守番電話機能編」
留守番 1 ～ 12	留守番機能の開始／終了するときに使用します。	P.5-22
留守録モニタ	留守番録音中に、スピーカで録音内容をモニタするときに使用します。	P.5-26
秘話解除／会議	お話し中の外線に割り込みができます。	P.6-61
ドントディスターブ	着信拒否ができます。	P.6-32
グループ予算（予算額設定／グループ使用率表示）	グループ内の予算の使用率を表示するときに使用します。	P.2-13
保留	お話し中の外線を保留するときに使用します。	P.3-53
前回 通話料金	前回お話しした 1 回分の料金を表示します。	P.2-13
本日 通話料金	当日分の料金を表示します。	P.2-13
今月 通話料金	当月分の料金を表示します。	P.2-13
先月 通話料金	先月分の料金を表示します。	P.2-13
保留局線自動応答	受話器を上げずに保留した外線に応答できます。	-
ボックス 1 ～ 999	ボイスメールメッセージの再生、メッセージの有無を表示します。	「5 留守番電話機能編」
キャッチ	お話し中の着信に応答します。	-
ステーション放棄呼	システムの着信履歴を表示します。	P.6-40
放棄呼情報削除	応答しなかった着信の履歴を削除します。	P.6-40
転送電話登録	あらかじめ設定された外線への着信を、他の外線に転送するときに使用します。	P.4-2、P.4-6
DIN 転送登録（ダイヤルイン転送登録）	あらかじめ設定された着番号への着信を、他の外線に転送するときに使用します。	P.4-2、P.4-6
CID 転送登録（発番号転送登録）	あらかじめ設定された発信者番号からの着信を、他の外線に転送するときに使用します。	P.4-2、P.4-6
呼び返し発信	システム不応答履歴の発信者番号登録を行うときに使用します。	P.6-40
Din 転送（ダイヤルイン転送）1 ～ 100	ダイヤルイン着信を外線に転送するときに使用します。	P.4-2、P.4-6
Din グループ（ダイヤルイングループ）1 ～ 30	ダイヤルイングループを指定して応答するときに使用します。	P.7-4
迷惑電話防止	特定の電話番号からの着信に対してメッセージで応答します。	P.6-45
マクロ 1 ～ 4	一連の操作を記憶させます。	P.6-85
テロップ 1 ～ 3	ディスプレイにテキスト情報を表示することができます。	P.11-9
ヘッドセットコントロール	ヘッドセットを使用するときに使用します。	P.9-11
ミュート	こちらの声が相手に聞こえないようにします。	P.6-78
電話帳	電話帳からダイヤルするとき、または外線発信するときに使います。	P.3-8、P.3-20
メニュー	メニュー画面を表示します。	P.2-18
ルームモニタ	留守中の室内の音を電話機から確認します。	P.6-51
FLT ダイヤルイン（索線ダイヤルイン）	自動的にダイヤルインボタンを選択して外線発信するときに使用します。	P.7-5
迷惑電話おことわり	特定の電話番号からの着信に対してメッセージで応答します。	P.7-10
着信音停止	着信音を停止できます。	P.11-11
きっかけ音	通話中の相手に電話を切るきっかけ音を聞かせるときに使用します。	P.6-50

PRECOT（プレコット）でご利用になれる回線サービス

回線サービスを利用して、いろいろな機能を使うことができます。PRECOT（プレコット）でアナログ回線のみをお使いの場合は、ISDN サービスをご利用になれません。サービスの詳細については、NTT にお問い合わせください。

Information

ISDN とは

- ◆ 従来のアナログ回線網に比べて、高速で高品質な通信が可能なデジタル通信回線網です。
- ◆ このシステムでは、NTT の提供する ISDN 回線（INS ネット 64）を使用してお話しをし、ISDN ならではのサービスを利用して、電話機をさらに便利にお使いになれます。
- ◆ INS ネット 64 は、1 回線につき 2 チャンネル（通話路）を持ち、同時に 2 つのお話しができます。

ISDN 回線とアナログ回線でお使いになれるサービス

サービス	内容	参照先
ダイヤルイン※	外線から特定の内線番号を呼び出すことができます。	P.7-4
ナンバーディスプレイ※	外線から電話がかかってきたとき、相手の電話番号が通知されたときは、多機能電話機のディスプレイに電話番号を表示します。電話番号が通知されないときは、その理由を表示します。	P.7-7
ネームディスプレイ※	電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前を多機能電話機のディスプレイに表示します。	P.7-9
迷惑電話おことわりサービス※	迷惑電話を受けたときに、登録操作を行うことで、以降の同じ電話番号からの着信時に、電話をお受けできない旨を伝える音声ガイダンスが自動的に流れます。	P.7-10

※：**これらのサービスを利用するには、NTT と付加サービスの契約が必要です。**

ISDN 回線でお使いになれるサービス

ISDN

<table>
<tr><th colspan="2">サービス</th><th>内容</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td colspan="2">発信番号通知</td><td>電話をかけた相手の電話番号を電話機に通知します。</td><td>P.7-14</td></tr>
<tr><td colspan="2">サブアドレス通知サービス</td><td>外線から特定の内線電話機を呼び出すことができます。ただし、アナログ回線から、PRECOT（プレコット）の内線電話機を呼び出すことはできません。</td><td>P.7-19</td></tr>
<tr><td rowspan="3">フレックスホン</td><td>三者通話※
·切替えモード
·ミキシングモード</td><td>お話し中に外線からかかってきた場合、お話し中の相手を保留にして、かかってきた相手とお話しすることができます。（切替えモード）
また、外線とお話し中に、別の外線を呼び出して、3 者でお話しできます。（ミキシングモード）</td><td>P.7-15</td></tr>
<tr><td>通信中転送※</td><td>外線からかかってきた電話に出たあとに、他の人に転送します。</td><td>P.7-16</td></tr>
<tr><td>着信転送※</td><td>外線から個別の電話にかかってきた電話（サブアドレスやダイヤルイン等）を、あらかじめ設定しておいた転送先に転送します。</td><td>P.7-17</td></tr>
<tr><td colspan="2">ｉ・ナンバー※</td><td>最大 3 つの電話番号が持てるサービスです。</td><td>P.7-13</td></tr>
<tr><td colspan="2">INS ボイスワープ※</td><td>外線から電話がかかってきたときに、あらかじめ指定した転送先に自動的に転送するサービスです。</td><td>P.7-21</td></tr>
<tr><td colspan="2">INS ナンバー・リクエスト※</td><td>電話番号を通知しない人からの電話をおつなぎしないサービスです。番号を通知してからかけなおすように音声ガイダンスが流れます。この機能は、INS ナンバー・ディスプレイのオプション機能です。</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="2">INS マジックボックス※</td><td>お話し中やご不在中など、かかってきた電話に出られないとき、センターが応答してメッセージを録音するサービスです。外出先の携帯電話、公衆電話からもメッセージ再生、消去が行えます。</td><td>-</td></tr>
</table>

※：**これらのサービスを利用するには、NTT と付加サービスの契約が必要です。**

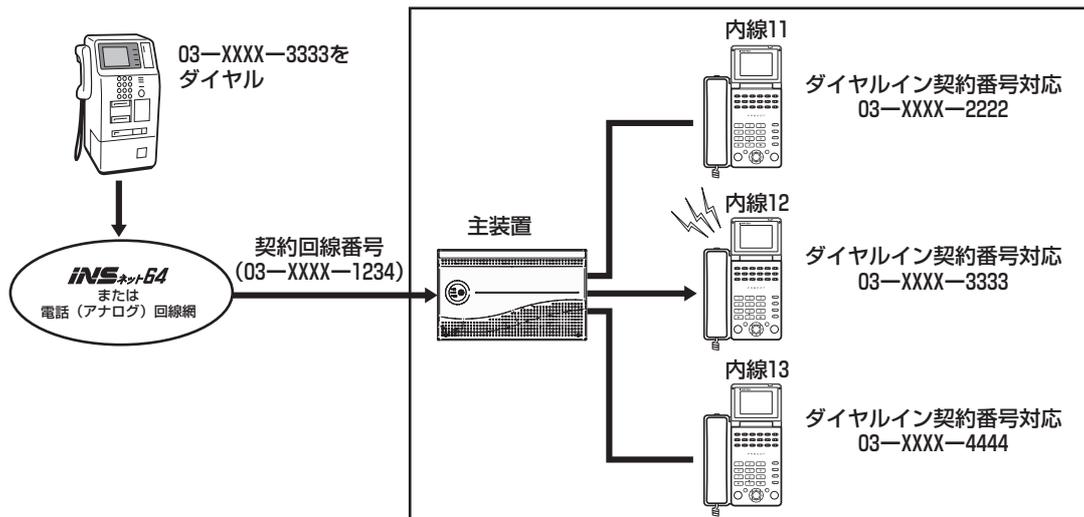
ISDN 回線でお使いの場合 ISDN

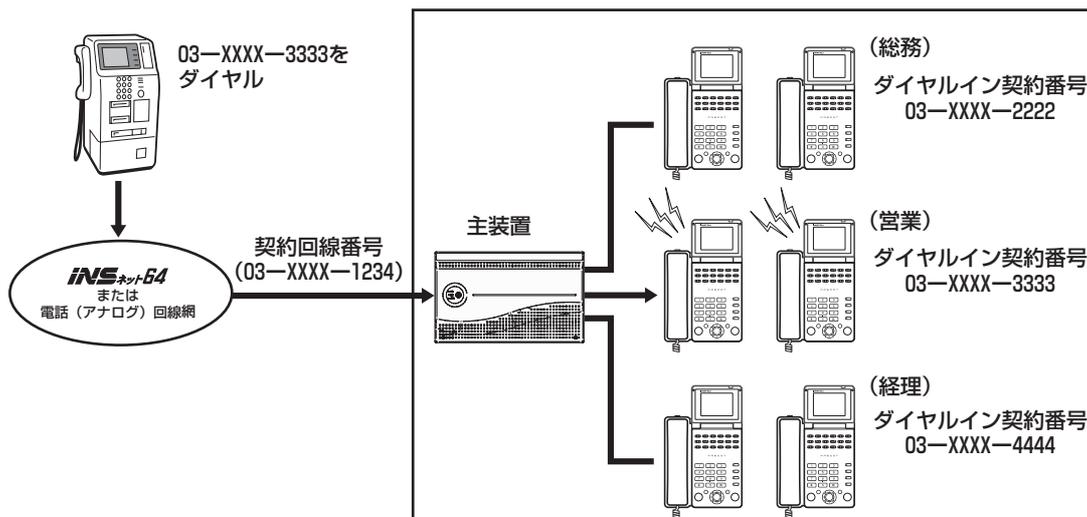
・　サブアドレス通知サービスを利用してお使いになれる機能

サービス	内容	参照先
外線から転送先を変更する	外線から着信転送（ダイヤルイン着信）の転送先を変更することができます。	-

ダイヤルイン（付加サービス）取り付け時設定

外線から、PRECOT（プレコット）の特定の内線電話機を呼び出す場合、契約回線番号とは別に、それぞれの電話機にダイヤルインのための契約番号を設定し、その契約番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます（ダイヤルイン個別着信）。
ISDN 回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれますが、この機能を利用するには NTT との契約が必要です。
ダイヤルインを利用することで、外線から必要な担当者に直接電話をかけることができ、取り継ぎでお客様を待たせることも少なくなります。

運用例 1) 個別着信

- 契約回線番号 03-XXXX-1234 を通して、ダイヤルイン契約番号対応 03-XXXX-3333（内線 12）に電話がかかります。
- 内線 11 および内線 13 の電話機から代理応答の操作により応答が可能です。

運用例 2) グループ着信

- 契約回線番号 03-XXXX-1234 を通して、ダイヤルイン契約番号 03-XXXX-3333 に対応したグループの複数の電話機に電話がかかります。
- 複数の契約回線番号を代表扱いするサービスと併用が可能です。
  2 つ以上の着信を同一の着番号（ダイヤルイン番号）で受けることも可能です。

ダイヤルインボタンでの着信

1. 着信音が鳴ります。

相手先　山田商事
030570XXXX

2. 赤色に点滅している［ダイヤルイン］または［ダイヤルイングループ］を押します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［ダイヤルイン］、［ダイヤルイングループ］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

3. 受話器を上げてお話しします。

相手先　山田商事
0:02

ダイヤルインボタンでの発信

1. ［ダイヤルイン］または［索線ダイヤルイン］を押します。

局線 #2　GP.1
一般回線

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［ダイヤルイン］、［索線ダイヤルイン］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

2. 受話器を上げます。

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

341030
一般回線

4. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #2　GP.1
0:11　9円

Information

◆ 取り付け時の設定により、以下のようなこともできます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

・ダイヤルイン契約番号ごとに着信音を設定できます。

・グローバル着信 ISDN

契約回線番号に電話がかかると、複数の電話機を呼び出すことができます。

・ダイヤルイン着信 ISDN

ダイヤルイン番号ごとに、複数の電話機を呼び出すことができます。
ダイヤルイン番号ごとに転送先電話番号を設定し、着信転送（フレックスホン（付加サービス）、局線間転送）を行うこともできます。

・ダイヤルイン番号ごとに、着信表示する ダイヤルイン を設定することができます。

空いている ダイヤルイン がない場合は、発信者に対して話中音が送出されます。

・ 索線ダイヤルイン を使った場合、空いている ダイヤルイン を自動的に選択して外線発信を行ないます。

・お話中の ダイヤルイン を保留操作すると ダイヤルイン は緑色に点滅します。他の電話機の ダイヤルイン は、赤色に点滅します。

◆ 電話帳を検索してかける場合

電話帳検索/文字 を押して各検索操作を行い、ダイヤルイン を押してください。電話帳検索方法については、「電話帳に登録した電話番号にかける（P.3-8)」を参照してください。

◆ 短縮 を使用してかける場合

ダイヤルイン を押し、続けて 短縮 を押して短縮番号をダイヤルしてください。短縮ダイヤルでかける方法については、「短縮ダイヤルでかける（P.3-15)」を参照してください。

ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知されたときは発信者の電話番号を、通知されないときにはその理由を電話機のディスプレイに表示するサービスです。この機能を利用するときには、NTTとの契約が必要です。
ISDN 回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれる機能です。

電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号が通知された場合には、着信音が鳴っている多機能電話機全て（無鳴音着信の多機能電話機を含む）に、かけてきた相手（発信者）の電話番号が表示されるので、相手の電話番号を確認してから電話を受けることができます。電話に応答すると相手の電話番号は消えますが、設定によって電話を受けたあとも、電話番号を表示することができます。取り付け時設定

<外線からかかってきたときの表示例>

例：東京支店（03-XXXX-5678）からかかってきたとき

名前登録なし

```
相手先 03XXXX5678
```

名前登録あり
（システム漢字電話帳／発信者名）

```
相手先 岩通東京支店
03XXXX5678
```

通知された電話番号が発信者名または電話帳に名前を登録されている場合は、名前を表示します。

< NTT との契約により、下記のような表示になります。>

PRECOT（プレコット）側の回線（受ける側）		相手の回線（かける側）			
		ISDN		電話（アナログ）	
		番号通知	番号非通知※	番号通知	番号非通知※
ISDN	ナンバー・ディスプレイ　契約あり	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ　契約なし	○	×	×	×
電話（アナログ）	ナンバー・ディスプレイ　契約あり	○	△	○	△
	ナンバー・ディスプレイ　契約なし	×	×	×	×

○：相手の電話番号を表示します。
△：非通知理由を表示します。
×：表示しません。
※：公衆電話、電話番号通知のできないネットワークからかけた場合も含まれます。

アナログ回線をお使いの方から電話番号が通知されたときは、PRECOT（プレコット）の着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合に、電話番号が表示されます。

<相手の電話番号が通知されないときは、以下のような表示になります。>

表　示	内　容
非通知	非通知で電話がかかってきたとき
公衆電話	公衆電話から電話がかかってきたとき
表示圏外	国際電話などで番号を通知できない電話がかかってきたとき

Note

- NTT がサービス内容の変更や追加を行った場合には、表示内容が変わることがあります。
- 表示可能なケタ数を超える電話番号が通知された場合、表示可能なケタ数まで表示します。
- PRECOT（プレコット）に接続される停電中の停電対応多機能電話機には、電話をかけてきた相手の電話番号は表示されません。

ネーム・ディスプレイ（付加サービス） 取り付け時設定

電話がかかってきたとき発信者の電話番号と名前を表示するサービスです。この機能を利用するには、NTTとの契約が必要です（非通知設定の場合は除く）。
ISDN 回線でもアナログ回線でもご利用になれるサービスです。

電話がかかってきたとき

外線から電話がかかってきたとき、発信者の電話番号と名前が通知された場合には、着信音が鳴っている多機能電話機全てに、かけてきた相手（発信者）の名前が表示されるので、相手を確認してから電話を受けることができます。
ネーム・ディスプレイはナンバー・ディスプレイのオプションサービスで、発信者番号だけでなく、発信者名も表示されるサービスです。

表示例

<岩通一郎さん（内線 17 番）の電話に、鈴木商店の鈴木太郎さん（03-XXXX-5678）からかかってきた場合>
<発信者番号と、発信者名が通知されて>

発信者番号により、
電話帳に登録された名前が表示されます。

相手先　鈴木太郎
03XXXX5678

設定により発信者から通知された名前を
そのまま表示することもできます。

相手先　鈴木太郎
03XXXX5678
鈴木商店

Information

- ◆ **発信者名が通知されたら、表示された名前と発信者の電話番号が着信履歴に記録されます。**
- ◆ **着信履歴の発信者の名前と電話番号を、そのまま電話帳に登録することができます（「着信履歴から電話帳に登録する（P.3-41)」）。**

7
回線サービス編

迷惑電話おことわりサービス（付加サービス） 取り付け時設定

迷惑電話を受けたときに、登録操作を行うことで、以降の同じ電話番号からの着信時に、お客様に代わり音声ガイダンスで応答するサービスです（お客様の電話機も鳴音しません）。
相手には、「こちらは、○○○ー△△△ー□□□□※です。この電話はお受けできません。ご了承ください」と自動的にメッセージが流れます。（※：迷惑電話おことわりサービス契約者の電話番号）
この機能を利用するときには、NTT との契約が必要です。
ISDN 回線でお使いの場合も、アナログ回線でお使いの場合もご利用になれる機能です。

お話し中に迷惑電話を登録する

1. 着信した外線（迷惑電話）とお話し中に、[迷惑電話おことわり] を押します。

[迷惑電話おことわり] が赤色に点滅します。

再度、[迷惑電話おことわり] を押すと、キャンセルされ、[迷惑電話おことわり] が消灯します。

```
相手先 341020
0:05
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに [迷惑電話おことわり] の割り付けを行う必要があります。 取り付け時設定

2. お話しが終了したら、受話器を戻します。

迷惑電話の通話が切れ、自動的にオンフックダイヤルで迷惑電話おことわりサービスに発信され、登録が行われます。
登録が完了すると、登録完了のガイダンスメッセージが流れます。

```
0999
            1442
```

3. メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。

受話器を置いたまま、スピーカで聞いている場合は、[スピーカ] を押します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

● 他の発信や着信と重なった場合、登録できないことがあります。
● 共通短縮ダイヤル（0999）に、あらかじめ 1442 を登録してください。
● 短縮番号の桁数が 2 桁または 3 桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0999）を使用します。取り付け時設定

登録を解除する（最後に登録した 1 件の解除）

1. 受話器を上げます。

```
内線
              11
```

2. 契約している [外線] を押します。

```
局線 #1    GP.2
一般回線
```

3. [ダイレクト 短縮998] を押します。

登録解除の完了を知らせる、ガイダンスメッセージが流れます。

0998
1443

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ダイレクト 短縮998]の割り付けを行う必要があります。
[取り付け時設定]

4. メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 共通短縮ダイヤル（0998）に、あらかじめ 1443 を登録してください。
- 短縮番号の桁数が 2 桁または 3 桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0998）を使用します。[取り付け時設定]

登録を全件解除する（一括解除）

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 契約している[外線]を押します。

局線 #1　GP.2
一般回線

3. [ダイレクト 短縮997] を押します。

登録解除の完了を知らせる、ガイダンスメッセージが流れます。

0997
1449

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[ダイレクト 短縮997]の割り付けを行う必要があります。
[取り付け時設定]

4. メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- 共通短縮ダイヤル（0997）に、あらかじめ 1449 を登録してください。
- 短縮番号の桁数が 2 桁または 3 桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0997）を使用します。[取り付け時設定]

迷惑電話おことわりサービスの効果を確認する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 契約している外線を押します。

局線 #1　GP.2
一般回線

3. ダイレクト短縮996を押します。

メッセージ応答した回数を知らせる、ガイダンスメッセージが流れます。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにダイレクト短縮996の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

0996
1444

4. メッセージを聞き終わったら、受話器を戻します。

4月　8日(火)16:35
11

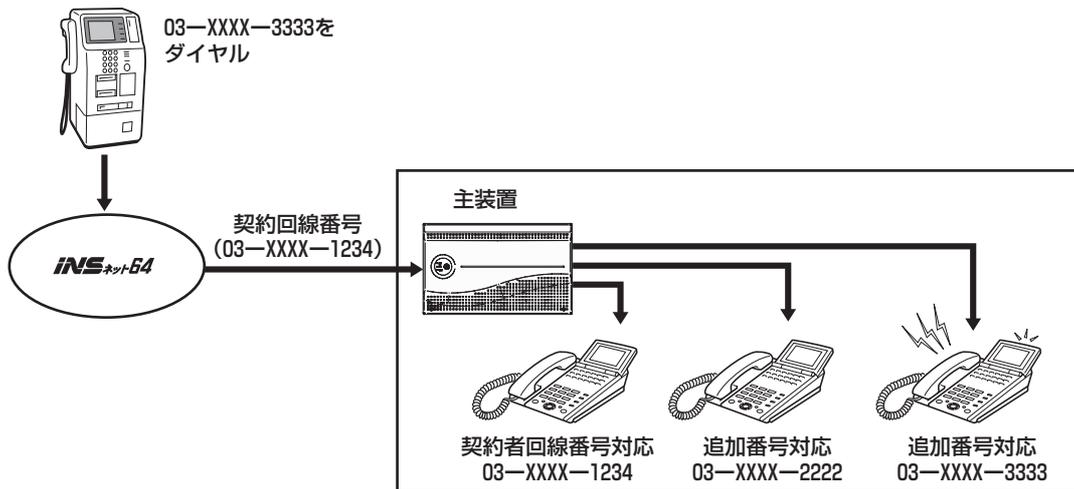
Note

- 共通短縮ダイヤル（0996）に、あらかじめ 1444 を登録してください。
- 短縮番号の桁数が 2 桁または 3 桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0996）を使用します。取り付け時設定

Note

- ダイヤル Q2 回線、アナログ回線ダイヤルインサービスの場合、「迷惑電話おことわりサービス」をご利用できません。
- ISDN 回線でダイヤルイン、i・ナンバー、代表取り扱いのサービスを利用している場合、発信者通知を行う必要があります。
- 「迷惑電話おことわりサービス」にアクセスするためのダイヤルを、共通短縮ダイヤル（0996 ～ 0999）に設定する必要があります。取り付け時設定
- 短縮番号の桁数が 2 桁または 3 桁の場合でも、同じ共通短縮ダイヤル（0996 ～ 0999）を使用します。取り付け時設定
- 「迷惑電話おことわりサービス」にアクセス後、ダイヤル操作を促すガイダンスメッセージが流れる場合は、ガイダンスに従ってダイヤル操作してください。

i ・ナンバー（付加サービス） 取り付け時設定 ISDN

契約者回線番号とは別の電話番号を追加できます。外線から PRECOT（プレコット）の内線電話機を呼び出す場合、契約者回線と追加した電話番号に対応する電話機をそれぞれに設定し、その電話番号をダイヤルして直接内線電話機を呼び出すことができます。
この機能を利用するためには、NTT との契約が必要です（代表サービス、ダイヤルインとの同時契約はご利用になれません）。
（例）外線から契約者回線番号 03-XXXX-1234 の i・ナンバー契約番号 03-XXXX-3333 の電話機を呼び出す。

Note

● 代表取扱、ダイヤルインサービスとの併用はできません。

Information

◆ i ・ナンバーは、電話番号を最大 3 個（契約者回線番号を含む）契約することができます。
◆ 取り付け時の設定により、以下の機能を使用することができます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定
・ 電話番号ごとに特定の内線電話機を呼び出すことができます。
・ 電話番号ごとに着信音を設定できます。
・ i ・ナンバーの電話番号をダイヤルイン番号として扱い、［ダイヤルイン］または［ダイヤルイングループ］に着信することができます。
◆ あらかじめフレキシブルボタンに［ダイヤルイン］、［ダイヤルイングループ］の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

発信者番号通知（基本サービス）ISDN

電話をかけた相手の電話機に、発信者電話番号を通知するサービスです。相手の電話機がアナログ回線の場合には、相手がナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ電話番号を通知します。ISDN 回線でお使いの場合にご利用になれる機能です。

電話をかけたとき 取り付け時設定

PRECOT（プレコット）から電話をかけたとき、相手の電話機に電話番号が通知されます。

発信者番号の通知について

NTT に申し込んだ方法により、操作が異なります。

- 「通常通知」を選択している場合
  通常のかけ方で、発信者の電話番号を通知します。相手の電話番号の前に「184」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知しないようにします。
- 「通常非通知」を選択している場合
  通常のかけ方では発信者の電話番号を通知しません。相手の電話番号の前に「186」をつけてダイヤルすると、その通話に限り電話番号を通知することができます。

通知方法の変更は、NTT への申し込みが必要になります。

◆ アナログ回線でお使いの場合も、同じ方法で発信者番号を通知／非通知することができます。

電話がかかってきたとき 取り付け時設定

NTT とナンバー・ディスプレイを契約しなくても、ISDN 回線の相手から発信者の電話番号が通知されてかかってきたときは、着信音とともにかけてきた相手の電話番号が表示されます。相手を確認してから電話を受けることができます。電話に応答すると相手の電話番号の表示は消えます。

電話がかかってきたときの表示については、「ナンバー・ディスプレイ（付加サービス）（P.7-7）」の<外線からかかってきたときの表示例>と< NTT との契約により、下記のような表示になります。>にある表中の“ナンバー・ディスプレイ　契約なし”の行を参照してください。

アナログ回線の相手から、発信者の電話番号が通知されてかかってきたときは、PRECOT（プレコット）の着信回線がナンバー・ディスプレイを契約している場合のみ、表示されます。

Note

- 長い電話番号が通知された場合、表示可能なケタ数まで表示します。
- PRECOT（プレコット）に接続される停電中の停電対応多機能電話機には、電話をかけた相手の電話番号は表示されません。
- NTT（網）から発信者の電話番号が通知されない場合には表示されません。

フレックスホン（付加サービス）ISDN

三者通話

外線とお話し中に、別の外線を呼び出して３人でお話しすることができます。

相手先 341020
0:05

1. 外線とお話しの状態で、ショートフラッシュ を押します。

● あらかじめフレキシブルボタンにショートフラッシュ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ ショートフラッシュ の代わりに、機能 1 2 を押しても同じ操作ができます。

341030
一般回線

2. お話しに加えたい相手の電話番号をダイヤルします。
ディスプレイに電話番号が表示されます。

3. # を押します。

4. 相手とつながったら３人でお話しすることを伝えます。
相手がお話し中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので再び受話器を上げれば、もとのお話しに戻ります。

5. ＊ を押します。

6. ３人でお話しします。

通話中転送

相手からかかってきた外線通話を、システム外の別の外線に転送することができます。

1. 外線とお話しの状態で、ショートフラッシュ を押します。

相手先 341020
0:05

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにショートフラッシュ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ ショートフラッシュ の代わりに、機能 1 2 を押しても同じ操作ができます。

2. 転送先の電話番号をダイヤルします。

ディスプレイに電話番号が表示されます。

341030
0:11

3. # を押します。

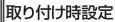
4. 相手とつながったら転送することを伝えます。

相手がお話し中の場合、いったん受話器を置くと着信音が鳴りますので、再び受話器を上げれば、もとのお話しに戻ります。

5. 通話中転送 を押します。

お話しが転送されます。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに通話中転送 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

6. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

着信転送

転送先の電話番号をあらかじめ登録することにより、ダイヤルインでかかってきた着信に応答しないで、転送することができます。

着信転送動作を登録するとき

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [着信転送] を押します。

着信転送ﾓｰﾄﾞ 0
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[着信転送]の割り付けを行う必要があります。

[取り付け時設定]

3. 転送メッセージ登録ボタン（[1]～[4]）を押します。

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

7

回線サービス編

着信転送動作を解除するとき

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ]を押します。

内線
11

2. [着信転送] [0]を押します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[着信転送]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. 受話器を戻します。または、[スピーカ]を押します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

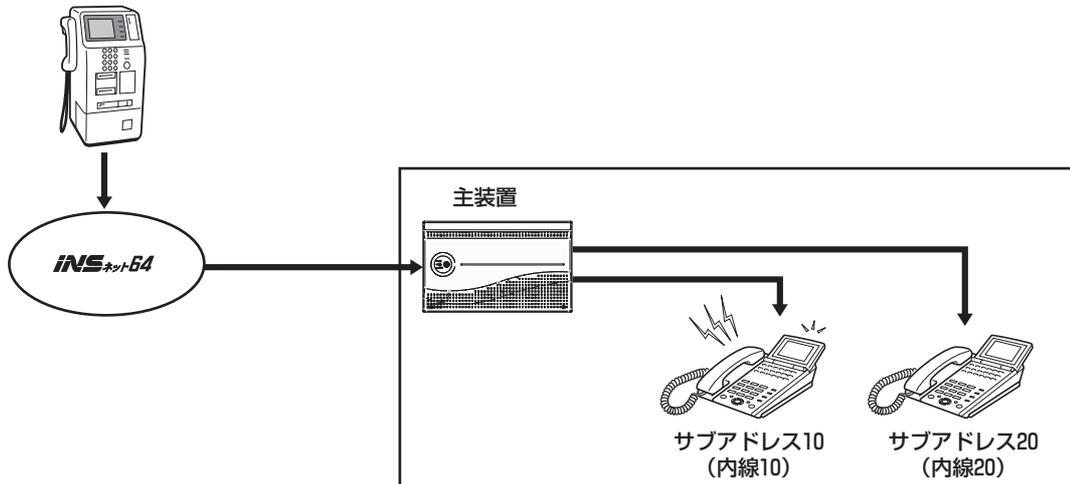
● フレックスホンサービスの着信転送サービスの場合、他の転送電話の場合と違い、転送先へは本システムからではなく、局から発信します。したがって、工事段階で転送電話の発信側に指定されている外線は、着信転送時の発信に使用されません。
● 転送先の番号は、着信転送を登録した電話機の個別電話帳 918 が使用されています。あらかじめ個別電話帳 918 に転送先の電話番号を登録してください。
● 着信転送を登録した電話機へのダイヤルインの設定を行ってください。
● 着信転送が登録されているときは、[着信転送]ボタンが点灯します。
● 網が提供する転送メッセージには以下の種類があります。

登録番号	被転送先	転送先
1	メッセージなし	メッセージなし
2	メッセージあり	メッセージなし
3	メッセージなし	メッセージあり
4	メッセージあり	メッセージあり

サブアドレス通知（基本サービス）ISDN

電話番号のあとに内線番号を押すことによって、外線から特定の内線電話機を直接呼び出すことができます。ただし、アナログ回線から PRECOT（プレコット）の内線電話機を呼び出すことはできません。

外線から特定の内線電話機を呼び出す

（例）外線から ISDN 回線 03-XXXX-1234（契約者回線番号）の内線番号 10 の電話機を呼び出す

1. 外線から契約者回線番号（例：03-XXXX-1234）をダイヤルします。

Note

- サブアドレスを通知できる電話機から電話をかけてください。

2. 【サブアドレス】を押します。

Note

- 【サブアドレス】を押す操作は、電話機によって異なります。

3. サブアドレス番号（例：[1][0]）を押します。

4. 【発信】を押します。

Note

- 【発信】を押す操作は、電話機によって異なります。

7

回線サービス編

PRECOT（プレコット）から外線の特定の内線電話機を呼び出す（サブアドレス発信）

（例）PRECOT（プレコット）から ISDN 回線 03-XXXX-5678（契約者回線番号）の内線番号 10 の電話機を呼び出す

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. 発信 を押します。

局線 #2　GP.1
一般回線

3. 03-XXXX-5678 をダイヤルします。

03XXXX5678
一般回線

4. * を押します。

03XXXX5678*
一般回線

5. サブアドレス番号（例：1 0）を押します。

03XXXX5678*10
一般回線

6. # を押します。

03XXXX5678*10#
一般回線

Note

- # を押さなくても、設定した時間（取り付け時の設定は 6 秒）が経過すると、自動的に発信します。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

Information

◆ このサービスは、相手の電話機がアナログ回線の場合は利用できません。

INS ボイスワープ ISDN

かかってきた電話を、あらかじめ登録した電話番号へ自動的に転送するサービスです。
詳しくは、NTT の「INS ボイスワープ使用説明書」をご参照ください。

INS ボイスワープ開始操作

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. サービス契約のある ISDN 回線の［外線］を押します。
外線発信音（プー）が聞こえます。

局線 #2　GP.1
一般回線

3. ［1］［4］［2］［1］を押します。

1421
一般回線

4. 転送方法を指定する番号（［1］～［4］）と［#］を押します。
局からアナウンスが聞こえます。

14212
一般回線

転送方法を指定する番号と動作

［1］: 無条件転送

［2］: 無応答時転送

［3］: 話中時転送

［4］: 無応答時および話中時転送

5. 受話器を戻します。

4月　8日(火)16:35
11

INS ボイスワープ停止操作

1. 受話器を上げます。

```
 内線
              11
```

2. サービス契約のある ISDN 回線の外線を押します。
外線発信音（プー）が聞こえます。

```
 局線 #2  GP.1
一般回線
```

3. 1 4 2 0 # を押します。
局からアナウンスが聞こえます。

```
            1420#
一般回線
```

4. 受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

INS ボイスワープ転送先電話番号の登録操作

1. 受話器を上げます。

```
 内線
              11
```

2. サービス契約のある ISDN 回線の外線を押します。
外線発信音（プー）が聞こえます。

```
 局線 #2  GP.1
一般回線
```

3. 1 4 2 2 # を押します。
局からアナウンスが聞こえます。

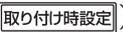
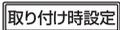
```
            1422#
一般回線
```

4. **転送先電話番号を登録してある短縮ダイヤルの［ダイレクト短縮］を押します。**

局からアナウンスが聞こえます。
または、例えば個別電話帳 90 に転送先電話番号を登録してあれば、
［短縮］［9］［0］を押しても、［ダイレクト短縮］と同じ操作ができます。
（短縮番号の桁数が 3 桁または 4 桁の場合は、個別電話帳の使用範囲が異なります。［取り付け時設定］）

Note

- **あらかじめフレキシブルボタンに［ダイレクト短縮］の割り付けを行う必要があります。**

［取り付け時設定］

5. **受話器を戻します。**

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

Information

◆ **本操作では局の転送先リスト「0」に登録されます。**
転送先電話番号の登録方法は、短縮のほかに転送先電話番号をお話し中ダイヤル操作でも行えます。この場合、アナウンスを聞いてから転送先電話番号をダイヤルし、最終ダイヤルから一定時間経過後に局へ転送先電話番号を通知します。

INS ボイスワープ確認操作

1. **受話器を上げます。**

```
内線
             11
```

2. **サービス契約のある ISDN 回線の［外線］を押します。**

外線発信音（プー）が聞こえます。

```
局線 #2  GP.1
一般回線
```

3. **［1］［4］［2］［8］［#］を押します。**

局から現在の設定内容がアナウンスされます。

```
        1428#
一般回線
```

4. **受話器を戻します。**

```
4月 8日(火)16:35
             11
```

IP 電話サービス 取り付け時設定

IP 電話サービスは、インターネットなどの通信技術を利用した IP 回線を使用して電話ができるサービスです。ご利用になれる IP 電話サービスは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

IP 電話サービス提供会社と契約することで、一般公衆回線と同様の各種サービスを利用できます。

- 対応している IP 電話サービス提供会社の情報など、各種情報は次のホームページなどでご確認ください。
  http://www.iwatsu.co.jp/
- ご契約した IP 電話サービス提供会社のホームページなどで、発信できないダイヤル（例：110、119 などの緊急番号、その他）などの情報をご確認ください。
- 多機能電話機などに表示される課金は目安であり、正確な内容を表示していません。

Note

- IP 電話サービスを利用するには、プロバイダ、ADSL ／光回線、IP 電話サービスの契約が必要です。
- IP 電話サービスを利用するには、あらかじめ設定が必要です。お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 「110 番」、「119 番」など IP 回線で発信しても電話番号により発信できない場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。
  この場合、一般公衆回線であるため課金されます。
- お話し中に音声の途切れ、ノイズ、エコーなどがあっても故障ではありません。
- 次の場合、エコーやノイズ、お話しの途切れが気になることがあります。
  - ネットワークのデータトラフィックが増大した場合
  - インターネット経由の場合
    契約しているプロバイダなどの環境にも影響されます（ベストエフォート）。
  - ADSL 回線をお使いの場合
    回線を提供しているキャリアにご相談ください。最悪、通話が切れることもあります。
  - 他の多機能電話機やコードレス電話機を音声で呼び出し、内線ハンズフリー応答機能が働く場合
  - ドアホン通話の場合
  - 会議通話の場合
  - ボイスメール装置で通話録音を行う場合
  - アナログ系の外線や専用線をお使いの場合
  - 通話中の相手の方が保留した場合の保留音
  - 転送電話で IP 以外の回線でお話しした場合
- お話しが終わって切るときや、外線ボタンを押し替えたときに、異音が瞬間的に出る場合があります。
- お話ししている相手の方の周囲騒音が著しく大きいとき、こちらの音声がとどかないことがあります。
- IP 電話サービスのためのルーター機能を搭載しています。LAN 側に接続したパソコンでインターネット接続が可能ですが、電話機能を優先しているため WAN が高速であってもインターネットのデータ通信速度が遅くなることがあります。
- IP 電話サービス、IWATSU-NET、およびピア・ツー・ピアを［外線］に割り付けてある場合、イーサケーブルが外れたり、ADSL モデムの電源が切れたとき、対象となる全ての［外線］が赤色で点灯します。
- FAX 信号検出の機能は、IP 回線ではサポートしていません。
- IP 回線を捕捉し、相手の電話番号をダイヤルした後に［#］を押すとダイヤルを送出します。
  最後に［#］を押さなかった場合、6 秒後に自動的にダイヤルを送出します。

IWATSU-NET 取り付け時設定

IWATSU-NET は、インターネットを使用して、IWATSU-NET に登録した相手先に電話ができるサービスです。
IWATSU-NET に対応した製品同士であれば、IP 電話サービスの契約をしなくてもお話しすることができます。
また、各拠点で IWATSU-NET に登録しておくことで、拠点間の内線を直接呼び出すこともできます。

Note

- IWATSU-NET を使用するには、インターネットへの接続が必要です。また、あらかじめ IWATSU-NET に電話番号を登録しておく必要があります。電話番号は、今まで使用していた電話番号をそのまま使用できます。IWATSU-NET を使用するときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発信者番号を着信表示することも可能です。相手機器により、発信者番号が通知されない場合があります。このときには、非通知の表示が行われます。
- IWATSU-NET を使用して発信される電話は、通話料金が発生しません。
- 相手先が IWATSU-NET に登録していない場合は、IWATSU-NET を使用した発信はできません。この場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。優先される外線は、IP 電話サービス提供会社の IP 回線（IP 電話サービスを契約している場合のみ）→一般公衆回線の順になります。

インターネット電話帳 取り付け時設定

インターネット電話帳は、インターネットを使用して、主装置に登録した相手先に電話ができるサービスです。
IWATSU-NET は、弊社のインターネット中継網を経由して音声のやりとりをするサービスですが、インターネット電話帳は主装置の機能を使用し、弊社のインターネット中継網を経由しないでも同じような音声のやりとりができるサービスです。
電話をかけた相手先が同じ PRECOT（プレコット）をご使用の場合は、IP 電話サービスの契約をしなくてもお話しできます。

Note

- インターネット電話帳を使用するには、インターネットへの接続が必要です。また、あらかじめ主装置に相手先の IP 電話番号（IP アドレス）を登録しておく必要があります。
  インターネット電話帳を使用するときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 発信者番号を着信表示することも可能です。相手機器により、発信者番号が通知されない場合があります。このときには、非通知の表示が行われます。
- インターネット電話帳を使用して発信される電話は、通話料金が発生しません。
- 相手先が同じ PRECOT（プレコット）をご使用でない場合は、インターネット電話帳を使用した発信はできません。この場合は、あらかじめ登録した外線グループの空き外線を自動的に使用して発信されます。優先される外線は、IP 電話サービス提供会社の IP 回線（IP 電話サービスを契約している場合のみ）→一般公衆回線の順になります。

ドアホン

ドアホンからの呼び出しでお話しする

ドアホンからの呼び出しに電話機で応答し、お話しすることができます。

1. ドアホンからの着信音が鳴ります。

```
内線          19
               11
```

2. 受話器を上げます。

```
4月 8日(火)16:35
 内線            19
```

3. お話しします。

外線とお話し中にドアホン呼び出しがあったとき

1. お話し中にドアホン着信を確認します。
ドアホン呼び出し音、着信ランプ表示、ディスプレイ表示があります。

```
内線          19
0:45
```

2. 内線 を押します。または、外線とのお話しを終了してオフフックします。

```
4月 8日(火)16:35
 内線            19
```

内線とお話し中にドアホン呼び出しがあったとき

1. お話し中にドアホン着信を確認します。
ドアホン呼び出し音、着信ランプ表示、ディスプレイ表示があります。

```
内着          19
内線           12
```

2. 内線を保留し、オフフックします。または、内線とのお話しを終了してオフフックします。

```
4月 8日(火)16:35
 内線            19
```

Note

- ドアホンからの着信に鳴音させる電話機、およびドアホンからの着信音は、ドアホンごとに設定できます（着信音は４種類あります）。取り付け時設定
- ドアホンから呼び出しがあったとき、着信音の鳴り始めから応答不可になるまでの制限時間を設定できます。取り付け時設定
- ドアホン対応中の電話機に他のドアホンから呼び出しがあったとき（ドアホン多重着信）、着信表示をするかしないかを設定できます。取り付け時設定

  ドアホン多重着信が可能な電話機でも、以下の状態のとき、ドアホン着信は表示されません。
  - ・着信拒否（ドントディスターブ）中
  - ・不在転送登録中
  - ・不在メッセージ登録中
- 話中着信不可に設定された電話機が話中のときでも、ドアホン着信は表示されます。
- 市販のアナログドアホン（テレビドアホンを含む）を接続する場合、オプションのユニットが必要になります。取り付け時設定

ドアホンを呼び出してお話しする

電話機からドアホンを呼び出して、お話しすることができます。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. ドアホンの内線番号をダイヤルします。

内線 が点滅します。

4月 8日(火)16:35
内線 19

3. 用件を話します。

Note

- ドアホンの呼び出しは、音声呼び出しのみです。音声呼び出し時の予告音は送出されません。

ドアホン周囲の音をモニタする 取り付け時設定

ドアホン呼び出し音を停止に設定してドアホンを呼び出し、受話拡声機能を使用してドアホン周辺の音をモニタすることができます。

1. **受話器を上げます。**

内線
11

2. **ドアホンの内線番号をダイヤルします。**

内線 が点滅します。ドアホンには、無音で呼び出します。

4月 8日(火)16:35
内線 19

3. **受話器でそのままドアホン周囲の音をモニタします。**

この時、スピーカ をオンにして受話器を戻すと、受話拡声状態となり、スピーカでモニタできます。スピーカ受話の音量は、▲音量▼ で調整できます。

電気錠

電気錠を施錠／解錠する 取り付け時設定

主装置に搭載されているリレーを使用して、電話機から玄関の電気錠を開閉することができます。

リレー番号１で電気錠の開閉を行う場合

例）以下の操作は、リレー番号１が電気錠に接続してあり、リレー番号１のリレー使用種別がリレーコントロール用に設定されている場合について説明します。

1. リレー1 **を押します。**

リレー1 が赤色に点灯し、電気錠が解錠されます。
ディスプレイはスイッチ状態表示後、10 秒後に通常画面に戻ります。

```
ｽｲｯﾁ　1　　　ON
```

Note

- **あらかじめフレキシブルボタンに リレー1 の割り付けを行う必要があります。** 取り付け時設定

2. 赤色に点灯している リレー1 を押して、電気錠を施錠します。

リレー1 が消灯し、電気錠は施錠されます。
ディスプレイはスイッチ状態表示後、10 秒後に通常画面に戻ります。

```
OFF
```

Information

◆ **電話機は、お話し中、待機中など、状態に関係なく、リレー1 を押してリレーを制御できます。**

外部スイッチを動かす <リレーコントロール> 取り付け時設定

ボタン電話機からシステムに搭載されているリレーを ON ／ OFF して、システム外の装置を制御できます。
システムには、２個のリレーが搭載されています。２個のリレーは、それぞれリレー番号（1/2）と使用種別（未使用、リレーコントロール用、一時動作リレー用）を設定できます。リレー使用種別とその説明を以下に示します。

使用種別	リレースイッチの動作	備考
未使用	動作しません。	-
リレーコントロール用	リレー1 （または リレー2 ）キーを押す度にリレースイッチの閉／開が切替わります。	-
一時動作リレー用	リレー1 （または リレー2 ）キーを押す度にリレースイッチが設定した時間だけ開に切替わります。設定時間経過後、自動的に閉となります。	動作を行う設定時間も設定します。

Note

- **あらかじめフレキシブルボタンに リレー1 、リレー2 の割り付けを行う必要があります。**

9 オプション編

リレー番号 1 がリレーコントロール用に設定されている場合

1. リレー1 を押して、リレー 1 に接続されている装置を ON します。

リレー1 が赤色に点灯します。ディスプレイが 10 秒間だけスイッチ状態を表示します。

```
スイッチ    1        ON
                     11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに リレー1 の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 赤色に点灯している リレー1 を押して、リレー 1 に接続されている装置を OFF します。

リレー1 が消灯します。ディスプレイが 10 秒間だけスイッチ状態を表示します。

```
スイッチ    1       OFF
                     11
```

Note

- リレー1 が割り付けられているボタン電話機だけが、リレースイッチを制御できます。

リレー番号 2 が一時動作リレー用に設定されている場合

1. リレー2 を押して、リレー 2 に接続されている装置を ON します。

リレー2 が赤色に点灯します。ディスプレイが 10 秒間だけスイッチ状態を表示します。

1 秒後、リレー2 が消灯します。

```
スイッチ    2        ON
                     11
```

Note

- リレー2 が割り付けられているボタン電話機だけが、リレースイッチを制御できます。
- リレー接点は、リレー2 が押されるたびに起動します。
- あらかじめフレキシブルボタンに リレー2 の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ 電話機は、お話し中、待機中など状態に関係なく、リレー1 （または リレー2 ）を押してリレーを制御できます。設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。取り付け時設定

◆ ドアホンの発信や着信に対応して動作させることもできます。

FAX 接続

ＦＡＸ に自動転送する ＜ FAX 信号検出＞ 取り付け時設定

FAX を内線に収容すると、FAX 専用の特定の電話番号を用意しなくても FAX を使用できます。
また、FAX からの外線着信があるとシステムが自動応答し、FAX 信号（CNG 信号）を検出して内線の FAX へ自動転送します。
この機能は、ISDN 回線、F 網（ファクシミリ通信網サービス）、アナログ回線で使用できます。

＜ FAX からの外線着信の流れ＞

1. あらかじめ指定した電話回線または ISDN 回線に着信します。
2. システムが応答します（発信側に応答メッセージを流します）。

- FAX 信号を検出後、FAX へ自動転送します。
- FAX 信号を検出できなかった場合は、内線電話機を呼び出します。

Note

- F 網（ファクシミリ通信網サービス）は、NTT のファクシミリ専用ネットワークです。いろいろなサービスをご利用になれるほか、通信費も節約できます。この機能をご利用になるには、NTT との契約が必要です。サービスの詳細については、NTT にお問い合わせください。
- CNG 検出後に FAX に転送されるため、通常よりも電話をかけた発信者を待たせることになります。また、FAX の自動応答時間が長い場合は、発信者から切断される場合もあります。

構内放送

外部スピーカを使用して呼び出す <ページング呼び出し> 取り付け時設定

内線電話機は、外部スピーカ（ゾーンスピーカ）を使用して呼び出しを行うことができます。また、他の内線から、その呼び出しに応答することができます。
この時、内線電話機がマイクになりますから、どこからでも構内の放送、呼び出しができます。

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. ページング呼び出し を押します。

予告音が聞こえ、ページング呼び出し が点灯します。

呼び出し中　8#9
11

Note

- ページング呼び出しの開始時、呼び出し先に予告音が送出されます。予告音を止める、または変更するには、あらかじめ設定が必要です。取り付け時設定
- あらかじめフレキシブルボタンに ページング呼び出し の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ ページング呼び出し の代わりに、ページング呼び出し特番をダイヤルしても同じ操作ができます。その場合、内線 が緑色に点滅します。
◆ ページング呼び出し特番の詳細は、お買い求めの販売店にご確認ください。

3. 送話口へ向かって呼び出しを行います。

Note

- ページング呼び出しには、ミート･ミー応答でしか応答できません（「外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する <ミート・ミー応答> （P.9-9）」）。
- 外部スピーカはシステムに接続されます（１系統４ゾーンを収容します）。
- ページング呼び出し中は、他の端末から呼び出し対象以外のゾーンをページング呼び出しすることはできません。
- ページング呼び出し中は、他の端末から呼び出し対象のゾーンを一斉呼び出しまたはグループ呼び出しすることができます。その場合、ミート・ミー応答は、一斉呼び出しまたはグループ呼び出しに対して優先となります。
- ページング呼び出し開始時の予告音は、３種類あります。システムでいずれかを設定します。予告音を止めることもできます。取り付け時設定

外部スピーカからの呼び出しに電話機で応答する <ミート・ミー応答>

内線電話機は、一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出しを受けているときに、ミート･ミー操作を行うことにより、応答することができます。

1. 一斉呼び出し／グループ呼び出し／ページング呼び出しを着信中に、受話器を上げます。

内線
11

2. ミート・ミー応答 を押します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにミート・ミー応答の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ ミート・ミー応答の代わりに、機能 3 5 を押しても同じ操作ができます。

4月 8日(火)16:35
内線 12

3. お話しします。

Note

- 呼び出し側が呼び出し操作を止めた後に、ミート･ミー応答をしても応答できません。また、その場合、警告音が聞こえます。
- グループ呼び出しは、ボタン電話機以外の端末、お話し中の電話機には着信しません。

Information

◆ ミート・ミー応答を行うと、呼び出しは解除され、呼び出しを行った電話機とミート･ミー応答を行った電話機間での内線通話となります。
◆ ページング呼び出しと一斉呼び出しまたはグループ呼び出しが同時にあったときは、一斉呼び出しまたはグループ呼び出しへの応答が優先されます。

BGM

多機能電話機のスピーカから音楽を聞く 取り付け時設定

使用されていない多機能電話機のスピーカから音楽を聞くことができます。

4月 8日(火)16:35
11

1. BGM を流したい電話機の BGM を押します。

BGM が赤色に点灯し、電話機のスピーカから BGM が聞こえます。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに BGM の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ BGM の代わりに、機能 6 2 を押しても同じ操作ができます。

2. BGM を止めたいときは、再び BGM を押します。

BGM が消灯し、BGM が止まります。

Information

◆ BGM の代わりに、機能 0 6 2 を押しても同じ操作ができます。

Note

● 「センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く<センサ検知一斉放送>（P.9-15)」とは、併用できません。

Information

◆ スピーカ受話の音量は、▲音量▼ ▲ ▼ で調整できます。

ヘッドセット

ヘッドセット機能を使う 取り付け時設定

オプションのヘッドセットを接続することで、外線や内線のヘッドセット通話が可能になります。
ヘッドセットを使用してお話しするには、あらかじめヘッドセットのプラグを、ヘッドセット用ジャックに接続し、受話器は置いた状態にしてください。

◆ ヘッドセットは、推奨品をご使用ください。詳しくは、弊社営業担当にお問い合わせください。

ヘッドセットボタンを使って内線へかける

1. [ヘッドセットコントロール] を押します。

[内線]が緑色に点滅します。

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[ヘッドセットコントロール]の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

内線
11

2. 相手の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中 12
11

3. 相手が応答したら、お話しします。

4月 8日(火)16:35
内線 12

4. お話しが終了したら、[ヘッドセットコントロール] を押します。

4月 8日(火)16:35
11

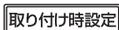
9
オプション編

ヘッドセットボタンを使って外線へかける

1. ヘッドセットコントロール を押します。

内線
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにヘッドセットコントロールの割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 外線を押します。

外線発信音（プー）が聞こえます。また、外線が緑色に点滅します。

局線 #2　GP.1
一般回線

3. 相手の電話番号をダイヤルします。

03XXXX0570
一般回線

4. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #2　GP.1	
0:05	9円

5. お話しが終了したら、ヘッドセットコントロール を押します。

4月 8日(火)16:35
11

ヘッドセットボタンを使って着信に応答する

1. 着信音が聞こえたら、ヘッドセットコントロール を押します。

相手先　03XXXX2222
0:03

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにヘッドセットコントロールの割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. お話しします。

3. お話しが終了したら、ヘッドセットコントロール を押します。

4月 8日(火)16:35
11

ヘッドセットボタンを使って外線を受ける

1. 着信表示している［外線］または［外線応答グループ］を押します。

相手先　03XXXX2222
11

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに［外線応答グループ］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. ［ヘッドセットコントロール］を押します。

相手先　03XXXX2222
0:03

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに［ヘッドセットコントロール］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

3. お話しします。

4. お話しが終了したら、［ヘッドセットコントロール］を押します。

4月　8日(火)16:35
11

ヘッドセットボタンによる転送／キャンプオン操作

1. お話し中に、［転送］を押します。

内線
11

お話し中の外線または内線が保留状態となり、［転送］が赤色に点滅します。
また、第２発信音（プププププ）が聞こえます。

2. 転送先の内線番号をダイヤルします。

呼び出し中　12
11

3. 転送先の相手が応答したら、電話が入っていることを伝えます。

4月　8日(火)16:35
内線　12

応答しない場合は、［転送］を押すと、保留した外線または内線相手とのお話しに戻ります。

Note

● 転送先の相手を呼び出し中のまま、［ヘッドセットコントロール］を押すと、キャンプオンになります。
● あらかじめフレキシブルボタンに［ヘッドセットコントロール］の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

9
オプション編

4. ヘッドセットコントロール を押します。

保留した外線または内線相手と呼び出した相手が通話状態になります。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

ヘッドセットから受話器に切替える

1. ヘッドセットでお話し中に受話器を上げます。

受話器に切替わります。また、ヘッドセットコントロールが消灯します。

```
相手先 03XXXX2222
0:03
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにヘッドセットコントロールの割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 受話器でお話しします。

受話器からヘッドセットに切替える

1. 受話器でお話し中にヘッドセットコントロール を押します。

ヘッドセットに切替わります。また、ヘッドセットコントロールが赤色に点灯します。

```
相手先 03XXXX2222
0:03
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンにヘッドセットコントロールの割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 受話器を戻します。

3. ヘッドセットでお話しします。

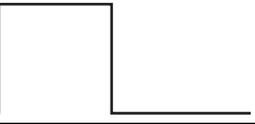
Information

◆ ヘッドセットが使われているときは、ヘッドセットコントロールが赤色に点灯します。

センサー

センサーで検知して自動発報する 取り付け時設定

本システムへ接続したセンサーが動作したとき、あらかじめ設定した緊急連絡先などへ自動発信して、緊急発報メッセージ（応答メッセージ）を流すことができます。
もし、緊急連絡先が応答しない場合は、一定時間後に再び緊急連絡先へ発信します。
センサーは複数設置できますが、システムへの入力系統は 2 系統までです。
センサー検出時、システムのリレーを動作させて、他の装置を制御することもできます。
リレーの動作は、以下のいずれか 1 つを設定できます。

リレー動作種別	リレー動作
セキュリティ出力 （接点 ＯＦＦ から ＯＮ へ）	ON OFF
セキュリティ一時動作出力 （接点 ＯＦＦ から ＯＮ 後、一定時間経過で OFF へ）	ON OFF
セキュリティ開放出力 （接点 ＯＮ から OFF へ）	ON OFF

システムにセンサーは複数ありますが、同時に自動発報できるのは１個のセンサーに限ります。

Note

- **自動発報動作は、センサーの系統毎に設定することが可能です。すでに自動発報中は新たな自動発報を行うことはできません。**
- **自動発報先は、センサー毎に設定することができます（短縮番号で設定します）。**
- **発信時の市外発信規制には、ダミー端末の発信クラスが使用されます。**
- **発報は、最初と２度の再発報で合計３度を限度とします。応答しない場合は中止されます。**

センサーで検知して多機能電話機のスピーカから一斉放送を聞く ＜センサー検知一斉放送＞ 取り付け時設定

緊急地震速報機などの外部機器を接続し、センサー検出時に、指定した多機能電話機のスピーカから一斉放送（緊急地震速報など）を聞くことができます。

Note

- **一斉放送中は、電話機のスピーカが最大音量になります。また、着信ランプが赤色に点滅し、ディスプレイのバックライトおよびダイヤルライトが点灯します。**
- **一斉放送は、多機能電話機を使用していないときに聞くことができます。**
  お話し中や着信を受けている場合など、多機能電話機の使用中は聞けません。
- **「BGM（P.9-10）」とは、併用できません。**

通話明細出力

PC 等に通話明細を出力する 取り付け時設定

内線電話機と外線との通話明細を、PC 等に出力することができます。
内線電話機ごと、使用された外線ごとに通話明細の出力ができます。通話明細のフォーマットは 4 種類あり、取り付け時に選択できます。設定内容の確認、または設定を変更する際は、お買い求めの販売店にご相談ください。 取り付け時設定

通話明細には、次に示す種類のデータが出力されます。

- 通話の通し番号
- 通話を開始した日付
- 通話を行った内線電話機の番号
- 通話を開始した時刻
- 使用した外線番号
- 通話時間
- 発信したダイヤル
- 課金
- 着信時に網から通知された発信者番号
- 着信時に網から通知された発信者名称

使用可能な PC 等の仕様

- ネットワーク接続機能 (10Base-T,100Base-T) を有する PC 等

Note

- **通話料金は、99,999.99 円まで出力できます。99,999.99 円以上の通話は、全て「99999.99」と出力されます。小数点以下の桁数を出力するかどうかは選択できます。** 取り付け時設定
- **通話が複数の内線電話機に転送されたとき、または会議のときは、それぞれの内線電話機の明細は別々に出力されます（通話時間および通話料金は割合に応じて分けられます）。**
- **着信に関する通話明細の出力を行うことができます。** 取り付け時設定
- **着信途中放棄の場合、出力される通話開始時刻は、着信が放棄された時刻です。**
- **出力される内容には、以下のような条件を設定することができます。** 取り付け時設定
  - **発信ダイヤルの下２桁のマスク**
  - **一定通話時間を超えたの通話のみ出力**
  - **発信ダイヤルの中で特定条件の通話のみ出力**
  - **通話料金が一定額以上の通話のみ出力**
  - **指定された外線を使用したときのみ出力（ただし、着信呼は除く）**
- **短縮ダイヤルで発信した場合、短縮ダイヤルの相手電話番号を出力なしにすることができます。短縮ダイヤルで発信した直後のラストナンバリダイヤルで発信した場合も同様です。** 取り付け時設定

単独電話機を使う

Note

- **単独電話機の操作でダイヤルする各種特番は、システムで設定します。詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。** 取り付け時設定

ダイヤル式回線で使う

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">機能</th><th>操作</th></tr>
<tr><td rowspan="3">外線へかける</td><td colspan="2">受話器を上げてかける</td><td>受話器を上げる⇒局番アクセス番号⇒相手先の電話番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">短縮ダイヤルでかける</td><td>受話器を上げる⇒短縮番号発信特番⇒相手先の短縮番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">最後にかけた相手に再びかけ直す</td><td>受話器を上げる⇒ラストナンバーリダイヤル特番</td></tr>
<tr><td rowspan="6">内線へかける</td><td colspan="2">個別内線番号で呼び出す</td><td>受話器を上げる⇒相手先の内線番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">内線グループの代表番号で呼び出す</td><td>受話器を上げる⇒パイロット番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">グループ呼び出し</td><td>受話器を上げる⇒グループ呼び出し特番
（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒グループ呼び出し特番</td></tr>
<tr><td colspan="2">一斉呼び出し</td><td>受話器を上げる⇒一斉呼び出し特番
（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒一斉呼び出し特番</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部スピーカ呼び出し</td><td>受話器を上げる⇒ページング呼び出し
（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒ページング呼び出し</td></tr>
<tr><td colspan="2">呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出す</td><td>（呼び出し中に）⇒他の相手の内線番号（※クリアコール）
（呼び出し中に）⇒末尾の 1 桁の番号（※シフトコール）</td></tr>
<tr><td>外線を受ける</td><td colspan="2">外線からの電話を受けるとき</td><td>（着信時に）⇒受話器を上げる</td></tr>
<tr><td rowspan="5">内線を受ける</td><td colspan="2">受話器を上げて受ける</td><td>（着信時に）⇒受話器を上げる</td></tr>
<tr><td rowspan="3">離席の人への内線呼び出しに自席で応答する</td><td>グループ内代理応答</td><td>（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒グループ内代理応答特番</td></tr>
<tr><td>グループ外代理応答</td><td>（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒グループ外代理応答特番⇒代理応答グループ番号</td></tr>
<tr><td>個別代理応答</td><td>（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒個別代理応答特番⇒着信している内線番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">外部スピーカからの呼び出しに応答する</td><td>（呼び出し中に）⇒受話器を上げる⇒ミート・ミー応答特番</td></tr>
<tr><td rowspan="5">保留・転送する</td><td rowspan="2">外線を保留する</td><td>保留する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td>再応答する</td><td>（保留中に）⇒受話器を上げる⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線を特定の人に転送する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒相手先の内線番号⇒連絡⇒受話器をおろす</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線への手動転送</td><td>（3 者外線会議中に）⇒フッキング※ 1 ⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td colspan="2">パーク保留</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒パークオービット番号</td></tr>
</table>

項目名	機能		操作
登録・設定など	短縮ダイヤルの登録・変更		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒短縮番号登録特番⇒短縮番号⇒相手先の電話番号
	不在転送先を設定する	登録（内線）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒ルート順番号⇒転送モード（1 ～ 3）※ 2 ⇒転送先の内線番号
		登録（外線）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒ルート順番号⇒転送モード（1 ～ 3）※ 2 ⇒短縮特番⇒転送先の短縮番号
		解除（一括）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒転送特番⇒「0」をダイヤル
		解除（ルートごと）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒転送特番⇒ルート順番号
	電話に出られないときに着信を拒否する	登録	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ドントディスターブ用特番
		解除	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒ドントディスターブ用特番
	呼び出した相手がお話し中の場合に、お話しが終了したことを知らせる	登録	（相手先の電話機がお話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒コールバック特番
		登録取り消し	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒コールバック特番
	応答しない内線相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える	登録	（呼び出し中または相手先の電話機がお話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒メッセージウェイト特番
		登録取り消し	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒メッセージウェイト特番⇒相手先の内線番号
	電話機パスワード	起動（ロック）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒電話機パスワード用機能特番⇒パスワード（最大 6 桁）
		解除	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒電話機パスワード用機能特番⇒パスワード（最大 6 桁）
その他	ドアホンを呼び出してお話しする		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ドアホンの内線番号

Information

- **※ 1 フッキング**
  フッキングとは、受話器の下にあるフックスイッチを、約 0.5 秒押してから離す操作です。フックボタンのある機種は、フックボタンを押してください。
  フッキング時間は取り付け時に設定します。（初期値：0.7 秒）
- **※ 2 転送モード（1 ～ 3）**
  ・ 転送モード切替特番 1：「即時転送モード」
  ・ 転送モード切替特番 2：「話中・未応答転送モード」
  ・ 転送モード切替特番 3：「未応答転送モード」

プッシュ式回線で使う

項目名	機能		操作
外線へかける	受話器を上げてかける		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒相手先の電話番号
	外線を指定して電話をかける		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒局番アクセス番号（全局線・局線グループアクセス番号）⇒相手先の電話番号
	短縮ダイヤルでかける		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒短縮番号発信特番⇒相手先の短縮番号
	最後にかけた相手に再びかけ直す		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ラストナンバリダイヤル特番
	ACR 機能を使って電話をかける	強制 ACR に設定されている場合（空き局線自動捕捉未設定）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒外線（グループ）アクセス番号⇒相手先の電話番号
		強制 ACR に設定されている場合（空き局線自動捕捉設定）	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒相手先の電話番号
		強制 ACR に設定されていない場合	（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ ACR 特番⇒相手先の電話番号
内線へかける	受話器を上げてかける		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒相手先の内線番号
	内線呼び出し音を切替える		（呼び出し中に）⇒「#」をダイヤル（※内線呼び出しモード）
	呼び出したい部署の空いている電話機を呼び出す		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒パイロット番号
	グループ呼び出し		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒グループ呼び出し特番 （お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒グループ呼び出し特番
	一斉呼び出し		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒一斉呼び出し特番 （お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒一斉呼び出し特番
	外部スピーカ呼び出し		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ページング呼び出し （お話し中に）⇒フッキング※ 1 ⇒ページング呼び出し
	内線ホットライン		（空き状態中に）⇒受話器を上げる
	呼び出した相手の応答がなく、続けて別の内線を呼び出す		（呼び出し中に）⇒他の相手の内線番号（※クリアコール） （呼び出し中に）⇒末尾の 1 桁の番号（※シフトコール）
	応答しない相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える（応答）		（着信中に）⇒メッセージウェイト特番
	呼び出した相手の応答がない場合に強制的に呼び出す		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒相手先の内線番号（※オーバーライド）
外線を受ける	外線からの電話を受けるとき		（着信時に）⇒受話器を上げる
内線を受ける	受話器を上げて受ける		（着信時に）⇒受話器を上げる
	離席の人への内線呼び出しに自席で応答する	グループ内代理応答	（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒グループ内代理応答特番
		グループ外代理応答	（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒グループ外代理応答特番⇒代理応答グループ番号
		個別代理応答	（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒個別代理応答特番⇒着信している内線番号
		全グループ代理応答	（他の内線電話機が着信中に）⇒受話器を上げる⇒全グループ代理応答特番⇒グループ「000」
	呼び出した相手がお話し中の場合に、お話しが終了したことを知らせる		（コールバック着信中に）⇒受話器を上げる
	外部スピーカからの呼び出しに応答する		（呼び出し中に）⇒受話器を上げる⇒ミート・ミー応答特番

<table>
<tr><th>項目名</th><th colspan="2">機能</th><th>操作</th></tr>
<tr><td rowspan="10">保留・
転送する</td><td rowspan="2">外線を保留する（他の人がとれないようにする）</td><td>保留する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１する⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td>再応答する</td><td>（保留中に）⇒受話器を上げる⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内線を保留する</td><td>保留する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１する⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td>再応答する</td><td>（保留中に）⇒受話器を上げる⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線を特定の人に転送する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１⇒相手先の内線番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">内線を転送する</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１⇒相手先の内線番号</td></tr>
<tr><td colspan="2">外線への手動転送</td><td>（３者外線会議中に）⇒フッキング※１⇒保留応答特番</td></tr>
<tr><td rowspan="3">パーク保留</td><td>システムパーク保留</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１⇒パークオービット番号</td></tr>
<tr><td>個別パーク保留</td><td>（お話し中に）⇒フッキング※１⇒個別パーク保留応答特番</td></tr>
<tr><td>個別パーク保留の回線へローカル応答</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒個別パーク保留応答特番</td></tr>
<tr><td rowspan="17">登録・
設定など</td><td rowspan="2">短縮ダイヤルの登録・変更</td><td>外線グループアクセス番号あり</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒短縮番号登録特番⇒短縮番号⇒外線グループアクセス番号⇒相手先の電話番号</td></tr>
<tr><td>外線グループアクセス番号なし</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒短縮番号登録特番⇒短縮番号⇒相手先の電話番号</td></tr>
<tr><td rowspan="3">不在転送先を設定する（単一方式）</td><td>登録（内線）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒転送モード（１～３）※２⇒転送先の内線番号</td></tr>
<tr><td>登録（外線）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒転送モード（１）※２⇒短縮特番⇒転送先の短縮番号</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒転送特番</td></tr>
<tr><td rowspan="4">不在転送先を設定する（ルート方式）</td><td>登録（内線）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒ルート順番号⇒転送モード（１～３）※２⇒転送先の内線番号</td></tr>
<tr><td>登録（外線）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒転送特番⇒ルート順番号⇒転送モード（１～３）※２⇒短縮特番⇒転送先の短縮番号</td></tr>
<tr><td>解除（一括）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒転送特番⇒「0」をダイヤル</td></tr>
<tr><td>解除（ルートごと）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒転送特番⇒ルート順番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電話に出られないときに着信を拒否する</td><td>登録</td><td>（空き状態に）⇒受話器を上げる⇒ドントディスターブ用特番</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒ドントディスターブ用特番</td></tr>
<tr><td rowspan="2">呼び出した相手がお話し中の場合に、お話しが終了したことを知らせる</td><td>登録</td><td>（相手先の電話機がお話し中に）⇒フッキング※１⇒コールバック特番</td></tr>
<tr><td>登録取り消し</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒コールバック特番</td></tr>
<tr><td rowspan="2">応答しない内線相手に、折り返し連絡がほしい旨のメッセージを伝える</td><td>登録</td><td>（呼び出し中または相手先の電話機がお話し中に）⇒フッキング※１⇒メッセージウェイト特番</td></tr>
<tr><td>登録取り消し</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒メッセージウェイト特番⇒相手先の内線番号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電話機パスワード</td><td>起動（ロック）</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒電話機パスワード用機能特番⇒パスワード（最大６桁）</td></tr>
<tr><td>解除</td><td>（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒キャンセル特番⇒電話機パスワード用機能特番⇒パスワード（最大６桁）</td></tr>
</table>

項目名	機能		操作
その他	ドアホンを呼び出してお話しする		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ドアホンの内線番号
	録音再生		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒ボイスメールアクセス番号
	録音消去・保存	保存する	（録音内容再生中または終了後に）⇒「9」をダイヤル
		1 件消去する	（録音内容再生中または終了後に）⇒「5」をダイヤル
		全て消去する	（録音内容再生中または終了後に）⇒「＊」「＊」をダイヤル
	録音内容転送		（録音内容再生中または終了後に）⇒「6」「1」をダイヤル⇒ボックス番号
	伝言録音		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒伝言録音特番⇒ボックス番号⇒「#」をダイヤル
	伝言同報		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒伝言録音特番⇒同報ボックス番号⇒「#」をダイヤル
	ボイスワープ		（空き状態中に）⇒受話器を上げる⇒電話局（NTT）サービス特番（142）⇒付加ダイヤル「d」 d ＝ 0：サービス停止 d ＝ 1n: サービス開始（n ：転送条件 1 ～ 4） d ＝ 2：転送先登録（リスト 0） d ＝ 3：無応答時間設定 d ＝ 4：転送先登録（リスト 1 ～ 4） d ＝ 7：リモートコントロール手順 d ＝ 8：確認

Information

- ◆ ※ 1 フッキング
  フッキングとは、受話器の下にあるフックスイッチを、約 0.5 秒押してから離す操作です。フックボタンのある機種は、フックボタンを押してください。
  フッキング時間は取り付け時に設定します。（初期値：0.7 秒）
- ◆ ※ 2 転送モード（1 ～ 3）
  ・ 転送モード切替特番 1：「即時転送モード」
  ・ 転送モード切替特番 2：「話中・未応答転送モード」
  ・ 転送モード切替特番 3：「未応答転送モード」

その他機能編

その他の機能

セーブナンバリダイヤル

外線発信したときに、発信した番号を登録（記憶）し、改めてかけ直すときに登録した相手を自動的に呼び出すことができます。
相手が出ないとき、または話し中でかけ直すときに同じ番号をダイヤルする必要がなくなります。ラストナンバリダイヤル（「最後にかけた相手に再びかけ直す <ラストナンバリダイヤル>（P.3-7）」）とは異なり、かけ直す前に違う相手を呼んだ後でも呼び出せます。

ダイヤルを登録する

1. 外線発信中に、［セーブナンバリダイヤル］を押します。
発信中のダイヤルが登録されます。

341020
一般回線

Note

- 登録できるダイヤルは、最大 48 桁です。
- あらかじめフレキシブルボタンに［セーブナンバリダイヤル］の割り付けを行う必要があります。
[取り付け時設定]

Information

◆ ［セーブナンバリダイヤル］の代わりに、［機能］［2］［1］を押しても同じ操作ができます。

2. 受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

再発信する

1. 受話器を上げます。

内線
11

2. ［セーブナンバリダイヤル］を押します。
外線を捕捉し、登録したダイヤルを自動発信します。

341020
一般回線

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［セーブナンバリダイヤル］の割り付けを行う必要があります。
[取り付け時設定]

Information

◆ ［セーブナンバリダイヤル］の代わりに、［機能］［2］［1］を押しても同じ操作ができます。

3. 相手が応答したら、お話しします。

```
局線 #1    GP.1
              11
```

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

トランクキューイング

他の内線電話機が使用中の外線を予約することができます。予約した外線が空くと、予約した内線電話機に対して外線の空きを知らせるコールバック音が鳴ります。
また、外線を予約するときにダイヤルを登録しておくと、コールバックに応答するだけで、自動的に登録ダイヤルを発信することができます。

外線を予約する

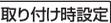
1. 捕捉した外線が使用中のときに、[トランクキューイング] を押します。

[トランクキューイング] が赤色に点滅します。また、第 2 発信音（ププププ）が聞こえます。

```
              11
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [トランクキューイング] の割り付けを行う必要があります。

[取り付け時設定]

Information

◆ [トランクキューイング] の代わりに、[機能] [2] [3] を押しても同じ操作ができます。

2. 相手の電話番号をダイヤルします。

[トランクキューイング] が赤色に点灯します。

```
          341020
              11
```

3. 受話器を戻して、待機しておきます。

```
4月 8日(火)16:35
0:05          9円
```

Note

- <トランクキューイング>、<タイムドトランクキューイング>、<オフフックトランクキューイング>で外線を予約できますが、1 台の内線電話機で予約できる外線は 1 つです。最新の予約のみが有効になります。

コールバックに応答する

1. 予約した外線が空くと、通知音が鳴ります。

コールバック　　#1
11

Note

- コールバック音は一定時間継続して鳴りますが、応答しなかった場合、予約が解除されます。

2. 受話器を上げます。

予約したときに登録した相手の電話番号を自動発信します。

341020
一般回線

3. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　　GP.1
0:05　　　　　9円

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

外線の予約を取り消す

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

内線
11

2. [トランクキューイング] [＊] を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

また、[トランクキューイング] が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[トランクキューイング]の割り付けを行う必要があります。

[取り付け時設定]

Information

◆ [トランクキューイング]の代わりに、[機能] [0] [2] [3] を押しても同じ操作ができます。

3. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

タイムドトランクキューイング

外線捕捉中（相手を呼び出し中、相手とお話し中）に、タイムドトランクキューイングの予約を行い受話器を戻すと、一定時間（１～９分）経過後に予約した外線を捕捉し、予約した内線電話機に対してコールバック音が鳴ります。
コールバックに応答するだけで、外線を捕捉し発信者（タイムドトランクキューイングを予約したときの発信相手）を呼び返します。

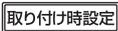
外線を予約する

1. 外線発信中または外線とお話し中に、［タイムドトランクキューイング］を押します。

［タイムドトランクキューイング］が赤色に点滅します。

一般回線

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに［タイムドトランクキューイング］の割り付けを行う必要があります。［取り付け時設定］

Information

◆ ［タイムドトランクキューイング］の代わりに、［機能］［2］［4］を押しても同じ操作ができます。

2. コールバック予約時間（［1］～［9］(分)）をダイヤルします。

予約が完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。
また、［タイムドトランクキューイング］が赤色に点灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- 予約が完了した時点で、捕捉中の外線が解放されます。

3. 受話器を戻します。

Note

- <タイムドトランクキューイング>、<トランクキューイング>、<オフフックトランクキューイング>で外線を予約できますが、１台の内線電話機で予約できる外線は１つです。最新の予約のみが有効になります。

コールバックに応答する

1. コールバック予約時間の経過後、外線が空いた時点で通知音が鳴ります。

コールバック　　#2
11

Note

- コールバック音は一定時間継続して鳴りますが、応答しなかった場合、予約が解除されます。

Information

◆ コールバック予約時間を経過した時点で、予約した外線が使用中の場合は、トランクキューイング（「トランクキューイング（P.11-3)」）になります。予約した外線が空いた時点で、コールバックされます。

2. 受話器を上げます。

予約したときに登録した相手の電話番号を自動発信します。

341020
一般回線

3. 相手が応答したら、お話しします。

局線 #1　GP.1
0:05　9円

4. お話しが終了したら、受話器を戻します。

4月 8日(火)16:35
11

外線の予約を取り消す

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ]を押します。

内線
11

2. [タイムドトランクキューイング] [＊]を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

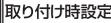
また、[タイムドトランクキューイング]が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに[タイムドトランクキューイング]の割り付けを行う必要があります。取り付け時設定

Information

◆ [タイムドトランクキューイング]の代わりに、[機能][0][2][4]を押しても同じ操作ができます。

3. 受話器を戻します。または、[スピーカ]を押します。

モーニングコール

あらかじめ内線電話機が個々に設定した時刻になると、その内線電話機に内線着信音（モーニングコール）を鳴らすことができます。着信に応答した内線電話機に対しては、システムから保留音またはメッセージを送出することができます。

モーニングコールを設定する

1. 受話器を上げます。または、[スピーカ] を押します。

```
内線
                11
```

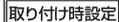
2. [モーニングコール] を押します。

[モーニングコール] が赤色に点滅します。

登録している時刻がディスプレイに表示されます。

```
ﾓｰﾆﾝｸﾞｺｰﾙ   hh:mm
                11
```

Note

● あらかじめフレキシブルボタンに[モーニングコール] の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ [モーニングコール] の代わりに、[機能] [4] [2] を押しても同じ操作ができます。

3. 時刻を入力します。

24 時間表記で 4 桁数字を入力します。

（例：午前 8 時 30 分の場合、[0] [8] [3] [0] を押します。）

時刻がセットされると確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。また、[モーニングコール] が赤色に点灯します。

```
ﾓｰﾆﾝｸﾞｺｰﾙ   08:30
                11
```

4. 受話器を戻します。または、[スピーカ] を押します。

```
4月  8日(火)16:35
                11
```

Note

● 設定した時刻の 5 分前になると、モーニングコールが鳴ります。応答しなかった場合は、設定した時刻にもう一度鳴ります。

Information

◆ モーニングコールは、着信に応答したとき、または 2 回目の着信が鳴音継続時間を経過したときに、停止します。モーニングコールが停止すると、自動的に登録データも消去されます。

モーニングコールの設定を取り消す

1. 受話器を上げます。または、スピーカ を押します。

内線
11

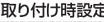
2. モーニングコール ＊ を押します。

取り消しが完了すると、確認音（ピッピッピッ）が聞こえます。

また、モーニングコール が消灯します。

4月 8日(火)16:35
11

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにモーニングコール の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

Information

◆ モーニングコール の代わりに、機能 0 4 2 を押しても同じ操作ができます。

3. 受話器を戻します。または、スピーカ を押します。

ハウラー音送出

受話器が外れたままのとき、「ピー」という音を鳴らして受話器の戻し忘れを防止します。

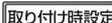
プライムステーション

鳴音電話機がない場合も、外線着信に応答することができます。鳴音電話機がない場合は、プライムステーションが鳴ります。取り付け時設定

着信鳴音優先順位

複数の呼び出しが行われると、呼び出し種類の優先順位に従い着信します。ただし、同じ呼び出しが同時に行われた場合は、着信順になります。

長時間通話警報

外線発信してお話しが一定時間経過した場合、警報を送出することができます。また、強制的に通話を切断することもできます。取り付け時設定

テロップ表示 取り付け時設定

ボタン電話機のディスプレイ下段に、任意のメッセージ（文字列情報）を流して表示することができます。

テロップ表示をオン／オフする

表示するメッセージが登録されている状態で、テロップ表示のオン（表示する）／オフ（表示しない）を切替えることができます。

1. 受話器を置いたまま、テロップ を押し、テロップ表示をオンします。

テロップ表示がオンになると、テロップ が赤色に点灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11

   本日の天気は晴れ、
```

Note

- あらかじめフレキシブルボタンにテロップ の割り付けを行う必要があります。

取り付け時設定

2. 再びテロップ を押すと、テロップ表示はオフになります。

テロップ表示がオフになると、テロップ が消灯します。

```
4月 8日(火)16:35
              11
```

Note

- 3 種類のメッセージを登録できます。また、1 つのメッセージには、全角で最大 256 文字まで登録できます。

Information

- ◆ 表示するメッセージは、一般的なインターネットサイト／イントラネットサイトからも入手できます。
また、主装置内部に持つこともでき、Visual IP 電話機やパソコンから簡単に入力／編集することができます。
詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。

ヘルプ表示

メニューオペレーションで機能の操作説明を表示することができます。

1. 受話器を置いたまま、メニュー または 決定 を押します。
メインメニュー画面が表示されます。

▶不在転送設定
留守番／メール設定
鳴音種別設定
音量調整
電話帳登録
メニュー終了

2. ▲音量▼ を押し、"ヘルプ表示"にカーソルを合わせます。

▶ヘルプ表示

メニュー終了

3. 決定 を押します。
ヘルプ表示画面が表示されます。

ヘルプ
▶ﾒﾆｭｰ操作
ﾌﾗｯｼｭ
ｼｮｰﾄﾌﾗｯｼｭ
ﾀﾞｲﾔﾙﾘﾊﾞｰｽ
秘話解除

4. ▲音量▼ を押して知りたい操作方法の項目を選択します。
ショートフラッシュの説明画面を例として説明します。

ヘルプ
ﾒﾆｭｰ操作
ﾌﾗｯｼｭ
▶ｼｮｰﾄﾌﾗｯｼｭ
ﾀﾞｲﾔﾙﾘﾊﾞｰｽ
秘話解除

5. 決定 を押します。

ｼｮｰﾄﾌﾗｯｼｭ

[機能]+[1]+[2]

6. 説明画面が表示された状態で、▲音量▼ を押すと、前／次の説明画面が表示されます。

▲ を押した場合

ﾌﾗｯｼｭ

[機能]+[1]+[1]

▼ を押した場合

ﾀﾞｲﾔﾙﾘﾊﾞｰｽ

[機能]+[1]+[3]

多機能電話機のヘルプに収録されている項目を、ヘルプ表示画面の上から順に、次の表に示します。

順	項目	順	項目	順	項目
1	メニュー操作	17	パーク応答	33	内線呼出しモード切替
2	フラッシュ	18	ミートミー応答	34	通話料金表示（前回）
3	ショートフラッシュ	19	タイムコール登録	35	通話料金表示（本日）
4	ダイヤルリバース	20	タイムコール解除	36	通話料金表示（今月）
5	秘話解除	21	モーニングコール登録	37	通話料金表示（先月）
6	きっかけ音	22	モーニングコール解除	38	グループ予算
7	セーブナンバリダイヤル	23	内線コールバック登録	39	キー割当確認
8	メモダイヤル	24	内線コールバック解除	40	自内線番号表示
9	トランクキューイング登録	25	電話機パスワードロック	41	自己保留
10	トランクキューイング解除	26	電話機パスワード解除	42	電話帳登録
11	T. トランクキューイング登録	27	音声案内	43	迷惑電話防止登録
12	T. トランクキューイング解除	28	マイクオン	44	迷惑電話防止確認
13	電話帳登録	29	マイクオフ	45	秘書応答着信音変更
14	グループ内代理応答	30	BGM オン	46	鳴音種別設定
15	グループ外代理応答	31	BGM オフ	47	システム情報表示
16	個別代理応答	32	LCD 表示切替		

着信音停止

着信音を停止／解除することができます。

1. [着信音停止] を押すと、着信音が停止します。

着信音が停止すると、[着信音停止] が赤色に点灯します。

2. 再び [着信音停止] を押すと、着信音停止を解除します。

着信音を停止解除すると、[着信音停止] が消灯します。

Note

- あらかじめフレキシブルボタンに [着信音停止] 割り付けを行う必要があります。[取り付け時設定]
- 着信鳴動中に [着信音停止] を押すと、着信音が停止します。
- 無鳴動着信中の着信停止／解除操作は、動作しません。
- 着信音停止の対象となる鳴音は以下の通りです。
  外線着信、内線着信、外線キャンプオン、内線キャンプオン、外線コールバック、内線コールバック、外線リコール、ドアホン着信、スライド着信

Information

◆ 着信音が停止されていても、着信ランプ表示およびディスプレイ表示により、着信状態を確認できます。

音とランプの表示

スピーカや受話器から聞こえる音には、様々な音色があります。
音色は周波数によって異なり、周波数の数値が大きいほど高音で聞こえます。

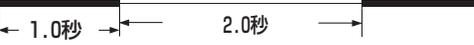
周波数の数値	小 ⇔ 大
音色	低音 ⇔ 高音

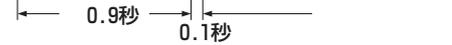
周波数の（　）内の数値は、話中着信時に多機能電話機のローカルトーンにより鳴音する音色です。

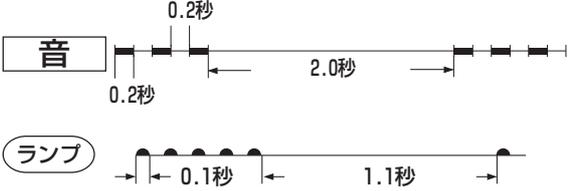
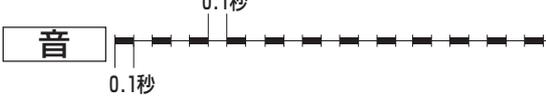
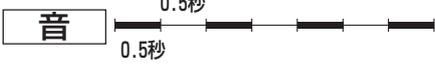
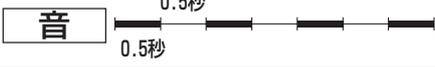
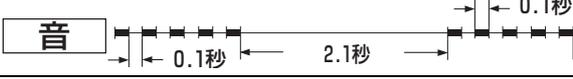
多機能電話機の場合

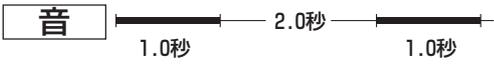
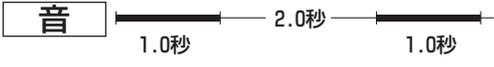
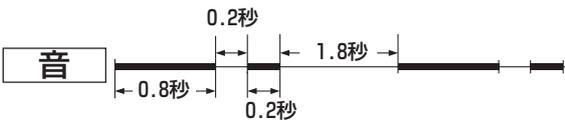
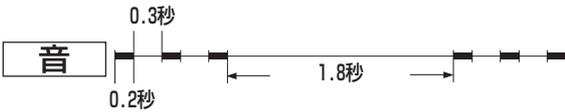
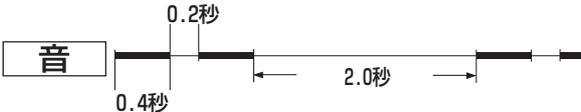
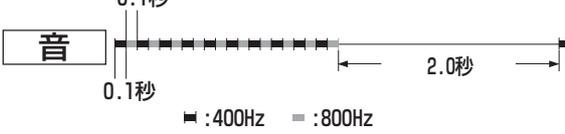
外線

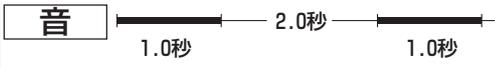
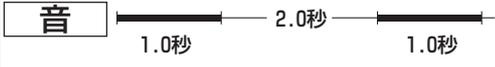
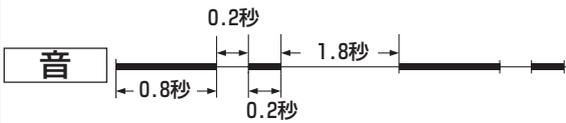
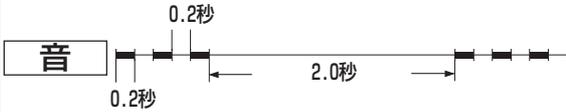
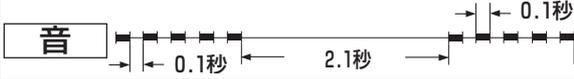
項目		パターン	周波数 [Hz]	備考
電話がかかってきたとき	外線着信中	音 :着信周期／設定周期 ランプ 0.1秒 0.1秒	−	「外線着信音の種類(P.12-5)」参照 フレキシブルキー 赤色
電話をかけるとき	外線捕捉中	音	400	外線発信音（外線 DT）
空き状態		ランプ	−	消灯（OFF）
お話し中	自分が使っているとき	ランプ 0.1秒 0.7秒 0.1秒	−	フレキシブルキー 緑色
	他人が使っているとき	ランプ	−	フレキシブルキー 赤色
保留中	保留した電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	−	フレキシブルキー 緑色
	他の電話機	ランプ 0.5秒 0.5秒	−	フレキシブルキー 赤色
	転送保留中・パーク保留	ランプ	−	フレキシブルキー 赤色
外線自動応答	レベル 1	ランプ 0.1秒 0.1秒	−	フレキシブルキー 赤色
	レベル 2	ランプ	−	フレキシブルキー 赤色
長時間通話警報		音 0.3秒	800	
第 2 発信音		0.1秒 音 0.1秒	400	

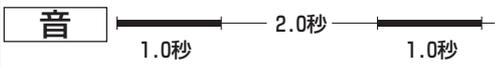
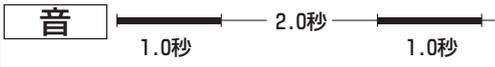
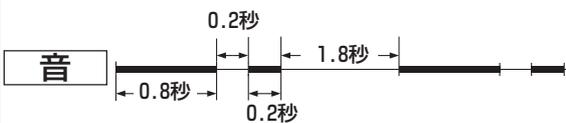
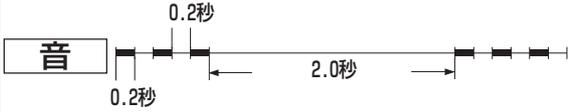
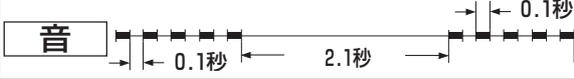
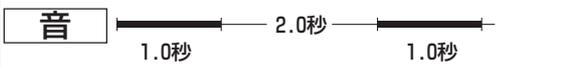
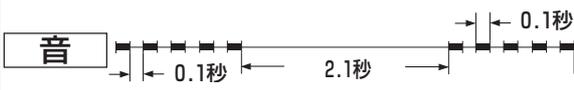
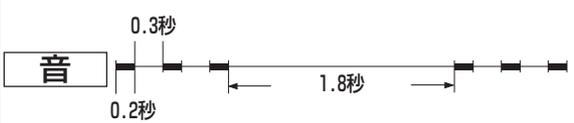
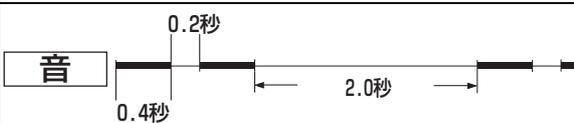
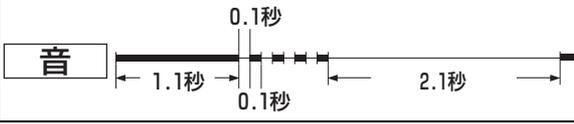
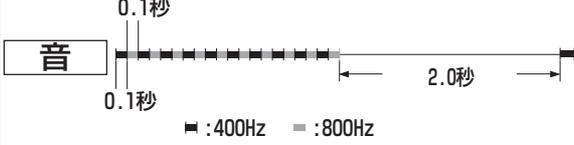
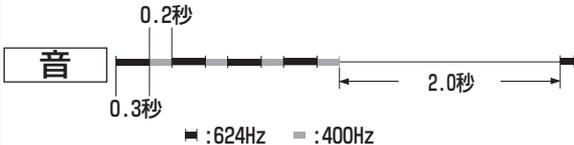
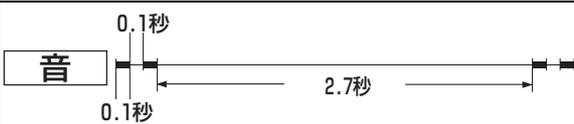
項目		パターン	周波数 [Hz]	備考
その他機能	ドント ディスターブ中	ランプ	–	フレキシブルキー 赤色
	ページング中	ランプ	–	フレキシブルキー 赤色
	コールバック中	音 0.1秒 2.1秒 ランプ 0.1秒 1.1秒	432/ 624/ 16 (432/ 480)	フレキシブルキー 赤色
	保留リコール	音 0.1秒 2.1秒 ランプ 0.1秒 1.1秒	432/ 624/ 16 (400/ 500)	着信音 7 フレキシブルキー 赤色
	キャンプオン・キャンプオン リコール	音 1.0秒 2.0秒 ランプ 0.1秒 1.1秒	400/ 496/ 16 (400/ 500)	フレキシブルキー 赤色
	メッセージ ウェイティング	ランプ 0.1秒 1.1秒	–	フレキシブルキー 赤色
	キャンプオン中	ランプ 0.9秒 0.1秒	–	フレキシブルキー 赤色

参考

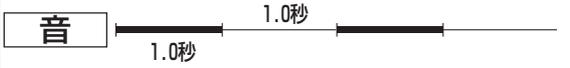
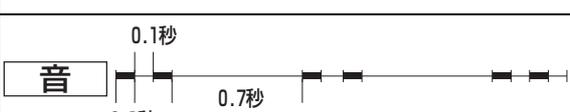
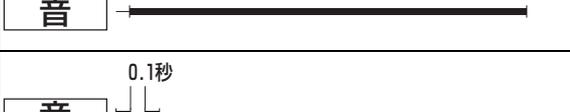
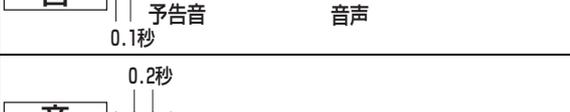
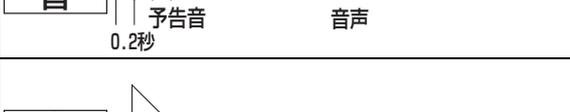
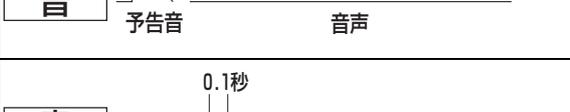
12

内線

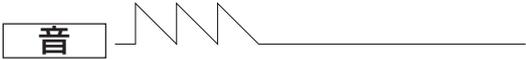
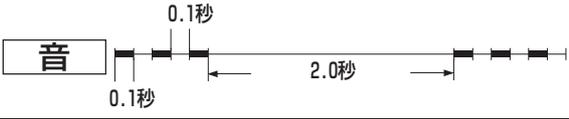
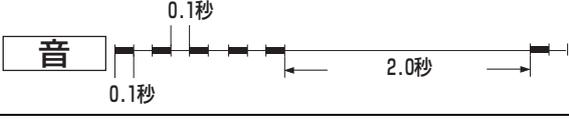
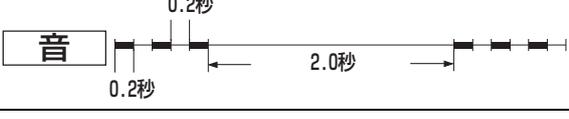
項目		パターン	周波数 [Hz]	備考
空き状態		ランプ	–	消灯（OFF）
内線通話	信号音呼出	音 0.2秒 0.2秒 2.0秒 ランプ 0.1秒 1.1秒	480/ 624 (400)	着信音 4 内線キー 緑色
	音声呼出	音 1.0秒 予告音 音声	480/ 624	
内線通話中		ランプ 0.1秒 0.7秒 0.1秒	–	内線キー 緑色
内線保留		ランプ 0.5秒 0.5秒	–	内線キー 緑色
内線発信音（DT）		音 0.2秒 0.2秒	400	
第 2 発信音		音 0.1秒 0.1秒	400	
内線呼出確認音（RBT）		音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	432/ 480	
話中呼出音（話中 RBT）		音 0.5秒 0.5秒	432/ 480	
話中音（BT）		音 0.5秒 0.5秒	400	
内線リコール		音 0.1秒 2.1秒 0.1秒	480/ 624 (400)	着信音 5
内線キャンプオン		音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	480/ 624 (400)	着信音 6

外線着信音の種類

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
外線着信 1	音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	400/496/16 (400/500)	着信音 1
外線着信 2	音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	432/480 (400/667/16)	着信音 2
外線着信 3	音 0.8秒 0.2秒 0.2秒 1.8秒	432/496/16 (400/500)	着信音 3
外線着信 4	音	保留音 (400/800)	メロディー
外線着信 5	音 0.3秒 0.2秒 1.8秒	400/496/16 (400/500/16)	
外線着信 6	音 0.2秒 0.4秒 2.0秒	432/480 (400/500)	
外線着信 7	音 1.1秒 0.1秒 0.1秒 2.1秒	432/480 (400/500)	
外線着信 8	音 0.1秒 0.1秒 2.0秒 :400Hz :800Hz	400/800 (400/800/16)	

電話機着信音の種類

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
着信音 1	音 2.0秒 1.0秒 1.0秒	400/496/16 (400/500)	
着信音 2	音 2.0秒 1.0秒 1.0秒	432/480 (400/667/16)	
着信音 3	音 0.2秒 1.8秒 0.8秒 0.2秒	432/496/16 (400/500)	
着信音 4	音 0.2秒 2.0秒 0.2秒	480/624 (400)	
着信音 5	音 0.1秒 0.1秒 2.1秒	480/624 (400)	
着信音 6	音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	480/624 (400)	
着信音 7	音 0.1秒 2.1秒	432/624/16 (400/500)	
着信音 8	音 0.5秒 0.5秒	800	

相手識別着信音の種類

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
相手識別着信音 1	音 2.0秒 1.0秒 1.0秒	400/496/16 (400/500/16)	
相手識別着信音 2	音 2.0秒 1.0秒 1.0秒	432/480 (400/500)	
相手識別着信音 3	音 0.2秒 1.8秒 0.8秒 0.2秒	432/624/16 (400/500/16)	

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
相手識別着信音 4	音 0.2秒 0.2秒 2.0秒	480/ 624 (400)	
相手識別着信音 5	音 0.1秒 0.1秒 2.1秒	480/ 624 (400)	
相手識別着信音 6	音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	480/ 624 (400)	
相手識別着信音 7	音 0.1秒 0.1秒 2.1秒	432/ 624/ 16 (400/ 500/ 16)	
相手識別着信音 8	音 0.5秒 0.5秒	800/ (500)	
相手識別着信音 9	音 0.3秒 0.3秒 0.3秒 2.1秒	400/ (400)	
相手識別着信音 10	音 0.3秒 0.2秒 1.8秒	400/ 496/ 16 (400/ 500/ 16)	
相手識別着信音 11	音 0.2秒 0.4秒 2.0秒	432/ 480 (400/ 500)	
相手識別着信音 12	音 0.1秒 1.1秒 0.1秒 2.1秒	432/ 480 (400/ 500)	
相手識別着信音 13	音 0.1秒 0.1秒 2.0秒 ━:400Hz ━:800Hz	400/ 800 (400/ 800/ 16)	
相手識別着信音 14	音 0.2秒 0.3秒 2.0秒 ━:624Hz ━:400Hz	624 400 (400/ 667/ 16)	
相手識別着信音 15	音 0.1秒 0.1秒 2.7秒	内部保留音 (400/ (800)	
相手識別着信音 16 相手識別着信音 17	外部音源 取り付け時設定		

その他

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
登録エラー時	音 1.0秒 1.0秒	400	警告音（WT）
登録完了時	音 0.2秒 0.2秒	800	確認音 1（CT1）
秘話解除音 転送音 参加音	音 1.0秒	800	確認音 2（CT2）
リクエストトーン ウェイティングトーン	音 0.1秒 0.1秒 0.7秒	400	確認音 3（CT3）
ドントディスターブ音	音 0.5秒 0.5秒	800	確認音 4（CT4） 着信音 8
確認音（長音）	音 0.2秒 0.2秒 1.0秒	800	確認音 5（CT5）
ダイヤルキーを押下時	音 0.024秒	1000	キータッチトーン
受話器外れ時	音	1532	ハウラー音
ページング予告音 1	音 0.1秒 0.1秒 予告音 音声	528	
ページング予告音 2	音 0.2秒 0.2秒 予告音 音声	528	
ページング予告音 3	音 予告音 音声	ピンポン2 400 (400)	
きっかけ音 1 (警報類似音)	音 0.1秒 0.1秒	800	
きっかけ音 2 (通話途切れ音)	音 0.1秒 0.1秒 (無音) (無音) (無音) 1.0秒 0.1秒	無音	
きっかけ音 3 (ドアホン着信音)	音	ピンポン2 400 (400)	

オプション使用時

項目		パターン	周波数 [Hz]	備考
ドアホン着信	ドアホン着信 1	音	ピンポン 1 400 (400)	
	ドアホン着信 2	音	ピンポン 2 400 (400)	
	ドアホン着信 3	音 0.1秒 0.1秒 2.0秒	480/ 624 (400)	
	ドアホン着信 4	音 0.1秒 0.1秒 2.0秒	480/ 624 (400)	

単独電話機の場合

項目	パターン	周波数 [Hz]	備考
電話がかかってきたとき	音 1.0秒 2.0秒 1.0秒	20	
内線着信	音 0.2秒 0.2秒 2.0秒	20	
ドアホン着信	音 0.4秒 0.4秒 0.2秒 2.0秒	20	

停電のときは

停電バッテリーによる運用

停電時は、自動的にバッテリー運転に切替わり、所定時間※ 1 運転が継続されます。
以下の時間内に停電が回復しないときは､バッテリーの出力電圧が低下して主装置の運転が停止します（バッテリー運転時間は、お客様の主装置タイプおよび搭載バッテリーにより異なります)。

	バッテリー運転時間			製品名（品番）
	主装置 S タイプ	主装置 M タイプ	主装置 L タイプ	
内蔵バッテリー	約 6 分	約 4 分	約 3 分	・ バッテリーパック S
外付けバッテリー※ 2（オプション）	約 2.5 時間	約 2 時間	約 1 時間	・ 外付けバッテリー（蓄電池）（PE12V-7.2F1） ・ 外付けバッテリーケース（WX-BATTCASE（Li))

所定時間※ 1：システムの運転に必要な電力をバッテリーから供給できる時間です。

外付けバッテリー※ 2：外付けバッテリーを使用する場合は、主装置の内蔵バッテリーは不要です。

停電時の動作

- 停電時は、操作パネル上の AC ランプが消灯します。
- 内蔵バッテリーの出力電圧の低下が検出された時は、自動的にシステム内部でバッテリーが切り離されてシステム全体が停止（運転停止状態）となります。
（この場合、システムのシャットダウンは行われません。）
- システムが運転停止状態となっているときに、停電状態から通電状態に回復した場合は自動的にシステムの立ち上げとなり、運転状態となります。
この時、自動的にバッテリーの充電が再開されます。
- 停電検出時にシステム内のデータがコンパクトフラッシュカードに保存されます。
保存中は主制御ユニット（CCSU）上の SAVE ランプが点灯します。
- バッテリーによる運転開始で、ボタン電話機（Visual IP 電話機を除く）は省電力モードに切替わります。省電力モード時、バックライトおよびダイヤルライトは点灯しません。

Information

- ◆ **バッテリー搭載のないシステムでの停電時は、システムは運転停止となります。**
- ◆ **停電時は、内蔵バッテリーによるシステム立ち上げはできません。**
- ◆ **蓄電池（内蔵バッテリー、外付けバッテリー）は約 3 年に 1 度の交換が必要です。（有償）**
交換につきましてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

停電切替えによる運用

停電時に外線（アナログ／ ISDN）が直接、停電用内線電話機に切替えられ、外線の発着信を可能とします。

停電時の動作（アナログ回線／ ISDN 回線）

項目		アナログ回線	ISDN 回線
電話機切替え方法		・ 停電切替ユニットを介して接続することにより、停電時、アナログ回線を自動的に停電電話機に切替えることができます。 ・ 停電自動切替局線ユニットを接続することにより、停電時にもお話しが可能なアナログ回線（外線）を 8 回線まで収容できます（主装置 M タイプ／ L タイプのみに接続可能）。	停電時、ISDN 回線を自動的に停電電話機に切替えることができます。
接続可能な電話機		・ アナログ回線用停電対応多機能電話機（NR-30KTAPF） ・ 単独電話機	・ ISDN回線用停電対応多機能電話機（NR-30KTIPF）
通話状態	通常⇒停電	外線との通話は切断されます。	外線とのお話しは切断されます。
	停電⇒通常	全てのお話しは切断されます。ただし、停電自動切替局線ユニットに収容している回線のお話しは保持されます。	外線とのお話しは切断されます。
停電自動切替局線ユニット		IX-PFXU 主装置 M タイプ／ L タイプのみに接続可能です。 お買い求めの販売店にお問い合わせください。	－
停電切替ユニット		NR-PFU お買い求めの販売店にお問い合わせください。	－

停電用の電話機の使い方

電話をかけるときは、受話器を取ってからダイヤルしてください。
ISDN 回線でお使いの場合は、電話番号のあとに【#】をダイヤルしてください。
電話を受けるときは、受話器を取るとお話しできます。

Information

◆ 停電用の電話機として単独電話機をお使いになる場合は、PRECOT（プレコット）の外線の回線種別と電話機の回線種別が合わないとお話しできないことがあります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
◆ 停電切替可能な回線は、アナログ回線および ISDN 回線のみで IP 外線を収容することはできません。また、アナログ回線でダイヤルイン、ナンバーディスプレイ回線は、着信通話できません。
◆ バッテリーバックアップ中の動作は、通常の動作が可能です。

音声品質について

IP 機器を用いたお話し

お話し中に音声の途切れ、ノイズ、エコーなどがあっても故障ではありません。

- 次の場合、エコーやノイズ、お話しの途切れが気になることがあります。
  - ネットワークのデータトラフィックが増大した場合。
  - インターネット経由の場合。
    ※契約しているプロバイダなどの環境にも影響されます。(ベストエフォート)
  - ADSL 回線をお使いの場合。
    ※回線を提供しているキャリアにご相談ください。最悪、通話が切れることもあります。
  - 他の多機能電話機やコードレス電話機を音声で呼び出し、内線ハンズフリー応答機能が働く場合。
  - ドアホン通話の場合。
  - 会議通話の場合。
  - ボイスメール装置で通話録音を行う場合。
  - アナログ系の外線や専用線をお使いの場合。
  - お話し中の相手の方が保留した場合の保留音。
  - 転送電話で IP 以外の回線でお話しした場合。
  - 携帯電話とのお話しの場合。
  - 同時に発話する場合。
- お話しが終わって切るときや、外線ボタンを押し替えたときに、異音が瞬間的に出る場合があります。
- お話ししている相手の方の周囲騒音が著しく大きいとき、こちらの音声がとどかないことがあります。

局線とのお話し

- 接続される局線や上位機器により、まれにエコーが発生することがあります。
- アナログ局線を用いた転送電話や会議通話を行う場合、お話しの途切れやエコーが気になる場合があります。
- 相づちなど相手と同時に発話する場合に、エコーが気になる場合があります。

困ったときは

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも直らないときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを確認してください	操　　　作	参照先
電話をかけられない 電話を受けられない	各機器間の接続ケーブルが外れていませんか？	モジュラージャックを正しく接続してください。	P.2-2
	ドント・ディスターブ（DND）や、不在転送、フレックスホン（着信転送）、局線間転送（着信転送ー自動転送）等の自動転送を設定していませんか？	設定を解除すれば、電話を受けられます。	P.6-24、 P.6-28、 P.6-32、 P.7-15、 P.4-6
着信音が鳴らない	電話機の着信音量が最小になっていませんか？	音量調整をしてください。	P.2-5
再ダイヤルボタンを押しても再ダイヤルできない	外線が全てお話し中になっていませんか？	外線が空きしだい、再度操作し直してください。	-
保留できない	ハンズフリー応答をしていませんか？	オフフックして着信に応答してください。	P.3-50、 P.3-51
一斉・グループ呼出ができない	保留中、またはお話し中ですか？	保留またはお話しを終えてから操作し直してください。	P.6-8、 P.6-9
	グループ呼出番号を設定していますか？	取り付け時の設定です。確認してください。	P.6-8
システム電話帳などを登録できない	システム電話帳は、システム電話機（またはあらかじめ決められた電話機）で操作していますか？	システム電話機（またはあらかじめ決められた電話機）以外では登録することができません。 取り付け時の設定を確認してください。	P.3-20
名前が登録できない	登録可能な文字数を超えていませんか？	それぞれの登録可能な文字数を超えると入力できません。 新規に名前を登録するときや、名前を変更するときは、「フック」または「クリア」を押して、文字を消去してから入力してください。	P.3-20
電話番号が登録できない	登録可能なケタ数を超えていませんか？	それぞれの登録可能なケタ数以内で登録してください。 「フック」を押して番号を消去してから入力してください。	P.3-20
名前を入力中に入力モードを変更できない	登録可能な名前の文字数を超えていませんか？	「フック」または「クリア」を押して、表示されている文字を消去してから入力モードを変更してください。	P.3-20
システム電話帳に名前を登録しているのに電話がかかってきても名前表示されない	PBX アクセスダイヤルの後に電話番号が市内局番なしで登録されていませんか？	PBX アクセスダイヤルの後に市外局番から電話番号を登録してください。	-
システム電話帳や個別電話帳に名前を登録したのに、電話帳で名前を検索できない	名前の前にスペースが入っていませんか？	スペースを入れないで登録してください。	P.3-20
システムが使えない	主装置の電源スイッチのランプが点灯していますか？	ランプが消えている場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。	-

仕様

仕様

項目			仕様
電源			AC　100V±10%　50/60Hz
外線収容数	Ｓタイプ		ＩＳＤＮ：最大３回線（6B チャネル /DSU 内蔵） アナログ：最大６回線 ＩＰ回線：8Ｂ チャネル 合計：最大 14Ｂ チャネル
	Ｍタイプ		ＩＳＤＮ：最大４回線（8B チャネル /DSU 内蔵） アナログ：最大８回線 ＩＰ回線：8Ｂ チャネル 合計：最大 16Ｂ チャネル
	Ｌタイプ		ＩＳＤＮ：最大６回線（12B チャネル /DSU 内蔵） アナログ：最大 12 回線 ＩＰ回線：16Ｂ チャネル 合計：最大 28Ｂ チャネル
電話機数	Ｓタイプ		多機能電話機：最大 16 台 単独電話機：最大３台 Visual IP 電話機：最大 24 台
	Ｍタイプ		多機能電話機：最大 24 台 単独電話機：最大３台 Visual IP 電話機：最大 24 台
	Ｌタイプ		多機能電話機：最大 48 台 単独電話機：最大３台 Visual IP 電話機：最大 24 台
通話路方式			ノンブロッキング時分割交換方式
配線方式	多機能電話機，SLT		２線スター（無極性）
	Visual IP 電話機		10BASE-T/100BASE-TX
主装置	Ｓタイプ	寸法	（幅）約 400mm×（奥行）約 130.5mm×（高さ）約 320mm
		質量	約 4.9ｋｇ（最大質量）
	Ｍタイプ	寸法	（幅）約 520mm×（奥行）約 130.5mm×（高さ）約 320mm
		質量	約 6.5ｋｇ（最大質量）
	Ｌタイプ	寸法	（幅）約 520mm×（奥行）約 130.5mm×（高さ）約 320mm
		質量	約 7.4ｋｇ（最大質量）
多機能電話機	NR-18KT	寸法	（幅）約 182mm×（奥行）約 287mm×（高さ）約 88mm
		質量	約 1.0kg
	NR-30KT	寸法	（幅）約 182mm×（奥行）約 287mm×（高さ）約 88mm
		質量	約 1.0kg
	NR-30KTAPF	寸法	（幅）約 182mm×（奥行）約 287mm×（高さ）約 115mm
		質量	約 1.1kg
	NR-30KTIPF	寸法	（幅）約 182mm×（奥行）約 287mm×（高さ）約 115mm
		質量	約 1.1kg
Visual IP 電話機	NR-IPKTV	寸法	（幅）約 257mm×（奥行）約 238mm×（高さ）約 108mm
		質量	約 1.5kg
消費電力	Ｓタイプ		約 90W
	M/L タイプ		約 150W
環境条件			周囲温度：０℃～ 40℃　相対湿度：90%RH 以下（ただし結露しないこと）

アフターサービスについて

この製品には保証書があります。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡し致しますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
なお、以下の記載内容について特にご確認ください。

- 設置されている電話機の台数が記載されていること
- お買い求めの日が記載されていること
- お客様のご住所とお名前が記載されていること
- 販売店の住所と名前が記載されていること

保証期間はお買い求めの日から 1 年間です。

なお保証期間中でも有料になる場合がありますので、保証書をよくお読みください。

アフターサービスはお買い求めの販売店、もしくは工事店が行います。

万一の故障の修理、移動、増設、移設は全てお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にご依頼ください。

修理はお買い求めの販売店、もしくは工事店にまずご相談ください。
販売店へのご相談ができない場合には、岩崎通信機お客様相談センタへご相談ください。

＜お客様相談センタ：0120-186102 ＞

修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：故障した製品を正常に修復するための作業にかかる費用です。
部品代：修理に使用した部品代金です。
出張料：製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。

ただし、製品の機能が維持できるかお電話で判断できない場合にはご希望により出張し、判断させていただきます。その結果、修理しても製品の機能が維持できないとした場合でも有料となる場合がありますのでご了承ください。

- **補修用部品の保有期間について**
  本製品の補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後、７年を目安に保有しています。この期間中は原則として修理をお受けいたします。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い求めの販売店、もしくは工事店にお問い合わせください。

- **電子情報の消去について**
  お客様または第三者等が本製品のお取り扱いを誤ったとき、本製品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのときに、まれに記憶内容が変化および消失することがあります。重要な内容は必ず控えを取っておいてください。記憶内容が変化および消失したことによる損害については、弊社に重大な過失、故意がない限り、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

索引

と

な

ね

は

ひ

このたびはPRECOTをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。 お読みになった後も本製品のそばなど、いつもお手元に置いてお使いください。

ご不明の点がございましたら、岩崎通信機お客様相談センタへお気軽にご相談ください。

＜お客様相談センタ: 0120-186102＞

お客様メモ

お買い求めになった年月日、店名等をご記入ください。 修理を依頼される時やお問い合わせの時に大変便利です。	
設置年月日	年　　月　　日
設置店名 住　　所 電話番号	

TML179741
2011.03

岩崎通信機株式会社